

スーパーバイザーが必要！

ストレスチェック・アンケートの結果から

特定非営利活動法人 やっぺす

女性活躍推進事業部

2022年4月

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災から11年余りが経過しました。

大震災は被災者の心身に大きな傷を残したが、現在も女性の心身回復に対する支援の取り組みは決して十分とはいえません。多くの女性が震災により受けた傷を癒す機会も手立てもなく生活しており、年々不調を訴える女性が増加しています。一方で、女性の就業をみると震災後から300万人増加し、15歳から64歳の生産年齢人口の就業率も69.9パーセントと年々上昇し過去最高となっています。

いま日本社会では、女性は「仕事も家庭（育児、介護含む）も」と多くの役割を担うようになっています。女性の就労率が増える一方で女性の家事労働、育児などにかかる負担は軽減されていないことから女性の負担が増えています。そのうえ、石巻地域では、古くから男性は外へ出て女性は家庭を守るという性別役割分担意識があり、今も根強く残っています。

ストレス社会といわれる現代社会において、自分自身の心身のケアが十分にできないまま暮らしている女性が少なくありません。仕事に加えひとりで何役もこなす女性の心身の健康は、男女共同参画社会の実現、少子化対策、地域創生といった様々な観点から考えても非常に重要です。

わたしたちは、石巻地域の女性たちが被災に起因する精神的な苦痛やその後の生活環境、職場環境からくるストレスとうまくつきあい、自ら回復する力をつけることで、昨今増えている児童虐待などのリスクを低減するとともに、女性の能力がさらに活かされる地域社会づくりにつなげるために活動しています。

この調査報告書の内容が生かされ、地域における取り組みがいつそう発展することを願っています。

女性活躍推進部 兼子佳恵・戸田美穂・片石久美・堺本 圭

第 1 章 調査の目的

わたしたちはジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ様のご支援をいただき、ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業をおこなった。事業の実施期間は2019年5月から2020年4月までの3カ年である。

事業の内容は以下の通りである。

初年度（2019年度）は、ドリームフィールド認定コーチの育成とともに、ストレスケア、心身の回復における2つの手法（メンタルヘルスアドバイザー入門編、レジリエンス研修入門編）を実施した。

研修の結果、受講生は日常生活において自らのストレスと向き合うことができるようになり、家族や周囲の人にもよい影響を与えるようになった。

さらに、職場においても労働生産性を向上させ、女性のチカラを十分に発揮してもらえることにつなげることができた。コーチングについて地域の女性8名が講座（15回）を無事終了し、実技試験合格後認定コーチの資格を得た。

2020年度は、こうして認定コーチの資格を得た女性たちが、地域の女性たちのための講座をそれぞれ開催した。それにより女性たちがストレスケアについて学ぶ機会が格段に増えるだけでなく、地域での女性の活躍を促進することにもつながることが期待された。また心身の回復における2つの手法（メンタルヘルスケアアドバイザーおよびレジリエンス）については指導者育成のための研修を実施し、その結果メンタルヘルスアドバイザー10名、レジリエンスコンサルタント8名が誕生した。

最終年度の2021年度は、1、2年目で育成した指導者が地域においてストレスケアの手法を用いた講座の開催、有用な情報の提供をおこなってきた。

さて、わたしたちは2021年度と22年度において、地域のストレス傾向の分析をおこなった。今後の事業推進のために、またこの人材育成事業の必要性効果を確認するために、地域のストレス度を測る簡易的なアンケートを実施した。

本報告書はこのアンケート調査の結果報告である。

第2章 調査の概要

調査期間：

第1回調査 2020年12月15日～2021年1月31日

第2回調査 2021年12月01日～2022年1月31日

調査対象：

石巻市在住の10代～70代の女性をランダムに選んで実施した。

第1回と第2回は同じ。

行政、民間企業に勤める人、仕事を持たない人の3つのグループに分けた。調査票はそれぞれ異なる。

アンケート回答者258人のうち、72名は講座参加者であるが、行政グループには講座の参加者はいない。

調査方法：

調査票を直接本人に渡し、当日かまたは後日直接回収した。

第3章 調査の集計結果（別紙参照）

第4章 調査結果からなにが見えるか

調査がおこなわれた時期はちょうど新型コロナウイルス感染症が爆発的に拡大していた時期であった。第1回の調査がおこなわれた2020年12月15日から2021年1月31日は、ちょうど第3波がおそってきた時期に重なる。また第2回調査がおこなわれた2021年12月1日から2022年1月31日の時期は、12月のうちは感染者数が減り続けたが、年が明け1月になってから激増した。第5波がおそった時期だった。

長引く新型コロナウイルス感染症のため、人びとの生活には大きなストレスがかかっている。そのことは、「あなたの周りの人についてうかがいます」として、日ごろ接している人との人間関係をたずねた質問で、2020年度より2021年度のほうが数字が悪くなっていることから読み取れる。どのくらい気軽に話ができるかを尋ねた質問では、仕事なしグループでのみ2020年と21年の回答はほぼ同じだったが、行政グループと仕事ありグループでは数字が大きく下がっている。

これまで経験したことのないパンデミックのさなかで、人々は大きなストレスを抱えていた。だから残念ながらストレスについて調査するにはかならずしも適切な時期とはいえなかったかもしれない。3つのグループの回答傾向を見ると、それぞれ2020年度と21年度では大きな違いは見られなかった。調査結果は基礎的な参考資料としてみていただきたい。

ストレスコントロールが難しいのは仕事を持たない女性

とはいえ調査結果からいくつか重要な点が読み取れた。

はっきりした違いがみられるのは3つのグループを比較したときである。

もっとも印象的なのは、仕事を持たない女性のほうが、ストレスが大きいと思われることである。

「あなたの周りの人についてうかがいます」として、日頃接している人との人間関係を尋ねた質問では、仕事なしグループと行政グループ、仕事ありグループとで大きな違いがあらわれた。

どのくらい気軽に話ができるかという質問を詳しくみると、仕事なしのグループでは配偶者について「非常に」と答えた人が43.2%（2020年）25%（2021年）だったが、仕事ありのグループでは「配偶者・家族・友人等」と答えた人が59.4%（2020年）60.2%（2021年）、行政のグループでは「配偶者・家族・友人等」と答えた人が65.9%（2020年）45.7%（2021年）にのぼった。選択肢が違うので一概にいえませんが、仕事をもつ女性のほうが仕事なしの女性より、配偶者・家族とのコミュニケーションが深いと感じていることがうかがわれる。

さらに家庭生活の満足度についての質問では、満足と答えた人が「仕事あり」で50.8%（2020年）44.4%（2021年）と最も多く、次に「行政」47.7%（2020年）31.1%（2021年）、最も満足と答えた人が少なかったのが「仕事なし」35.3%（2020年）36.2%（2021年）とかなり大きな差があった。仕事をもっている女性のほうが仕事をもっていない女性より家庭生活に対する満足度が高いのである。

とくに気になるのは、仕事なしのグループで配偶者と気軽に話ができると回答した人の割合がもっとも低く、そのうえ21年度から22年度にかけてその割合が大きく低下していることである。さらに家庭生活についても満足と答えた人の割合が最も低いのである。

このことは多様な人間関係をもつ人のほうが家族のつながりを強く感じるということ物語っている。というより多様な人間関係をもつ人のほうが、ストレスをコントロールしやすいのである。

アドバイザー・カウンセラー・相談の重要性

以上、家庭・職場・友人・地域など多様な人間関係をもつと、ストレスは軽減されると考えられる。そう考えると仕事なしの女性たちに対して多様な人間関係のかわりになるような働きかけが必要ではないかと思われる。そして相談窓口をつくることが、多様な人間関係の代替になりうるといえるのではないだろうか。相談者との信頼関係を構築することが新たな人間関係をつくることになるからである。

そういう点で、これからはコーチ、メンタルヘルスアドバイザーやレジリエンスコンサルタントのような技能と知識をそなえた人材を養成すべきである。相談員には相応の技能と知識が要求される。コアカウンセリングやスーパーバイズによって相談員自身の技量が向上するような取り組みが必要である。

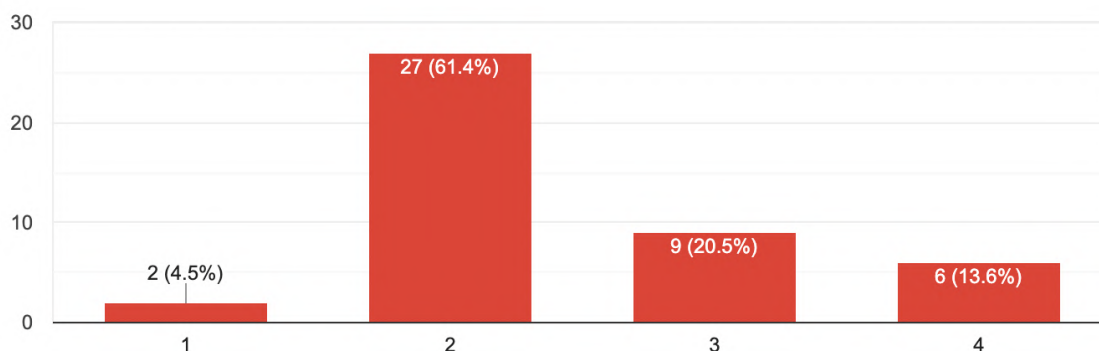
相談窓口の充実が望まれるし、そのうえで相談員に対してしっかりしたスーパーバイズの存在が求められる。わたしたちはコーチ、メンタルヘルスアドバイザーやレジリエンスコンサルタントといった役割の重要性をふまえたうえで、新たな相談員の養成と相談員の心身のケアを担うスーパーバイズのしくみを整えることを提言したい。

A 仕事について、17の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

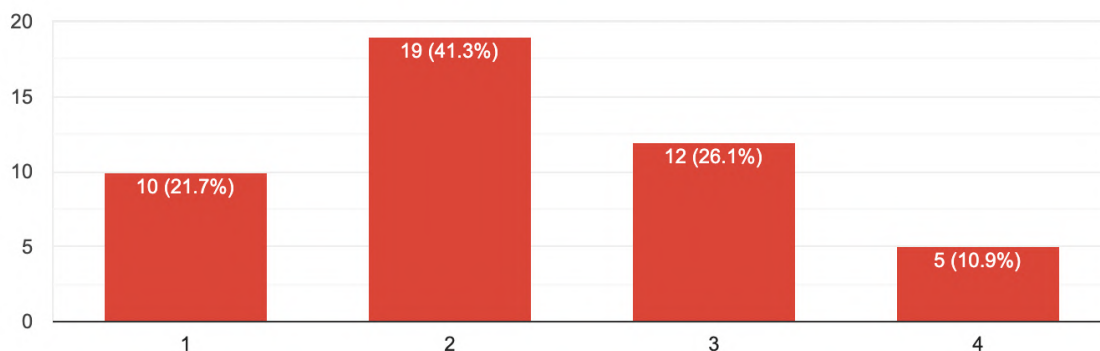
1. そうだ 2. まあそうだ 3. ややちがう 4. ちがう

1. 非常にたくさんの仕事をしなければならない

2020年度は「そうだ」と回答した人は2人(4.5%)、「まあそうだ」と回答した人は27人(61.4%)、「ややちがう」と回答した人は9人(20.5%)、「ちがう」と回答した人は6人(13.6%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、70%近くの人を選んだ。



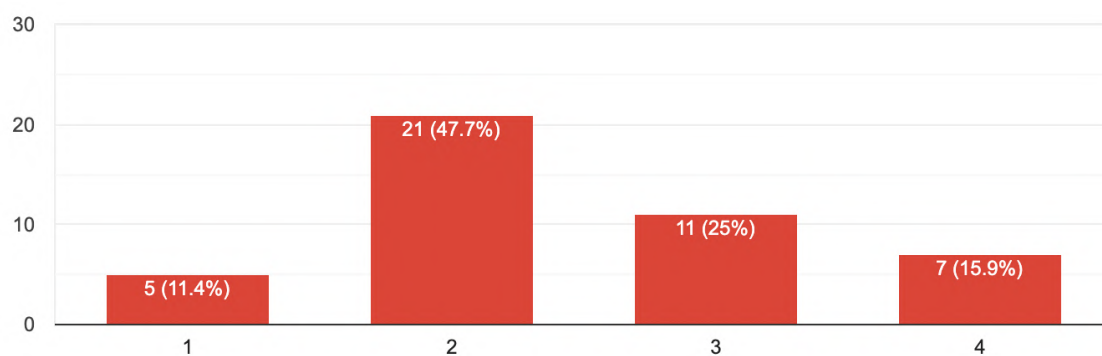
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は10人(21.7%)、「まあそうだ」と回答した人は19人(41.3%)、「ややちがう」と回答した人は12人(26.1%)、「ちがう」と回答した人は5人(10.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



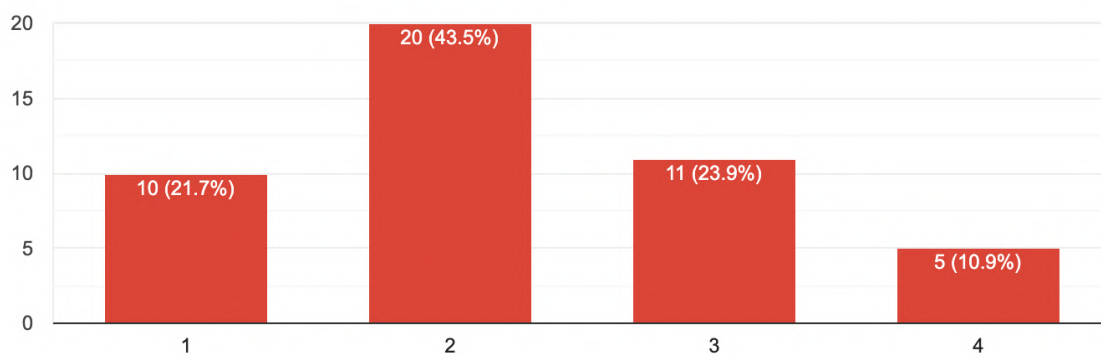
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の回答の減少がみられた。

2. 時間内に仕事が処理しきれない

2020年度は「そうだ」と回答した人は5人(11.4%)、「まあそうだ」と回答した人は21人(47.7%)、「ややちがう」と回答した人は11人(25%)、「ちがう」と回答した人は7人(15.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



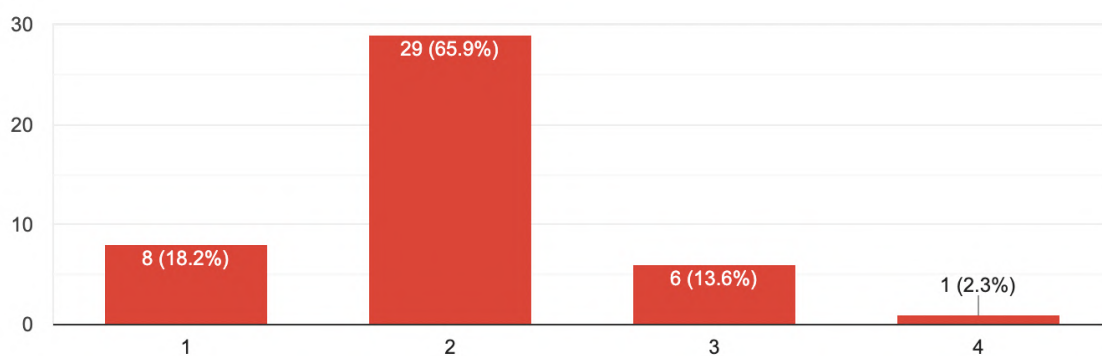
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は10人（21.7%）、「まあそうだ」と回答した人は20人（43.5%）、「ややちがう」と回答した人は11人（23.9%）、「ちがう」と回答した人は5人（10.9%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の回答の減少がみられた。

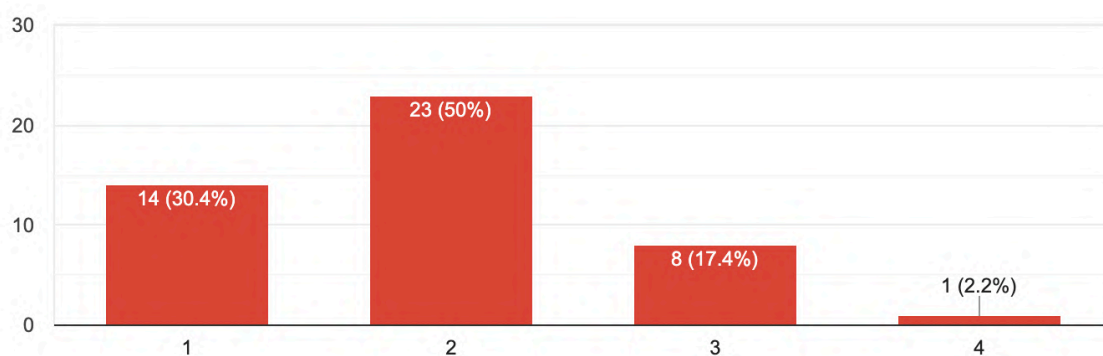
3. 一生懸命働かなければならない

2020年度は「そうだ」と回答した人は8人（18.2%）、「まあそうだ」と回答した人は29人（65.9%）、「ややちがう」と回答した人は6人（13.6%）、「ちがう」と回答した人は1人（2.3%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、30%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は14人（30.4%）、「まあそうだ」と回答した人は23人（50%）、「ややちがう」と回答した人は8人（1

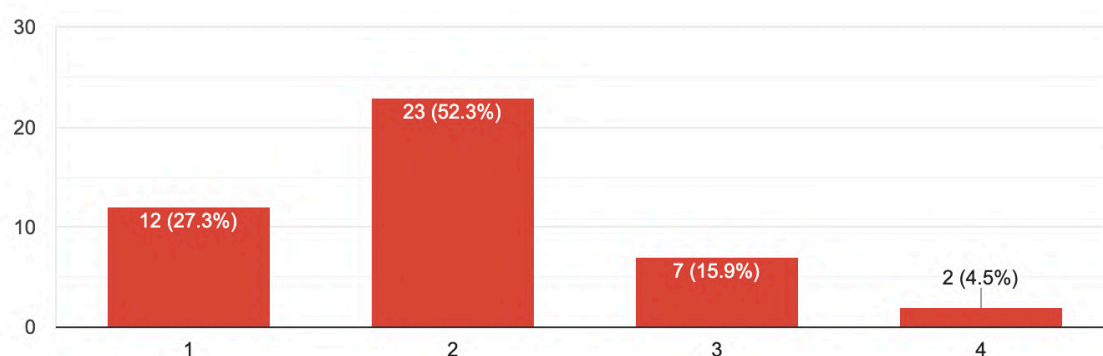
7.4%)、「ちがう」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「そうだ」で、50%近くの人を選んだ。



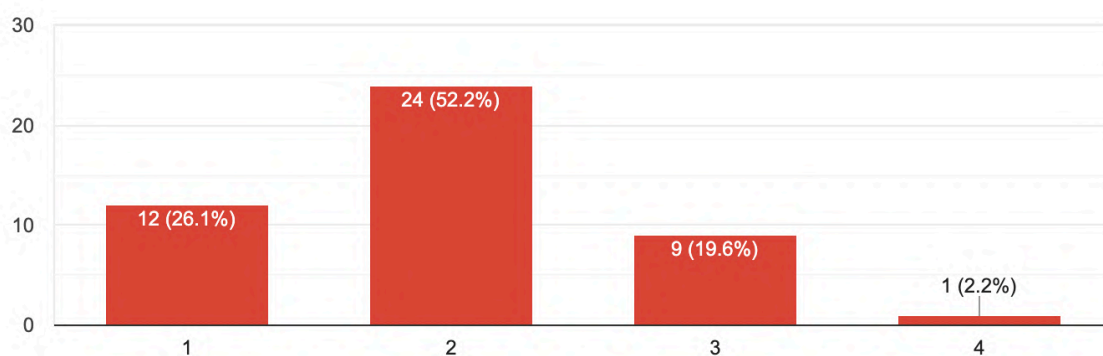
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の減少が見られる一方、「そうだ」の増加が見られる傾向にあった。

4. かなり注意を集中する必要がある

2020年度は「そうだ」と回答した人は12人(27.3%)、「まあそうだ」と回答した人は23人(52.3%)、「ややちがう」と回答した人は7人(15.9%)、「ちがう」と回答した人は2人(4.5%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



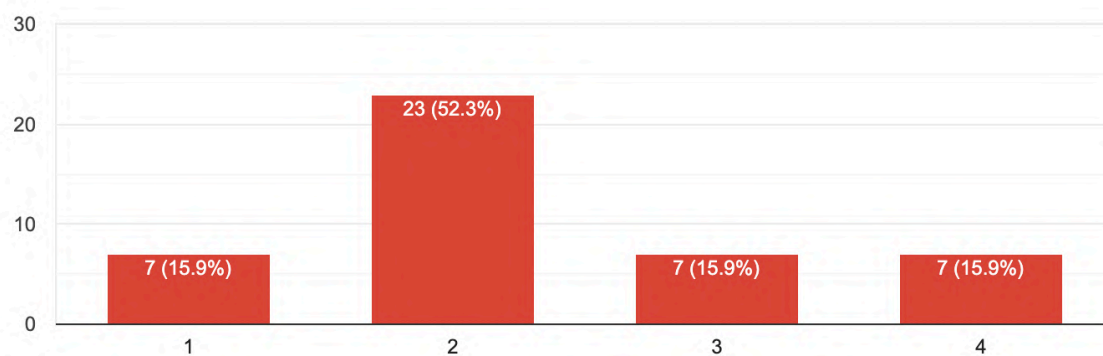
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は12人(26.1%)、「まあそうだ」と回答した人は24人(52.2%)、「ややちがう」と回答した人は9人(19.6%)、「ちがう」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



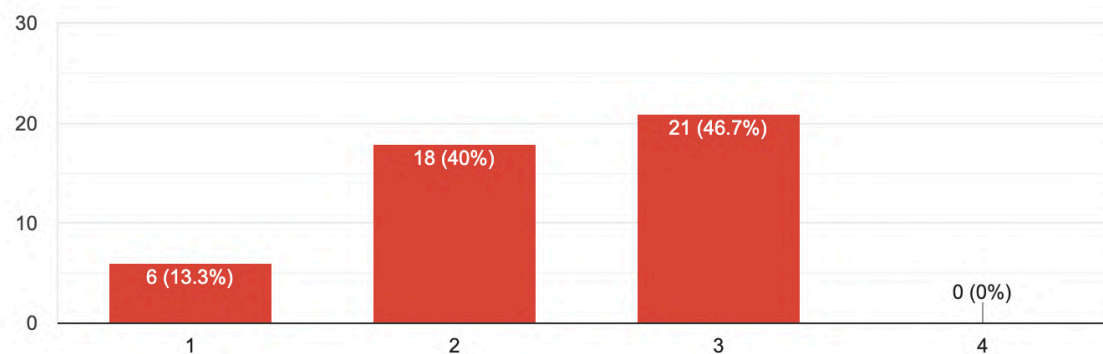
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向はややよくなったが、それほど変化してはいない。

5. 高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ

2020年度は「そうだ」と回答した人は7人（15.9%）、「まあそうだ」と回答した人は23人（52.3%）、「ややちがう」と回答した人は7人（15.9%）、「ちがう」と回答した人は7人（15.9%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



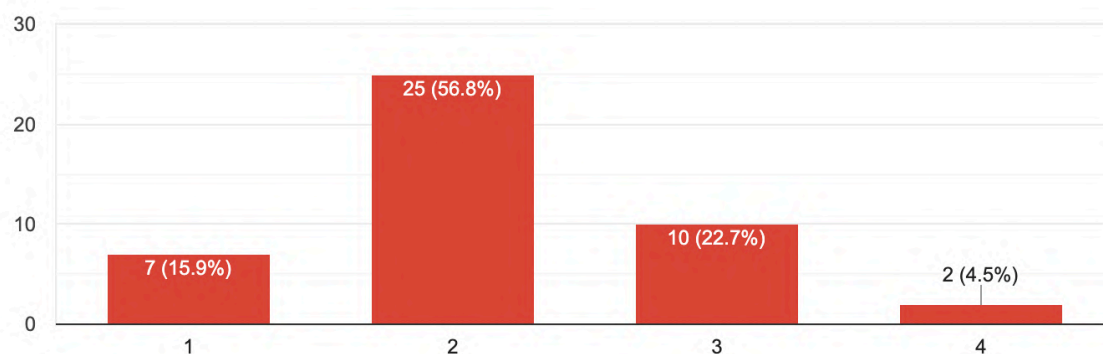
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は6人（13.3%）、「まあそうだ」と回答した人は18人（40%）、「ややちがう」と回答した人は21人（46.7%）、「ちがう」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



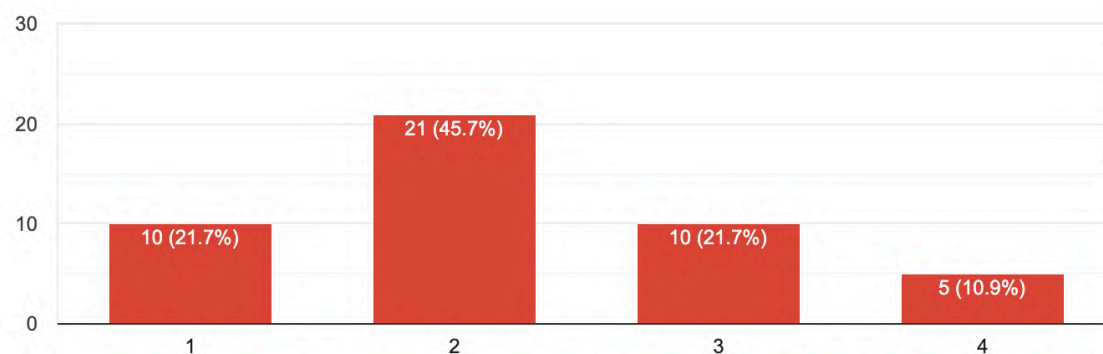
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の減少がみられる一方、「ややちがう」の回答の増加が見られた。

6. 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない

2020年度は「そうだ」と回答した人は7人(15.9%)、「まあそうだ」と回答した人は25人(56.8%)、「ややちがう」と回答した人は10人(22.7%)、「ちがう」と回答した人は2人(4.5%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



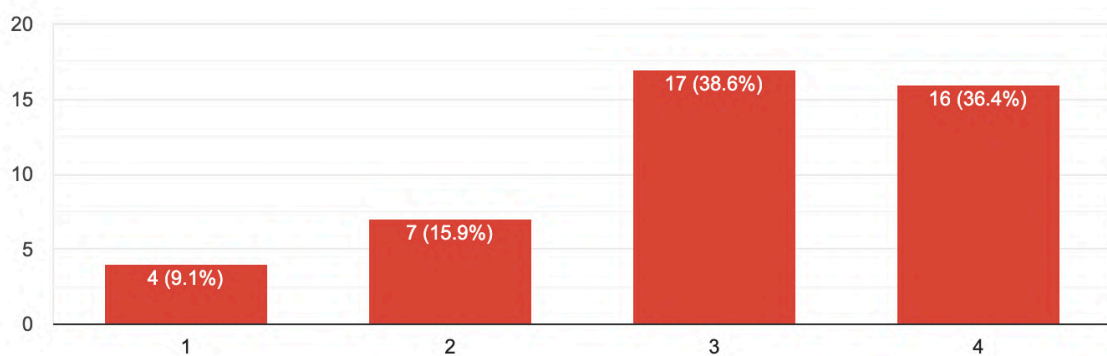
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は10人(21.7%)、「まあそうだ」と回答した人は21人(45.7%)、「ややちがう」と回答した人は10人(21.7%)、「ちがう」と回答した人は5人(10.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



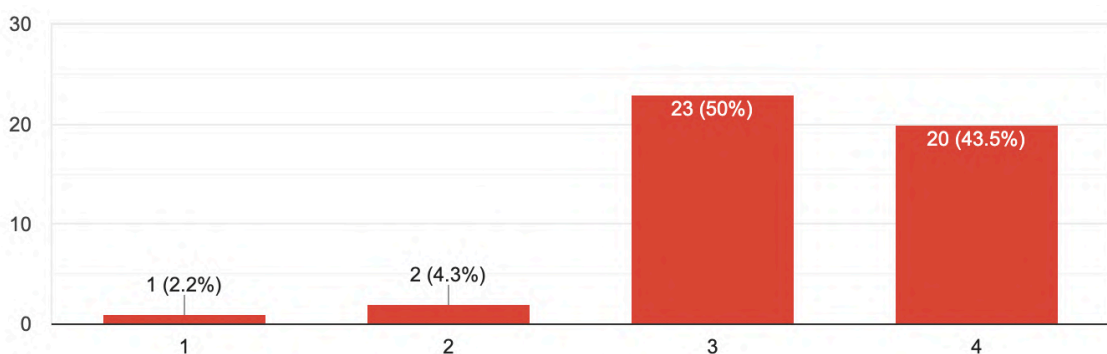
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向はややよくなったが、それほど変化してはいない。

7. からだを大変よく使う仕事だ

2020年度は「そうだ」と回答した人は4人(9.1%)、「まあそうだ」と回答した人は7人(15.9%)、「ややちがう」と回答した人は17人(38.6%)、「ちがう」と回答した人は16人(36.4%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、40%近くの人を選んだ。



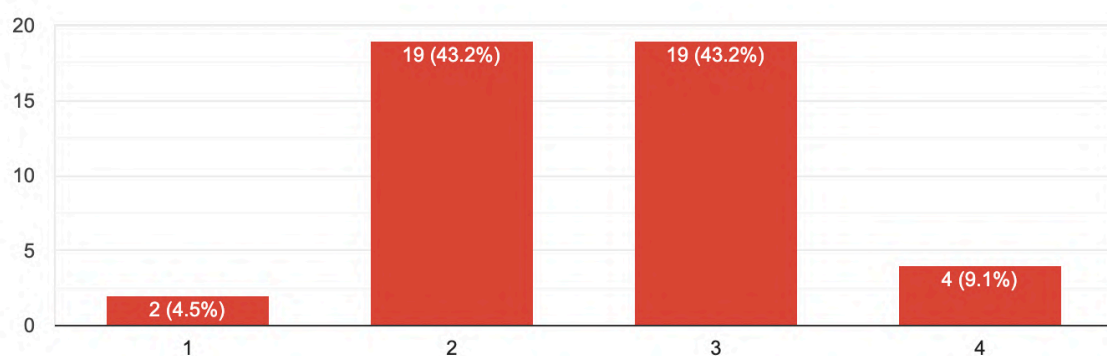
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は1人（2.2%）、「まあそうだ」と回答した人は2人（4.3%）、「ややちがう」と回答した人は23人（50%）、「ちがう」と回答した人は20人（43.5%）であった。最も多かったのは「ややちがう」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

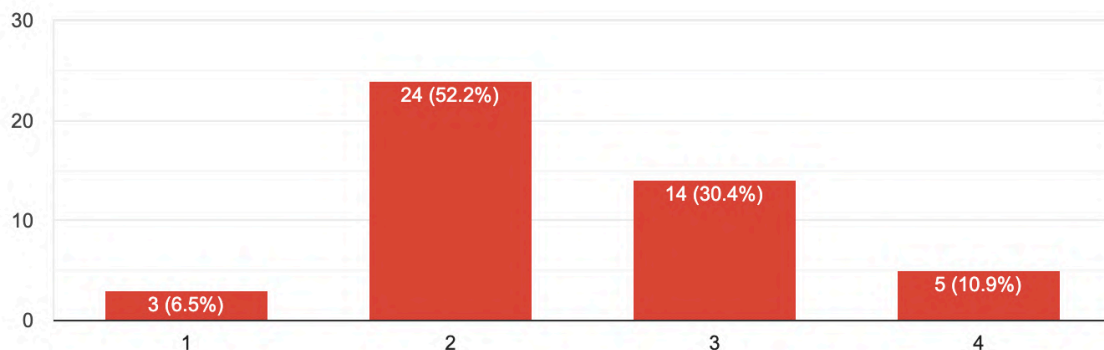
8. 自分のペースで仕事ができる

2020年度は「そうだ」と回答した人は2人（4.5%）、「まあそうだ」と回答した人は19人（43.2%）、「ややちがう」と回答した人は19人（43.2%）、「ちがう」と回答した人は4人（9.1%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は3人（6.5%）、「ま

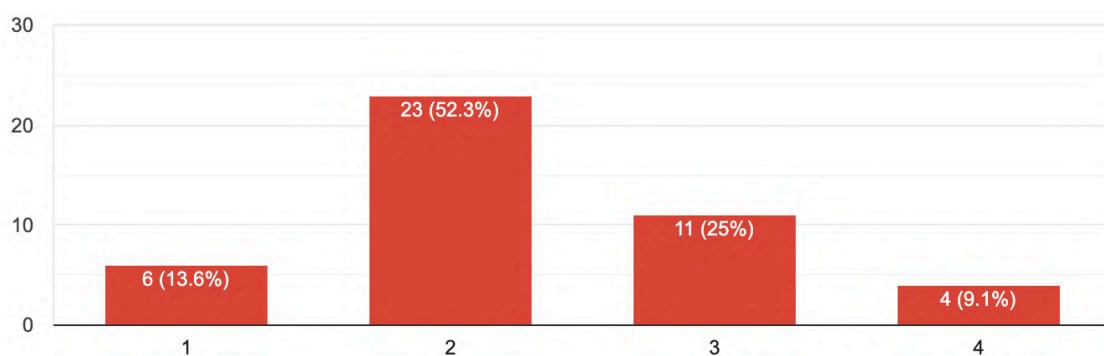
「あそうだ」と回答した人は24人（52.2%）、「ややちがう」と回答した人は14人（30.4%）、「ちがう」と回答した人は5人（10.9%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人が選んだ。



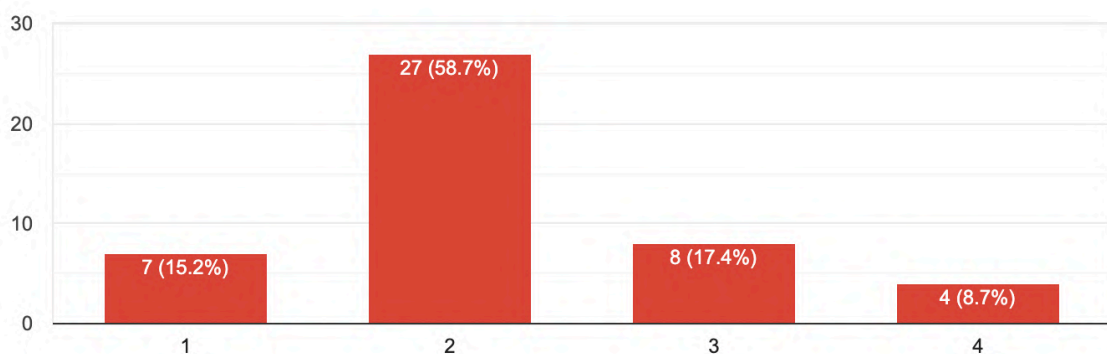
2020年度と2021年度を比較すると、「ややちがう」の回答の増加がみられた。

9. 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる

2020年度は「そうだ」と回答した人は6人（13.6%）、「まあそうだ」と回答した人は23人（52.3%）、「ややちがう」と回答した人は11人（25%）、「ちがう」と回答した人は4人（9.1%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人が選んだ。



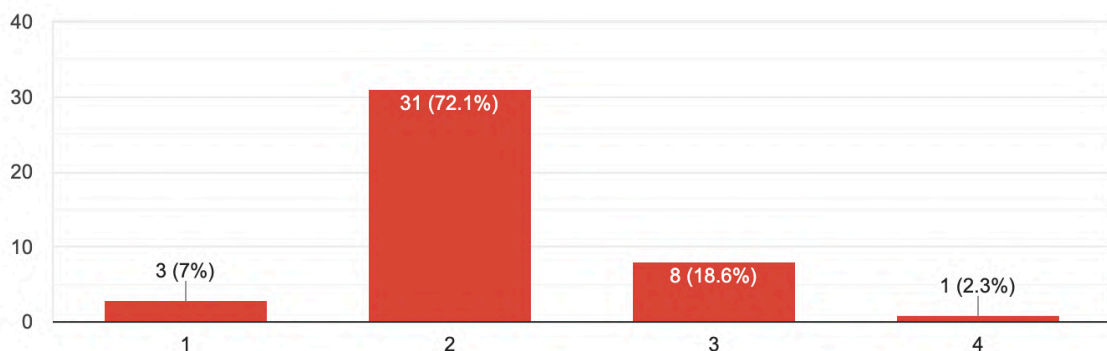
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は7人（15.2%）、「まあそうだ」と回答した人は27人（58.7%）、「ややちがう」と回答した人は8人（17.4%）、「ちがう」と回答した人は4人（8.7%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人が選んだ。



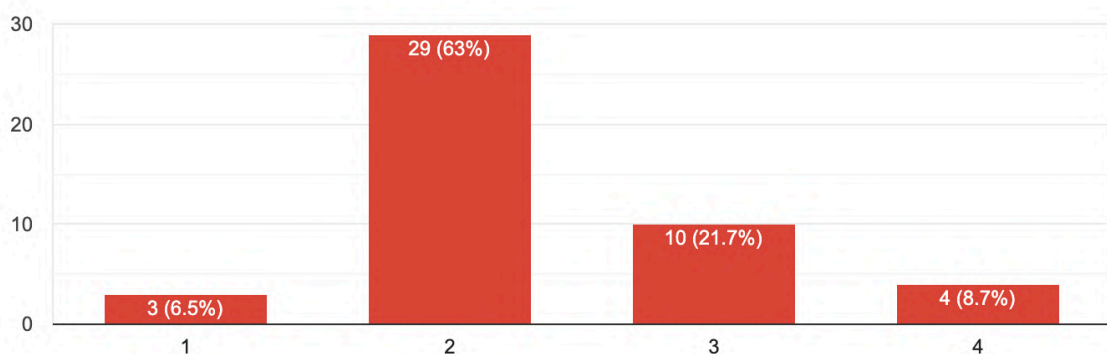
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

10. 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる

2020年度は「そうだ」と回答した人は3人（7%）、「まあそうだ」と回答した人は31人（72.1%）、「ややちがう」と回答した人は8人（18.6%）、「ちがう」と回答した人は1人（2.3%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、80%近くの人を選んだ。



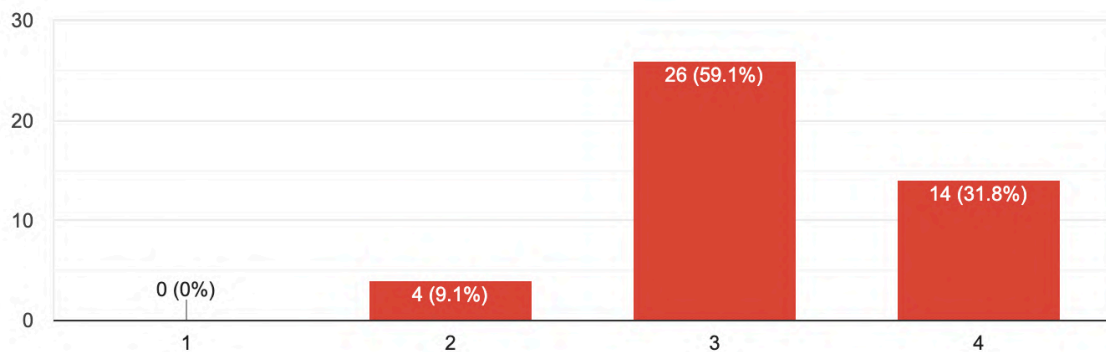
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は3人（6.5%）、「まあそうだ」と回答した人は29人（63%）、「ややちがう」と回答した人は10人（21.7%）、「ちがう」と回答した人は4人（8.7%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、70%近くの人を選んだ。



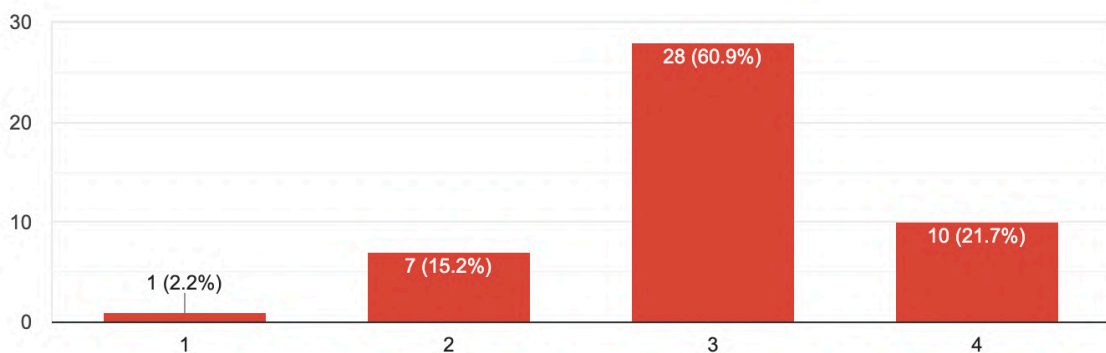
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

11. 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない

2020年度は「そうだ」と回答した人は0人(0%)、「まあそうだ」と回答した人は4人(9.1%)、「ややちがう」と回答した人は26人(59.1%)、「ちがう」と回答した人は14人(31.8%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、50%近くの人を選んだ。



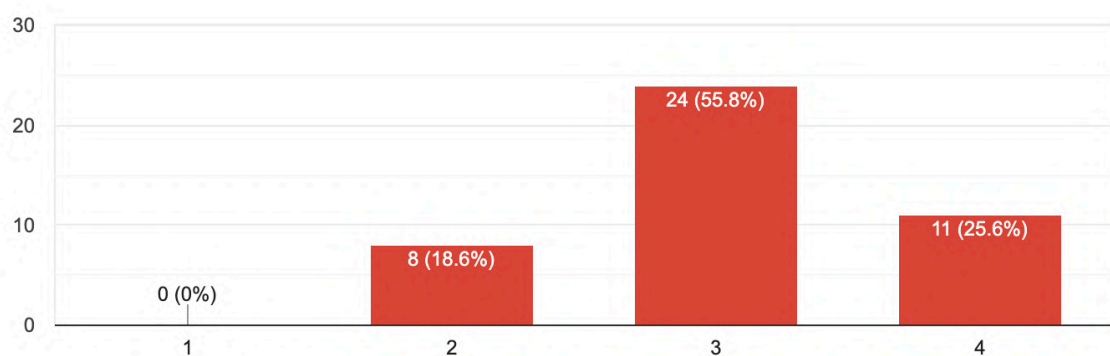
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は1人(2.2%)、「まあそうだ」と回答した人は7人(15.2%)、「ややちがう」と回答した人は28人(60.9%)、「ちがう」と回答した人は10人(21.7%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、60%近くの人を選んだ。



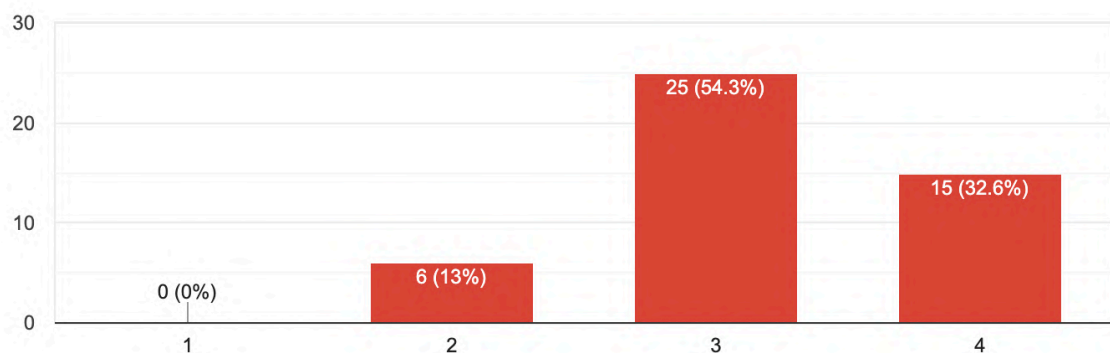
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

12. 私の部署内で意見のくい違いがある

2020年度は「そうだ」と回答した人は0人(0%)、「まあそうだ」と回答した人は8人(18.6%)、「ややちがう」と回答した人は24人(55.8%)、「ちがう」と回答した人は11人(25.6%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、60%近くの人を選んだ。



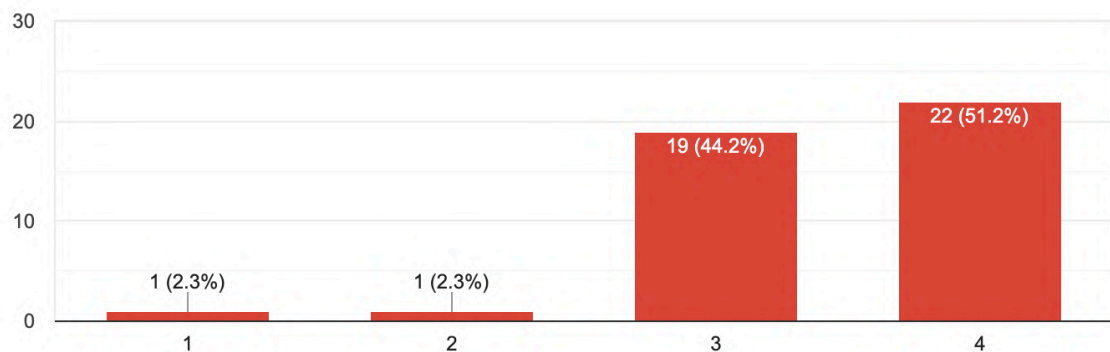
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は0人（0%）、「まあそうだ」と回答した人は6人（13%）、「ややちがう」と回答した人は25人（54.3%）、「ちがう」と回答した人は15人（32.6%）であった。最も多かったのは「ややちがう」で、60%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

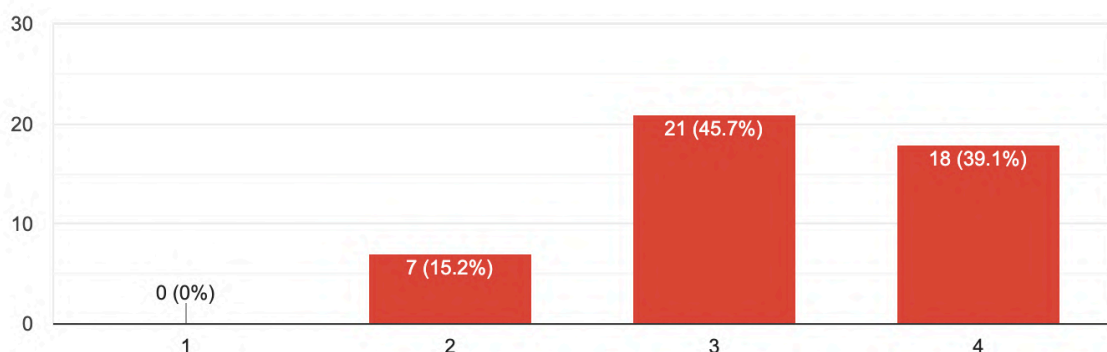
13. 私の部署と他の部署とはうまく合わない

2020年度は「そうだ」と回答した人は1人（2.3%）、「まあそうだ」と回答した人は1人（2.3%）、「ややちがう」と回答した人は19人（44.2%）、「ちがう」と回答した人は22人（51.2%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は0人（0%）、「まあそうだ」と回答した人は7人（15.2%）、「ややちがう」と回答した人は21人（45.2%）、「ちがう」と回答した人は21人（45.2%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、60%近くの人を選んだ。

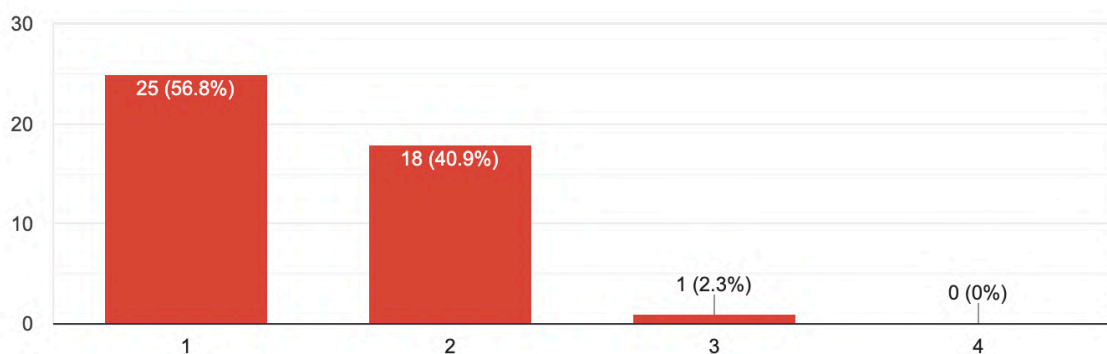
7%)、「ちがう」と回答した人は18人(39.1%)であった。最も多かったのは「ちがう」で、50%近くの人を選んだ。



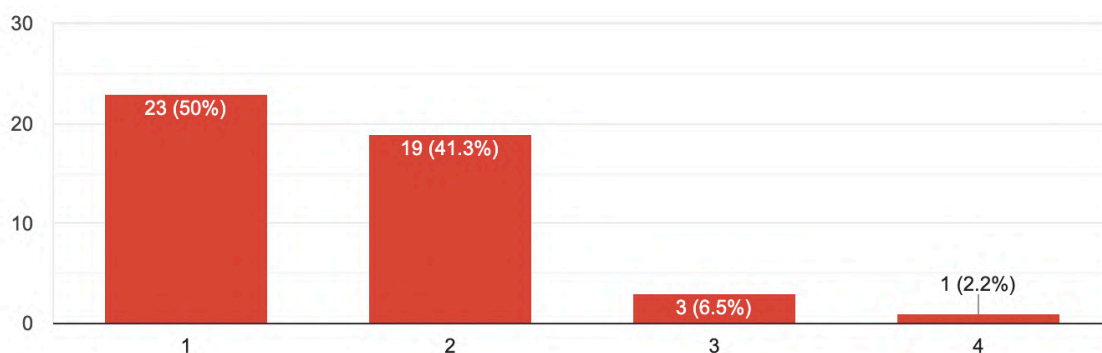
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の割合が減少傾向にあった。

14. 私の職場の雰囲気は友好的である

2020年度は「そうだ」と回答した人は25人(56.8%)、「まあそうだ」と回答した人は18人(40.9%)、「ややちがう」と回答した人は1人(2.3%)、「ちがう」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「そうだ」で、60%近くの人を選んだ。



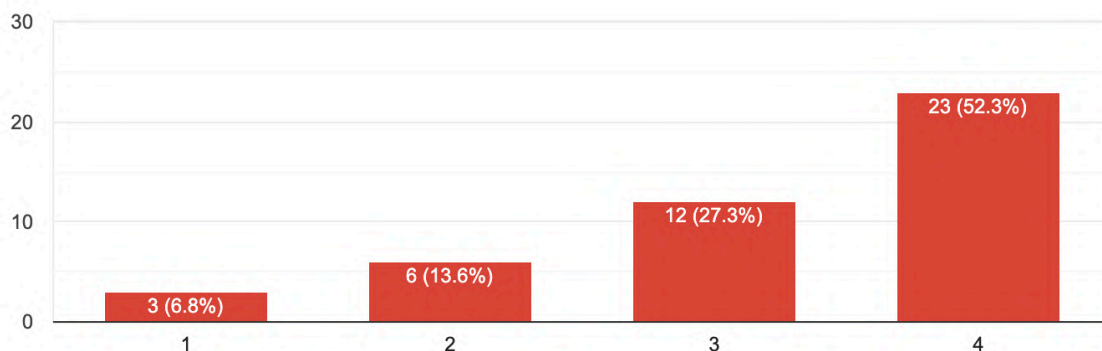
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は23人(50%)、「まあそうだ」と回答した人は19人(41.3%)、「ややちがう」と回答した人は3人(6.5%)、「ちがう」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「そうだ」で、50%近くの人を選んだ。



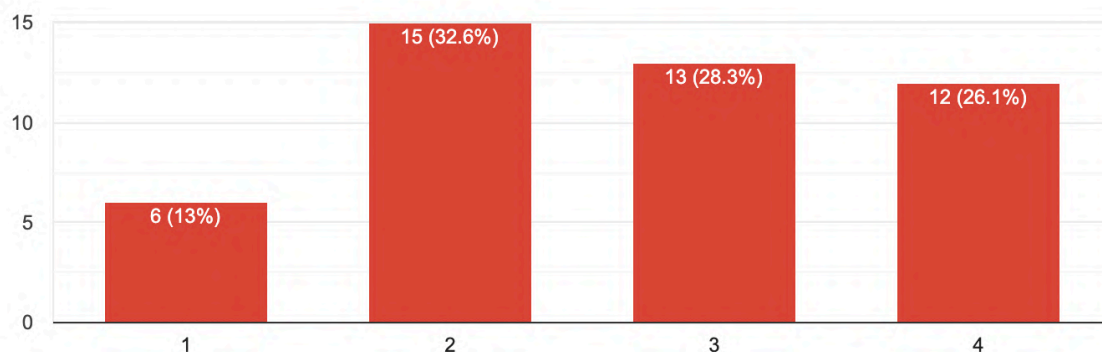
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

15. 私の職場の作業環境（騒音、照明、温度、換気など）はよくない

2020年度は「そうだ」と回答した人は3人（6.8%）、「まあそうだ」と回答した人は6人（13.6%）、「ややちがう」と回答した人は12人（27.3%）、「ちがう」と回答した人は23人（52.3%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、60%近くの人を選んだ。



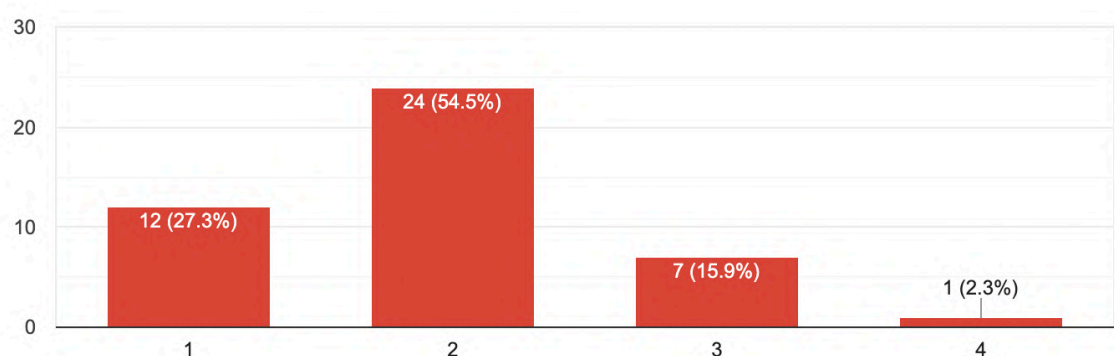
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は6人（13%）、「まあそうだ」と回答した人は15人（32.6%）、「ややちがう」と回答した人は13人（28.3%）、「ちがう」と回答した人は12人（26.1%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



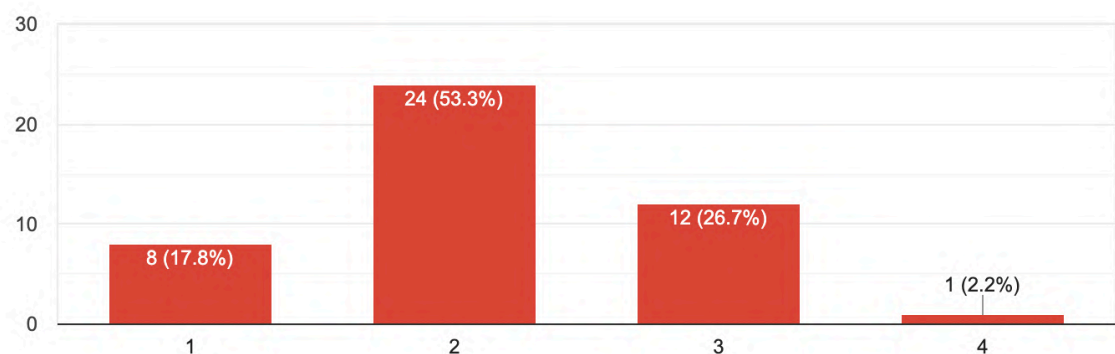
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の割合が増加傾向にあった。

16. 仕事の内容は自分にあっている

2020年度は「そうだ」と回答した人は12人(27.3%)、「まあそうだ」と回答した人は24人(54.5%)、「ややちがう」と回答した人は7人(15.9%)、「ちがう」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



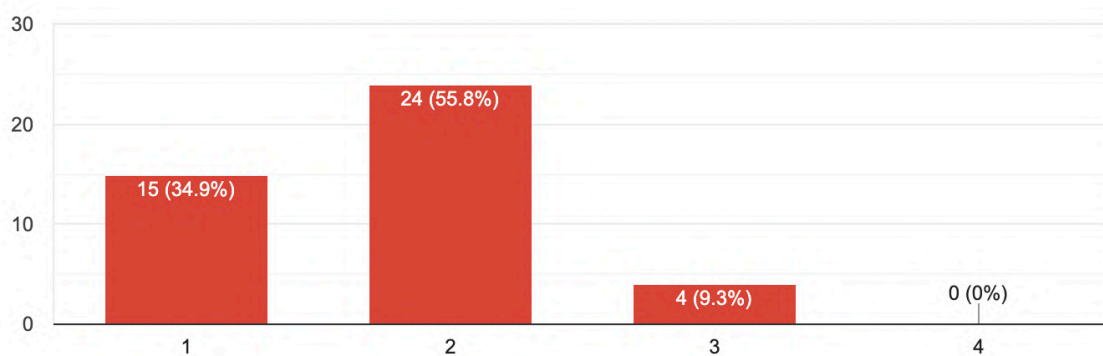
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は8人(17.8%)、「まあそうだ」と回答した人は24人(53.3%)、「ややちがう」と回答した人は12人(26.7%)、「ちがう」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



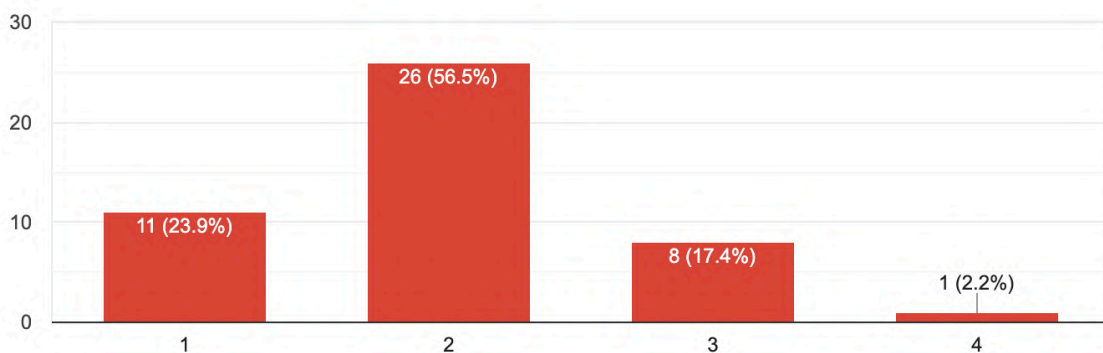
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

17. 働きがいのある仕事だ

2020年度は「そうだ」と回答した人は15人(34.9%)、「まあそうだ」と回答した人は24人(55.8%)、「ややちがう」と回答した人は4人(9.3%)、「ちがう」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は11人（23.9%）、「まあそうだ」と回答した人は26人（56.5%）、「ややちがう」と回答した人は8人（17.4%）、「ちがう」と回答した人は1人（2.2%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



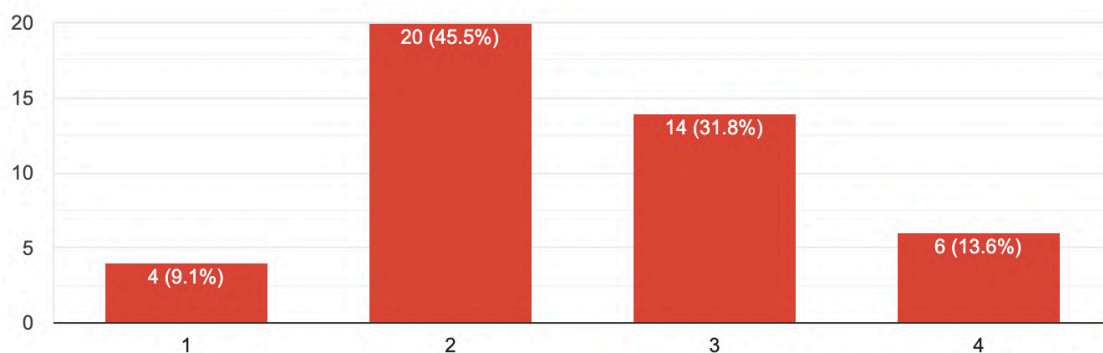
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

B 最近一か月間の状態について、29の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

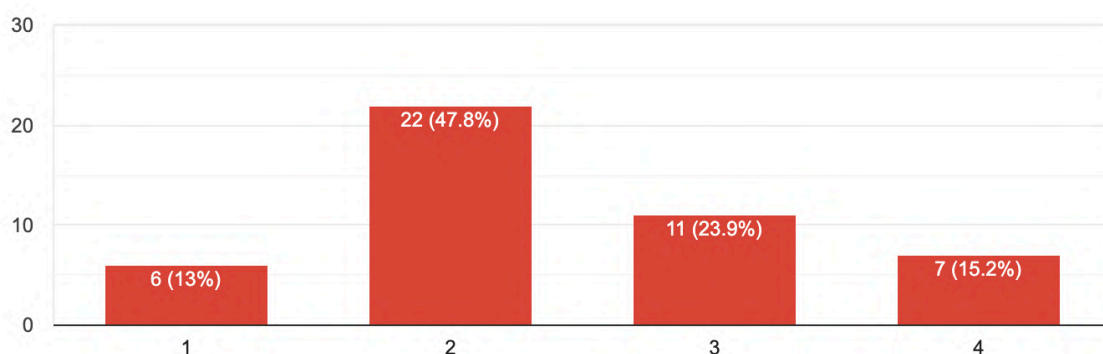
1. ほとんどなかった 2. ときどきあった 3. しばしばあった 4. ほとんどいつもあった

1. 活気がわいてくる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は4人（9.1%）、「ときどきあった」と回答した人は20人（45.5%）、「しばしばあった」と回答した人は14人（31.8%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人（13.6%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



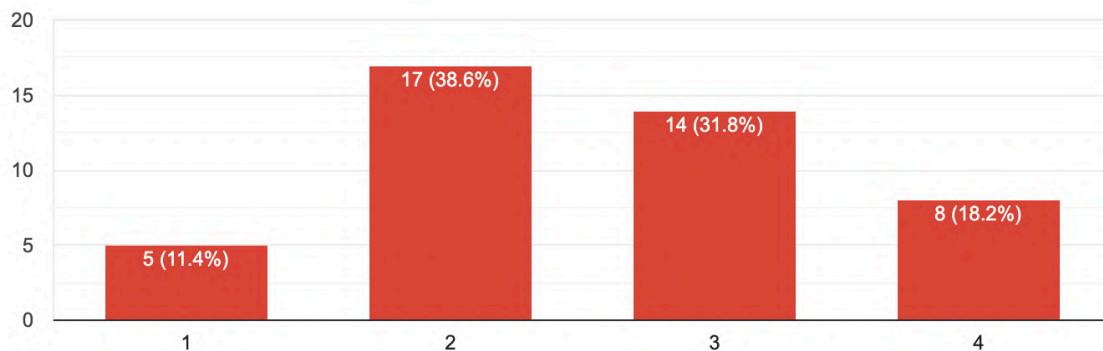
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は6人（13%）、
「ときどきあった」と回答した人は22人（47.8%）、
「しばしばあった」と回答した人は11人（23.9%）、
「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人（15.2%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

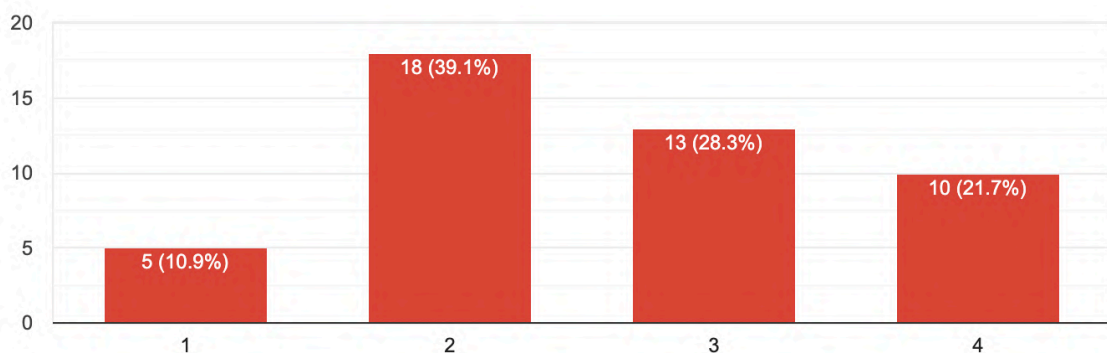
2. 元気いっぱいだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は5人（11.4%）、
「ときどきあった」と回答した人は17人（38.6%）、
「しばしばあった」と回答した人は14人（31.8%）、
「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人（18.2%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は5人（10.9%）、
「ときどきあった」と回答した人は18人（39.1%）、
「しばしばあった」と

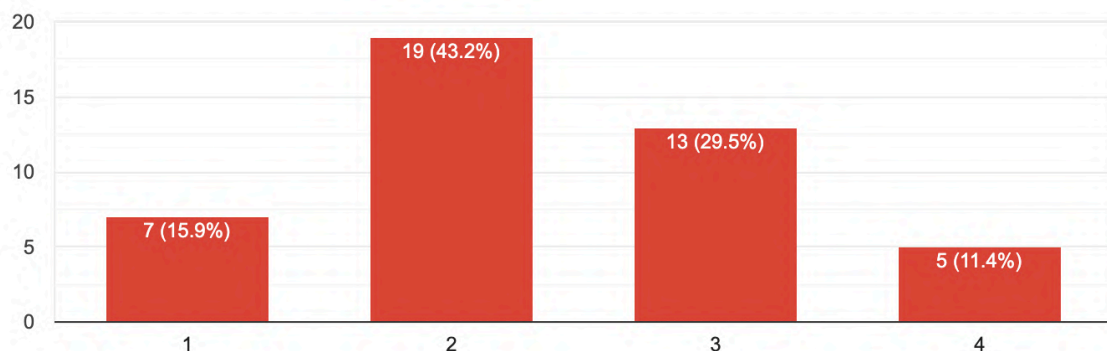
回答した人は13人(28.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(21.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



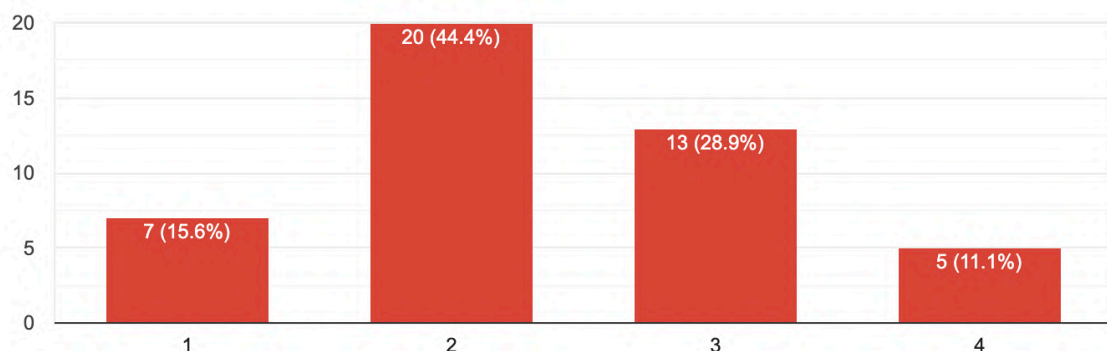
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

3. 生き生きする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は7人(15.9%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(43.2%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(29.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(11.4%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



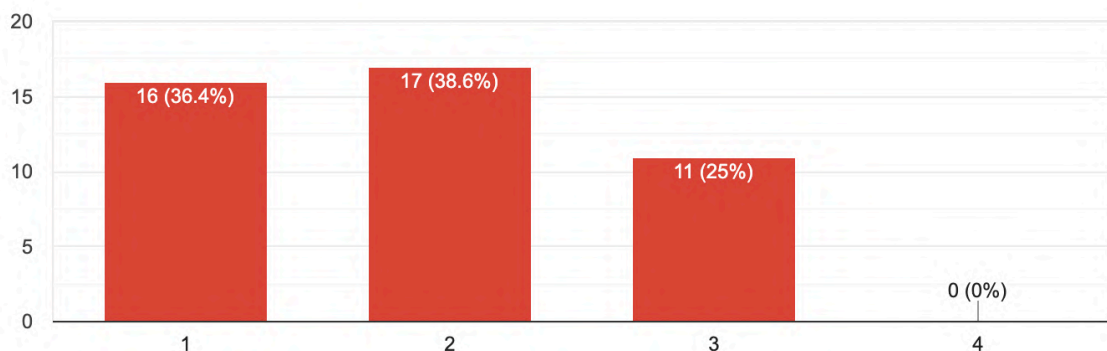
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は7人(15.6%)、「ときどきあった」と回答した人は20人(44.4%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(28.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(11.1%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



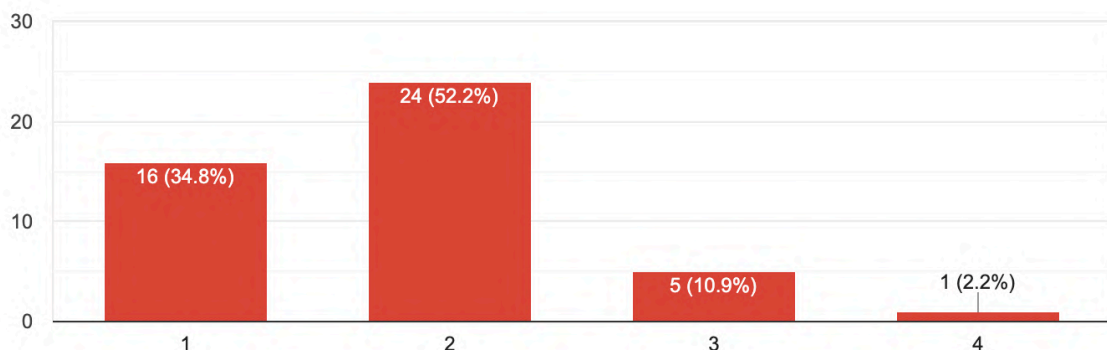
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

4. 怒りを感じる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は16人(36.4%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(38.6%)、「しばしばあった」と回答した人は11人(25%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



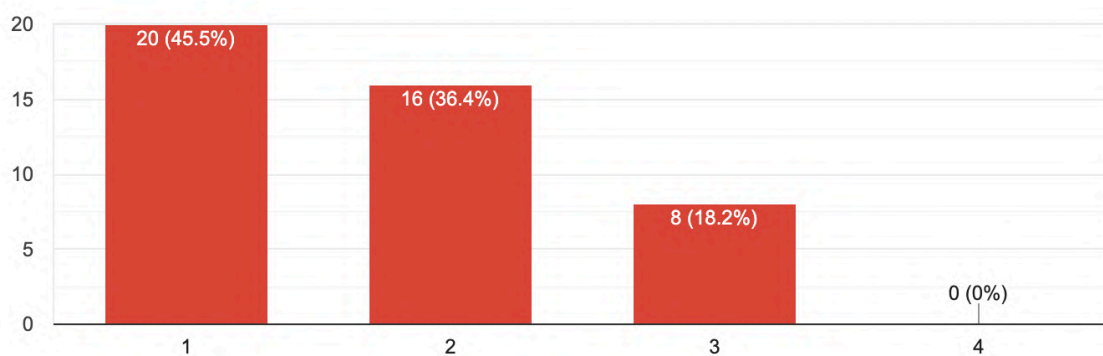
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は16人(34.8%)、「ときどきあった」と回答した人は24人(52.2%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(10.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、60%近くの人が選んだ。



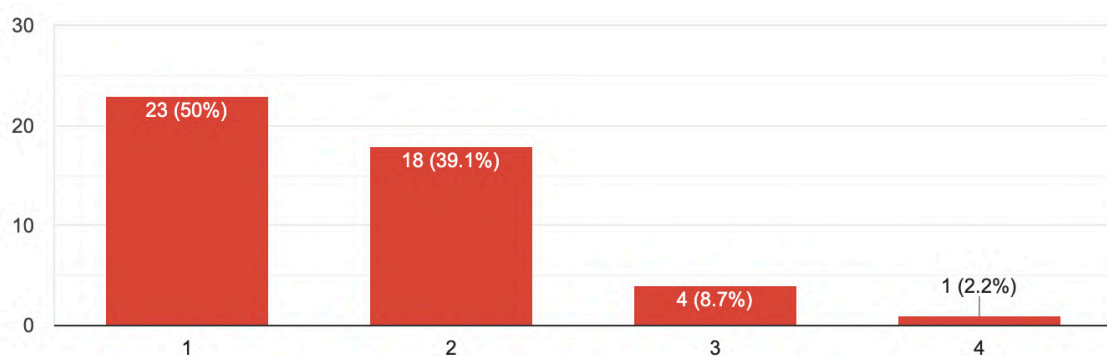
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

5. 内心腹立だしい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は20人(45.4%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(36.4%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(18.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



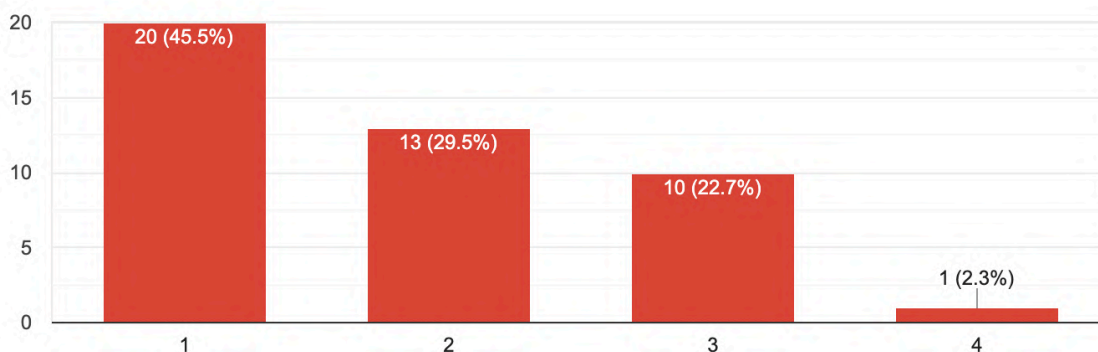
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は23人(50%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(39.1%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(8.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

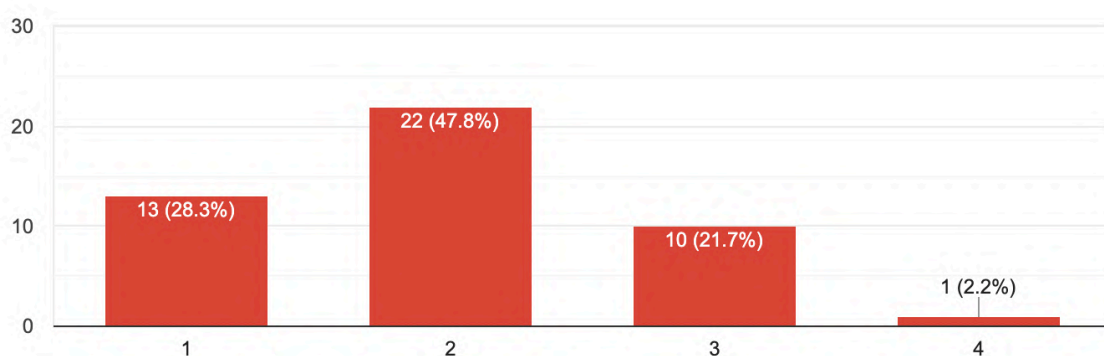
6. イライラしている

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は20人(45.5%)、「ときどきあった」と回答した人は13人(29.5%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(22.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は13人(28.3%)、「ときどきあった」と回答した人は22人(47.8%)、「しばしばあった」と

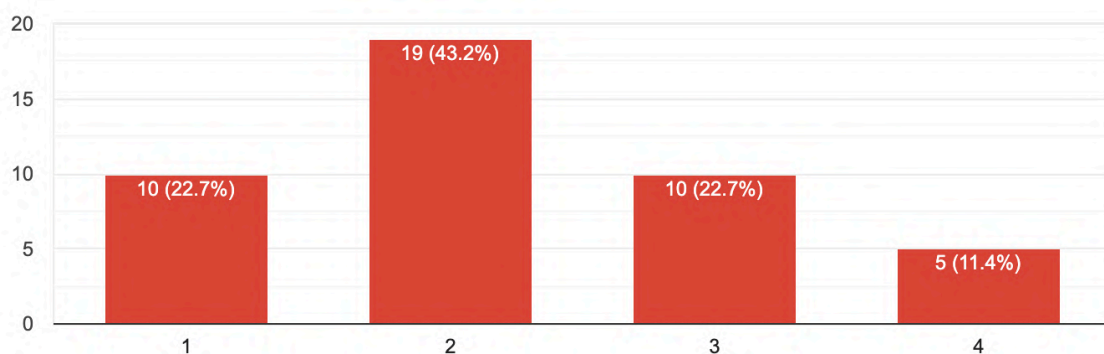
回答した人は10人(21.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



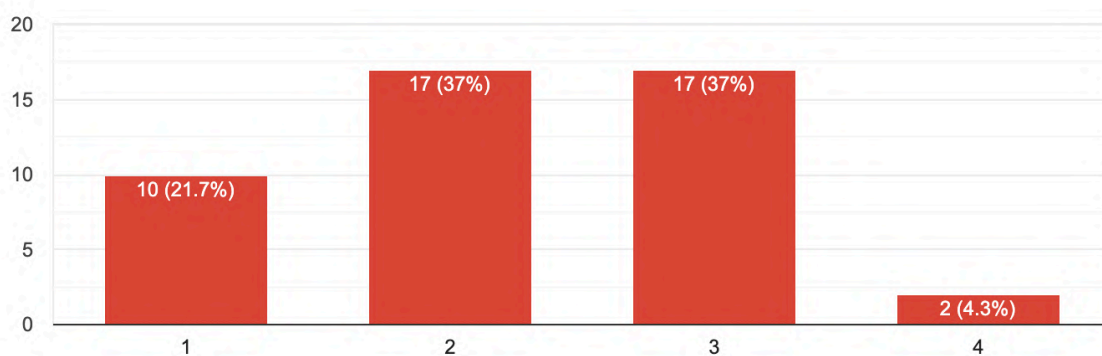
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

7. ひどく疲れた

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は10人(22.7%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(43.2%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(22.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(11.4%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



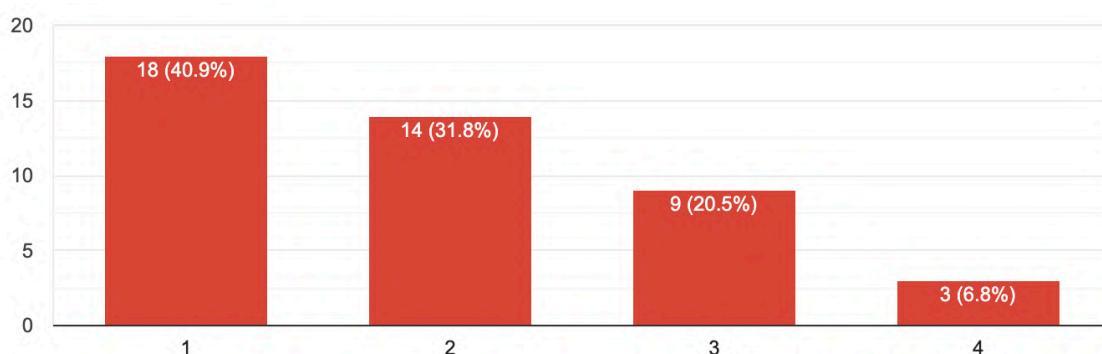
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は10人(21.7%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(37%)、「しばしばあった」と回答した人は17人(37%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



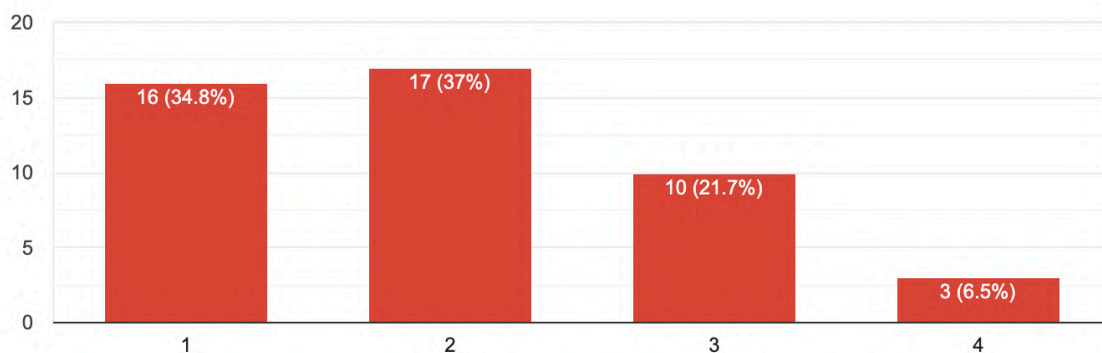
2020年度と2021年度を比較すると、「回答傾向に大きな変化はない。」

8. へとへとだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は18人(40.9%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(31.8%)、「しばしばあった」と回答した人は9人(20.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は16人(34.8%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(37%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(21.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。

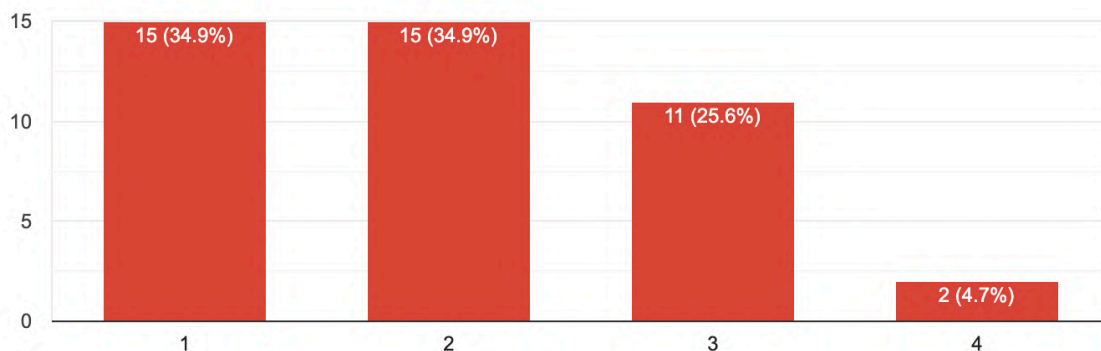


2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一

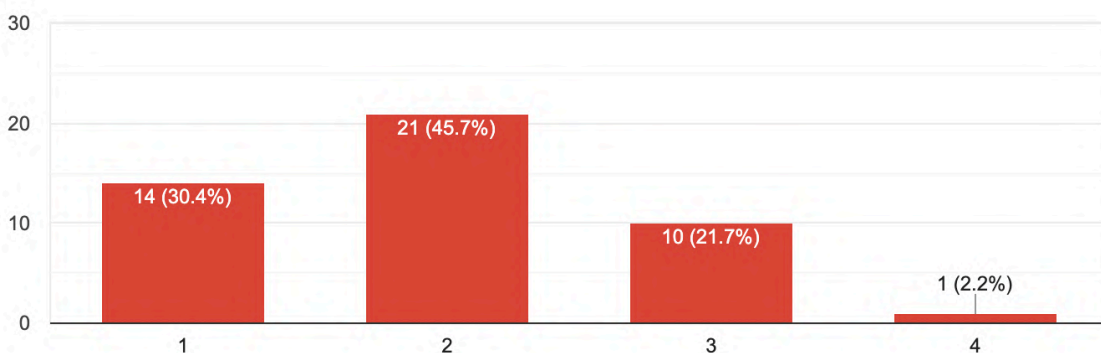
方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

9. だるい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は15人(34.9%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(34.9%)、「しばしばあった」と回答した人は11人(25.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



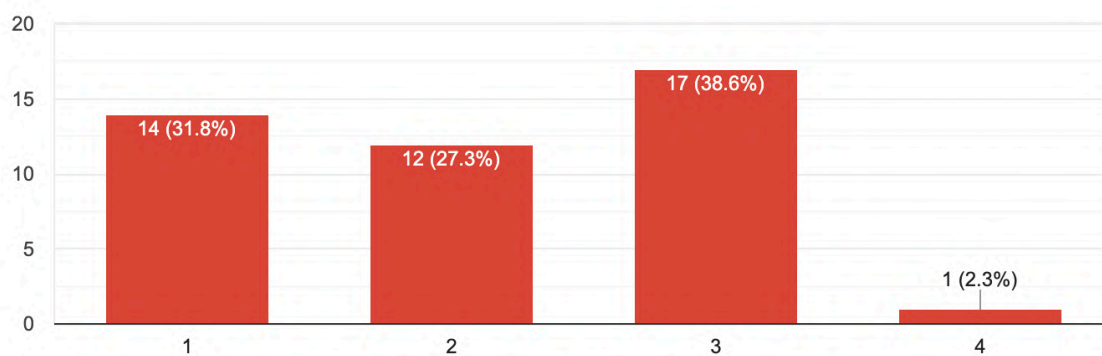
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は14人(30.4%)、「ときどきあった」と回答した人は21人(45.7%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(21.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



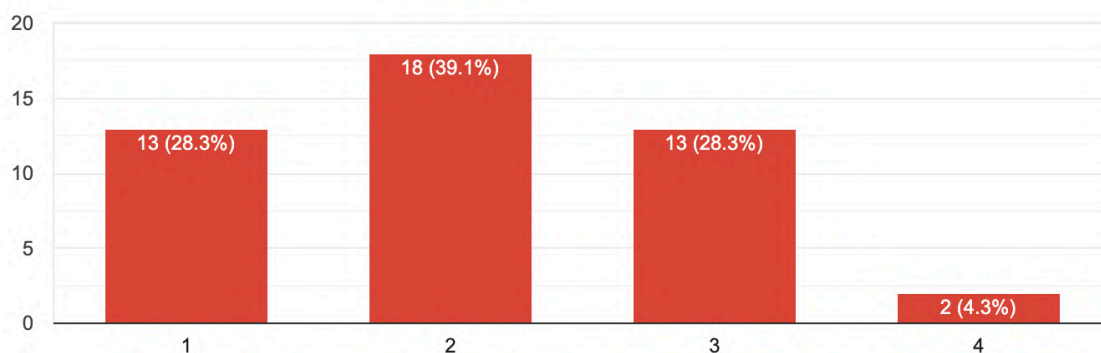
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ほとんどなかった」の回答の減少が見られる傾向にあった。

10. 気がはりつめている

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は14人(31.8%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(27.3%)、「しばしばあった」と回答した人は17人(38.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。



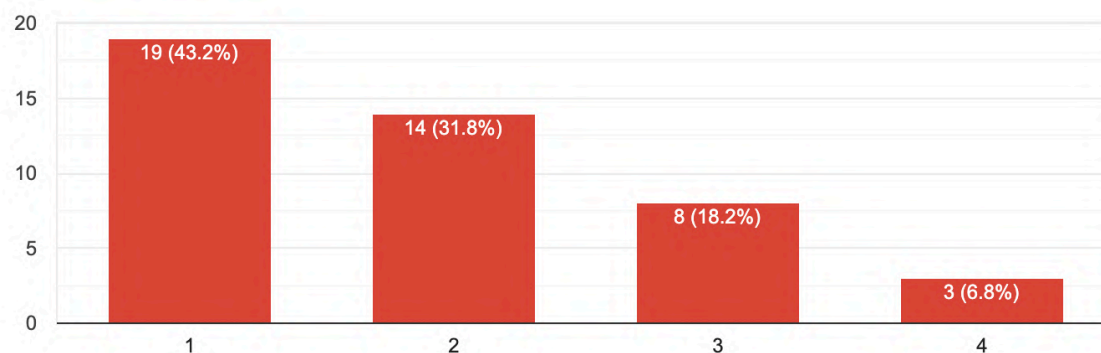
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は13人(28.3%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(39.1%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(28.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の回答の増加が見られる傾向にあった。

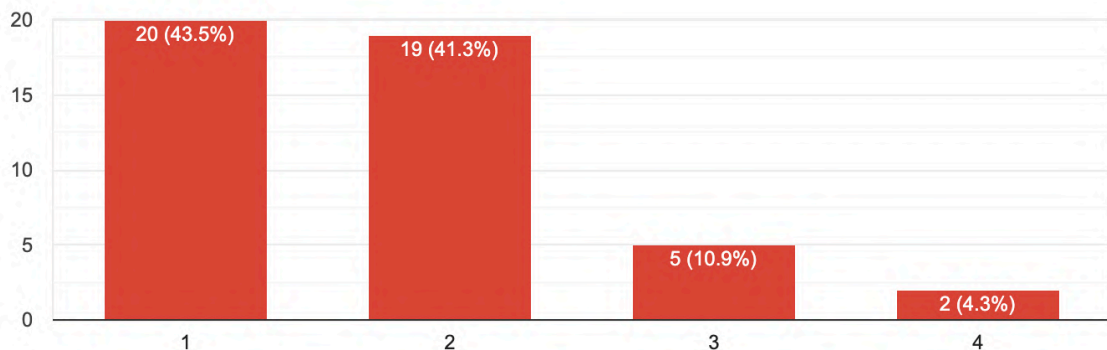
11. 不安だ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は19人(43.2%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(31.8%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(18.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は20人(43.2%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(39.1%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(28.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人が選んだ。

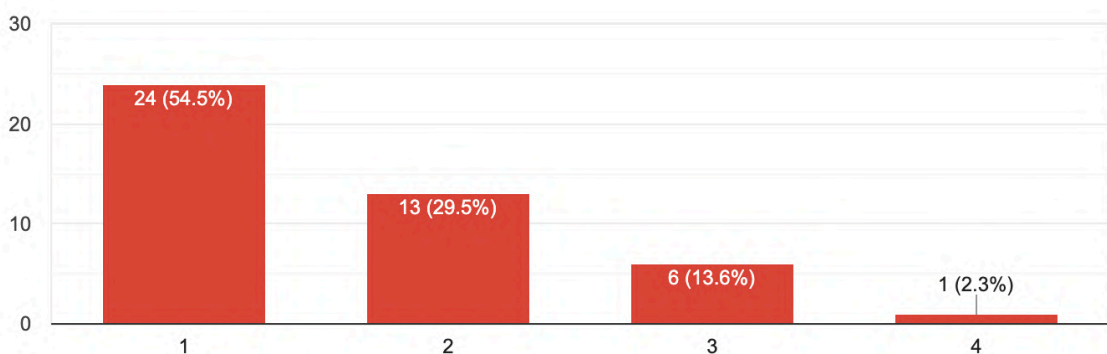
5%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(41.3%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(10.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどあった」で、50%近くの人を選んだ。



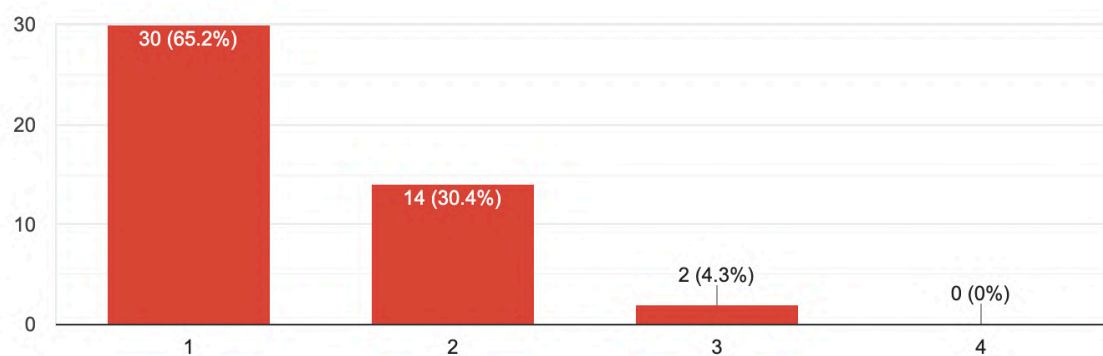
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

12. 落ち着きがない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は24人(54.5%)、「ときどきあった」と回答した人は13人(29.5%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(13.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、30%近くの人を選んだ。



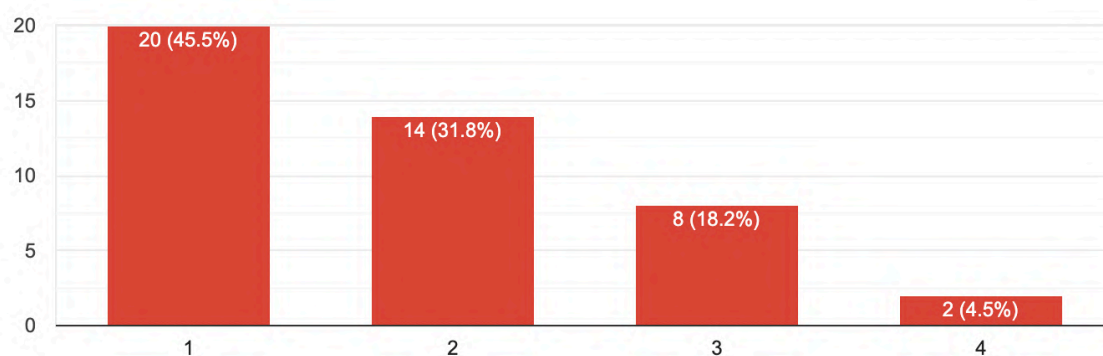
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は30人(65.2%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(30.4%)、「しばしばあった」と回答した人は2人(4.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



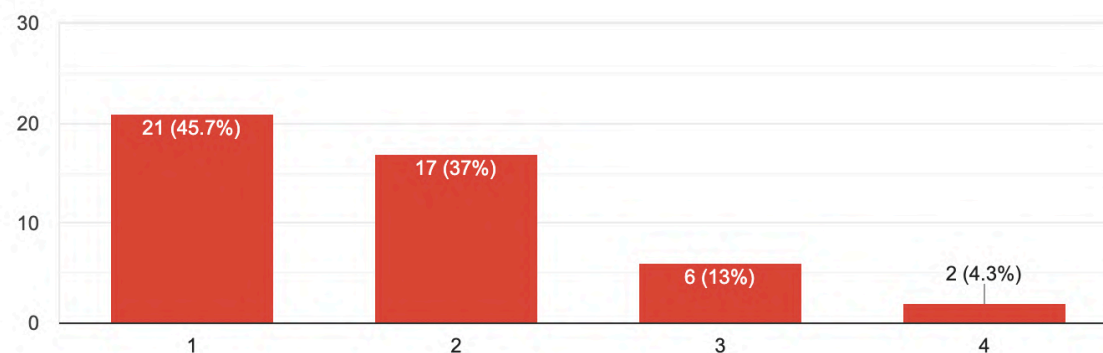
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の増加が見られる傾向にあった。

13、ゆううつだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は20人(45.5%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(31.8%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(18.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は21人(45.7%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(37%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(13%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。

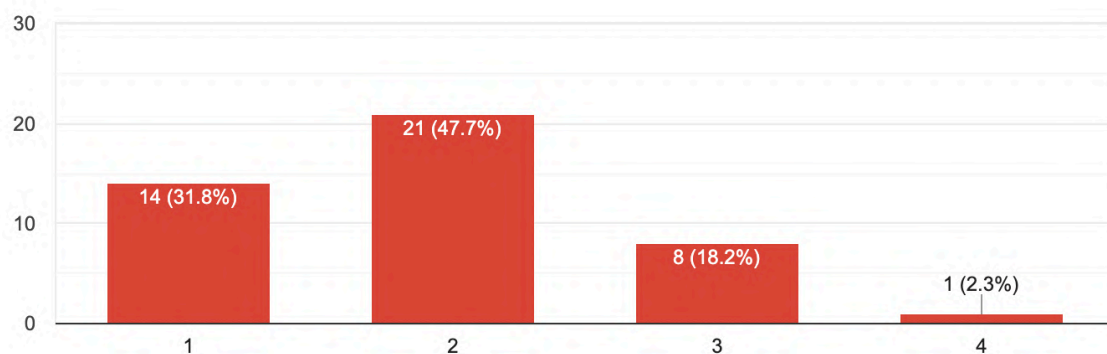


2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の回答の増加がみら

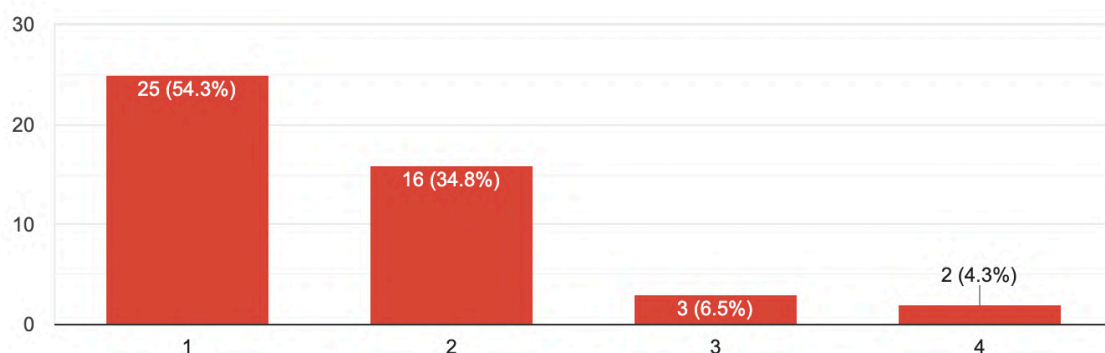
れる。

14. 何をするにも面倒だ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は14人(31.8%)、「ときどきあった」と回答した人は21人(47.7%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(18.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



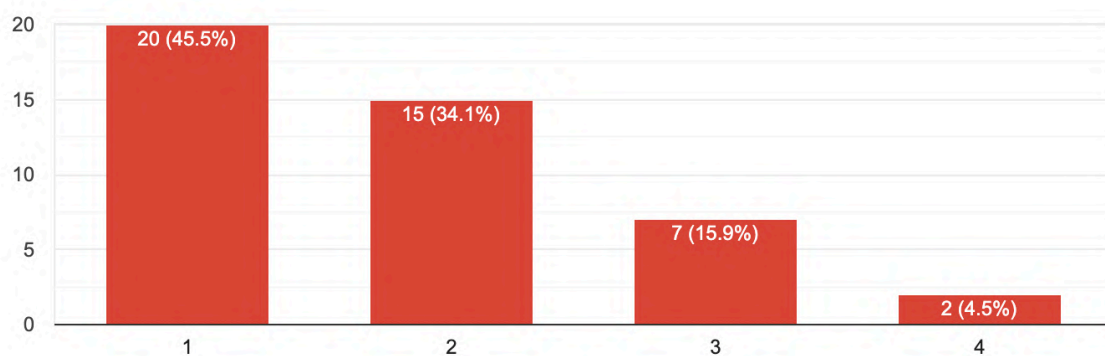
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は25人(54.3%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(34.8%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(6.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



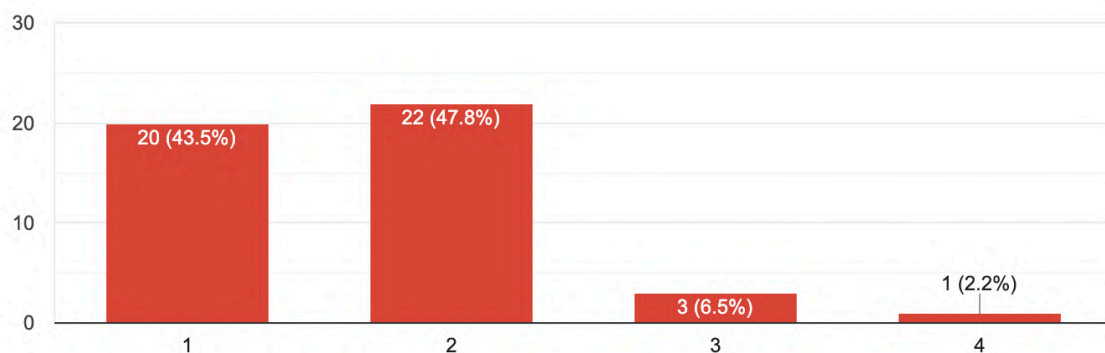
2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の回答の減少がみられる。

15. 物事に集中できない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は20人(45.5%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(34.1%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(15.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



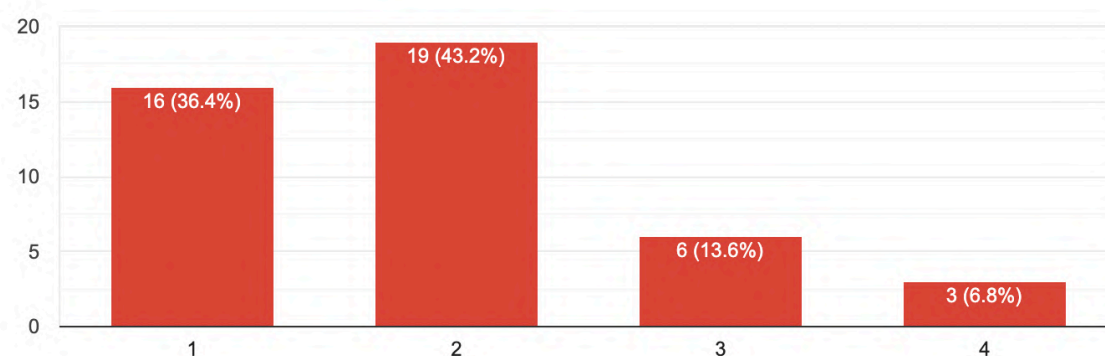
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は20人（43.5%）、「ときどきあった」と回答した人は15人（34.1%）、「しばしばあった」と回答した人は7人（15.9%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人（4.5%）であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の回答の増加がみられる。

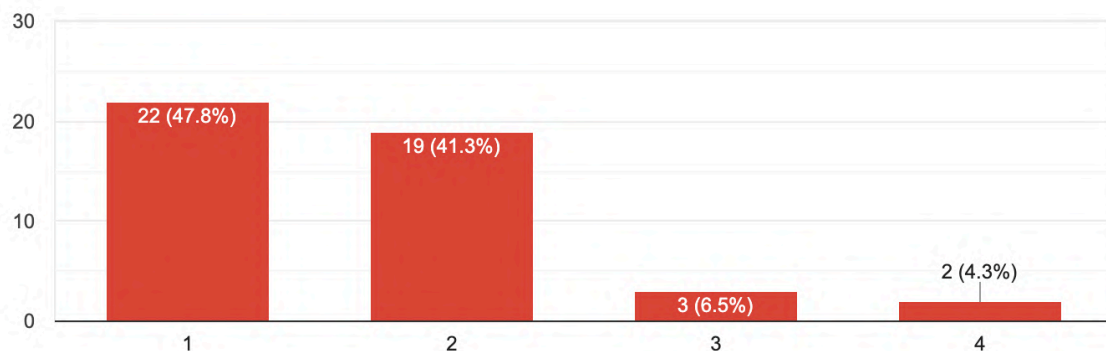
16. 気分が晴れない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は16（36.4%）、「ときどきあった」と回答した人は19人（43.2%）、「しばしばあった」と回答した人は6人（13.6%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人（6.8%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は16人（36.4%）、

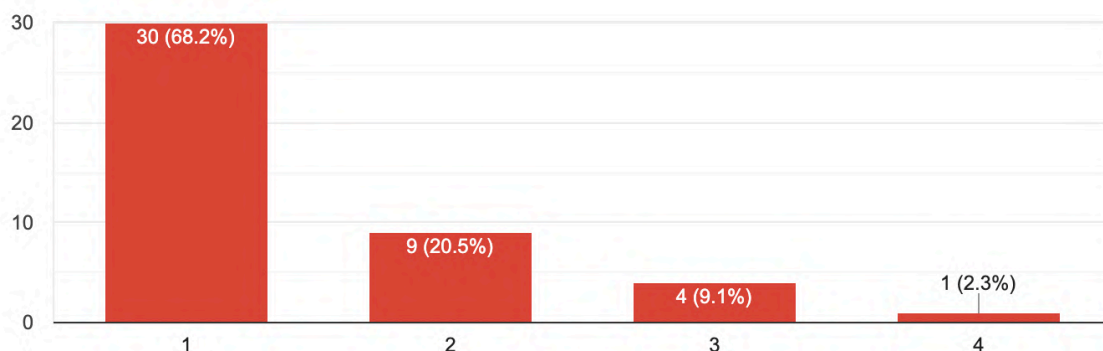
8%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(41.3%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(6.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



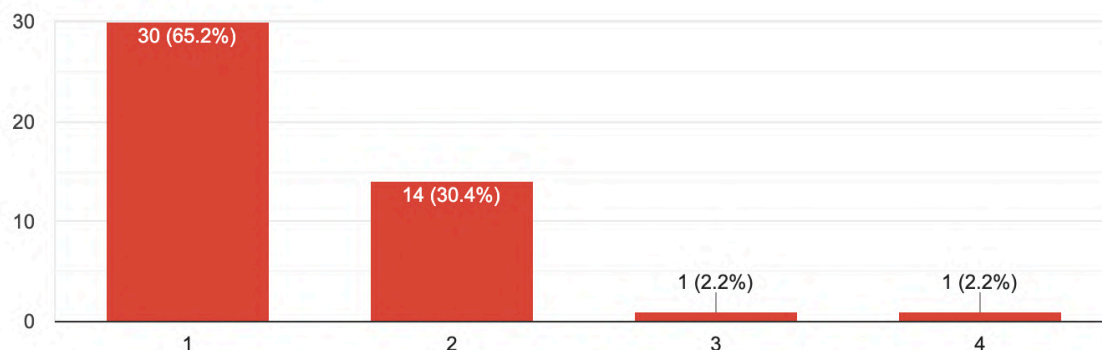
2020年度と2021年度を比較すると、の回答の変化はみられない。

17. 仕事が手につかない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は30人(68.2%)、「ときどきあった」と回答した人は9人(20.5%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(9.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



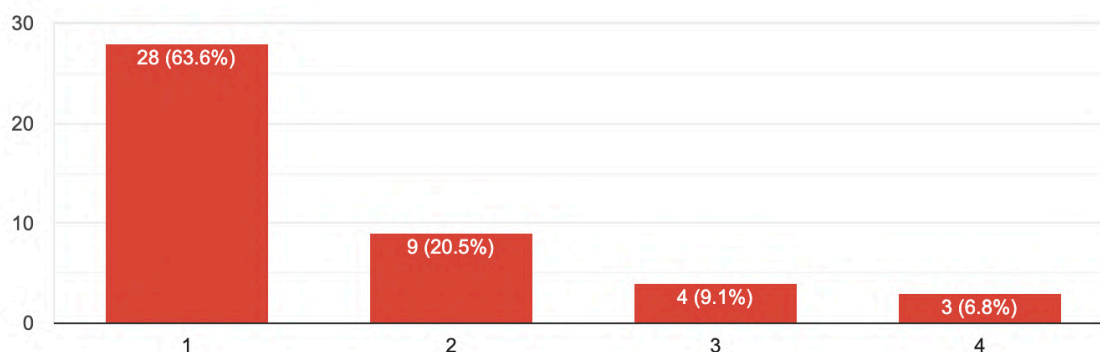
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は30人(65.2%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(30.4%)、「しばしばあった」と回答した人は1人(2.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



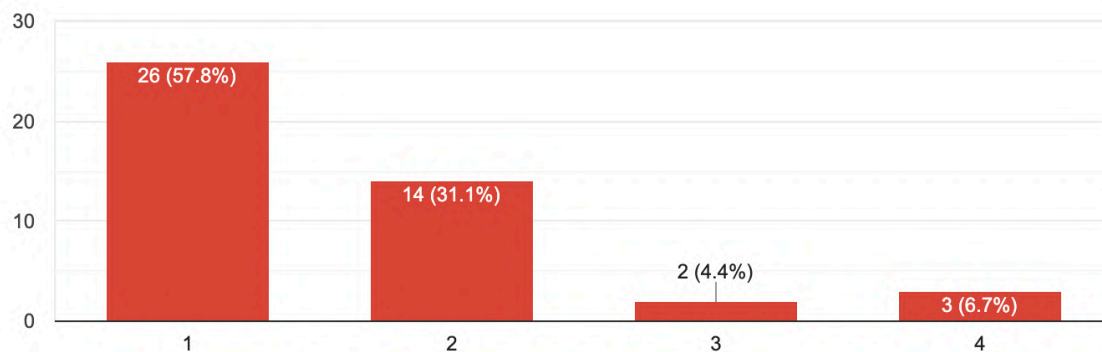
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化はがみられない。

18. 悲しいと感じる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は28人(63.6%)、「ときどきあった」と回答した人は9人(20.5%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(9.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



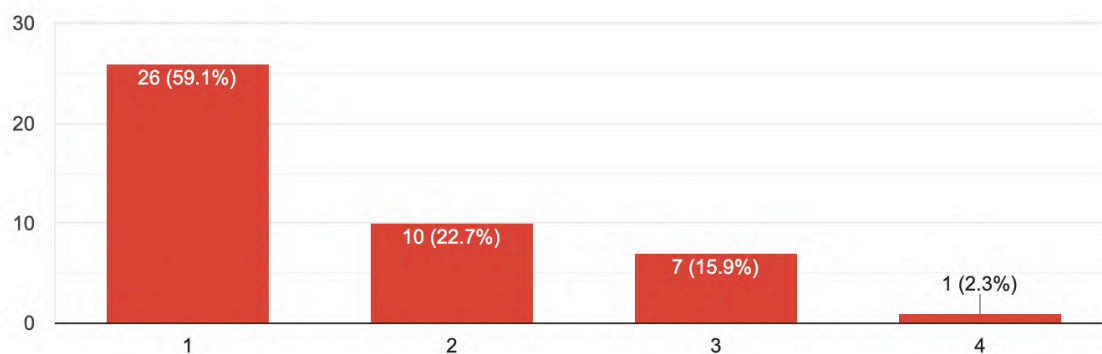
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は26人(57.8%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(31.1%)、「しばしばあった」と回答した人は2人(4.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



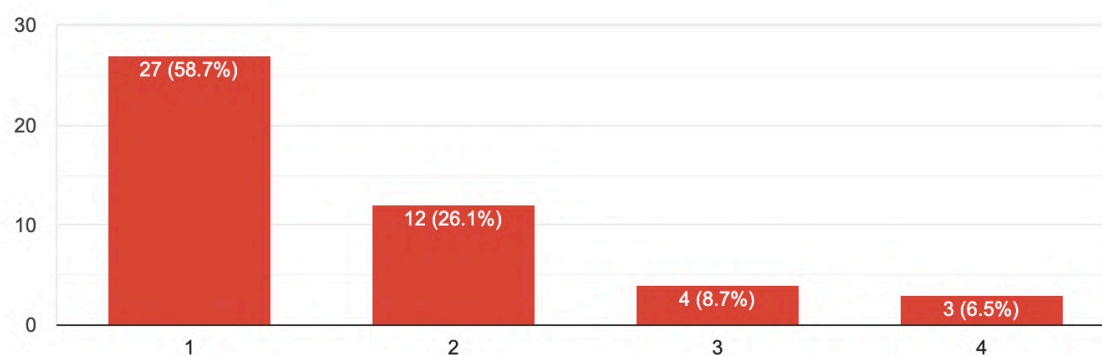
2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の回答の減少がみられる。

19. めまいがする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は26人(59.1%)、「ときどきあった」と回答した人は10人(22.7%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(15.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



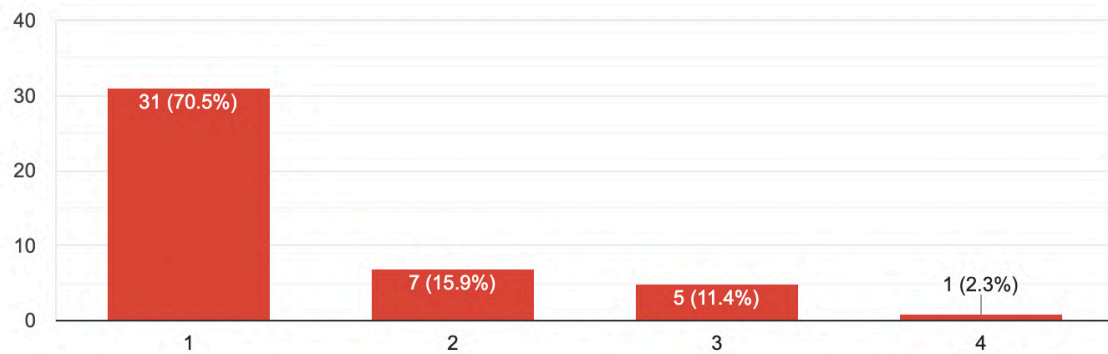
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は27人(58.7%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(26.1%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(8.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



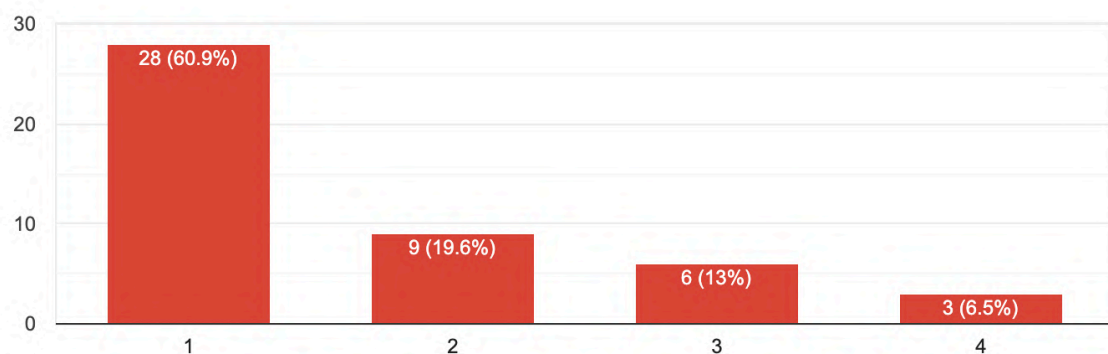
2020年度と2021年度を比較すると、の回答の変化は見られない。

20. 体のふしぶしが痛む

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は31人(70.5%)、「ときどきあった」と回答した人は7人(15.9%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(11.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



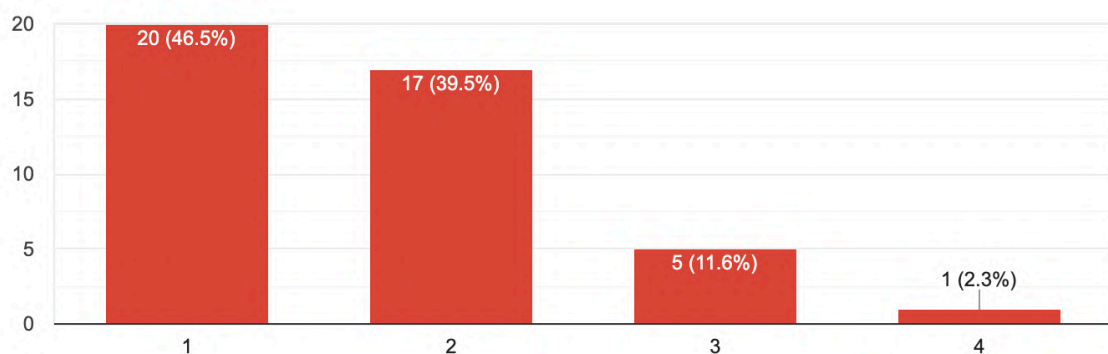
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は28人(60.9%)、「ときどきあった」と回答した人は9人(19.6%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(13%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化はみられない。

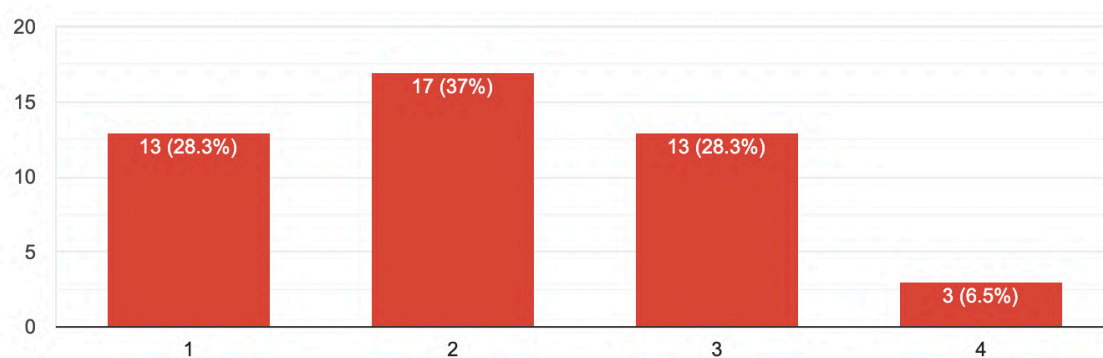
21. 頭が重かったり頭痛がする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は20人(46.5%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(39.5%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(11.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は13人(28.3%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(37%)、「しばしばあった」と回答

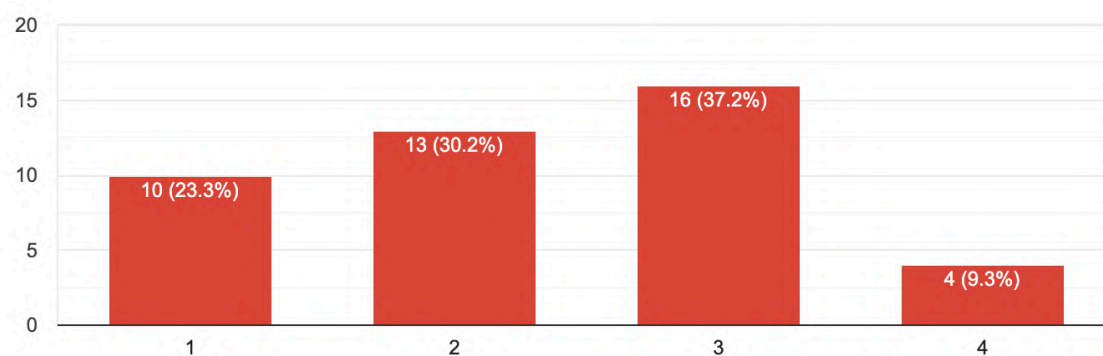
した人は13人(28.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



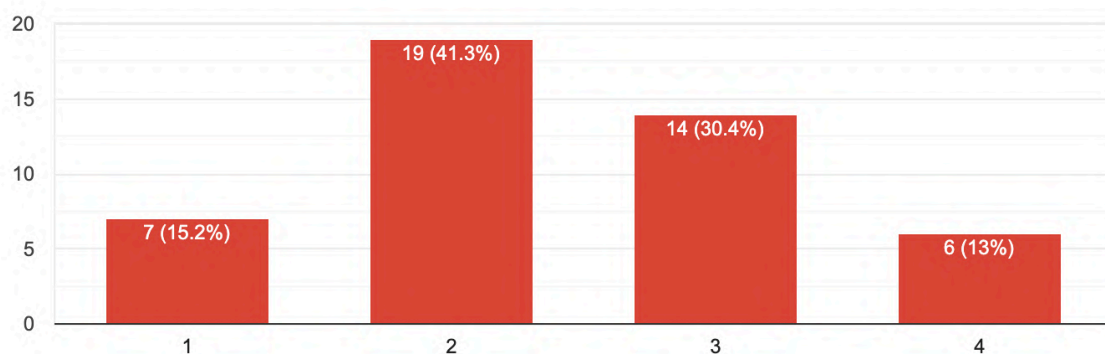
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどいつもあった」の回答の増加がみられる。

2.2. 首筋や肩がこる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は10人(23.3%)、「ときどきあった」と回答した人は13人(30.2%)、「しばしばあった」と回答した人は16人(37.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(9.3%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。



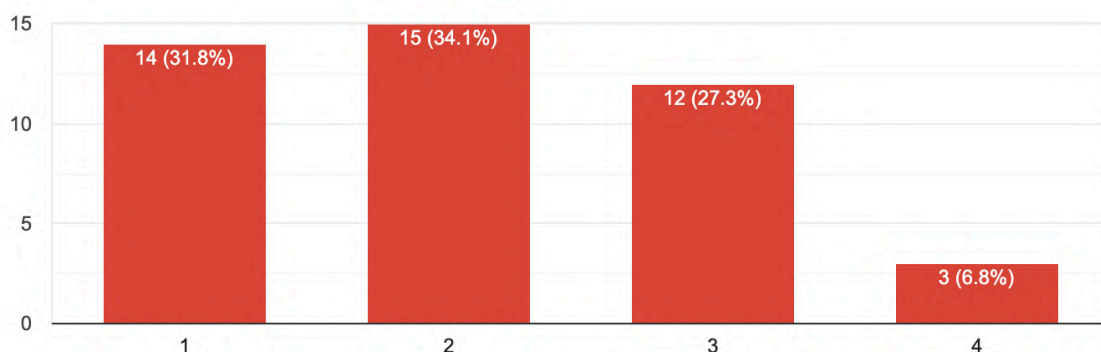
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は7人(15.2%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(41.3%)、「しばしばあった」と回答した人は14人(30.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(13%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



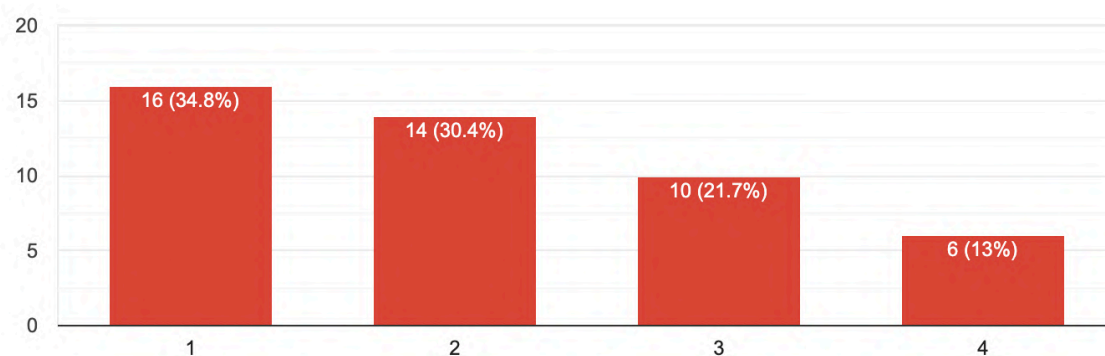
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化はみられない。

2.3. 腰が痛い

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は14人(31.8%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(34.1%)、「しばしばあった」と回答した人は12人(27.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.8%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



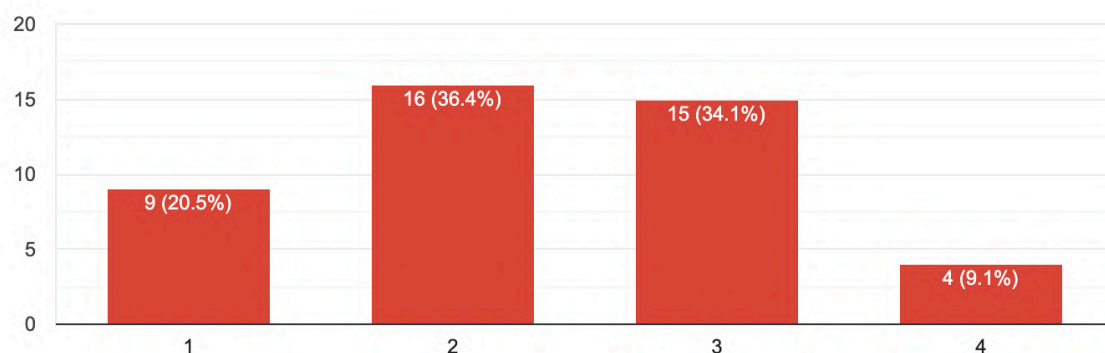
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は16人(34.8%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(30.4%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(21.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(13%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



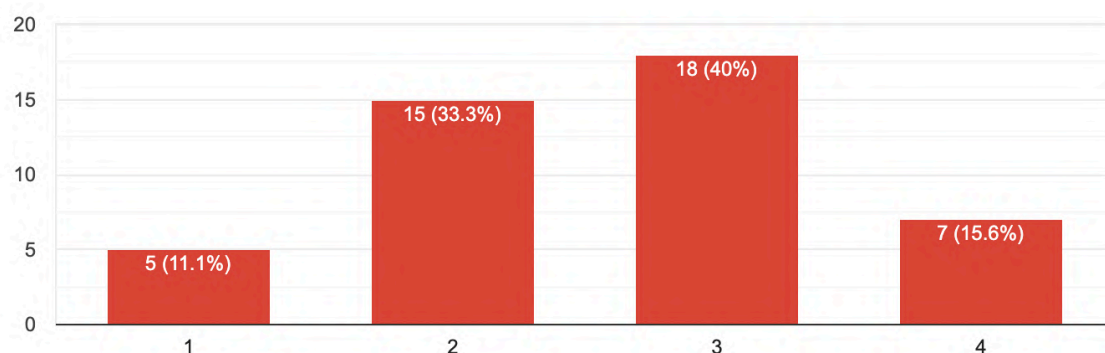
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「しばしばあった」の回答の減少が見られる。

24. 目が疲れる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は9人(20.5%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(36.4%)、「しばしばあった」と回答した人は15人(34.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(9.1%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



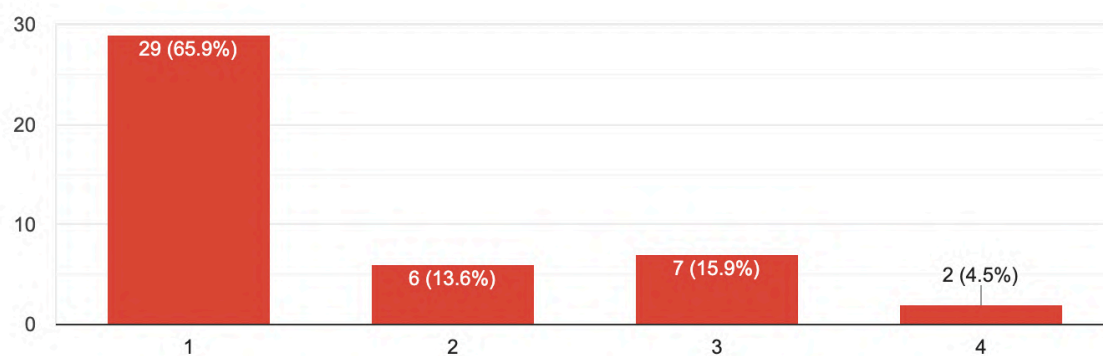
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は5人(11.1%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(33.3%)、「しばしばあった」と回答した人は18人(40%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人(15.6%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、50%近くの人を選んだ。



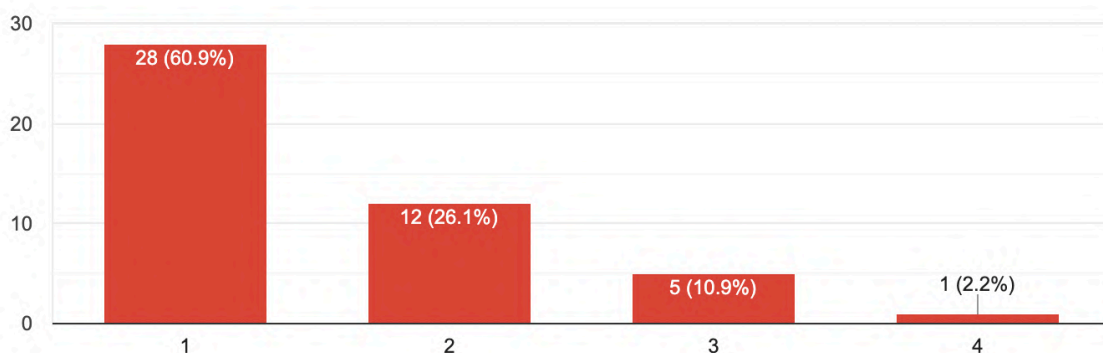
2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の減少が見られる一方、「しばしばあった」の増加がみられる傾向にあった。

25. 動機や息切れがする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は29人(65.9%)、「ときどきあった」と回答した人は6人(13.6%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(15.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



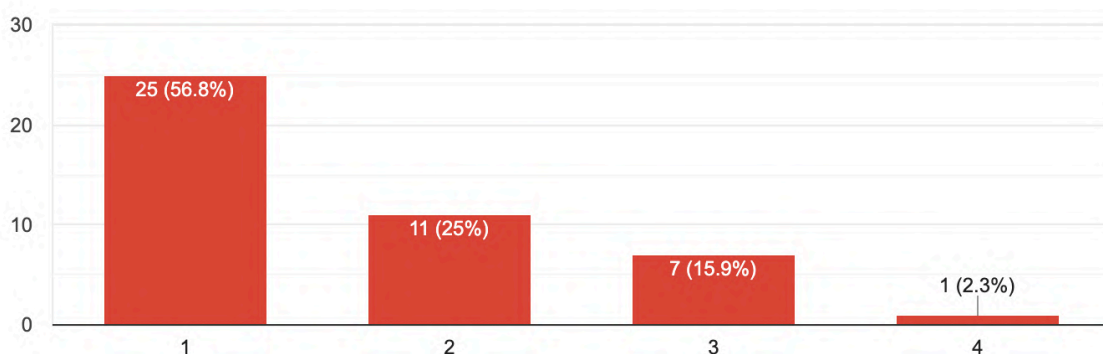
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は28人(60.9%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(26.1%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(10.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人が選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「ときどきあった」の回答の増加が見られる。

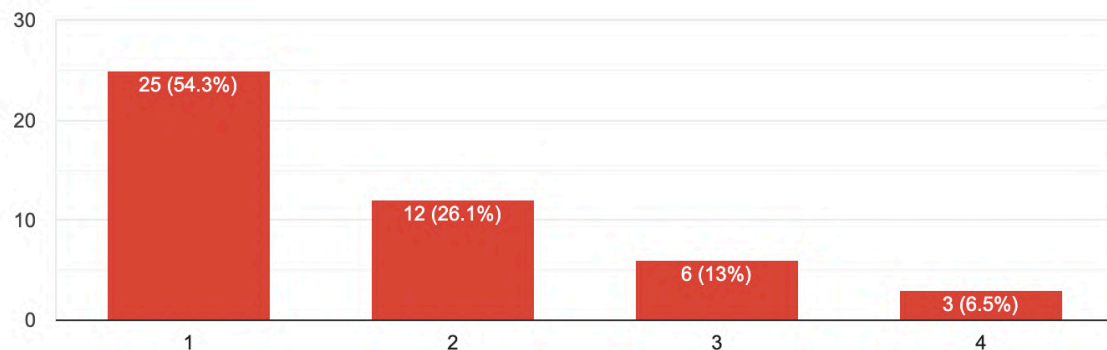
26. 胃腸の具合が悪い

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は25人(56.8%)、「ときどきあった」と回答した人は11人(25%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(15.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は25人(54.1%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(26.1%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(10.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人が選んだ。

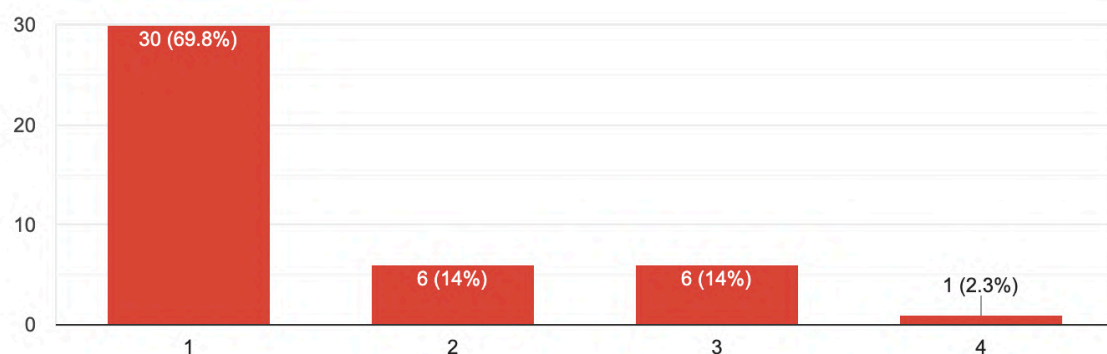
3%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(26.1%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(13%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(6.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



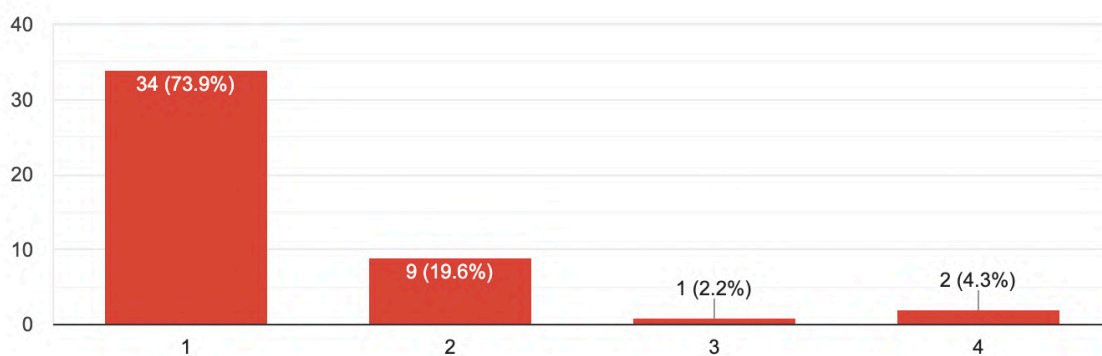
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。

27. 食欲がない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は30人(69.8%)、「ときどきあった」と回答した人は6人(14%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(14%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



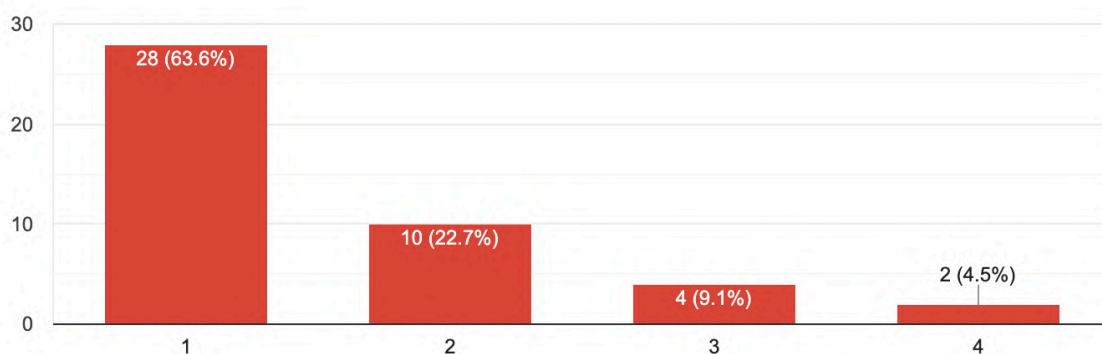
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は34人(73.9%)、「ときどきあった」と回答した人は9人(19.6%)、「しばしばあった」と回答した人は1人(2.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、80%近くの人を選んだ。



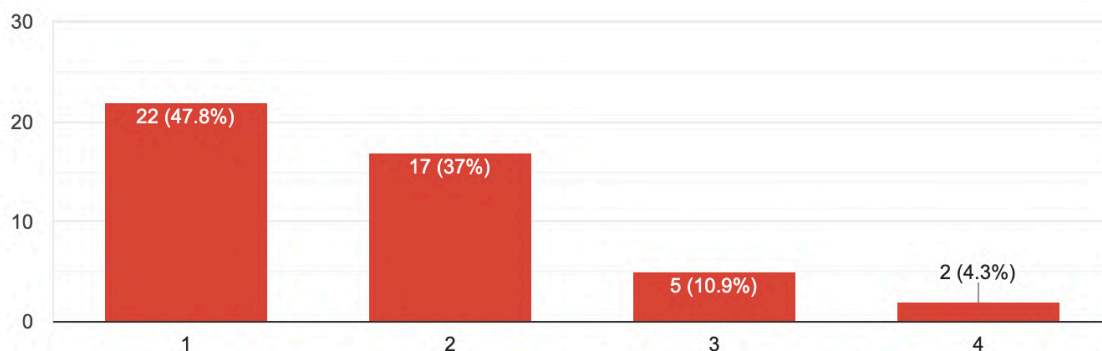
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「ときどきあった」の回答の増加が見られる。

28. 便秘や下痢をする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は28人(63.6%)、「ときどきあった」と回答した人は10人(22.7%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(9.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は22人(47.8%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(37%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(10.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(4.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。

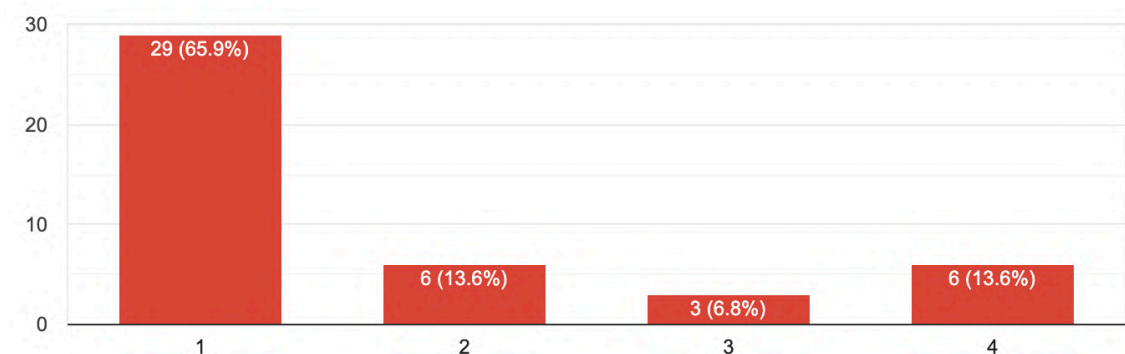


2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「ときど

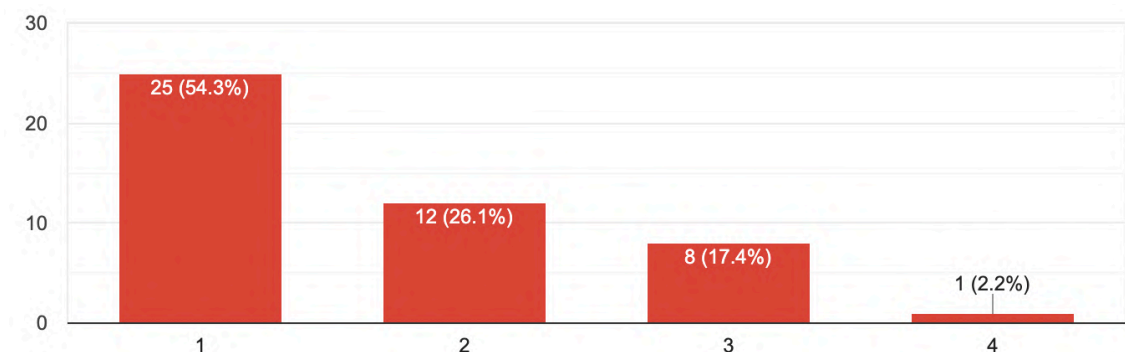
きあった」の回答の増加が見られる。

29. よく眠れない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は29人(65.9%)、「ときどきあった」と回答した人は6人(13.6%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(6.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(13.6%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は25人(54.3%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(26.1%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(17.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答の傾向は大きな変化が見られなかった。

B. あなたの周りの方々についてうかがい、最もあてはまるものに○を付けていただいた。

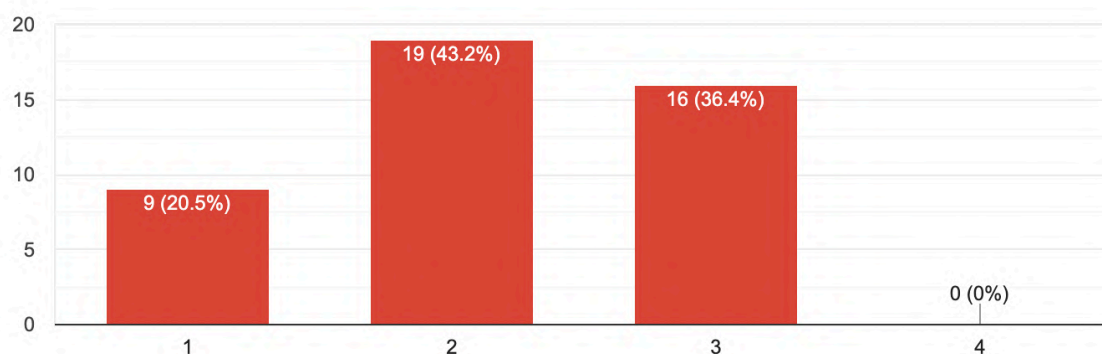
非常に1 2 3 4 全くない

次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか？

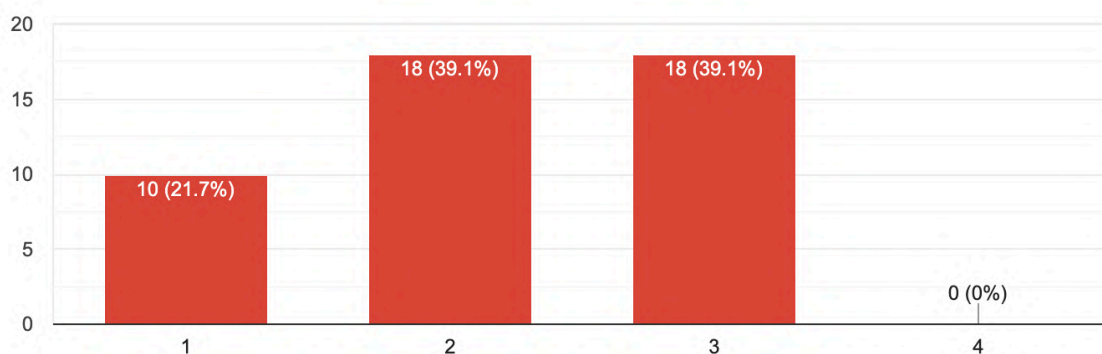
1. 上司

2020年度は「1」と回答した人は9人(20.5%)、「2」と回答した人は19人(43.2%)、「3」と回答した人は16人(36.4%)、「4」と回答した人は0

人（0%）であった。最も多かったのは「2」で、50%近くの人を選んだ。



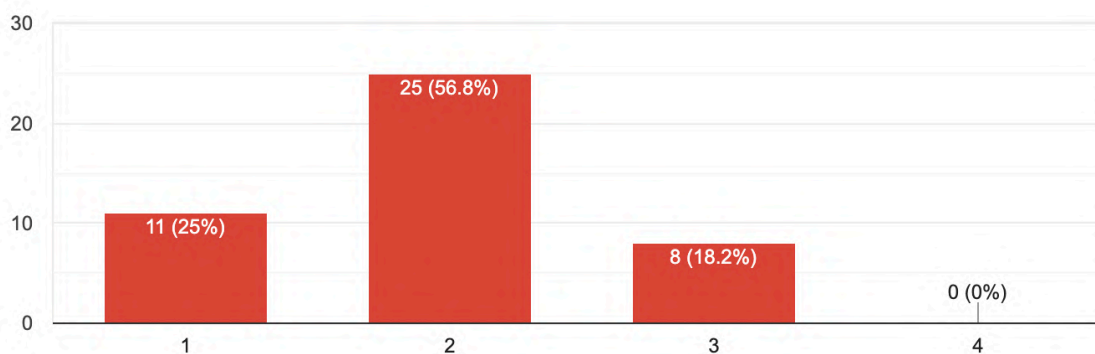
次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は10人（21.7%）、「2」と回答した人は18人（39.1%）、「3」と回答した人は18人（39.1%）、「4」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「2.3」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。

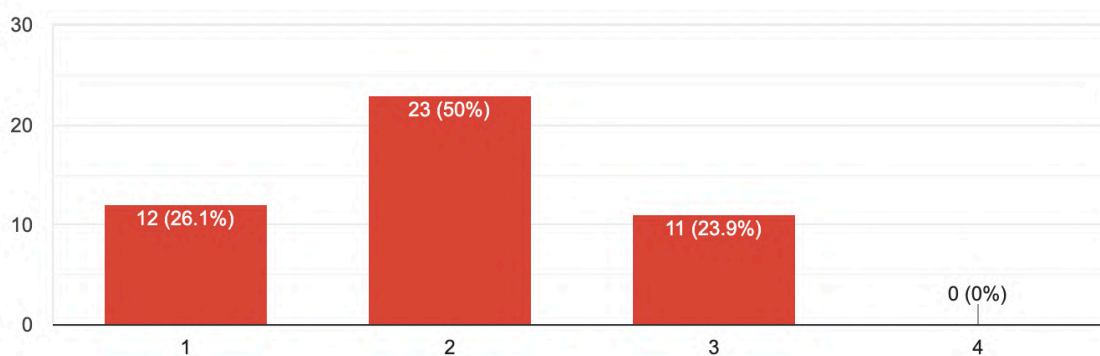
2. 職場の同僚

2020年度は「1」と回答した人は11人（25%）、「2」と回答した人は25人（56.8%）、「3」と回答した人は8人（18.2%）、「4」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「2」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は12人（26.1%）、「2」

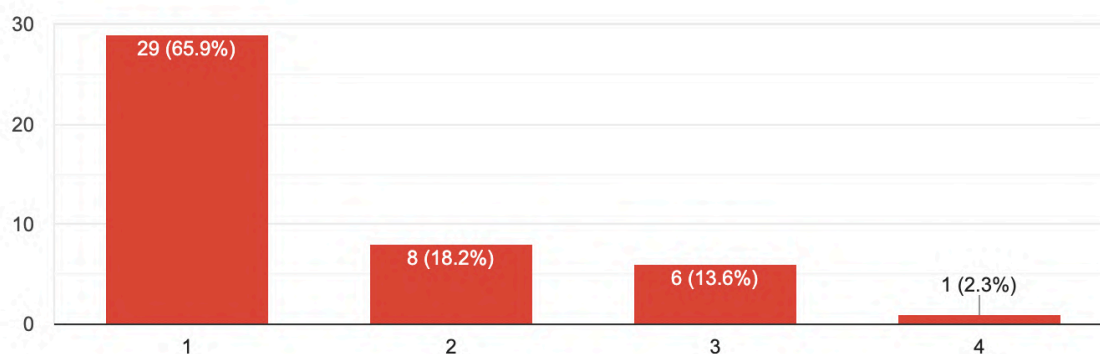
と回答した人は23人(50%)、「3」と回答した人は11(23.9%)、「4」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「2」で、50%近くの人を選んだ。



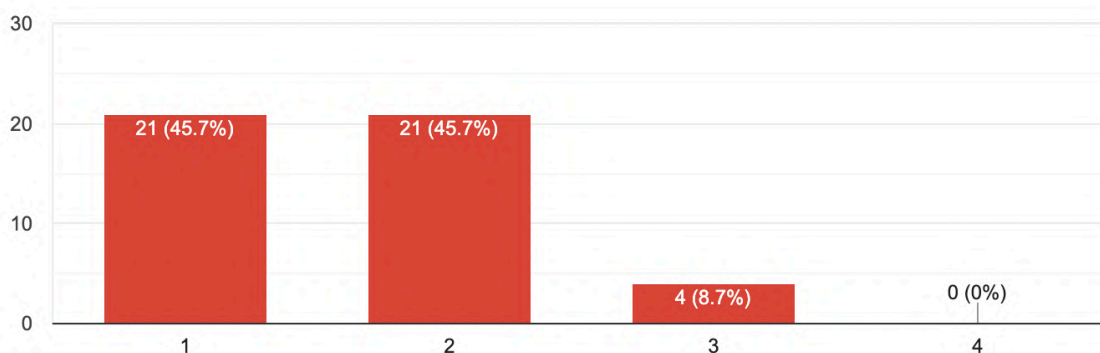
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。

3. 配偶者、家族、友人等

2020年度は「1」と回答した人は29人(65.9%)、「2」と回答した人は8人(18.2%)、「3」と回答した人は6人(13.6%)、「4」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「1」で、70%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は21人(45.7%)、「2」と回答した人は21人(45.7%)、「3」と回答した人は4人(8.7%)、「4」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「1. 2」で、50%近くの人を選んだ。



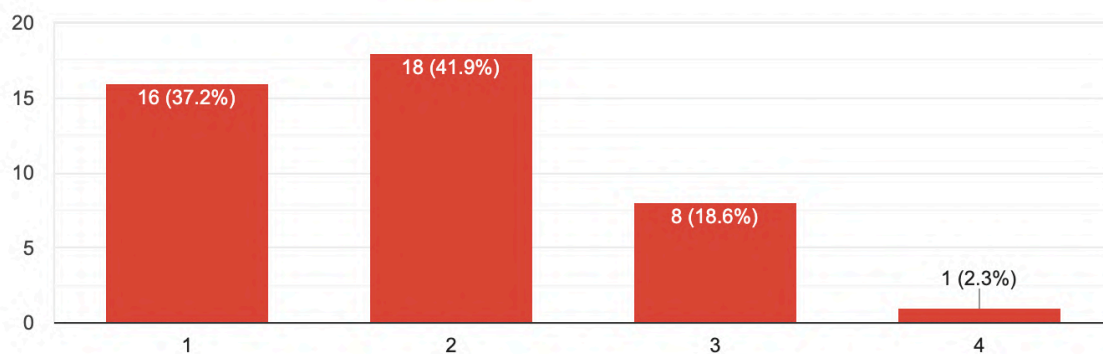
2020年度と2021年度を比較すると、「2」と回答した方の増加がみられる。

あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか？

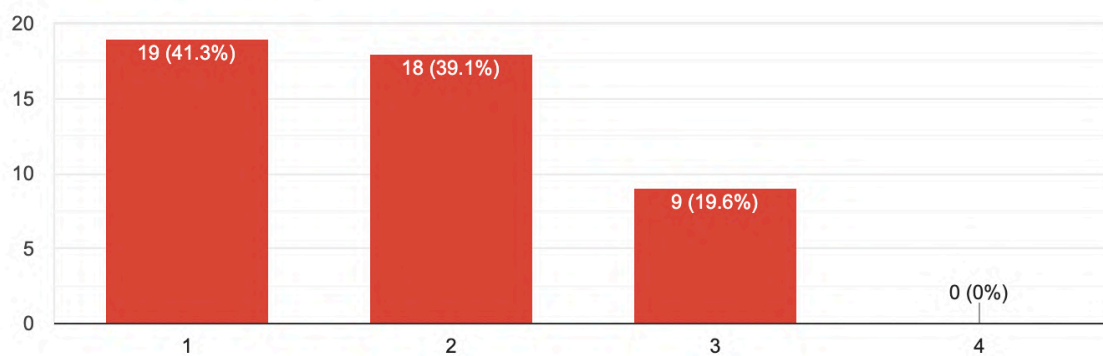
非常に1 2 3 4 全くない

4. 上司

2020年度は「1」と回答した人は16人（37.2%）、「2」と回答した人は18人（41.9%）、「3」と回答した人は8人（18.6%）、「4」と回答した人は1人（2.3%）であった。最も多かったのは「2」で、50%近くの人を選んだ。



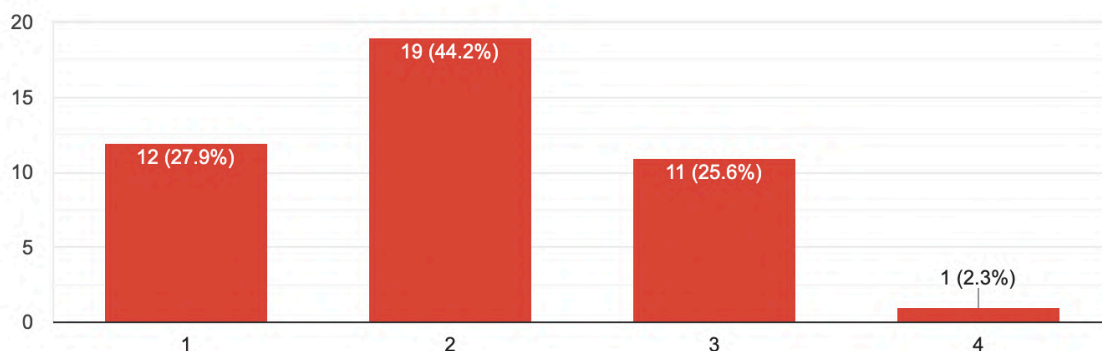
次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は19人（41.3%）、「2」と回答した人は18人（39.1%）、「3」と回答した人は9人（19.6%）、「4」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「1」で、50%近くの人を選んだ。



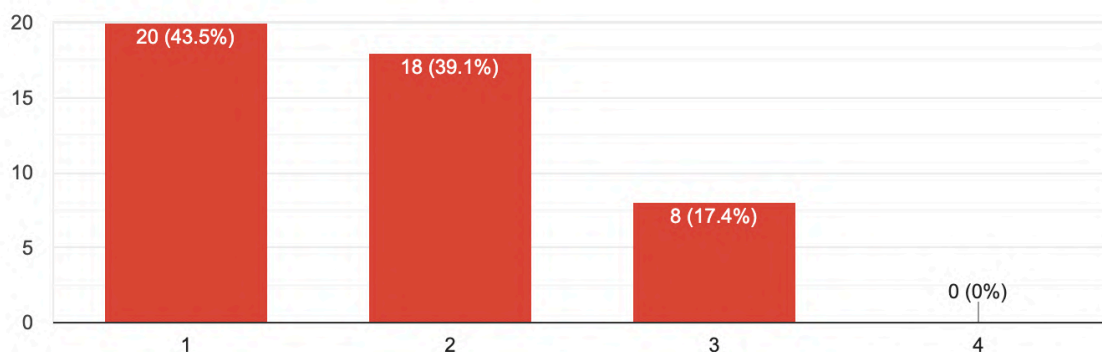
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「1」の回答の増加が見られる。

5. 職場の同僚

2020年度は「1」と回答した人は12人（27.9%）、「2」と回答した人は19人（44.2%）、「3」と回答した人は11人（25.6%）、「4」と回答した人は1人（2.3%）であった。最も多かったのは「2」で、50%近くの人を選んだ。



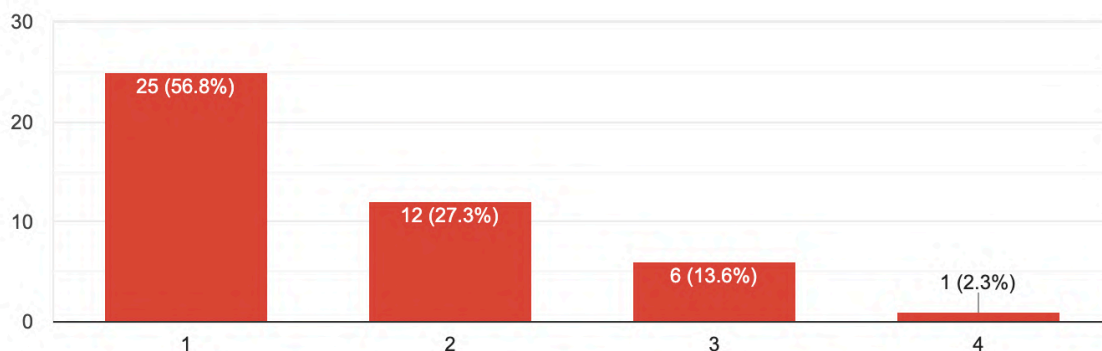
次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は20人（43.5%）、「2」と回答した人は18人（39.1%）、「3」と回答した人は8人（17.4%）、「4」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「1.」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「1」の回答の減少が見られる。

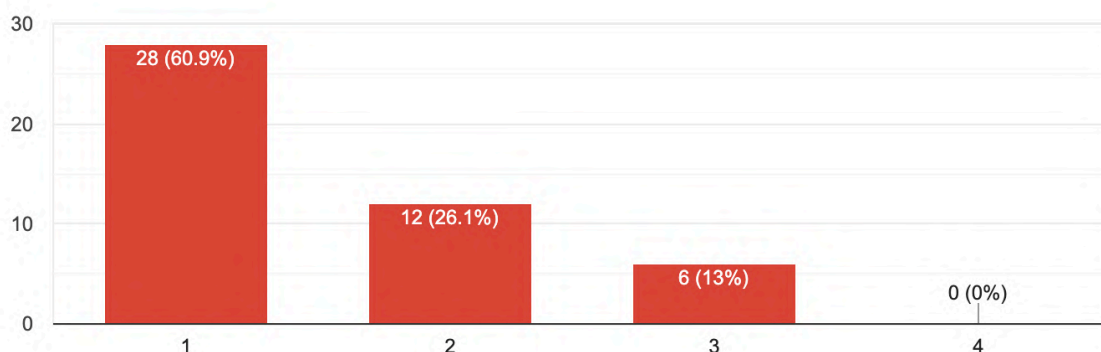
6. 配偶者、家族、友人等

2020年度は「1」と回答した人は25人（56.8%）、「2」と回答した人は12人（27.3%）、「3」と回答した人は6人（13.6%）、「4」と回答した人は1人（2.3%）であった。最も多かったのは「1」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は28人（60.9%）、「2」と回答した人は12人（26.1%）、「3」と回答した人は6人（13%）、「4」と回

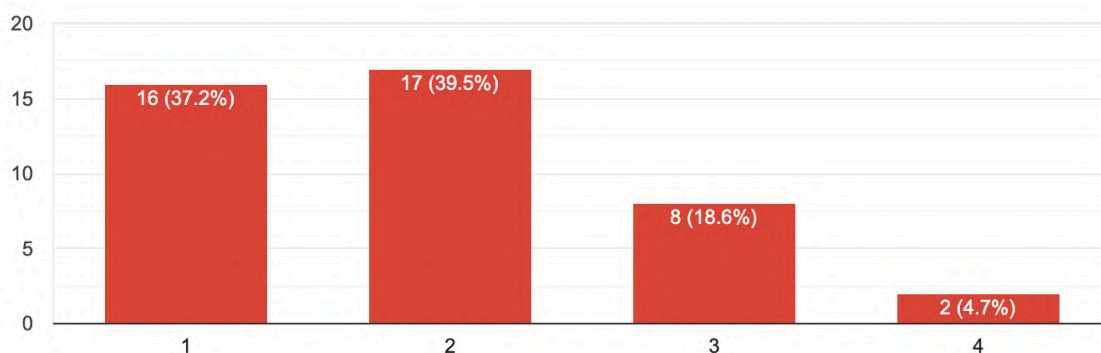
答した人は0人（0％）であった。最も多かったのは「1」で、60％近くの人を選んだ。
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。



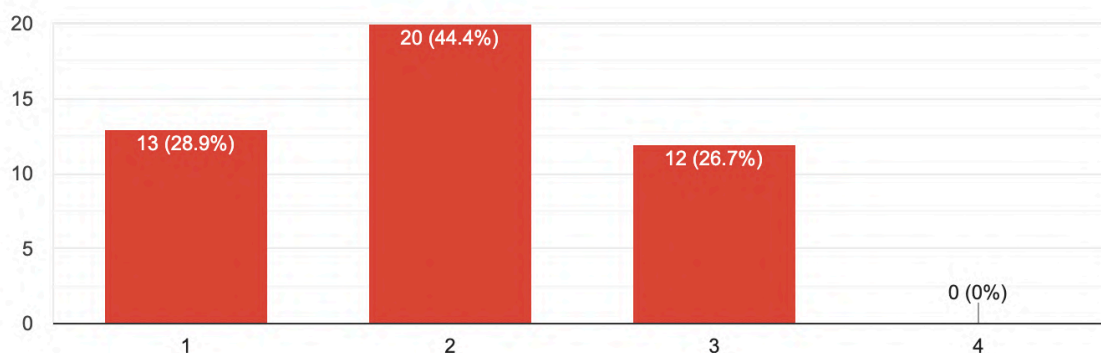
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか？

7. 上司

2020年度は「1」と回答した人は16人（37.2％）、「2」と回答した人は17人（39.5％）、「3」と回答した人は8人（18.6％）、「4」と回答した人は2人（4.7％）であった。最も多かったのは「2」で、40％近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は13人（28.9％）、「2」と回答した人は20人（44.4％）、「3」と回答した人は12人（26.7％）、「4」と回答した人は0人（0％）であった。最も多かったのは「2」で、50％近くの人を選んだ。

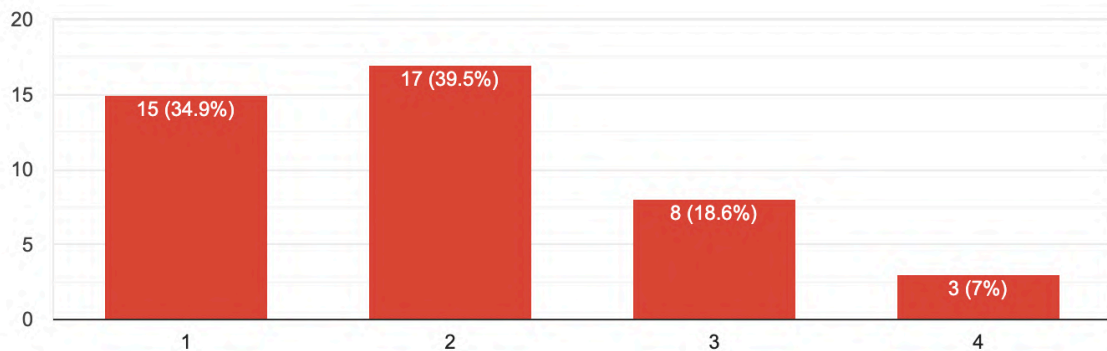


2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「1」の

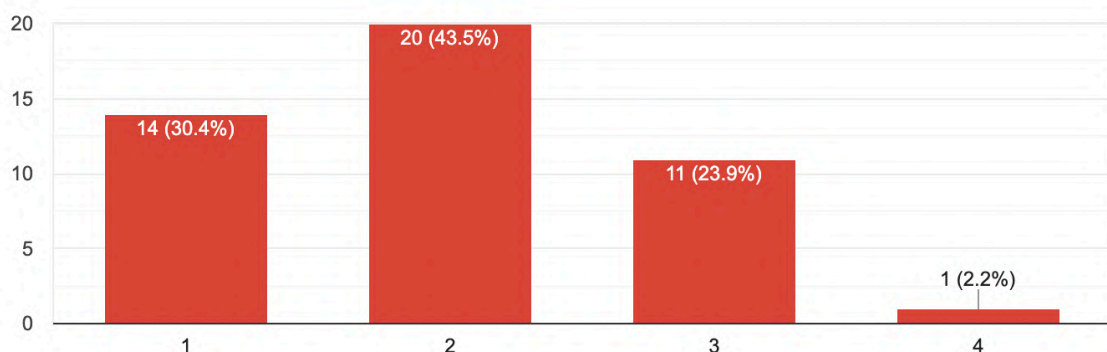
回答の減少が見られる。

8. 職場の同僚

2020年度は「1」と回答した人は15人(34.9%)、「2」と回答した人は17人(39.5%)、「3」と回答した人は8人(18.6%)、「4」と回答した人は3人(7%)であった。最も多かったのは「2」で、40%近くの人を選んだ。



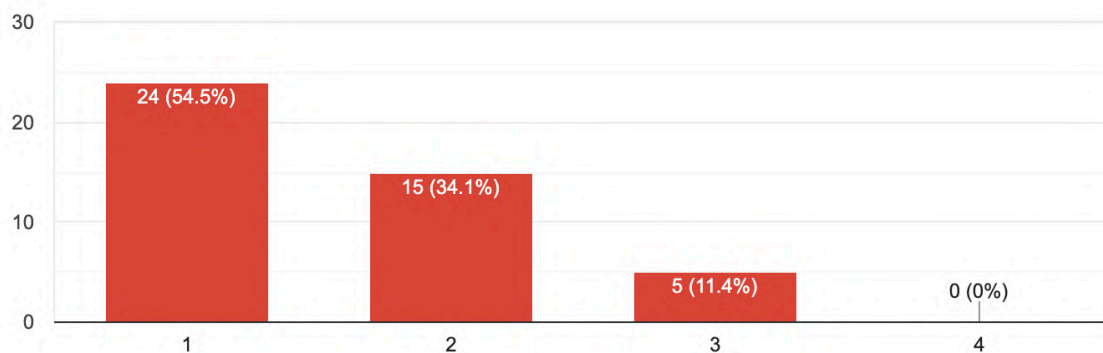
次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は14人(30.4%)、「2」と回答した人は20人(43.5%)、「3」と回答した人は11人(23.9%)、「4」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「2」で、50%近くの人を選んだ。



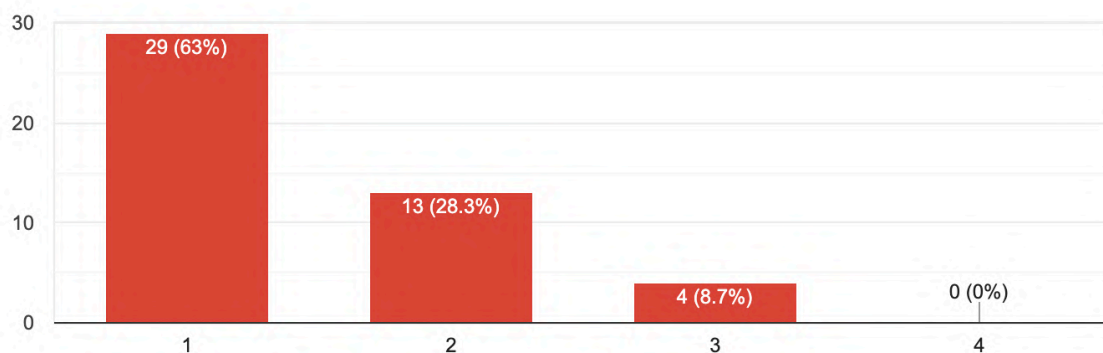
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られないものの、「3」の回答の増加が見られる。

9. 配偶者、家族、友人等

2020年度は「1」と回答した人は24人(54.5%)、「2」と回答した人は15人(34.1%)、「3」と回答した人は5人(11.4%)、「4」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「1」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は29人（63%）、「2」と回答した人は18人（28.3%）、「3」と回答した人は4人（8.7%）、「4」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「1」で、70%近くの人を選んだ。



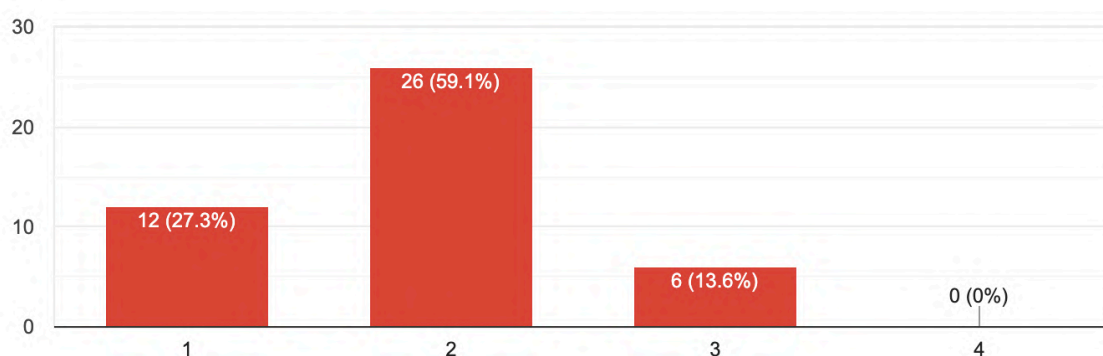
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。

D. 満足度

非常に1 2 3 4 全くない

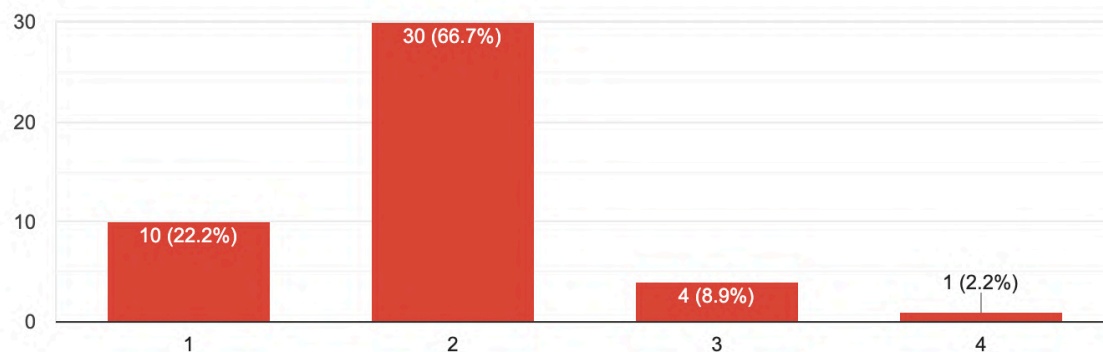
1. 仕事に満足だ

2020年度は「1」と回答した人は12人（27.3%）、「2」と回答した人は26人（59.1%）、「3」と回答した人は6人（13.6%）、「4」と回答した人は0人（0%）であった。最も多かったのは「2」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は10人（22.2%）、「2」

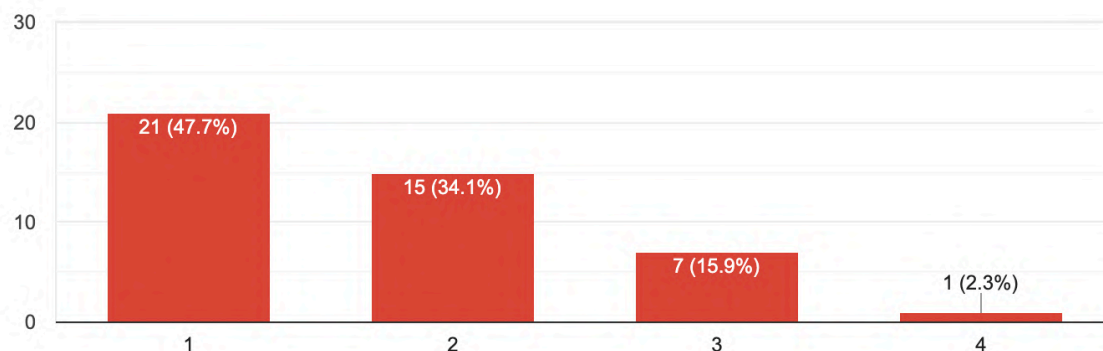
と回答した人は30人(66.7%)、「3」と回答した人は4人(8.9%)、「4」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「2」で、70%近くの人を選んだ。



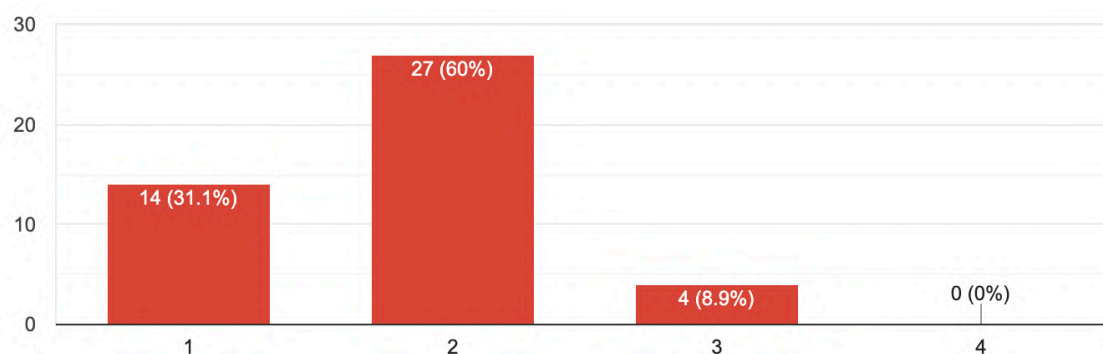
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。

2. 家庭生活に満足だ

2020年度は「1」と回答した人は21人(47.7%)、「2」と回答した人は15人(34.1%)、「3」と回答した人は7人(15.9%)、「4」と回答した人は1人(2.3%)であった。最も多かったのは「2」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「1」と回答した人は14人(31.1%)、「2」と回答した人は27人(60%)、「3」と回答した人は4人(8.9%)、「4」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「2」で、60%近くの人を選んだ。



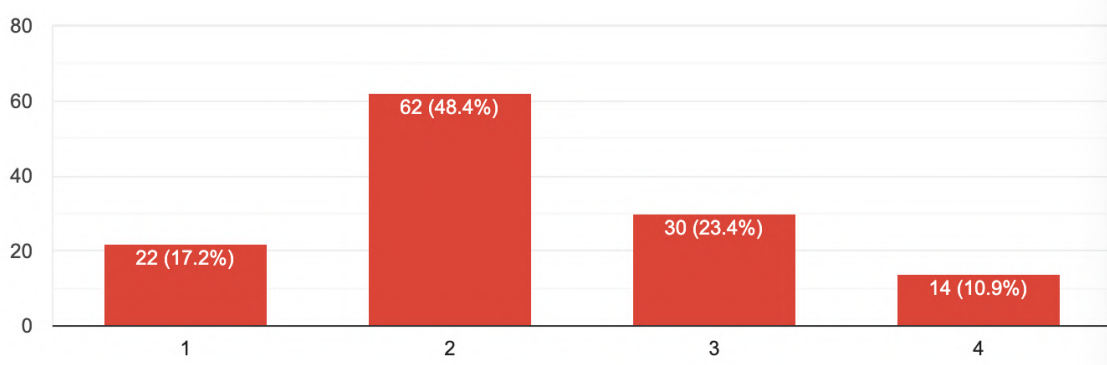
2020年度と2021年度を比較すると、回答の変化は見られない。

A 仕事について、17の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

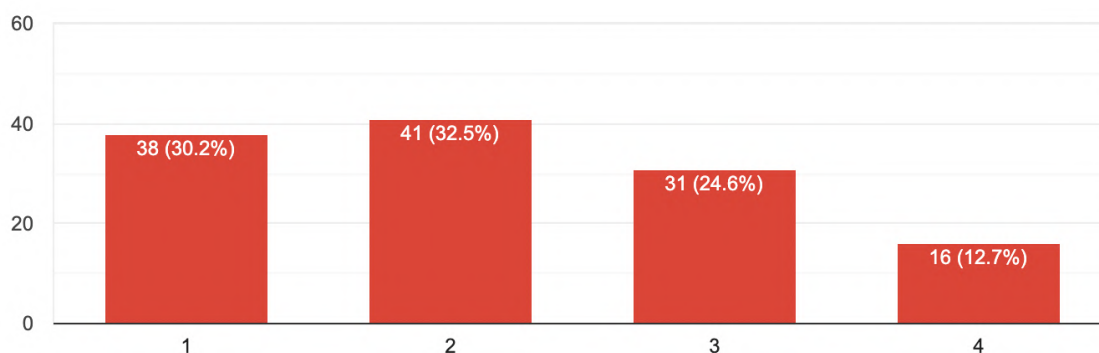
1. そうだ 2. まあそうだ 3. ややちがう 4. ちがう

1. 非常にたくさんの仕事をしなければならない

2020年度は「そうだ」と回答した人は22人(17.2%)、「まあそうだ」と回答した人は62人(48.4%)、「ややちがう」と回答した人は30人(23.4%)、「ちがう」と回答した人は14人(10.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



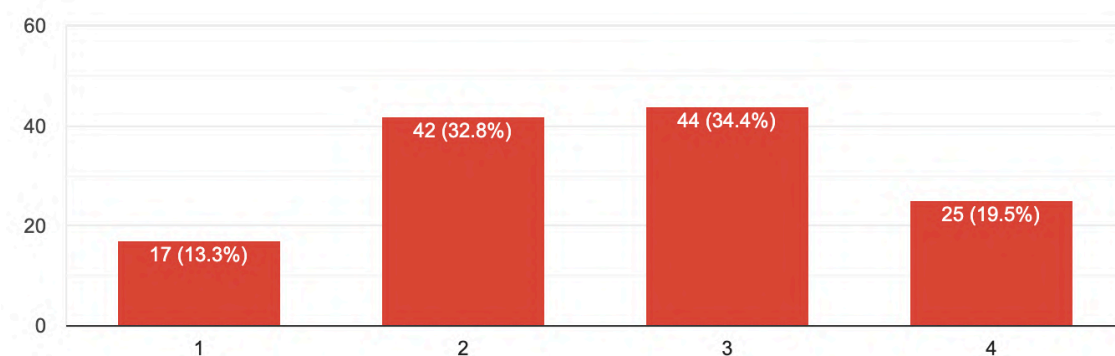
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は38人(30.2%)、「まあそうだ」と回答した人は41人(32.5%)、「ややちがう」と回答した人は31人(24.6%)、「ちがう」と回答した人は16人(12.7%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



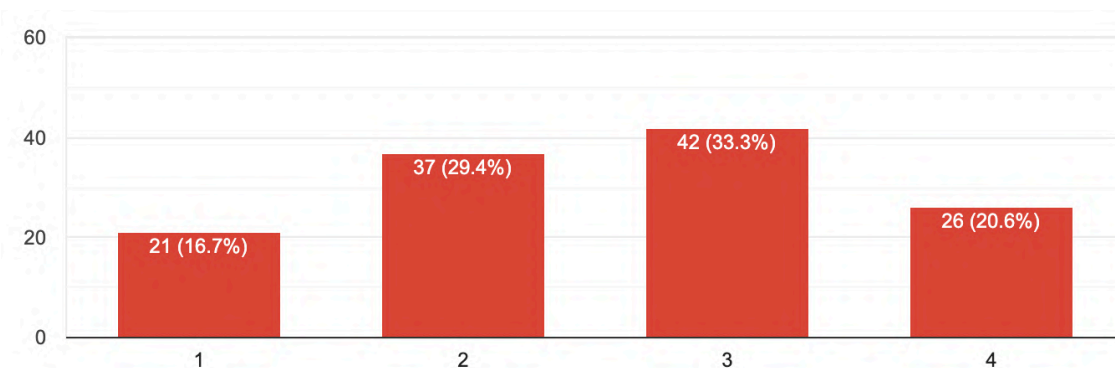
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向はややよくなったが、それほど変化してはいない。

2. 時間内に仕事が処理しきれない

2020年度は「そうだ」と回答した人は17人(13.3%)、「まあそうだ」と回答した人は42人(32.8%)、「ややちがう」と回答した人は44人(34.4%)、「ちがう」と回答した人は25人(19.5%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、40%近くの人を選んだ。



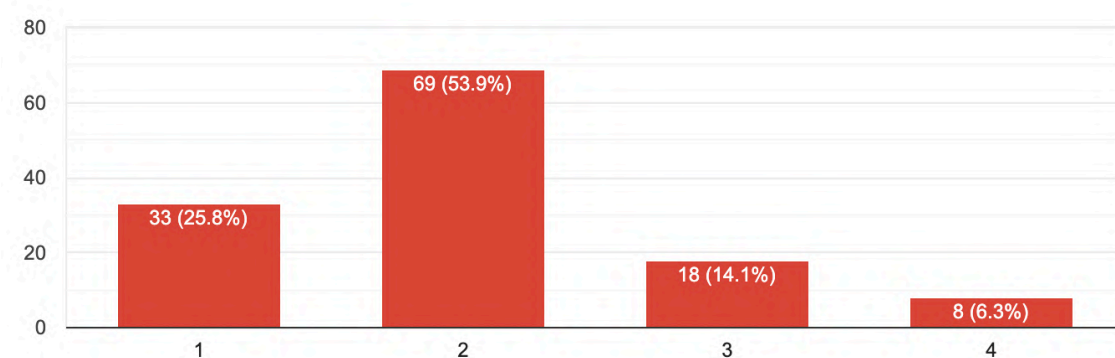
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は21人(16.7%)、「まあそうだ」と回答した人は37人(29.4%)、「ややちがう」と回答した人は42人(33.3%)、「ちがう」と回答した人は26人(20.6%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

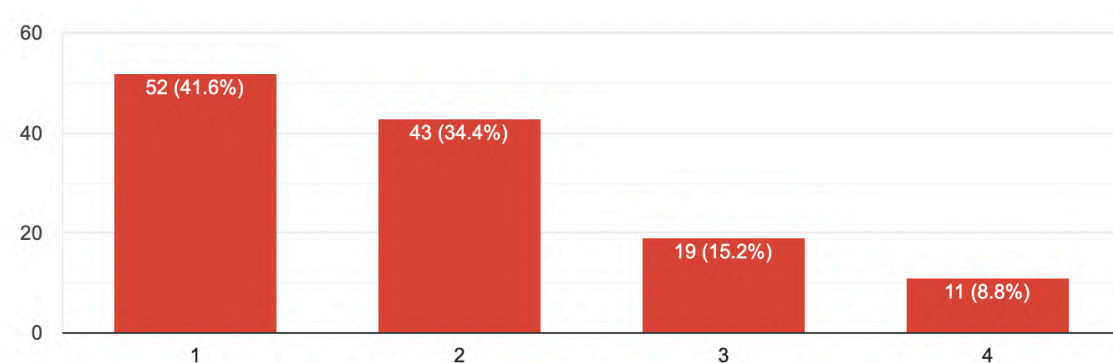
3. 一生懸命働かなければならない

2020年度は「そうだ」と回答した人は33人(25.8%)、「まあそうだ」と回答した人は69人(53.9%)、「ややちがう」と回答した人は18人(14.1%)、「ちがう」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は52人(41.6%)、「まあそうだ」と回答した人は43人(34.4%)、「ややちがう」と回答した人は19人(1

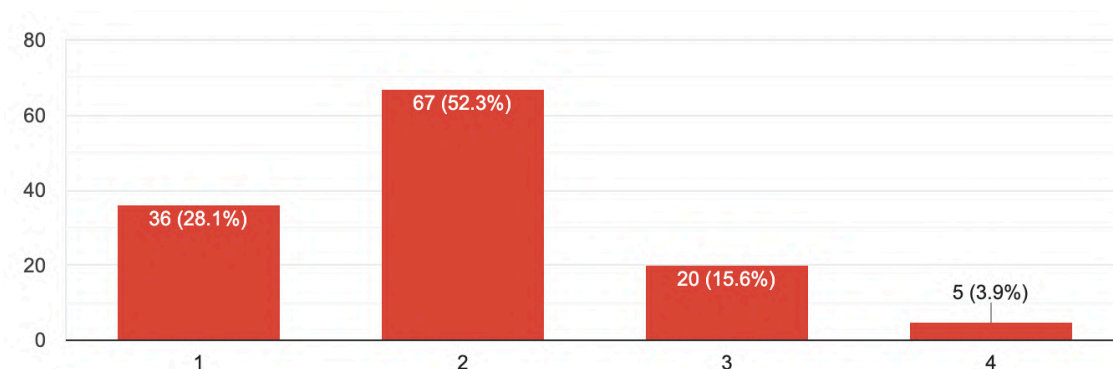
5.2%)、「ちがう」と回答した人は11人(8.8%)であった。最も多かったのは「そうだ」で、50%近くの人を選んだ。



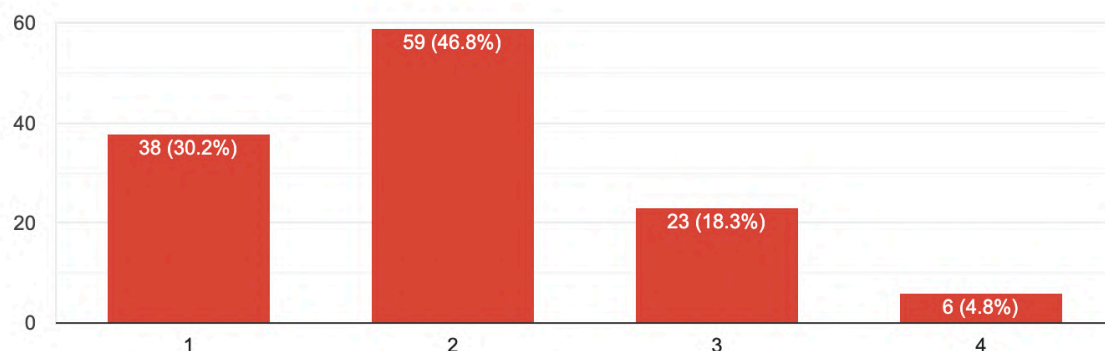
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の減少が見られる一方、「そうだ」の増加が見られる傾向にあった。

4. かなり注意を集中する必要がある

2020年度は「そうだ」と回答した人は36人(28.1%)、「まあそうだ」と回答した人は67人(52.3%)、「ややちがう」と回答した人は20人(15.6%)、「ちがう」と回答した人は5人(3.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



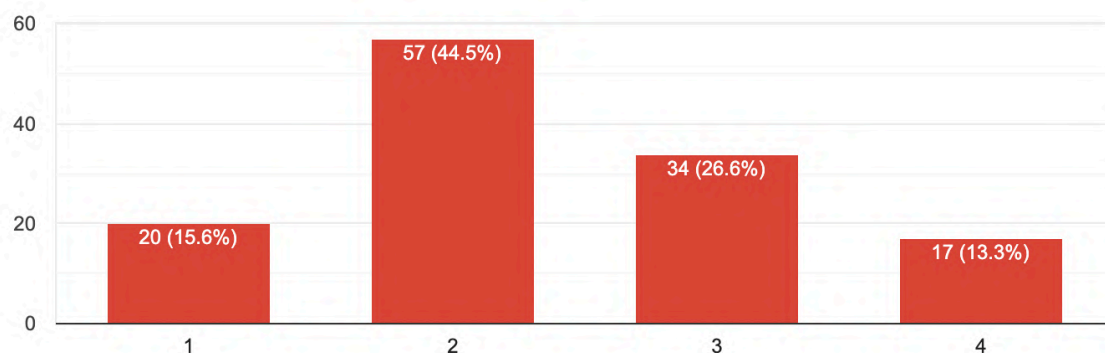
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は38人(30.2%)、「まあそうだ」と回答した人は59人(46.8%)、「ややちがう」と回答した人は23人(18.3%)、「ちがう」と回答した人は6人(4.8%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



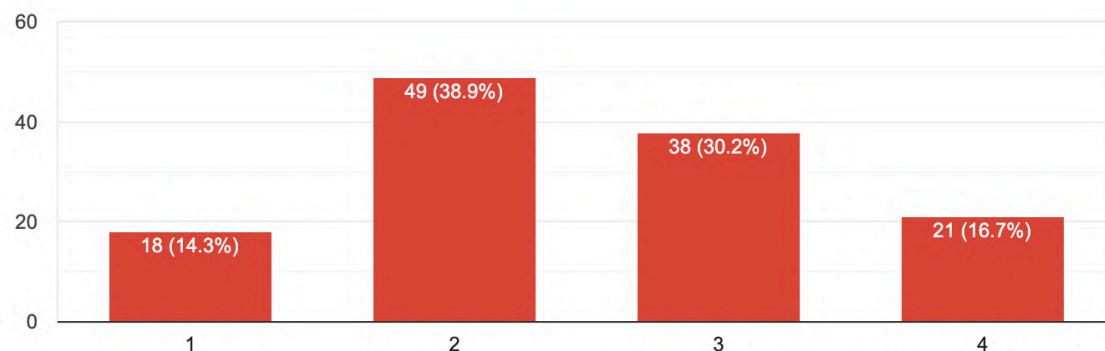
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向はややよくなったが、それほど変化してはいない。

5. 高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ

2020年度は「そうだ」と回答した人は20人(15.6%)、「まあそうだ」と回答した人は57人(44.5%)、「ややちがう」と回答した人は34人(26.6%)、「ちがう」と回答した人は17人(13.3%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



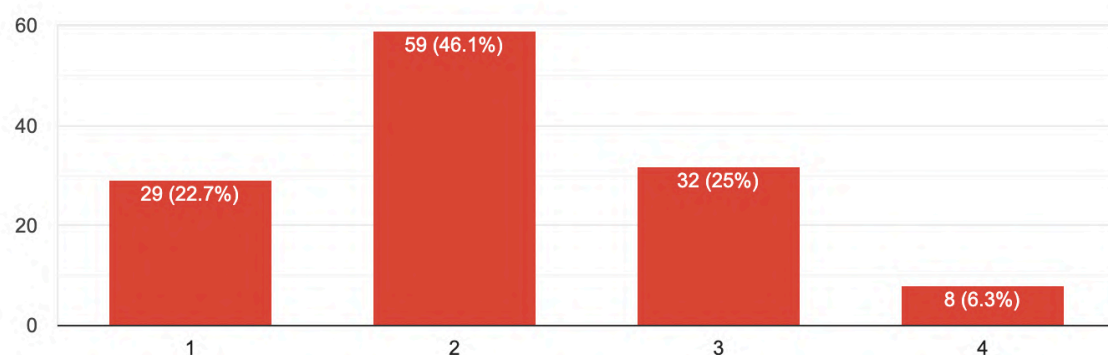
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は18人(14.3%)、「まあそうだ」と回答した人は49人(38.9%)、「ややちがう」と回答した人は38人(30.2%)、「ちがう」と回答した人は21人(16.7%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



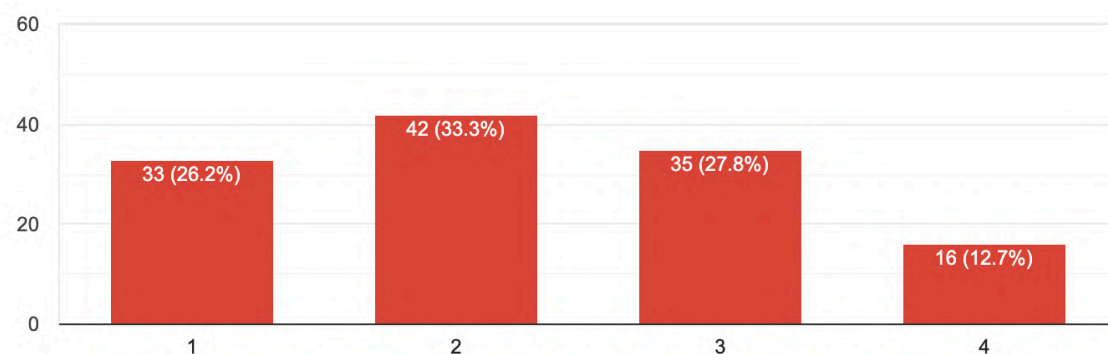
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

6. 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない

2020年度は「そうだ」と回答した人は29人(22.7%)、「まあそうだ」と回答した人は59人(46.1%)、「ややちがう」と回答した人は32人(25%)、「ちがう」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



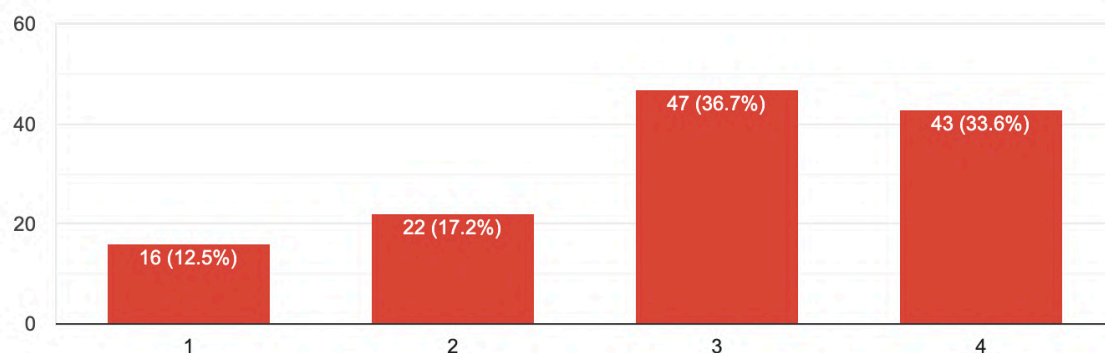
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は33人(26.2%)、「まあそうだ」と回答した人は42人(33.3%)、「ややちがう」と回答した人は35人(27.8%)、「ちがう」と回答した人は16人(12.7%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



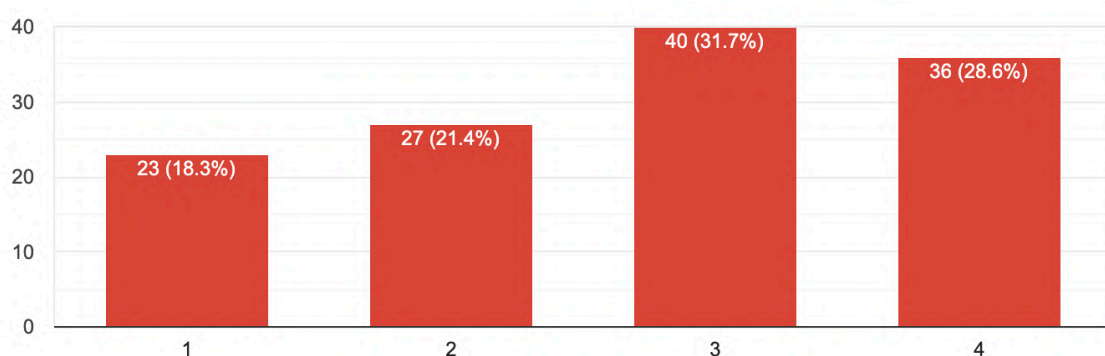
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向はややよくなったが、それほど変化してはいない。

7. からだを大変よく使う仕事だ

2020年度は「そうだ」と回答した人は16人(12.5%)、「まあそうだ」と回答した人は22人(17.2%)、「ややちがう」と回答した人は47人(36.7%)、「ちがう」と回答した人は43人(33.6%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、40%近くの人を選んだ。



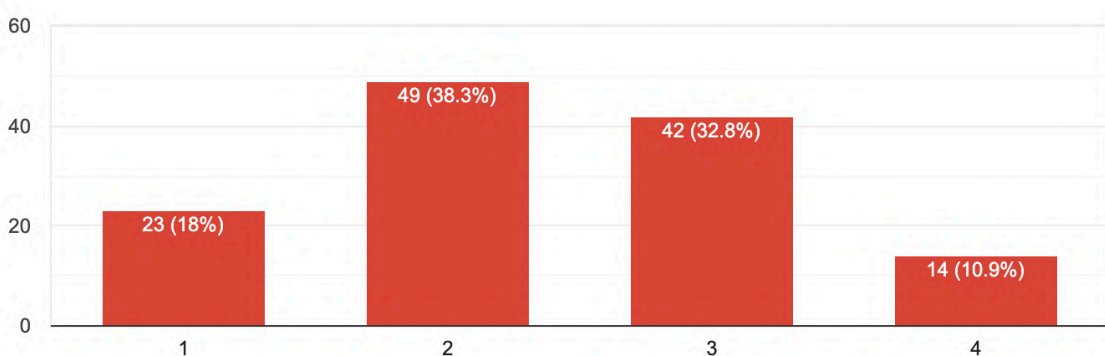
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は23人(18.3%)、「まあそうだ」と回答した人は27人(21.4%)、「ややちがう」と回答した人は40人(31.7%)、「ちがう」と回答した人は36人(28.6%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

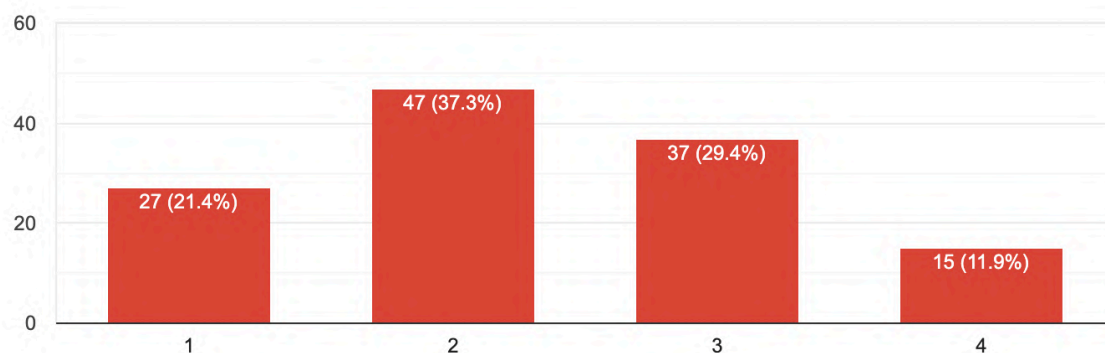
8. 自分のペースで仕事ができる

2020年度は「そうだ」と回答した人は23人(18%)、「まあそうだ」と回答した人は49人(38.3%)、「ややちがう」と回答した人は42人(32.8%)、「ちがう」と回答した人は14人(10.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は27人(21.4%)、「ま

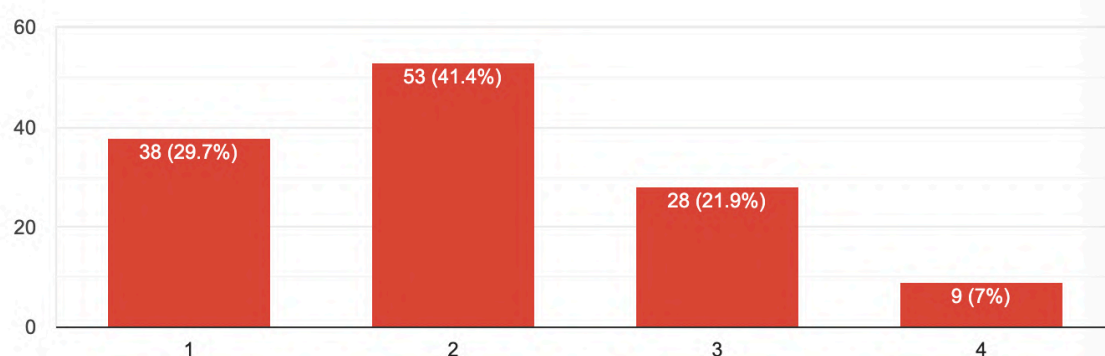
「まあそうだ」と回答した人は47人(37.3%)、「ややちがう」と回答した人は37人(29.4%)、「ちがう」と回答した人は15人(11.9%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、40%近くの人を選んだ。



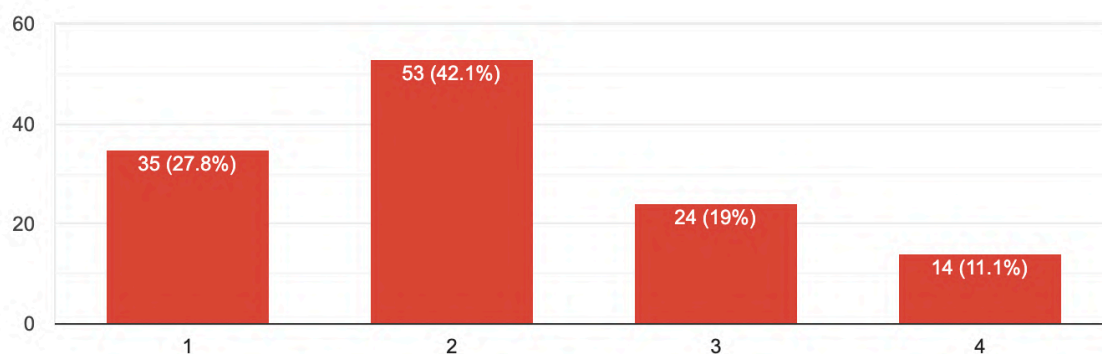
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

9. 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる

2020年度は「そうだ」と回答した人は38人(29.7%)、「まあそうだ」と回答した人は53人(41.4%)、「ややちがう」と回答した人は28人(21.9%)、「ちがう」と回答した人は9人(7%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



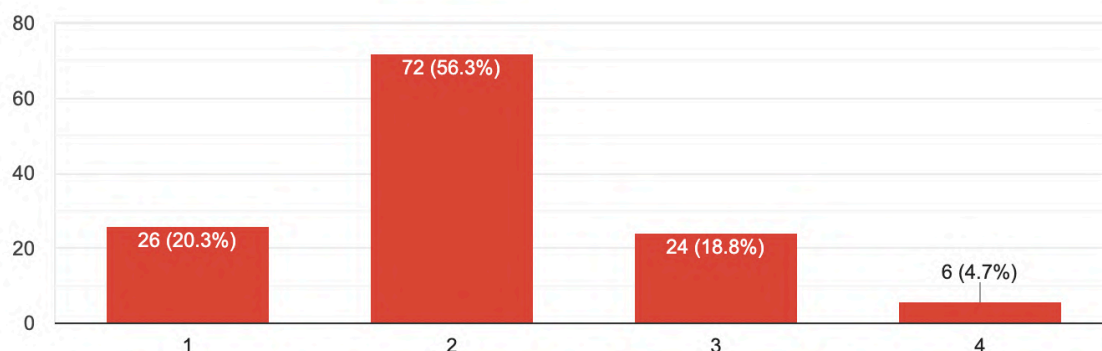
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は35人(27.8%)、「まあそうだ」と回答した人は53人(42.1%)、「ややちがう」と回答した人は24人(19%)、「ちがう」と回答した人は14人(11.1%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



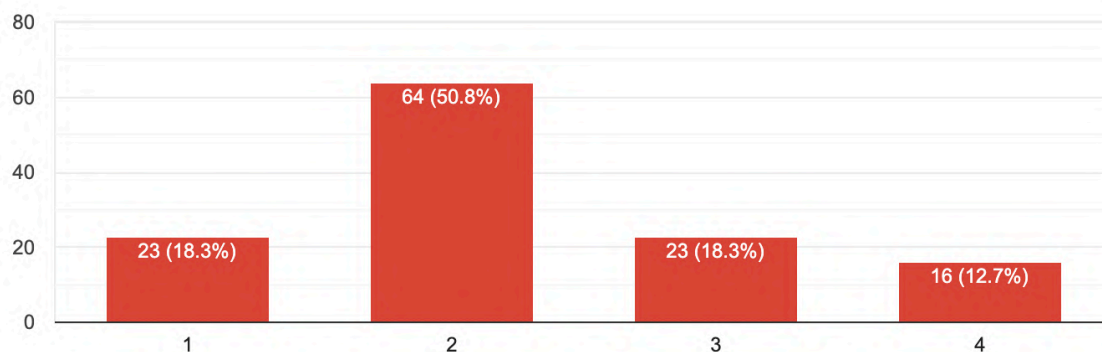
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

10. 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる

2020年度は「そうだ」と回答した人は26人(20.3%)、「まあそうだ」と回答した人は72人(56.3%)、「ややちがう」と回答した人は24人(18.8%)、「ちがう」と回答した人は6人(4.7%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



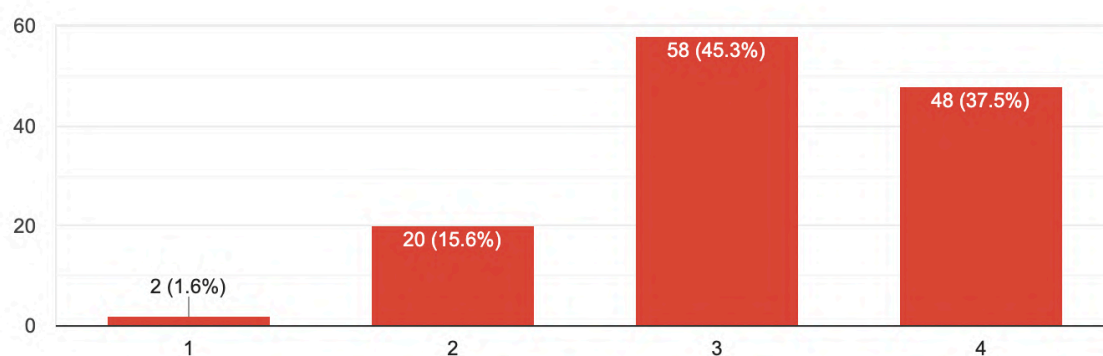
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は23人(18.3%)、「まあそうだ」と回答した人は64人(50.8%)、「ややちがう」と回答した人は23人(18.3%)、「ちがう」と回答した人は16人(12.7%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



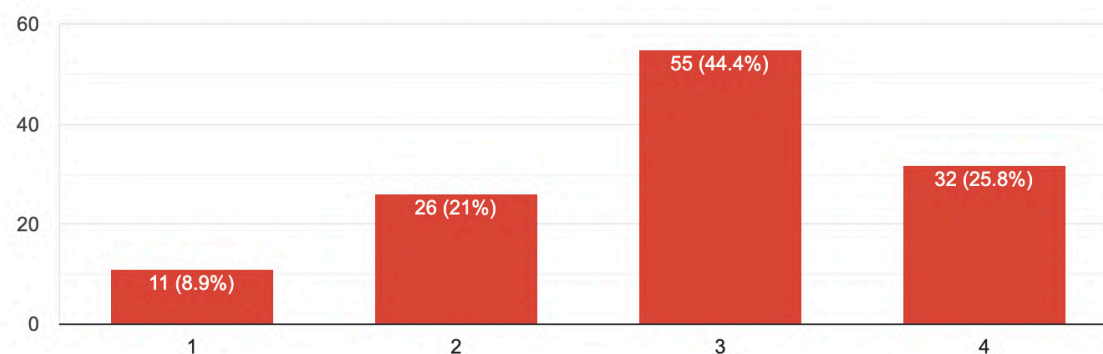
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

11. 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない

2020年度は「そうだ」と回答した人は2人(1.6%)、「まあそうだ」と回答した人は20人(15.6%)、「ややちがう」と回答した人は58人(45.3%)、「ちがう」と回答した人は48人(37.5%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、50%近くの人を選んだ。



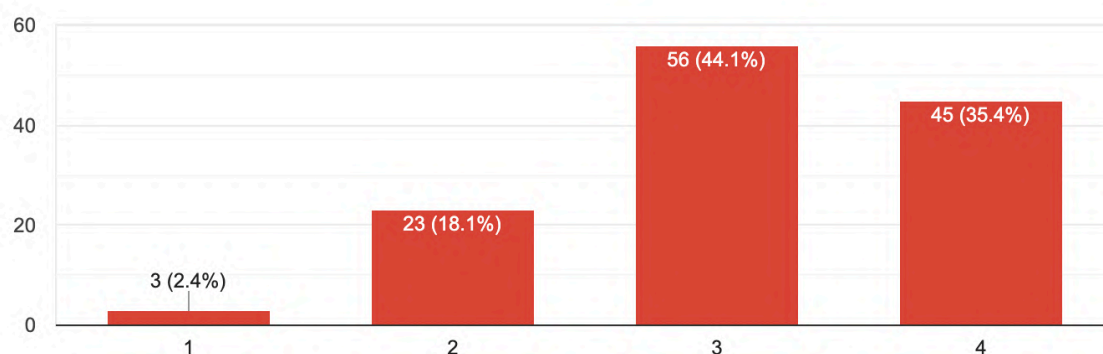
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は11人(8.9%)、「まあそうだ」と回答した人は26人(21%)、「ややちがう」と回答した人は55人(44.4%)、「ちがう」と回答した人は32人(25.8%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、50%近くの人を選んだ。



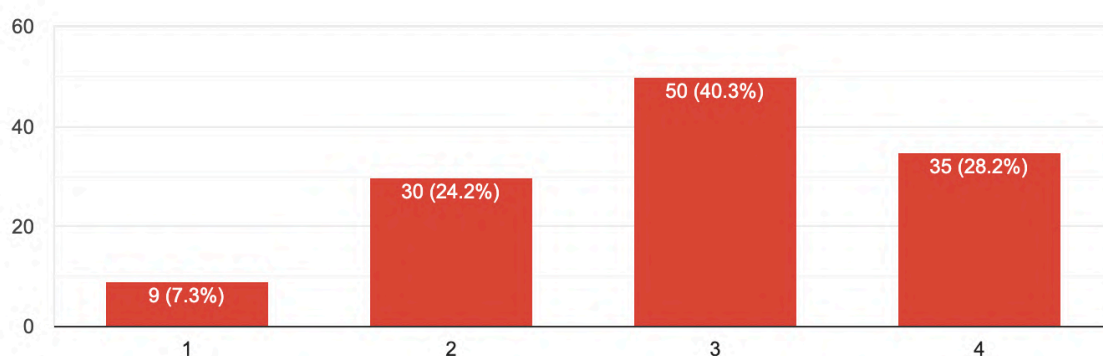
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

12. 私の部署内で意見のくい違いがある

2020年度は「そうだ」と回答した人は3人(2.4%)、「まあそうだ」と回答した人は23人(18.1%)、「ややちがう」と回答した人は56人(44.1%)、「ちがう」と回答した人は45人(35.4%)であった。最も多かったのは「ややちがう」で、50%近くの人を選んだ。



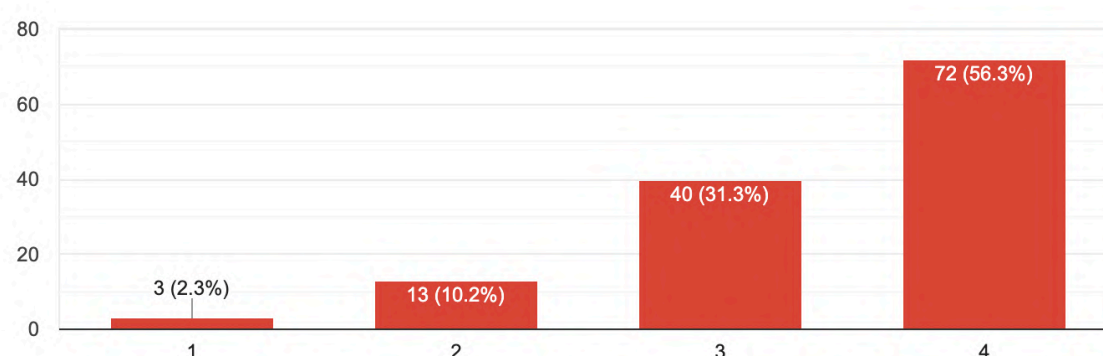
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は9人（7.3%）、「まあそうだ」と回答した人は30人（24.2%）、「ややちがう」と回答した人は50人（40.3%）、「ちがう」と回答した人は35人（28.2%）であった。最も多かったのは「ややちがう」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

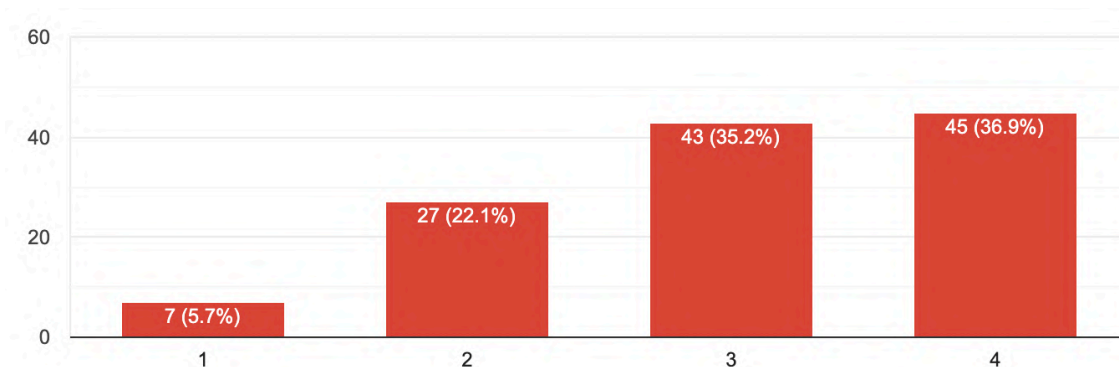
13. 私の部署と他の部署とはうまく合わない

2020年度は「そうだ」と回答した人は3人（2.3%）、「まあそうだ」と回答した人は13人（10.2%）、「ややちがう」と回答した人は40人（31.3%）、「ちがう」と回答した人は72人（56.3%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は7人（5.7%）、「まあそうだ」と回答した人は27人（22.1%）、「ややちがう」と回答した人は43人（33.7%）、「ちがう」と回答した人は53人（41.5%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、41.5%の人を選んだ。

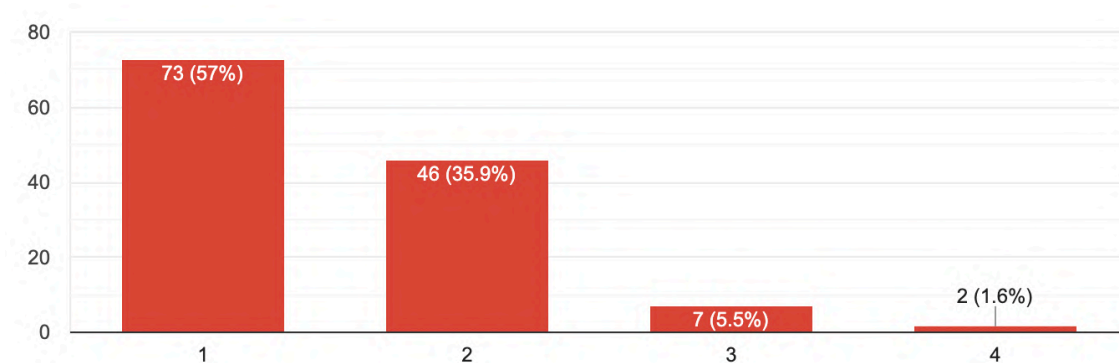
5.2%)、「ちがう」と回答した人は45人(36.9%)であった。最も多かったのは「ちがう」で、40%近くの人を選んだ。



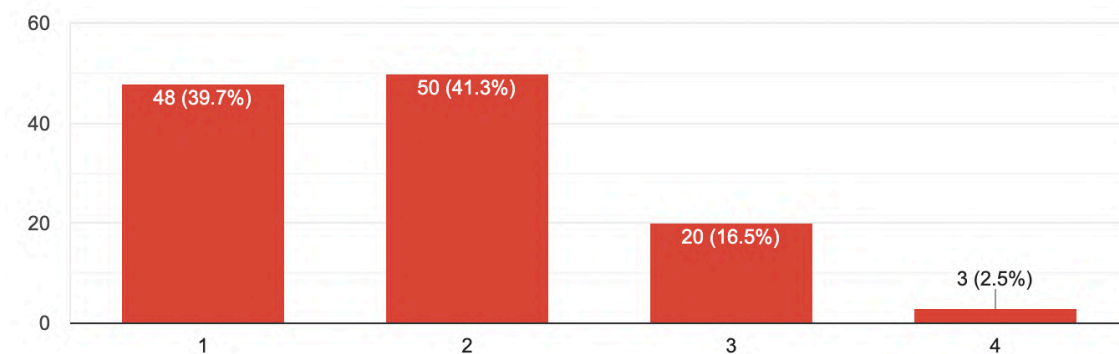
2020年度と2021年度を比較すると、「ちがう」の割合が減少傾向にあった。

14. 私の職場の雰囲気は友好的である

2020年度は「そうだ」と回答した人は73人(57%)、「まあそうだ」と回答した人は46人(35.9%)、「ややちがう」と回答した人は7人(5.5%)、「ちがう」と回答した人は2人(1.6%)であった。最も多かったのは「そうだ」で、60%近くの人を選んだ。



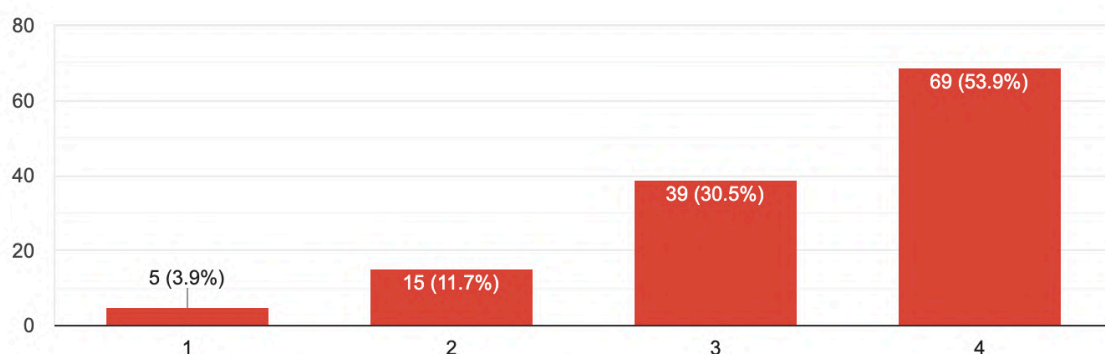
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は48人(39.7%)、「まあそうだ」と回答した人は50人(41.3%)、「ややちがう」と回答した人は20人(16.5%)、「ちがう」と回答した人は3人(2.5%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



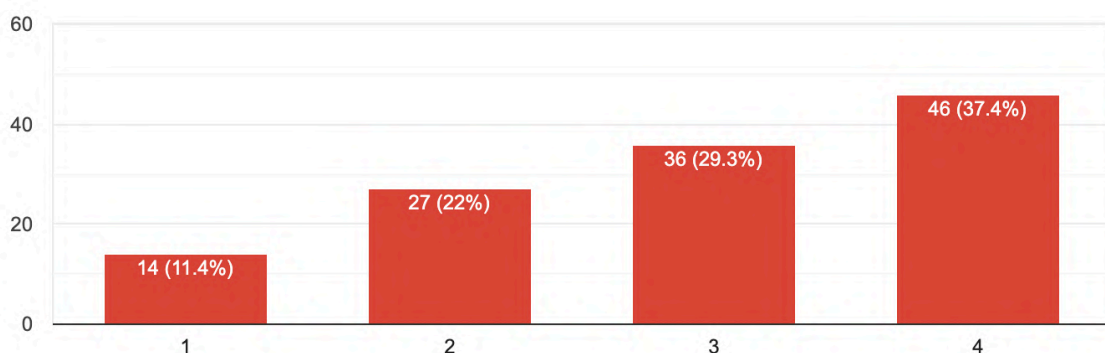
2020年度と2021年度を比較すると、「そうだ」の減少が見られる一方、「まあそうだ」の増加が見られる傾向にあった。

15. 私の職場の作業環境（騒音、照明、温度、換気など）はよくない

2020年度は「そうだ」と回答した人は5人（3.9%）、「まあそうだ」と回答した人は15人（11.7%）、「ややちがう」と回答した人は39人（30.5%）、「ちがう」と回答した人は69人（53.9%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、60%近くの人が選んだ。



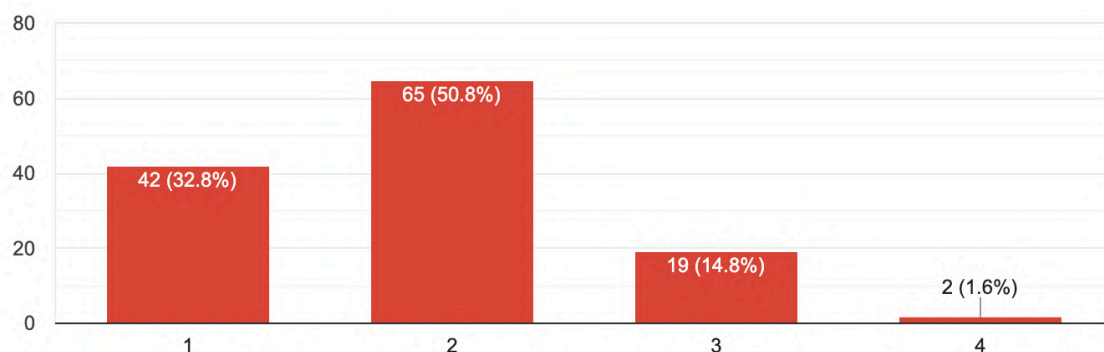
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は14人（11.4%）、「まあそうだ」と回答した人は27人（22%）、「ややちがう」と回答した人は36人（29.3%）、「ちがう」と回答した人は46人（37.4%）であった。最も多かったのは「ちがう」で、40%近くの人が選んだ。



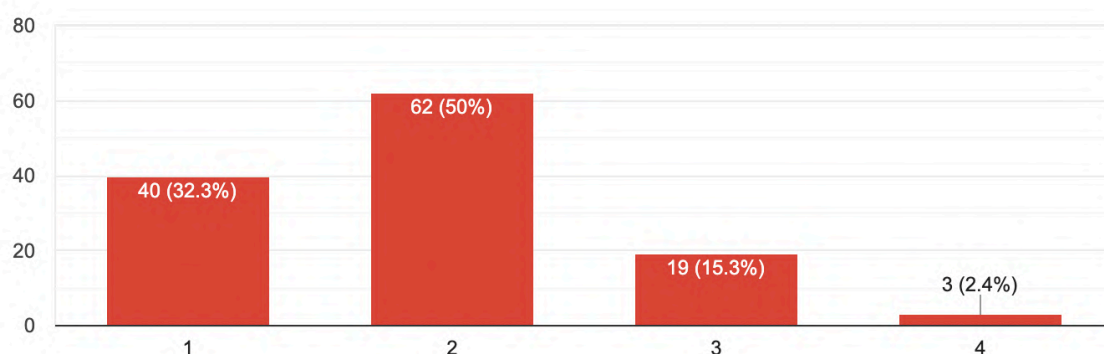
2020年度と2021年度を比較すると、「ちがう」の割合が減少傾向にあった。

16. 仕事の内容は自分にあっている

2020年度は「そうだ」と回答した人は42人（32.8%）、「まあそうだ」と回答した人は65人（50.8%）、「ややちがう」と回答した人は19人（14.8%）、「ちがう」と回答した人は2人（1.6%）であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人が選んだ。



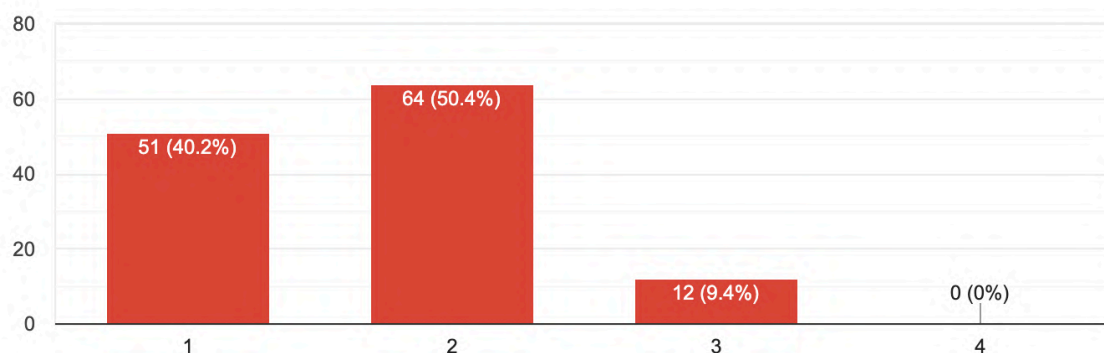
次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は40人(32.3%)、「まあそうだ」と回答した人は62人(50%)、「ややちがう」と回答した人は19人(15.3%)、「ちがう」と回答した人は3人(2.4%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

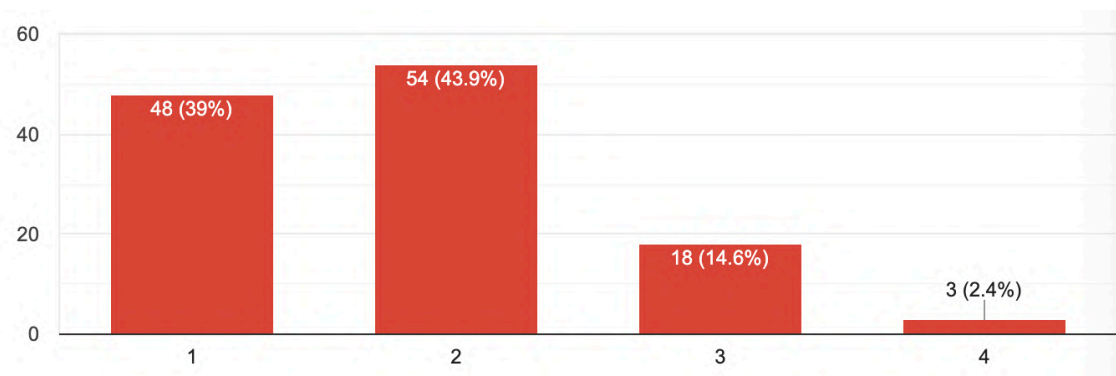
17. 働きがいのある仕事だ

2020年度は「そうだ」と回答した人は51人(40.2%)、「まあそうだ」と回答した人は64人(50.4%)、「ややちがう」と回答した人は12人(9.4%)、「ちがう」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「そうだ」と回答した人は48人(39%)、「まあそうだ」と回答した人は54人(43.9%)、「ややちがう」と回答した人は18人(14.3%)、「ちがう」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、44%近くの人を選んだ。

4.6%)、「ちがう」と回答した人は3人(2.4%)であった。最も多かったのは「まあそうだ」で、50%近くの人を選んだ。



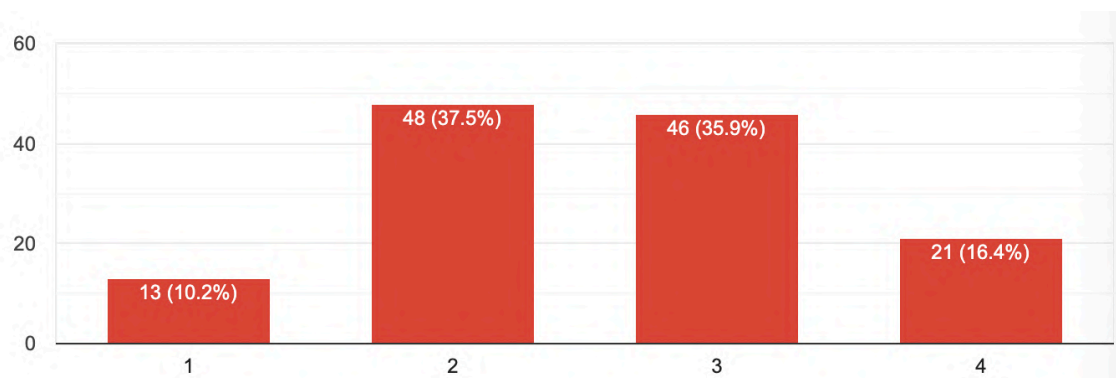
2020年度と2021年度を比較すると、「まあそうだ」の割合が減少傾向にあった。

B 最近一か月間の状態について、29の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

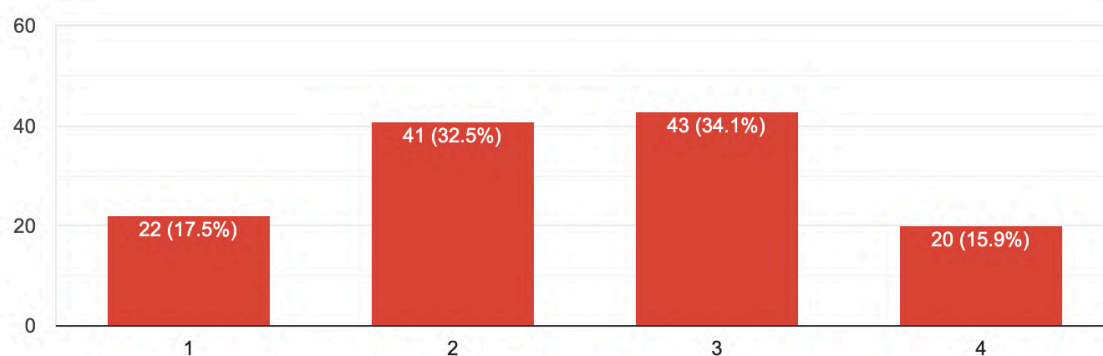
1. ほとんどなかった 2. ときどきあった 3. しばしばあった 4. ほとんどいつもあった

1. 活気がわいてくる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は13人(10.2%)、「ときどきあった」と回答した人は48人(37.5%)、「しばしばあった」と回答した人は46人(35.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は21人(16.4%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



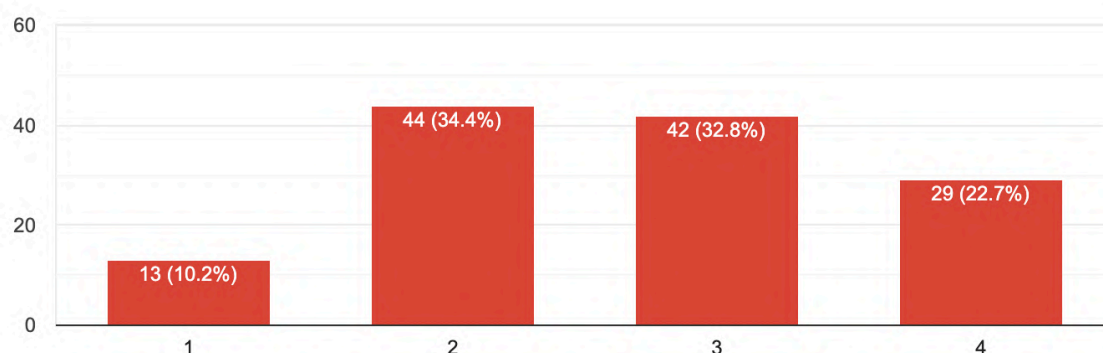
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は22人(17.5%)、「ときどきあった」と回答した人は41人(32.5%)、「しばしばあった」と回答した人は43人(34.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は20人(15.9%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。



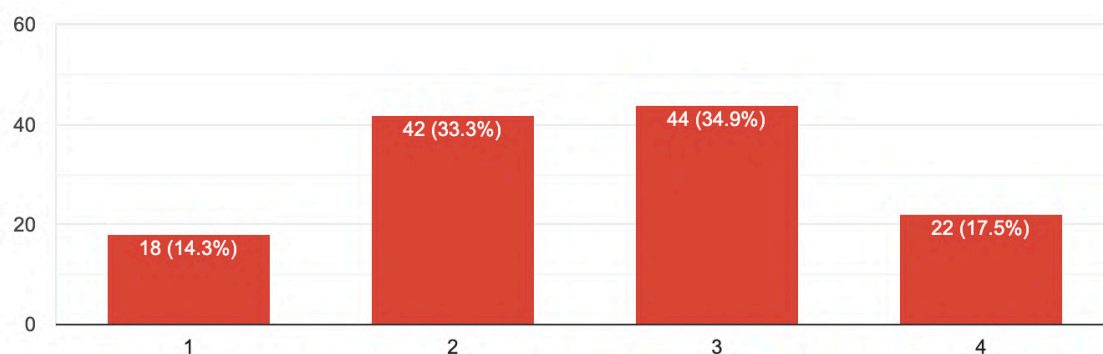
2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の減少が見られる一方、「しばしばあった」の増加が見られる傾向にあった。

2. 元気いっぱい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は13人(10.2%)、「ときどきあった」と回答した人は44人(34.4%)、「しばしばあった」と回答した人は42人(32.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は29人(22.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は18人(14.3%)、「ときどきあった」と回答した人は42人(33.3%)、「しばしばあった」と回答した人は44人(34.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は22人(17.5%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。

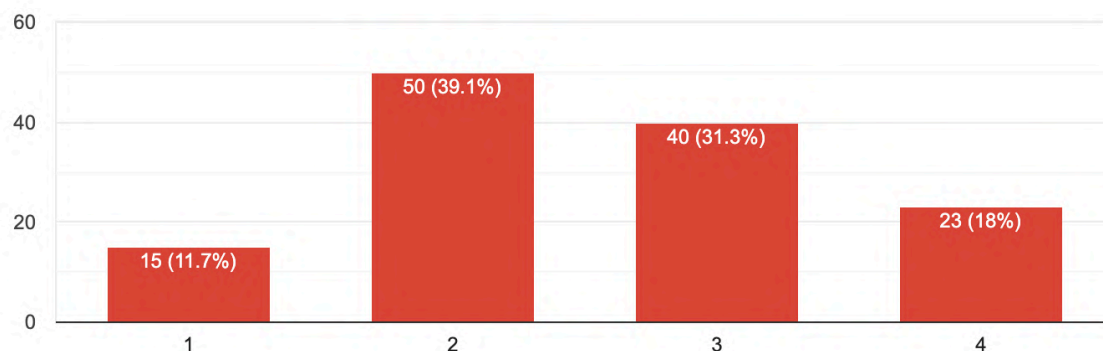


2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の減少が見られる一方、

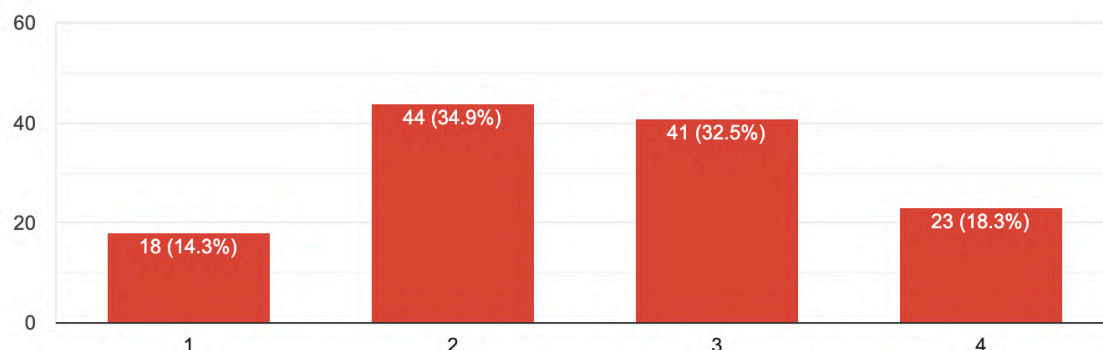
「しばしばあった」の増加が見られる傾向にあった。

3. 生き生きする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は15人(11.7%)、「ときどきあった」と回答した人は50人(39.1%)、「しばしばあった」と回答した人は40人(31.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は23人(18%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



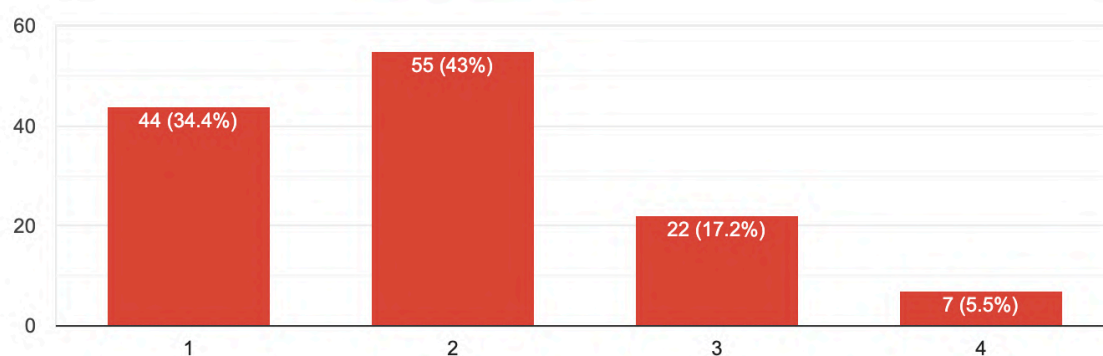
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は18人(14.3%)、「ときどきあった」と回答した人は44人(34.9%)、「しばしばあった」と回答した人は41人(32.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は23人(18.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



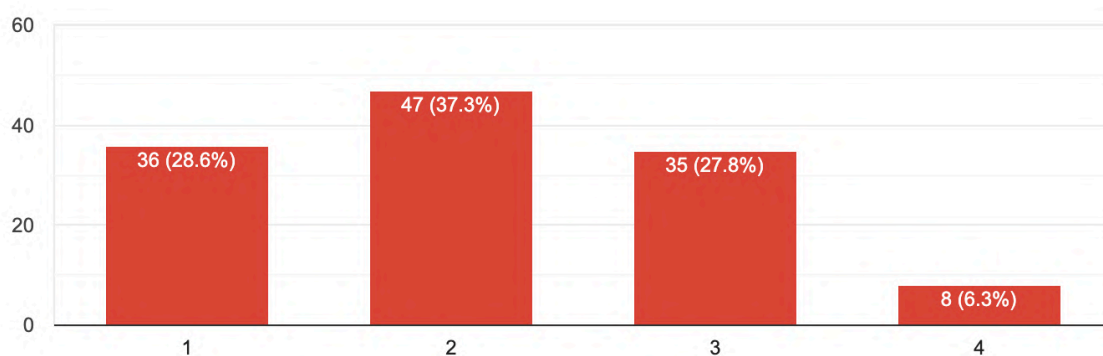
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

4. 怒りを感じる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は44人(34.4%)、「ときどきあった」と回答した人は55人(43%)、「しばしばあった」と回答した人は22人(17.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人(5.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



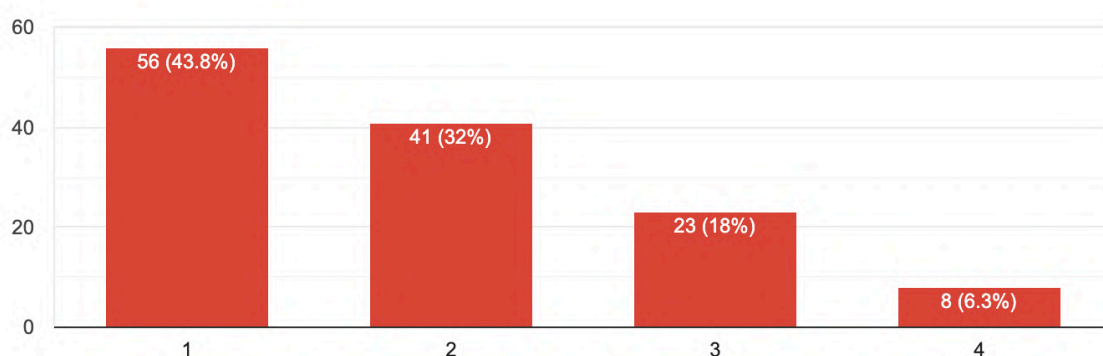
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は36人(28.6%)、「ときどきあった」と回答した人は47人(37.3%)、「しばしばあった」と回答した人は35人(27.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の減少が見られる傾向にあった。

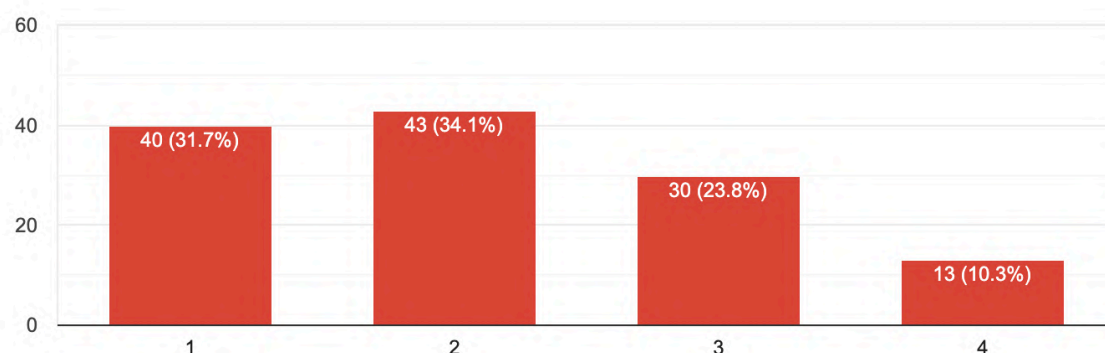
5. 内心腹立だしい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は56人(43.8%)、「ときどきあった」と回答した人は41人(32%)、「しばしばあった」と回答した人は23人(18%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は40人(31.4%)、「ときどきあった」と回答した人は47人(37.3%)、「しばしばあった」と回答した人は35人(27.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。

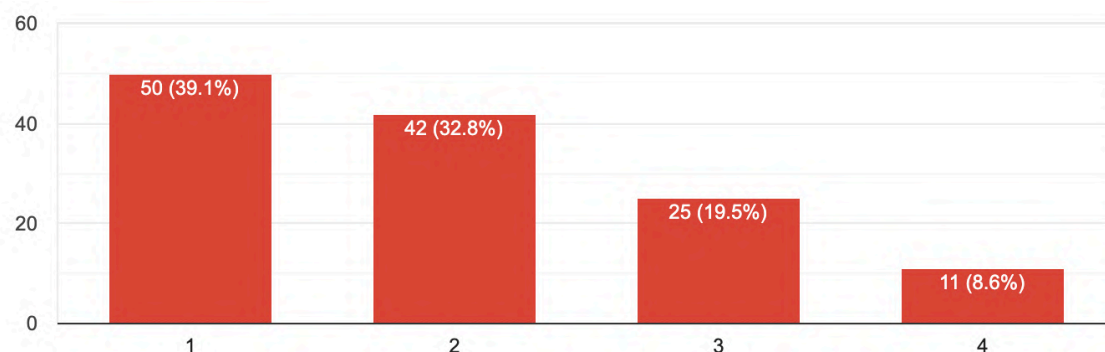
7%)、「ときどきあった」と回答した人は43人(34.1%)、「しばしばあった」と回答した人は30人(23.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は13人(10.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



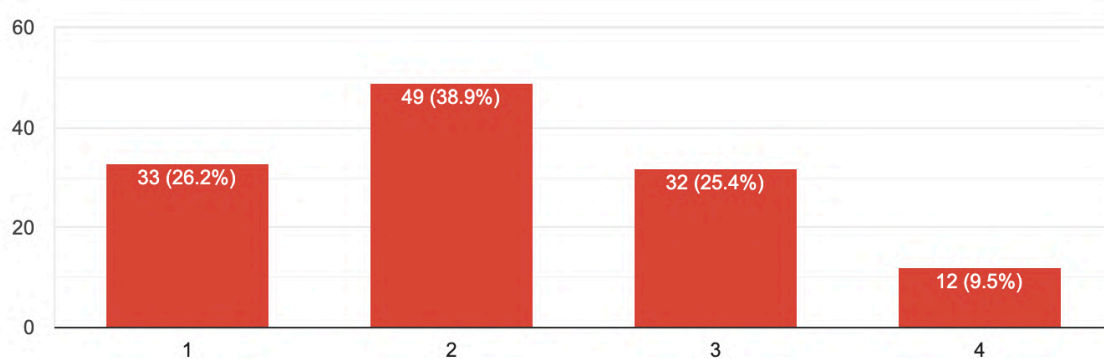
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

6. イライラしている

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は50人(39.1%)、「ときどきあった」と回答した人は42人(32.8%)、「しばしばあった」と回答した人は25人(19.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は11人(8.6%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



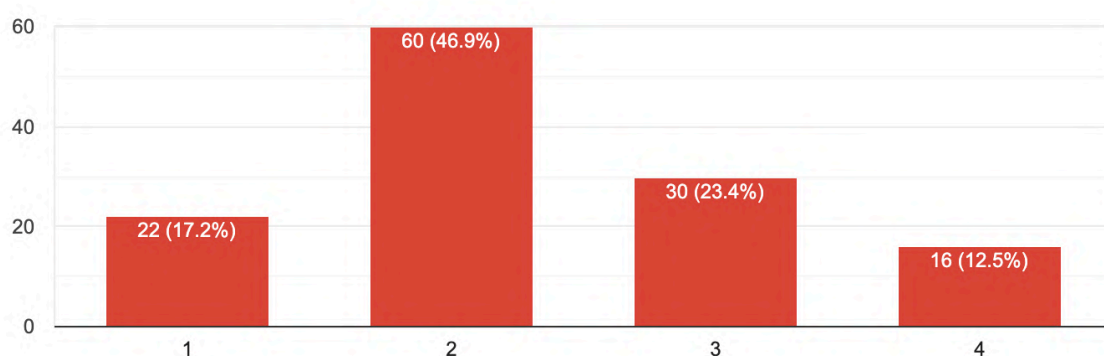
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は33人(26.2%)、「ときどきあった」と回答した人は49人(38.9%)、「しばしばあった」と回答した人は32人(25.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は12人(9.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



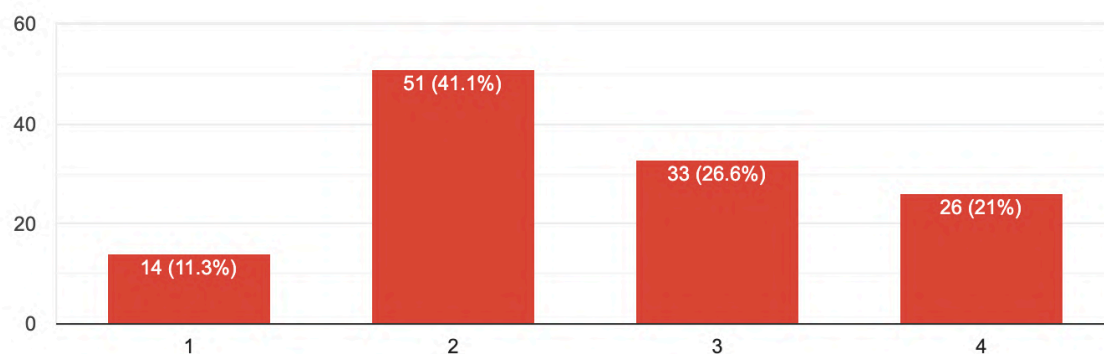
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

7. ひどく疲れた

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(17.2%)、「ときどきあった」と回答した人は60人(46.9%)、「しばしばあった」と回答した人は30人(23.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は16人(12.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



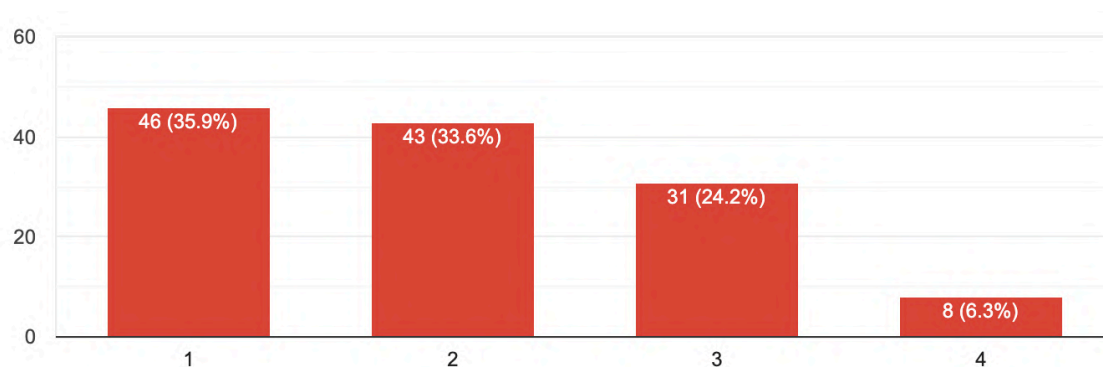
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は14人(11.3%)、「ときどきあった」と回答した人は51人(41.1%)、「しばしばあった」と回答した人は33人(26.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は26人(21%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人を選んだ。



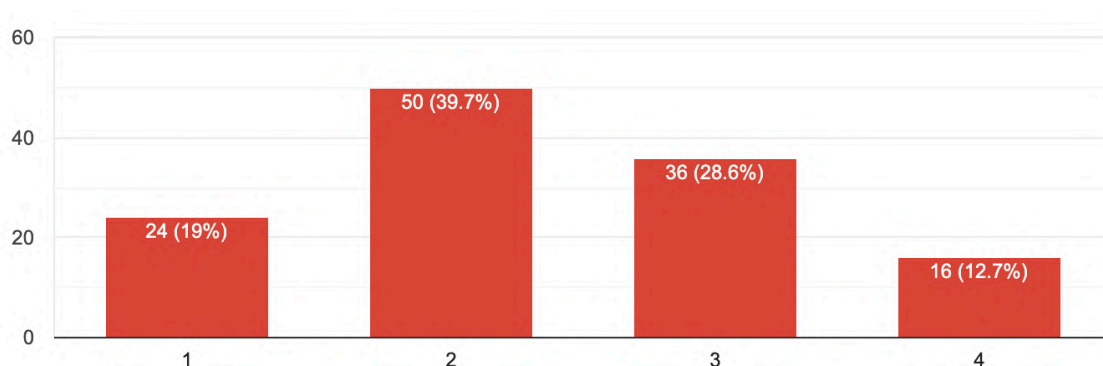
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

8. へとへとだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は46人(35.9%)、「ときどきあった」と回答した人は43人(33.6%)、「しばしばあった」と回答した人は31人(24.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人が選んだ。



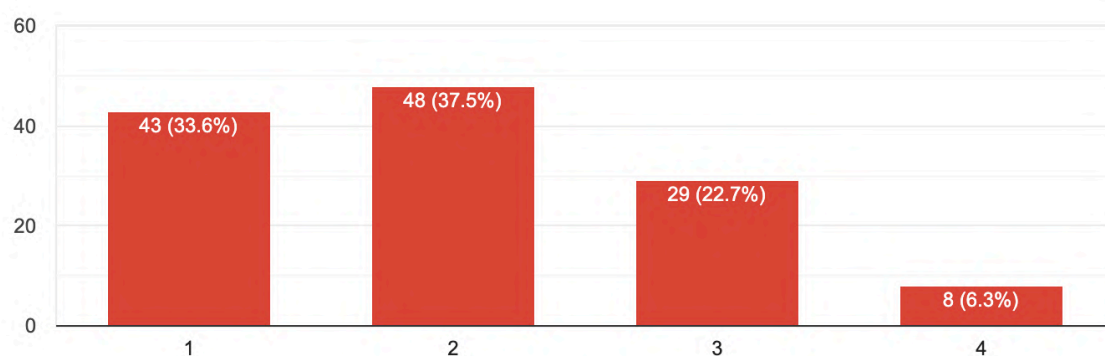
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は24人(19%)、「ときどきあった」と回答した人は50人(39.7%)、「しばしばあった」と回答した人は36人(28.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は16人(12.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



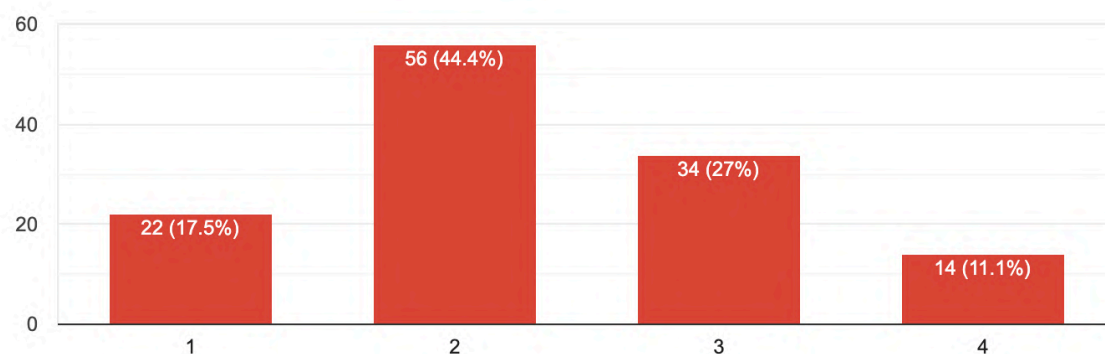
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

9. だるい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は43人(33.6%)、「ときどきあった」と回答した人は48人(37.5%)、「しばしばあった」と回答した人は29人(22.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



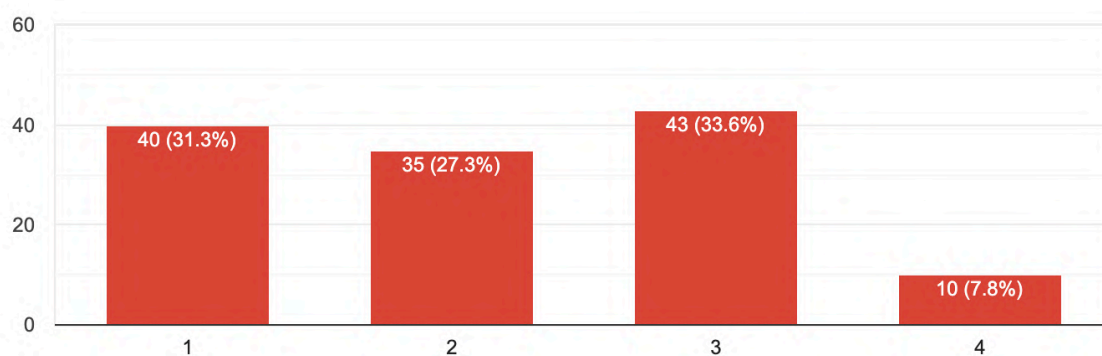
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は22人（17.5%）、「ときどきあった」と回答した人は56人（44.4%）、「しばしばあった」と回答した人は34人（27%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は14人（11.1%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

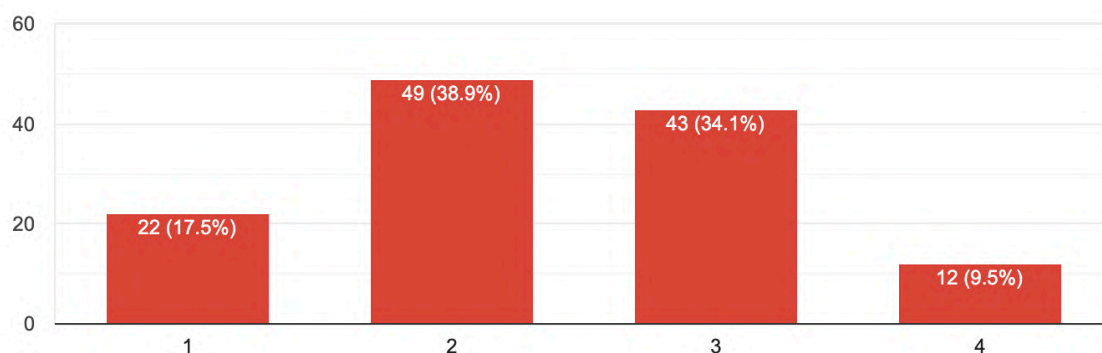
10. 気がはりつめている

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は40人（31.3%）、「ときどきあった」と回答した人は35人（27.3%）、「しばしばあった」と回答した人は43人（33.6%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人（7.8%）であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は22人（17.5%）、「ときどきあった」と回答した人は56人（44.4%）、「しばしばあった」と回答した人は34人（27%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は14人（11.1%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。

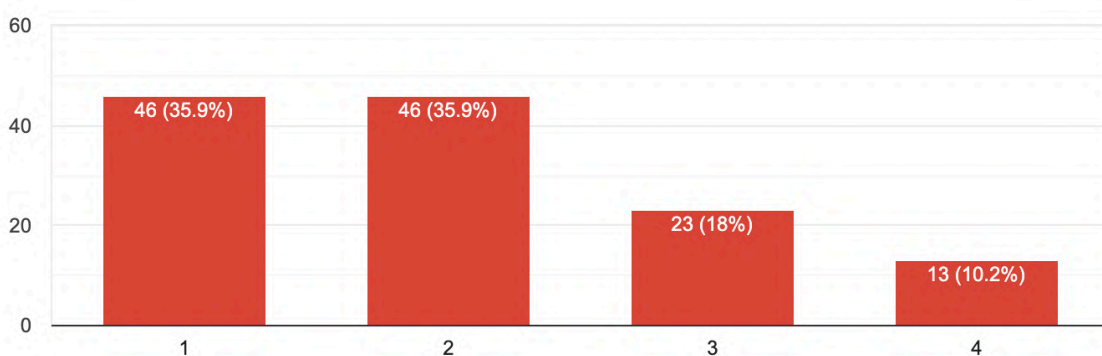
5%)、「ときどきあった」と回答した人は49人(38.9%)、「しばしばあった」と回答した人は43人(34.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は12人(9.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



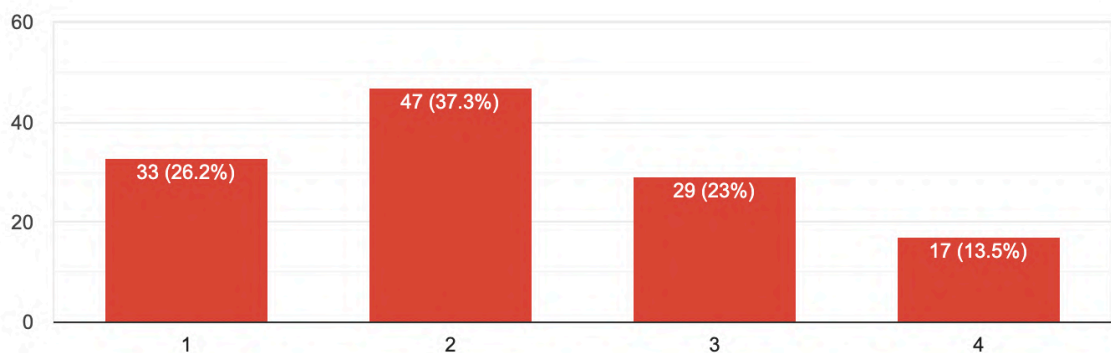
2020年度と2021年度を比較すると、「しばしばあった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

1.1. 不安だ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は46人(35.9%)、「ときどきあった」と回答した人は46人(35.9%)、「しばしばあった」と回答した人は23人(18%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は13人(10.2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」と「ときどきあった」で、いずれも40%近くの人を選んだ。



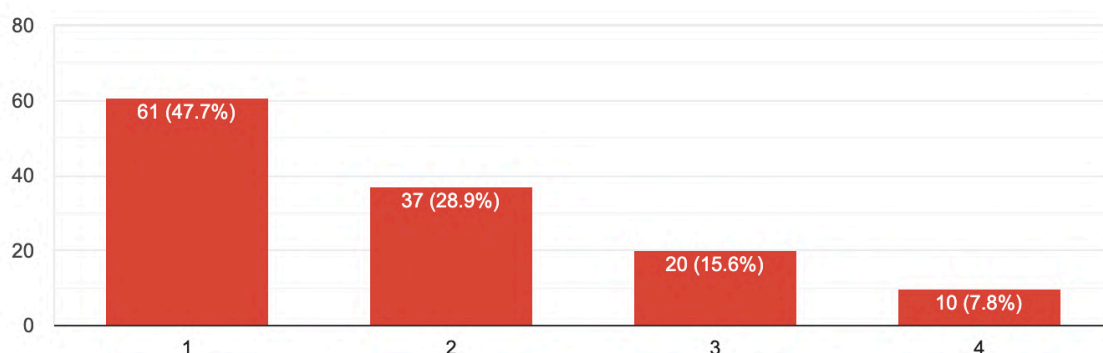
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は33人(26.2%)、「ときどきあった」と回答した人は47人(37.3%)、「しばしばあった」と回答した人は29人(23%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は17人(13.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



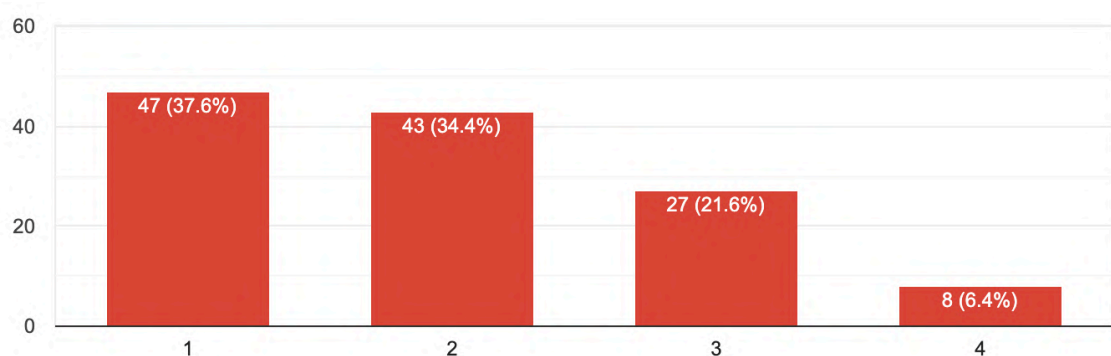
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

12. 落ち着きがない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は61人(47.7%)、「ときどきあった」と回答した人は37人(28.9%)、「しばしばあった」と回答した人は20人(15.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(7.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は47人(37.6%)、「ときどきあった」と回答した人は43人(34.4%)、「しばしばあった」と回答した人は27人(21.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.4%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。

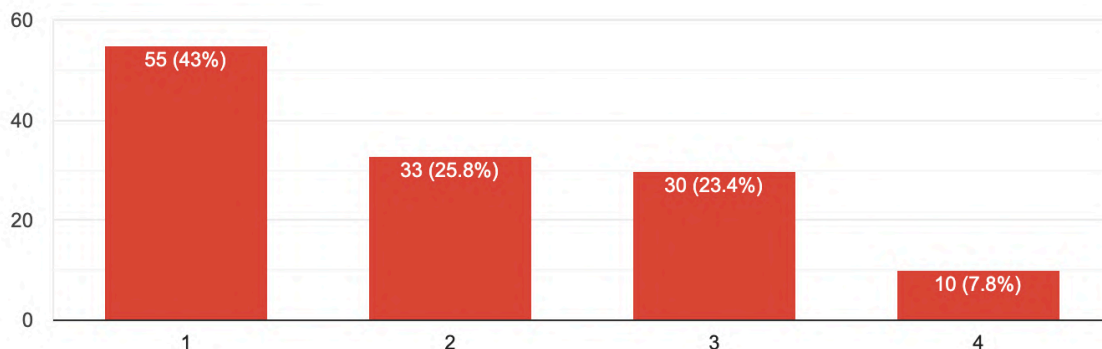


2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向

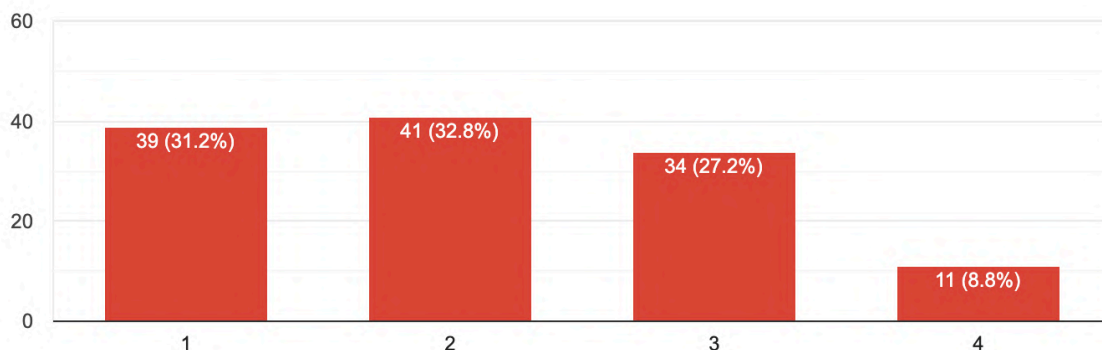
向にあった。

13. ゆううつだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は55人(43%)、「ときどきあった」と回答した人は33人(25.8%)、「しばしばあった」と回答した人は30人(23.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(7.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



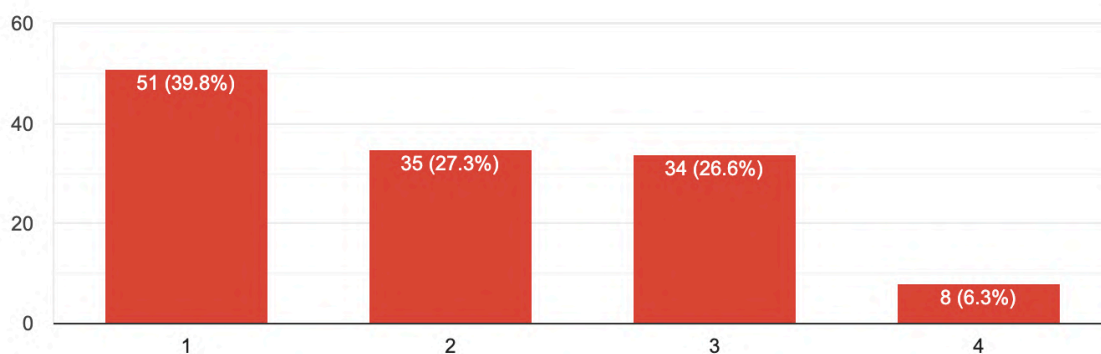
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は39人(31.2%)、「ときどきあった」と回答した人は41人(32.8%)、「しばしばあった」と回答した人は34人(27.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は11人(8.8%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



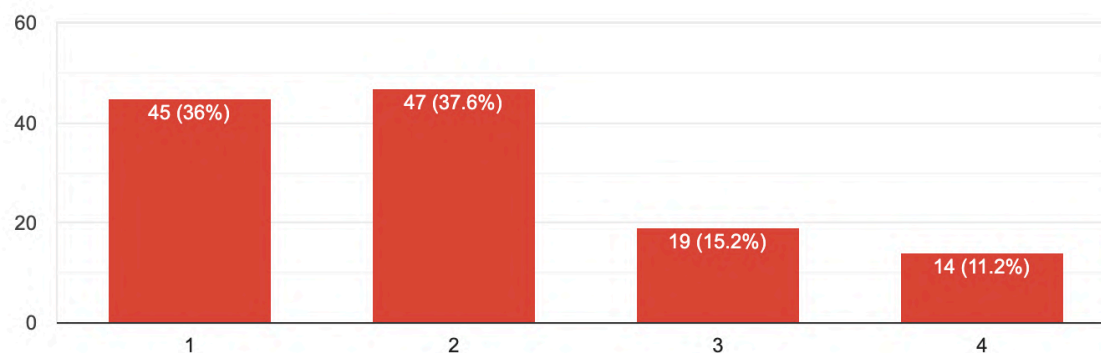
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

14. 何をするにも面倒だ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は51人(39.8%)、「ときどきあった」と回答した人は35人(27.3%)、「しばしばあった」と回答した人は34人(26.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人が選んだ。



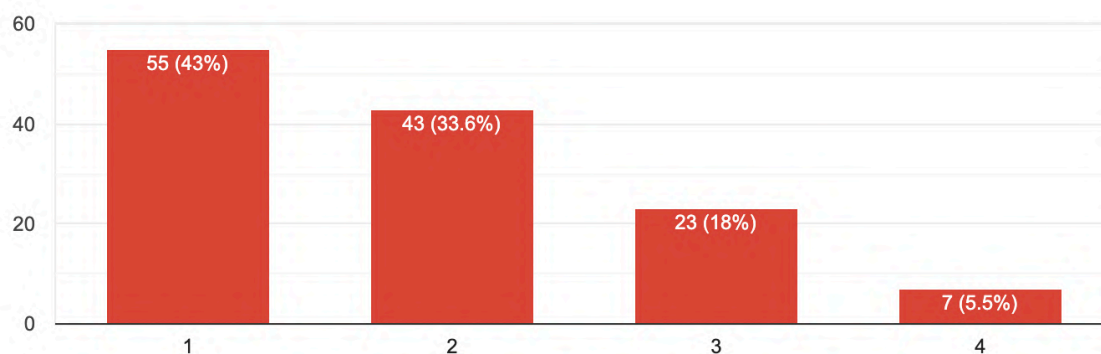
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は45人(36%)、「ときどきあった」と回答した人は47人(37.6%)、「しばしばあった」と回答した人は19人(15.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は14人(11.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

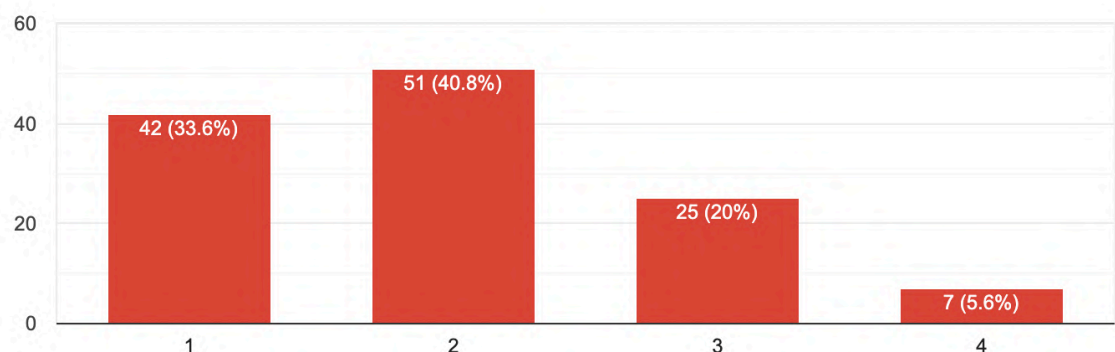
15. 物事に集中できない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は55人(43%)、「ときどきあった」と回答した人は43人(33.6%)、「しばしばあった」と回答した人は23人(18%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人(5.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は42人(33.6%)、「ときどきあった」と回答した人は47人(37.6%)、「しばしばあった」と回答した人は19人(15.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は14人(11.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。

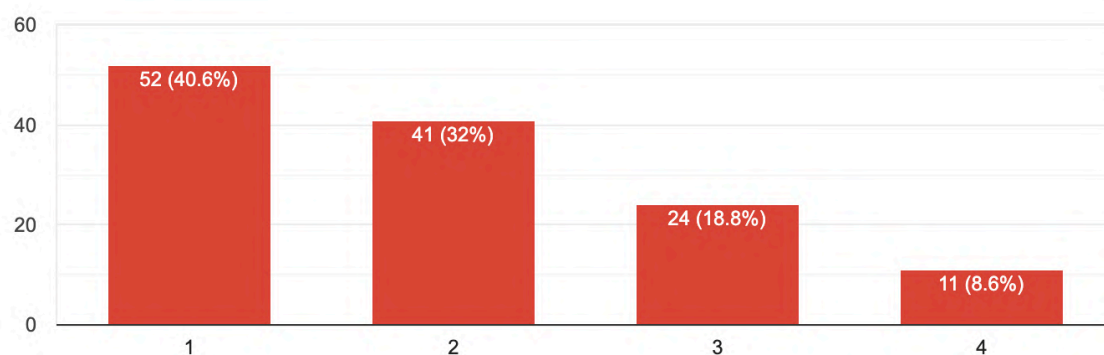
6%)、「ときどきあった」と回答した人は51人(40.8%)、「しばしばあった」と回答した人は25人(20%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人(5.6%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



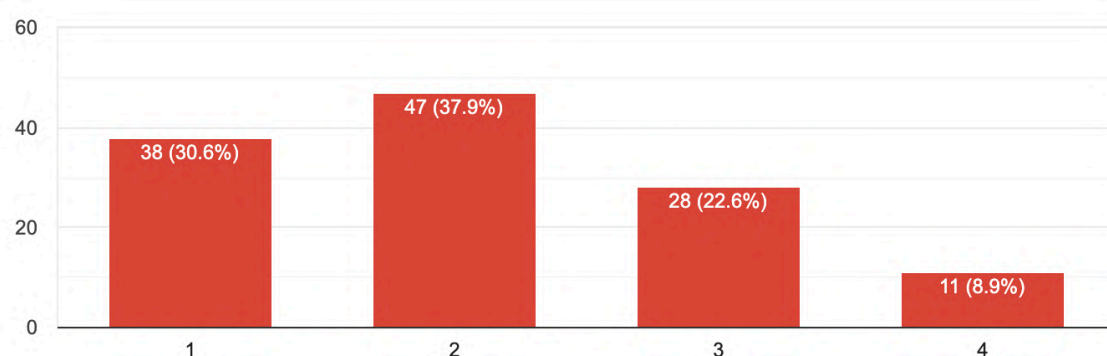
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

16. 気分が晴れない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は52人(40.6%)、「ときどきあった」と回答した人は41人(32%)、「しばしばあった」と回答した人は24人(18.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は11人(8.6%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



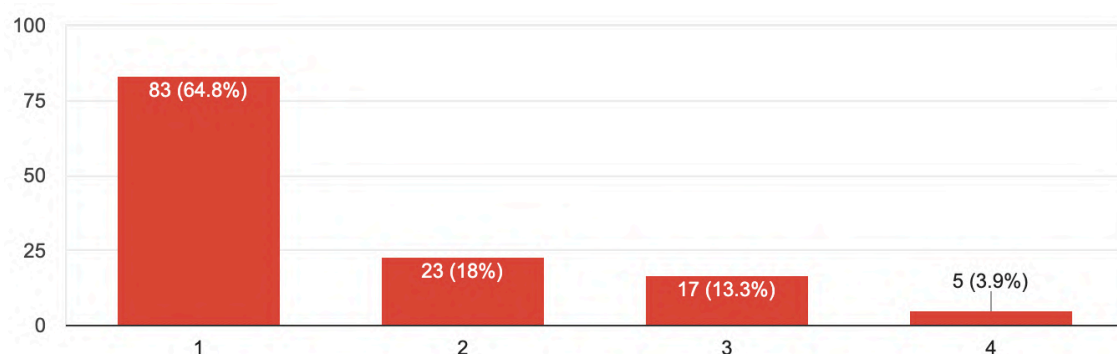
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は38人(30.6%)、「ときどきあった」と回答した人は47人(37.9%)、「しばしばあった」と回答した人は28人(22.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は11人(8.9%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



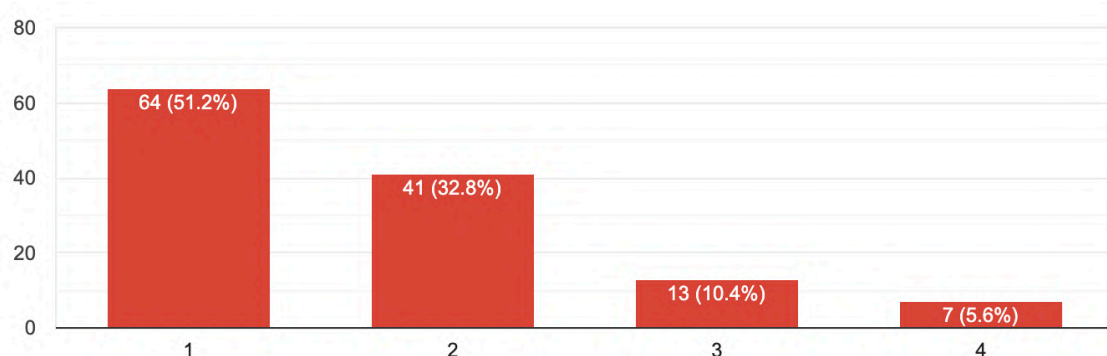
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

17. 仕事が手につかない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は83人(64.8%)、「ときどきあった」と回答した人は23人(18%)、「しばしばあった」と回答した人は17人(13.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(3.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は64人(51.2%)、「ときどきあった」と回答した人は41人(32.8%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(10.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人(5.6%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。

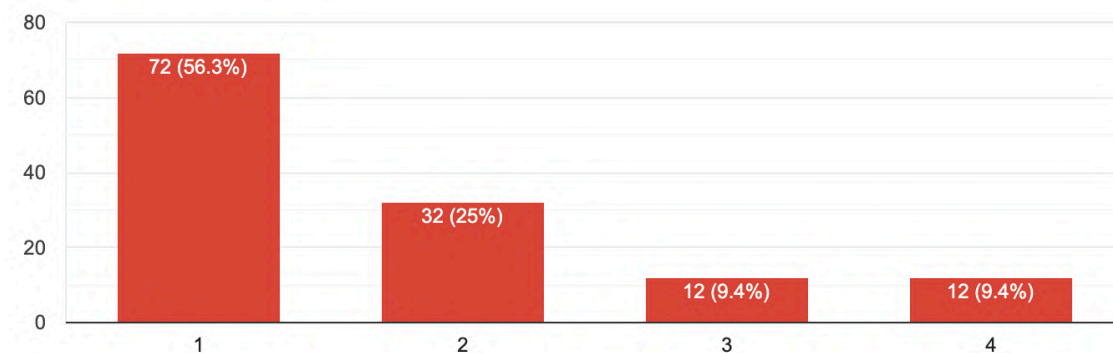


2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向

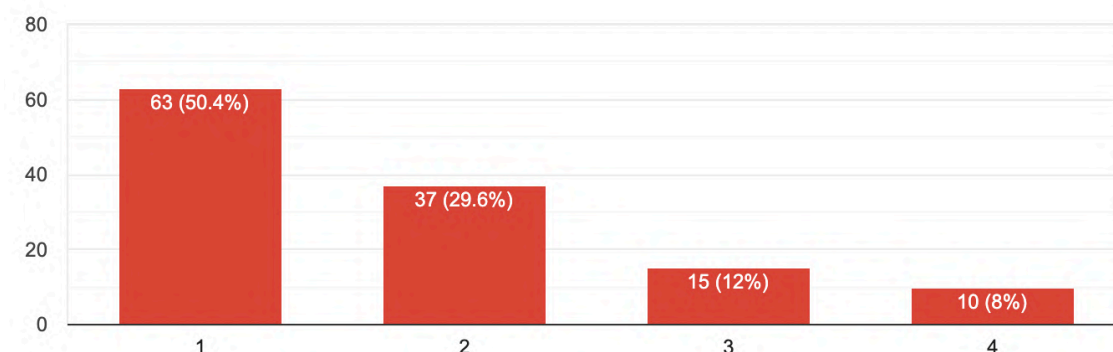
向にあった。

18. 悲しいと感じる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は72人(56.3%)、「ときどきあった」と回答した人は32人(25%)、「しばしばあった」と回答した人は12人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は12人(9.4%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



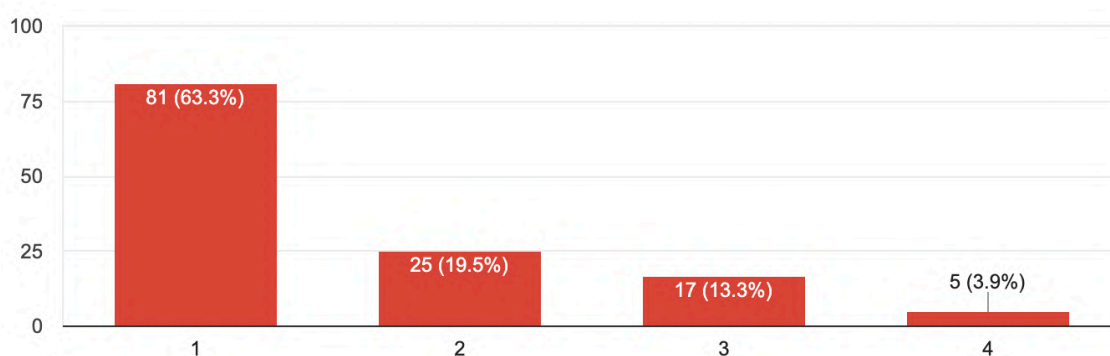
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は63人(50.4%)、「ときどきあった」と回答した人は37人(29.6%)、「しばしばあった」と回答した人は15人(12%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



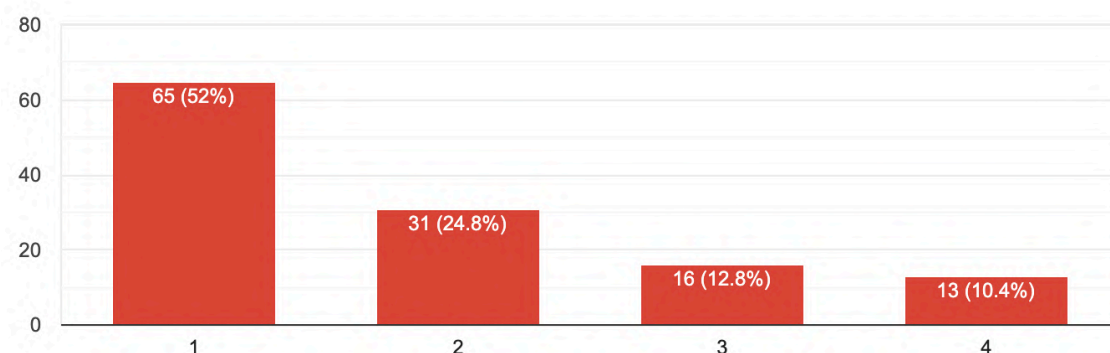
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

19. めまいがする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は81人(63.3%)、「ときどきあった」と回答した人は25人(19.5%)、「しばしばあった」と回答した人は17人(13.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(3.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



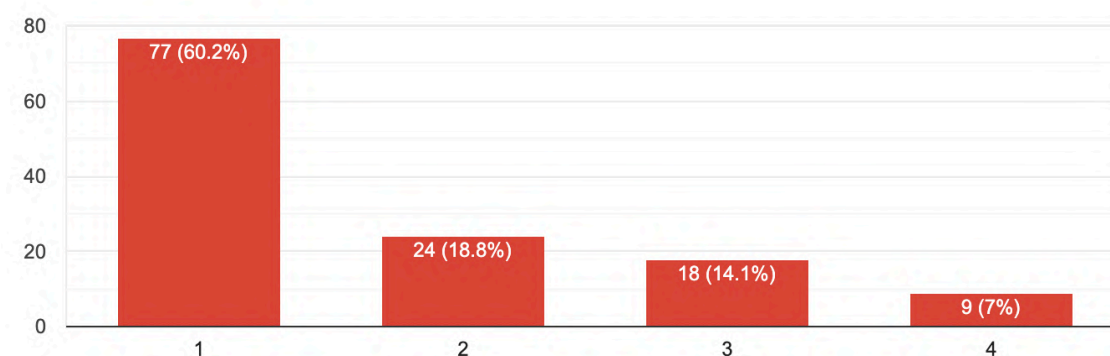
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は65人(52%)、「ときどきあった」と回答した人は31人(24.8%)、「しばしばあった」と回答した人は16人(12.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は9人(7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向にあった。

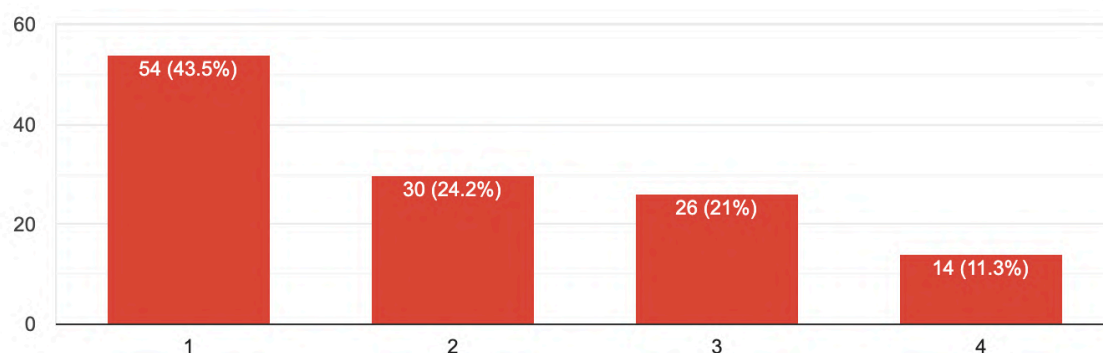
20. 体のふしぶしが痛む

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は77人(60.2%)、「ときどきあった」と回答した人は24人(18.8%)、「しばしばあった」と回答した人は18人(14.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は9人(7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は54人(43.3%)、「ときどきあった」と回答した人は24人(18.8%)、「しばしばあった」と回答した人は18人(14.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は9人(7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、43%近くの人を選んだ。

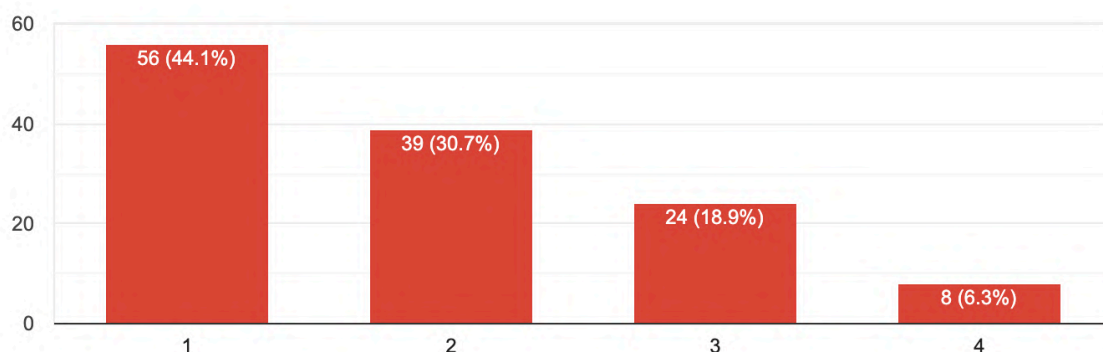
5%)、「ときどきあった」と回答した人は30人(24.2%)、「しばしばあった」と回答した人は26人(21%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は14人(11.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



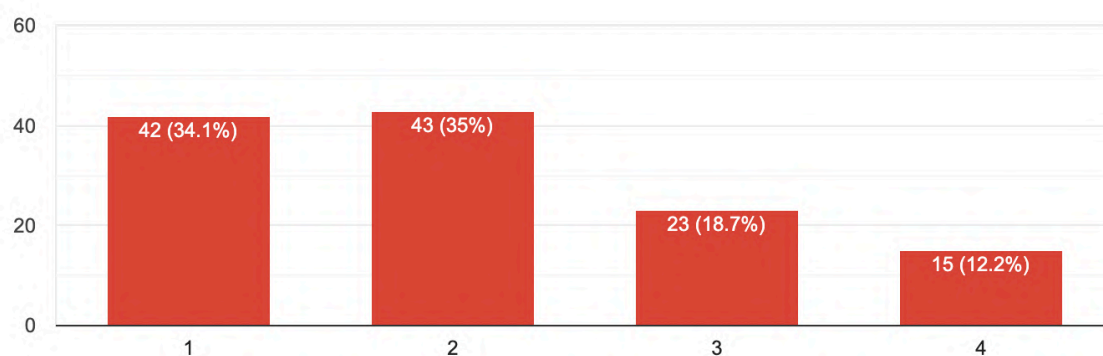
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向にあった。

2.1. 頭が重かったり頭痛がする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は56人(44.1%)、「ときどきあった」と回答した人は39人(30.7%)、「しばしばあった」と回答した人は24人(18.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



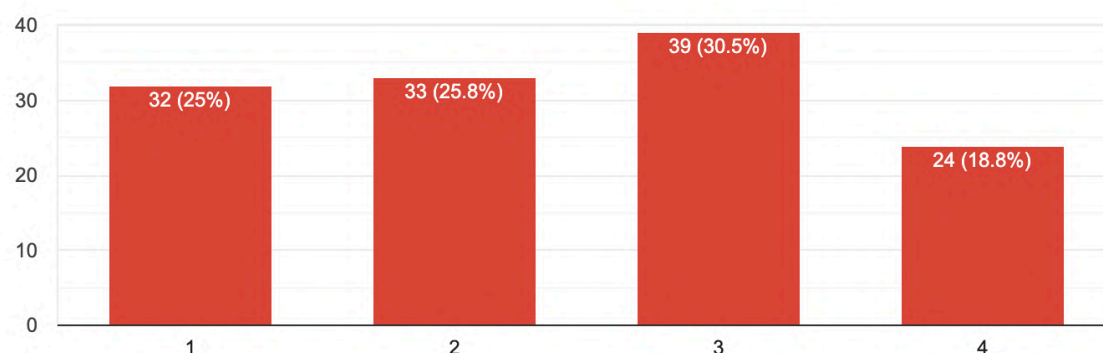
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は42人(34.1%)、「ときどきあった」と回答した人は43人(35%)、「しばしばあった」と回答した人は23人(18.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は15人(12.2%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。



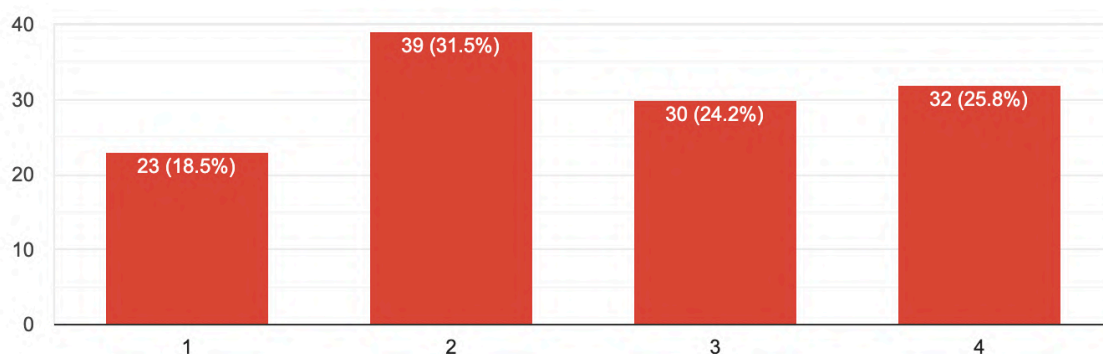
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

2.2. 首筋や肩がこる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は32人(25%)、「ときどきあった」と回答した人は33人(25.8%)、「しばしばあった」と回答した人は39人(30.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は24人(18.8%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は23人(18.5%)、「ときどきあった」と回答した人は39人(31.5%)、「しばしばあった」と回答した人は30人(24.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は32人(25.8%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。

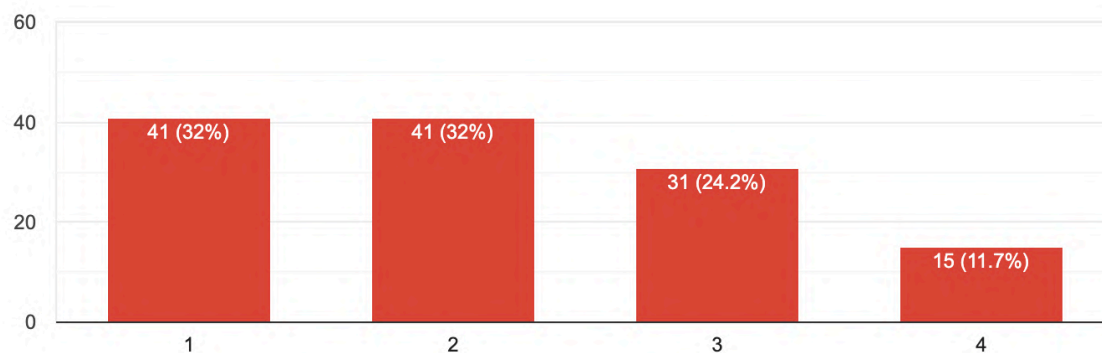


2020年度と2021年度を比較すると、「しばしばあった」の減少が見られる一方、

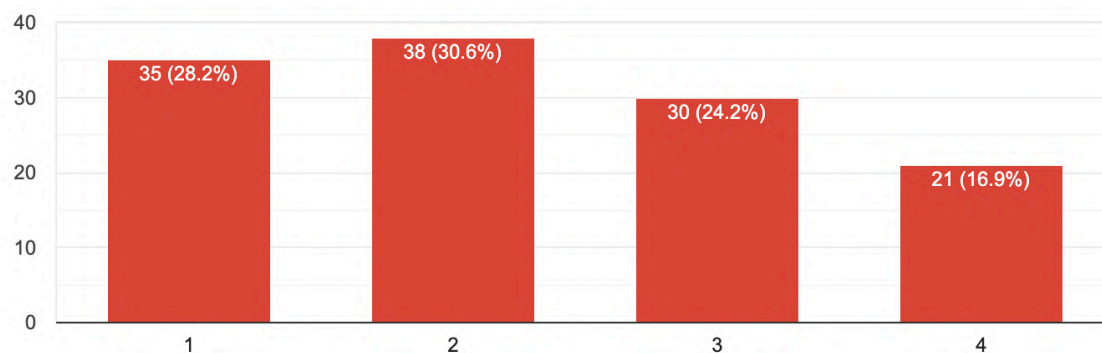
「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

23. 腰が痛い

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は41人(32%)、「ときどきあった」と回答した人は41人(32%)、「しばしばあった」と回答した人は31人(24.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は15人(11.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」と「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



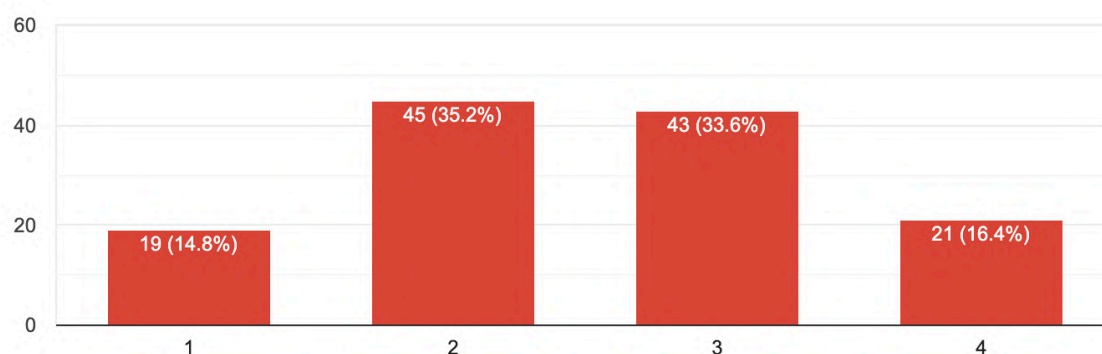
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は35人(28.2%)、「ときどきあった」と回答した人は38人(30.6%)、「しばしばあった」と回答した人は30人(24.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は21人(16.9%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



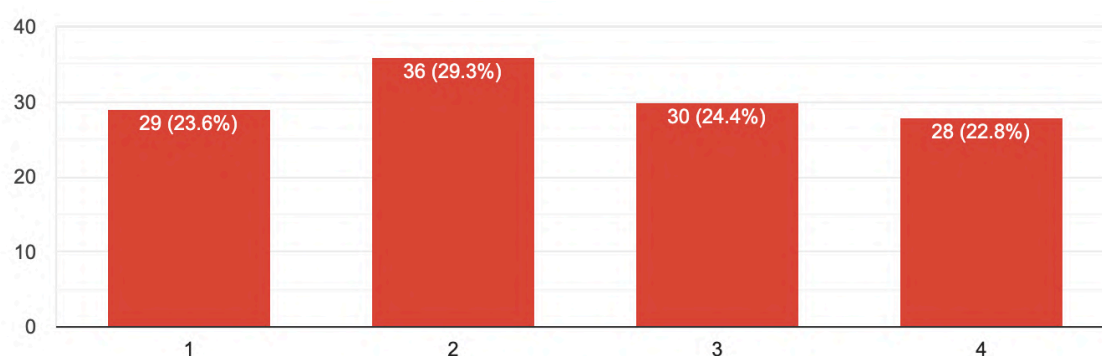
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

24. 目が疲れる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は19人(14.8%)、「ときどきあった」と回答した人は45人(35.2%)、「しばしばあった」と回答した人は43人(33.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は21人(16.4%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



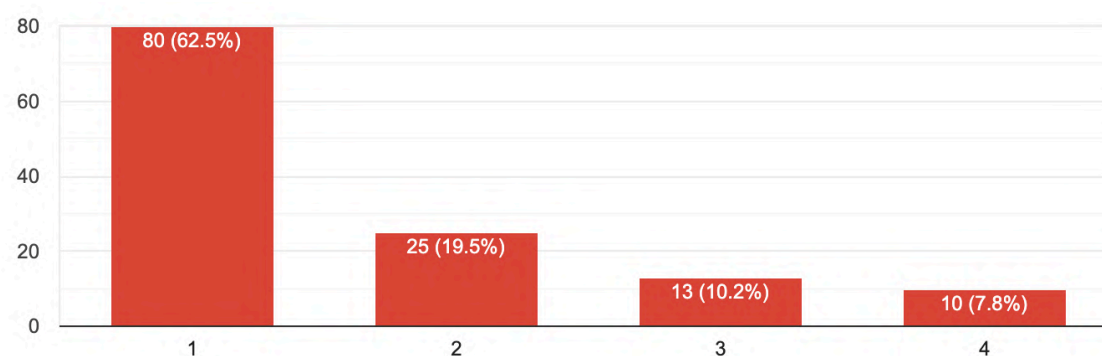
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は29人(23.6%)、「ときどきあった」と回答した人は36人(29.3%)、「しばしばあった」と回答した人は30人(24.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は28人(22.8%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、30%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向にあった。

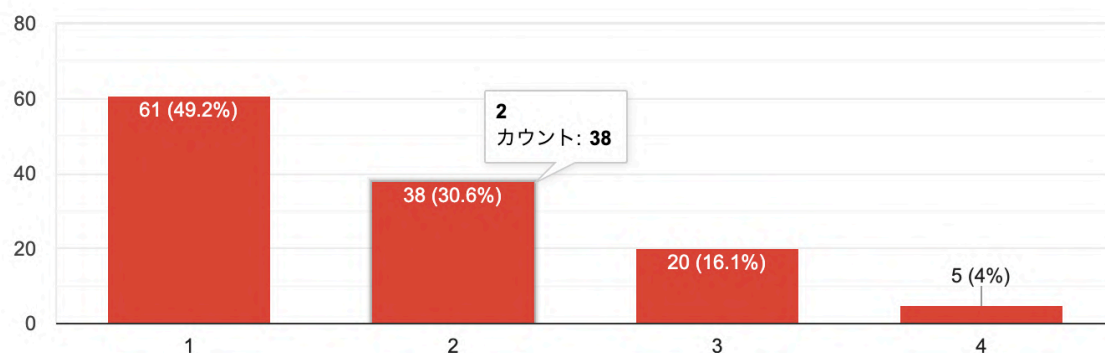
2.5. 動機や息切れがする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は80人(62.5%)、「ときどきあった」と回答した人は25人(19.5%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(10.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(7.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は61人(49.2%)、「ときどきあった」と回答した人は25人(20.0%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(10.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(8.0%)であった。

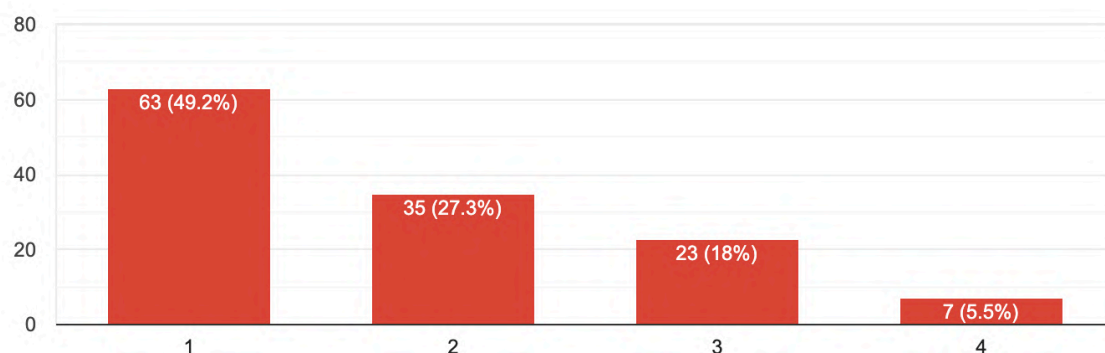
2%)、「ときどきあった」と回答した人は38人(30.6%)、「しばしばあった」と回答した人は20人(16.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(4%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



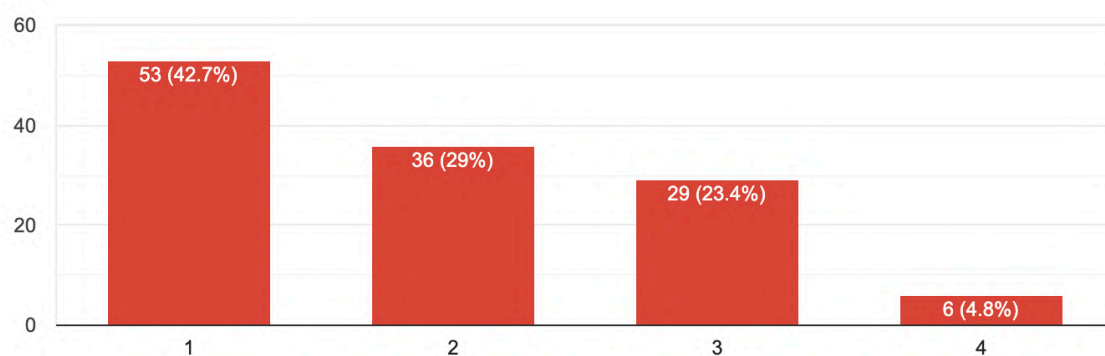
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向にあった。

26. 胃腸の具合が悪い

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は63人(49.2%)、「ときどきあった」と回答した人は35人(27.3%)、「しばしばあった」と回答した人は23人(18%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は7人(5.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



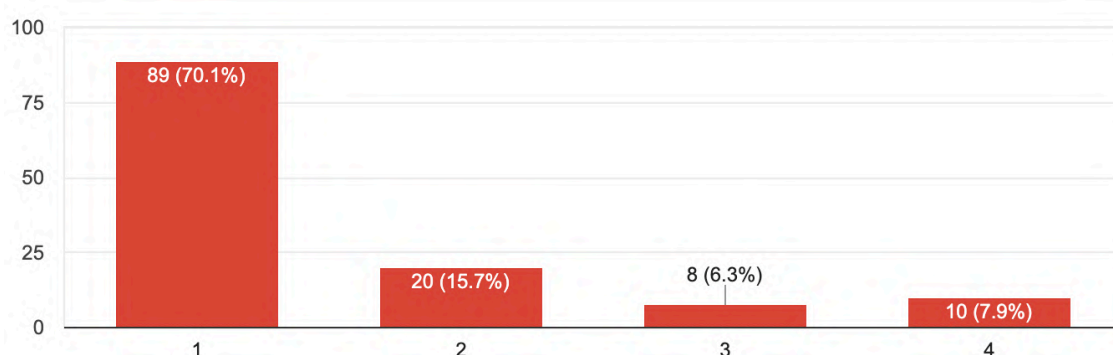
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は53人(42.7%)、「ときどきあった」と回答した人は36人(29%)、「しばしばあった」と回答した人は29人(23.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(4.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



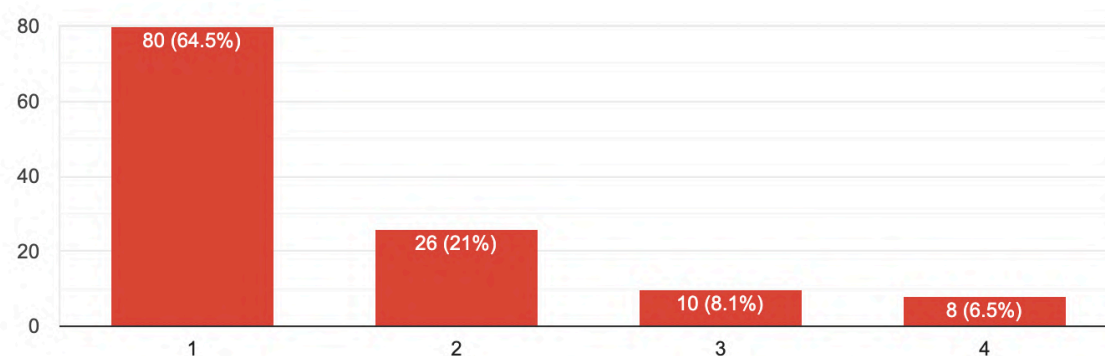
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

27. 食欲がない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は89人(70.1%)、「ときどきあった」と回答した人は20人(15.7%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(6.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(7.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、80%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は80人(64.5%)、「ときどきあった」と回答した人は26人(21%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(8.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(6.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%近くの人を選んだ。

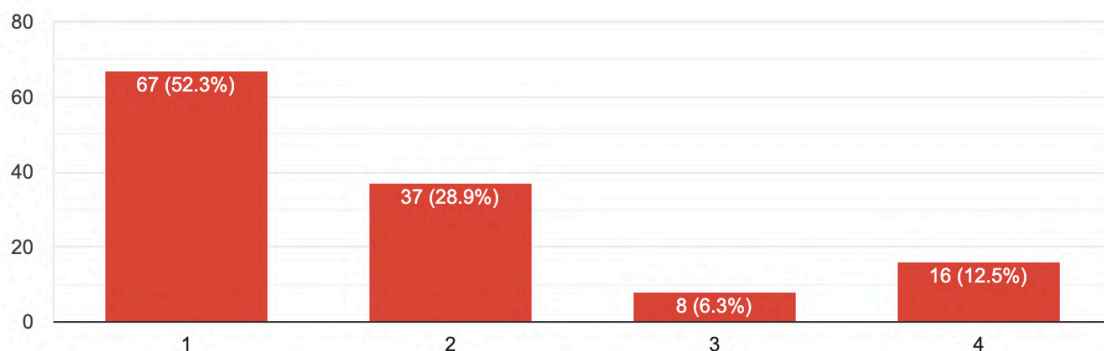


2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾

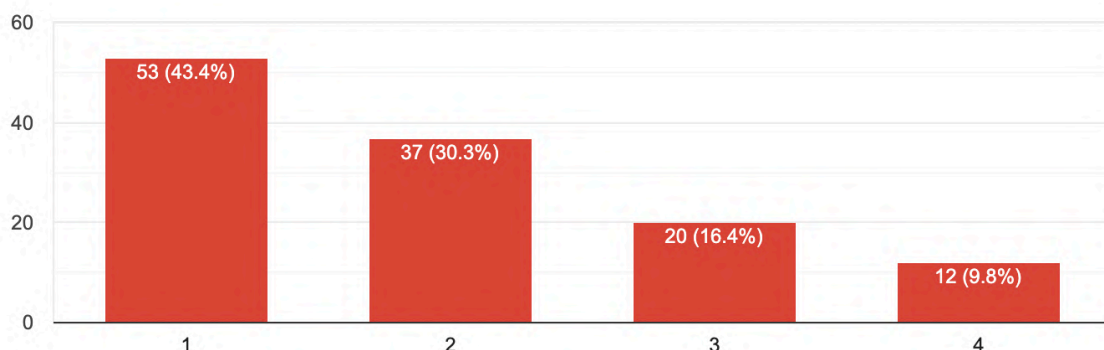
向にあった。

28. 便秘や下痢をする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は67人(52.3%)、「ときどきあった」と回答した人は37人(28.9%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(6.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は16人(12.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



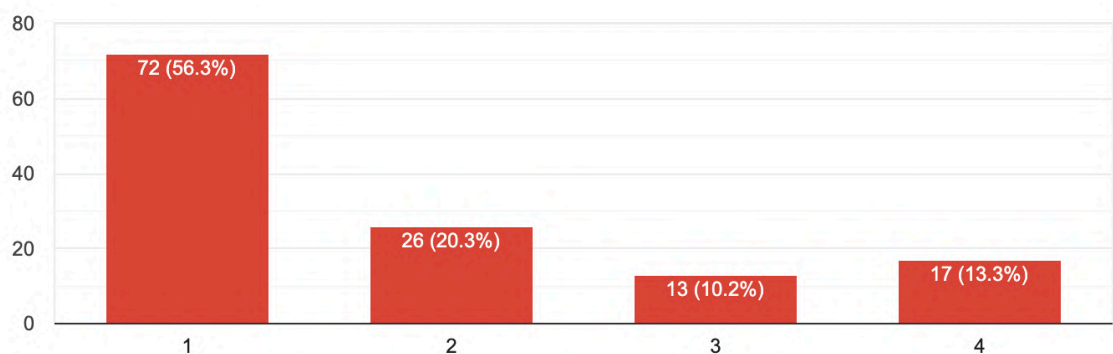
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は53人(43.4%)、「ときどきあった」と回答した人は37人(30.3%)、「しばしばあった」と回答した人は20人(16.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は12人(9.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



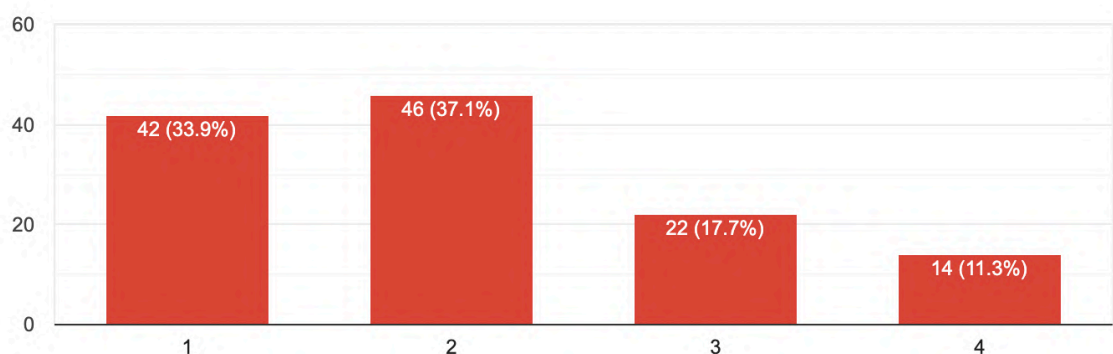
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の増加が見られる傾向にあった。

29. よく眠れない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は72人(56.3%)、「ときどきあった」と回答した人は26人(20.3%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(10.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は17人(13.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は42人（33.9%）、「ときどきあった」と回答した人は46人（37.1%）、「しばしばあった」と回答した人は22人（17.7%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は14人（11.3%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

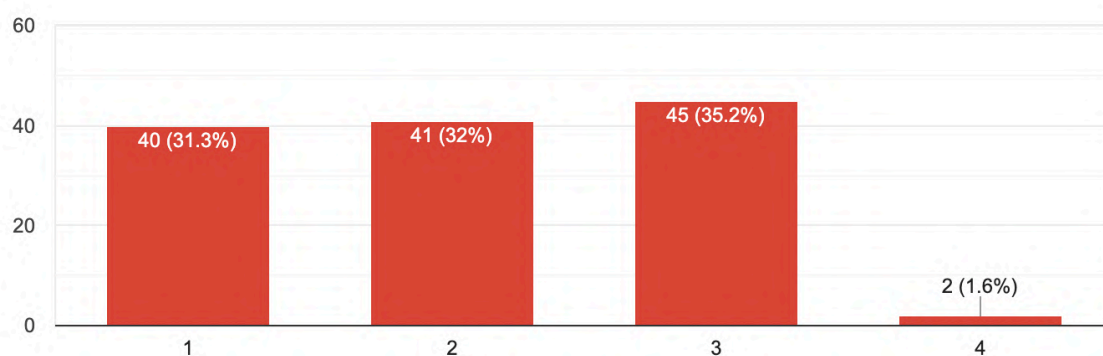
C 周りの方々について9の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

1. 非常に 2. かなり 3. 多少 4. 全くない

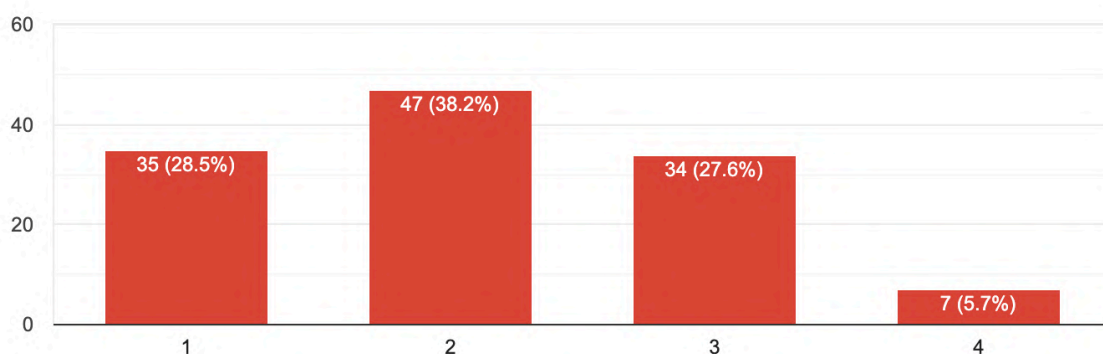
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか？

1. 上司

2020年度は「非常に」と回答した人は40人（31.3%）、「かなり」と回答した人は41人（32%）、「多少」と回答した人は45人（35.2%）、「全くない」と回答した人は2人（1.6%）であった。最も多かったのは「多少」で、40%近くの人を選んだ。



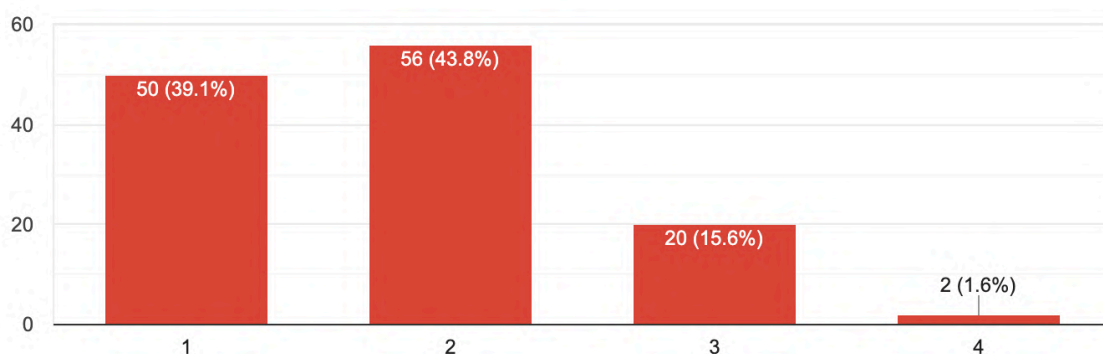
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は35人(28.5%)、「かなり」と回答した人は47人(38.2%)、「多少」と回答した人は34人(27.6%)、「全くない」と回答した人は7人(5.7%)であった。最も多かったのは「かなり」で、40%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「多少」の減少が見られる一方、「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

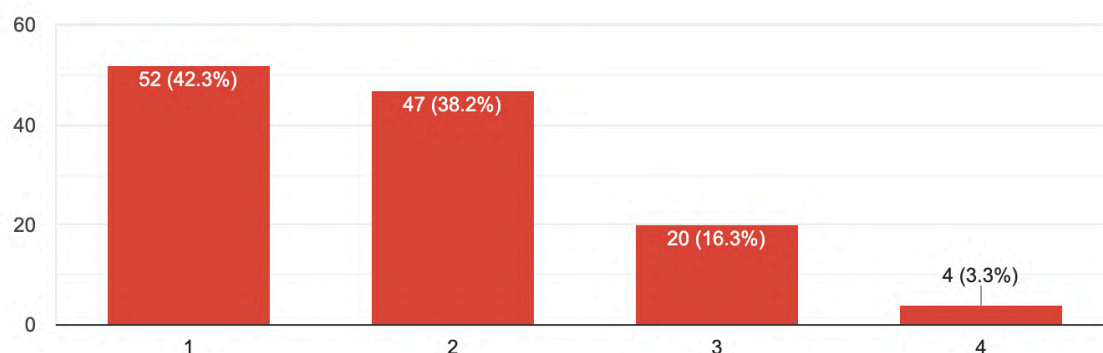
2. 職場の同僚

2020年度は「非常に」と回答した人は50人(39.1%)、「かなり」と回答した人は56人(43.8%)、「多少」と回答した人は20人(15.6%)、「全くない」と回答した人は2人(1.6%)であった。最も多かったのは「かなり」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は52人(42.3%)、「か

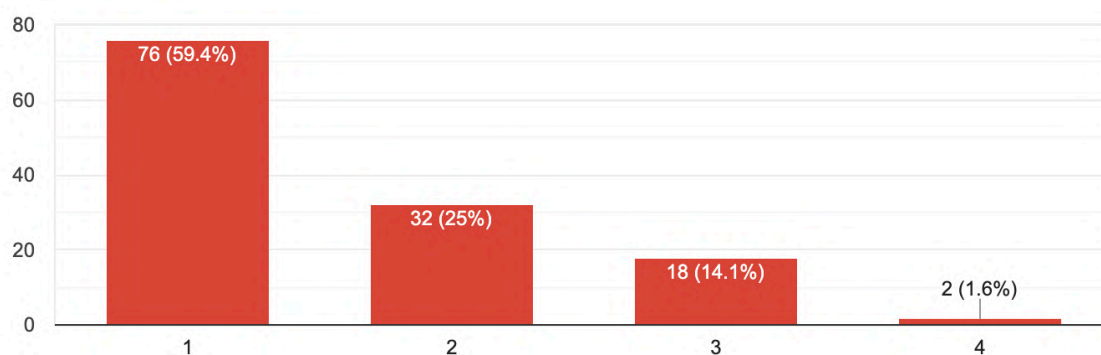
なり」と回答した人は47人(38.2%)、「多少」と回答した人は20人(16.3%)、「全くない」と回答した人は4人(3.3%)であった。最も多かったのは「非常に」で、50%近くの人を選んだ。



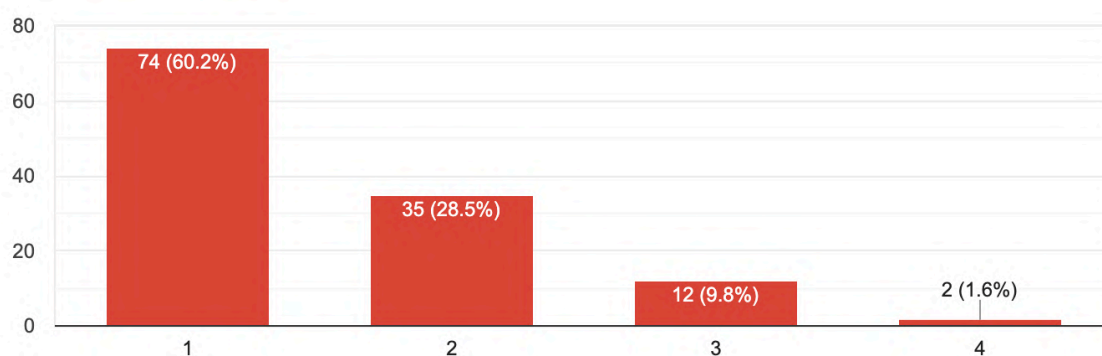
2020年度と2021年度を比較すると、「かなり」の減少が見られる一方、「非常に」の増加が見られる傾向にあった。

3. 配偶者、家族、友人等

2020年度は「非常に」と回答した人は76人(59.4%)、「かなり」と回答した人は32人(25%)、「多少」と回答した人は18人(14.1%)、「全くない」と回答した人は2人(1.6%)であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は74人(60.2%)、「かなり」と回答した人は35人(28.5%)、「多少」と回答した人は12人(9.8%)、「全くない」と回答した人は2人(1.6%)であった。最も多かったのは「非常に」で、70%近くの人を選んだ。

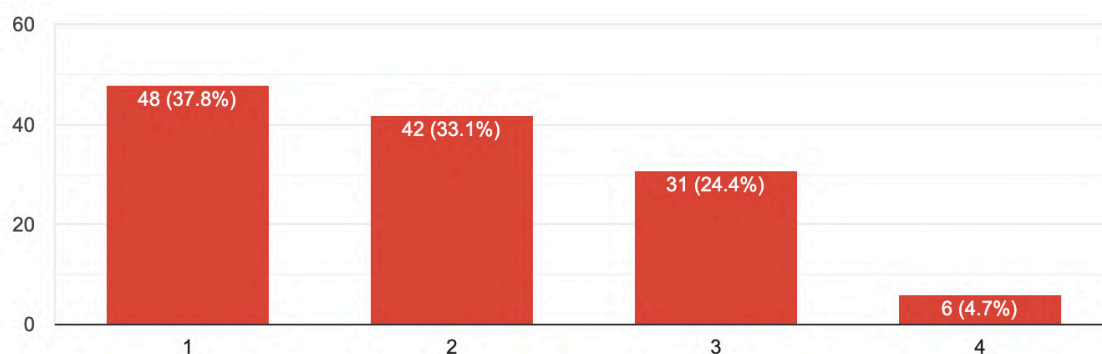


2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

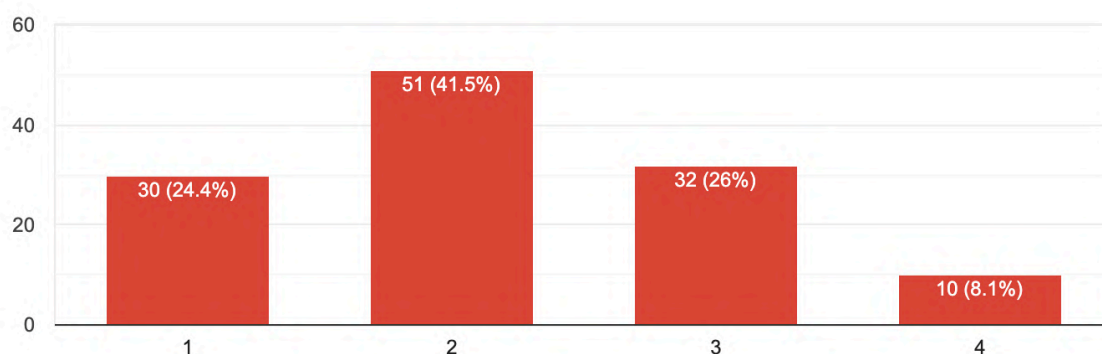
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか？

4. 上司

2020年度は「非常に」と回答した人は48人（37.8%）、「かなり」と回答した人は42人（33.1%）、「多少」と回答した人は31人（24.4%）、「全くない」と回答した人は6人（4.7%）であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。



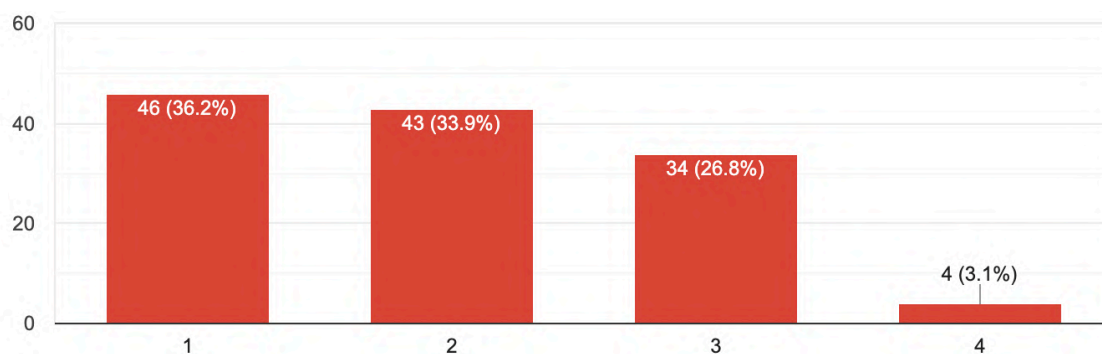
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は30人（24.4%）、「かなり」と回答した人は51人（41.5%）、「多少」と回答した人は32人（26%）、「全くない」と回答した人は10人（8.1%）であった。最も多かったのは「かなり」で、50%近くの人を選んだ。



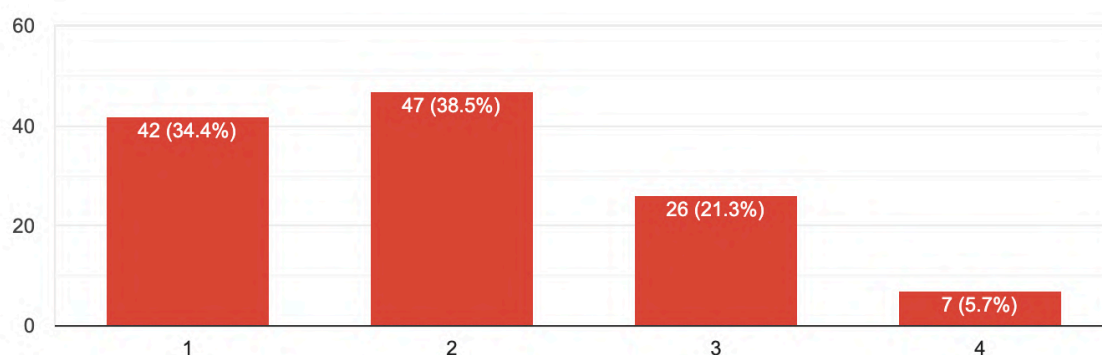
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

5. 職場の同僚

2020年度は「非常に」と回答した人は46（36.2%）、「かなり」と回答した人は43人（33.9%）、「多少」と回答した人は34人（26.8%）、「全くない」と回答した人は4人（3.1%）であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。



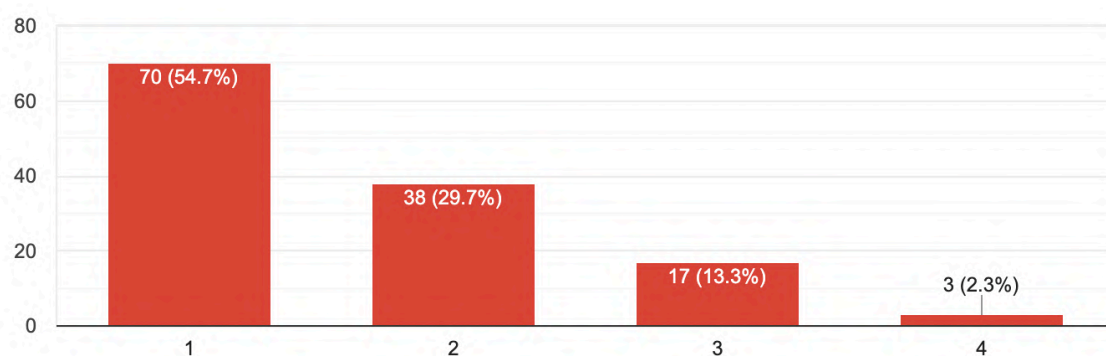
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は42人（34.4%）、「かなり」と回答した人は47人（38.5%）、「多少」と回答した人は26人（21.3%）、「全くない」と回答した人は7人（5.7%）であった。最も多かったのは「かなり」で、40%近くの人を選んだ。



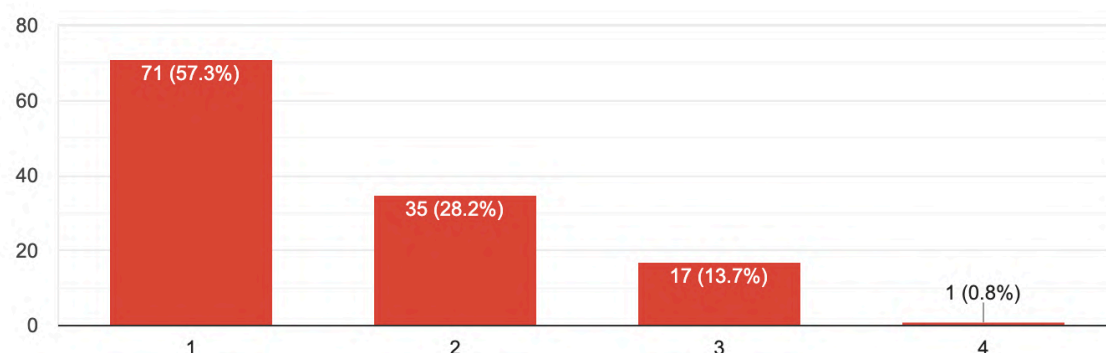
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

6. 配偶者、家族、友人等

2020年度は「非常に」と回答した人は70人（54.7%）、「かなり」と回答した人は38人（29.7%）、「多少」と回答した人は17人（13.3%）、「全くない」と回答した人は3人（2.3%）であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は71人（57.3%）、「かなり」と回答した人は35人（28.2%）、「多少」と回答した人は17人（13.7%）、「全くない」と回答した人は1人（0.8%）であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。

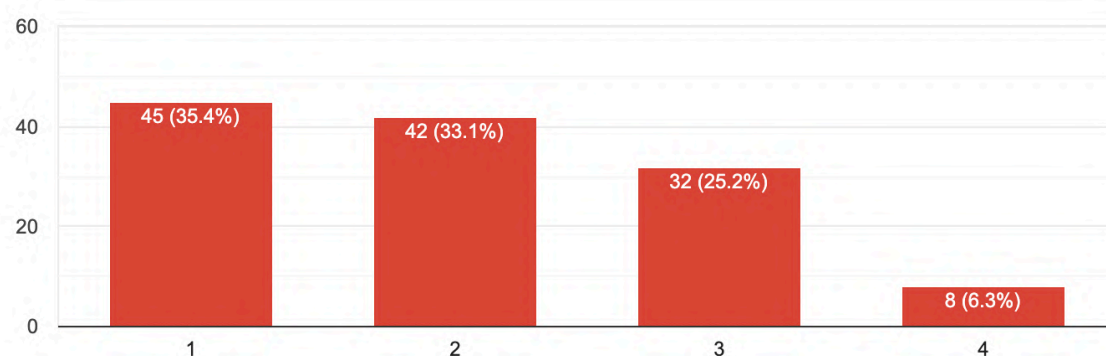


2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか？

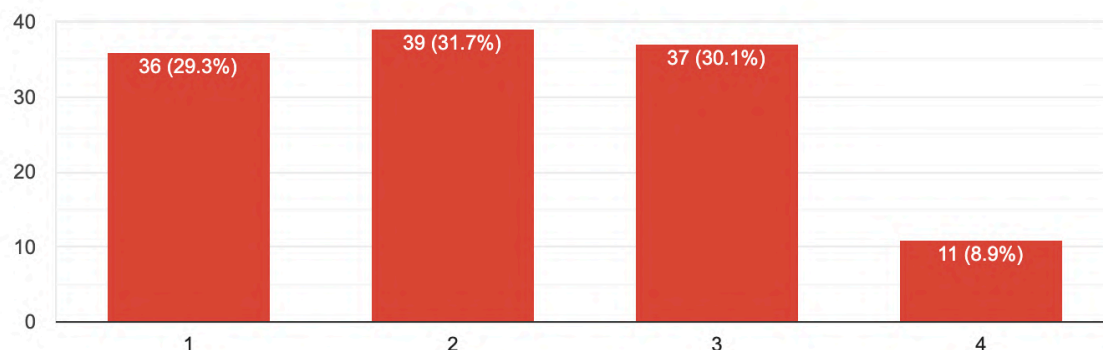
7. 上司

2020年度は「非常に」と回答した人は45人（35.4%）、「かなり」と回答した人は42人（33.1%）、「多少」と回答した人は32人（25.2%）、「全くない」と回答した人は8人（6.3%）であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は36人（29.3%）、「か

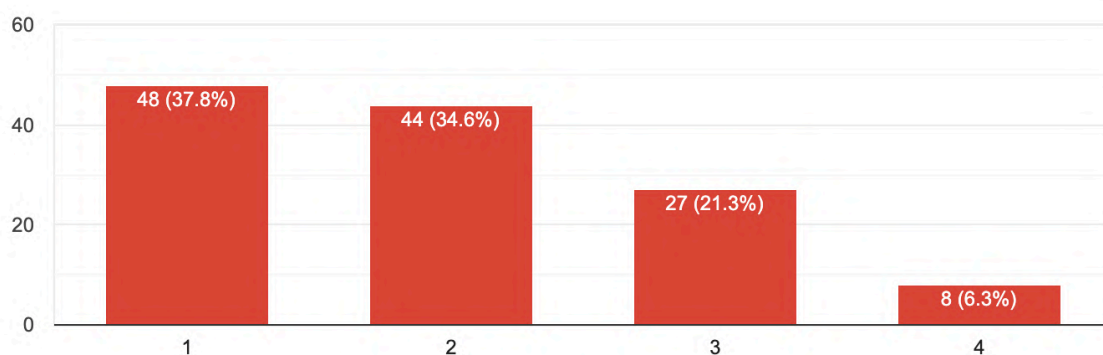
なり」と回答した人は39人（31.7%）、「多少」と回答した人は37人（30.1%）、「全くない」と回答した人は11人（8.9%）であった。最も多かったのは「かなり」で、40%近くの人を選んだ。



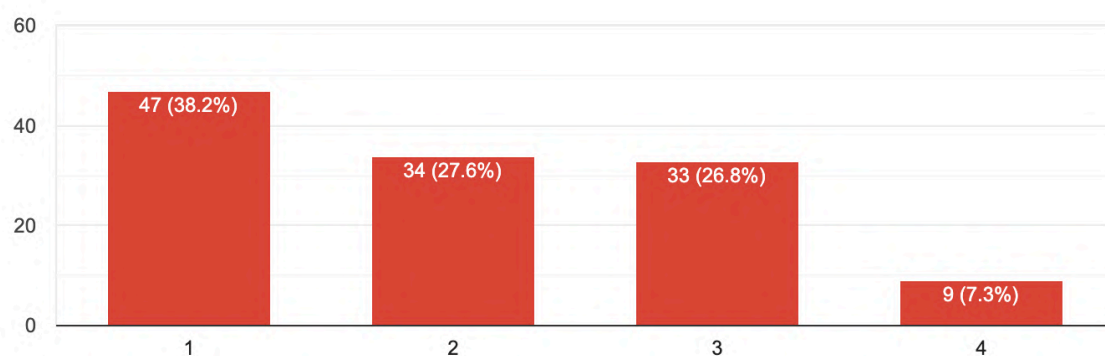
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

8. 職場の同僚

2020年度は「非常に」と回答した人は48人（37.8%）、「かなり」と回答した人は44人（34.6%）、「多少」と回答した人は27人（21.3%）、「全くない」と回答した人は8人（6.3%）であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。



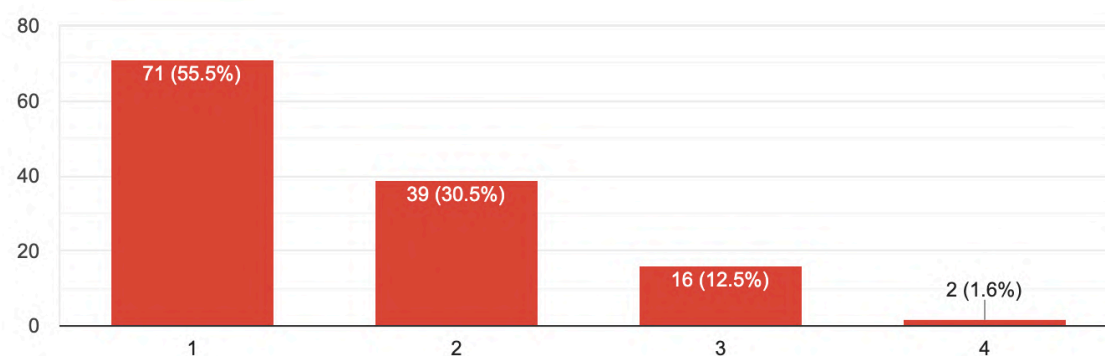
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は47人（38.2%）、「かなり」と回答した人は34人（27.6%）、「多少」と回答した人は33人（26.8%）、「全くない」と回答した人は9人（7.3%）であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。



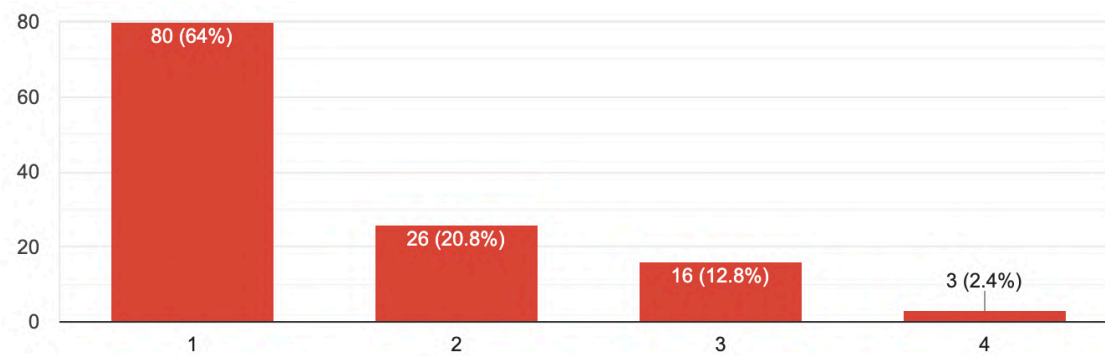
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

9. 職場の同僚

2020年度は「非常に」と回答した人は71人（55.5%）、「かなり」と回答した人は39人（30.5%）、「多少」と回答した人は16人（12.5%）、「全くない」と回答した人は2人（1.6%）であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は80人（64%）、「かなり」と回答した人は26人（20.8%）、「多少」と回答した人は16人（12.8%）、「全くない」と回答した人は3人（2.4%）であった。最も多かったのは「非常に」で、70%近くの人が選んだ。



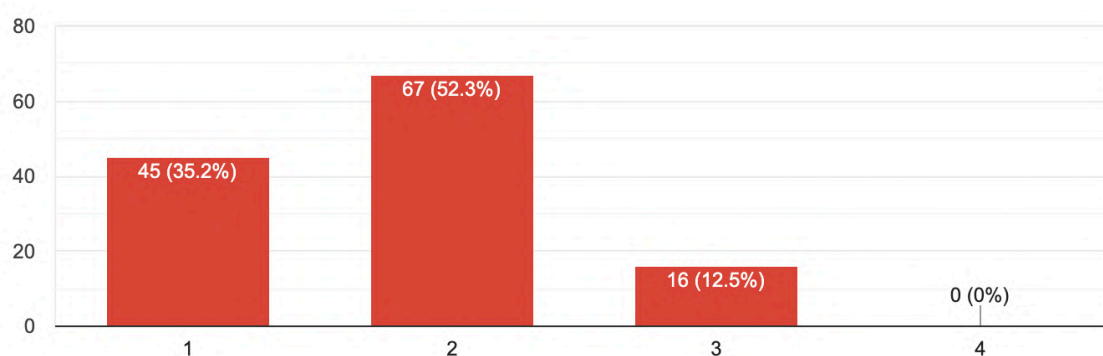
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

D 満足度について2の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

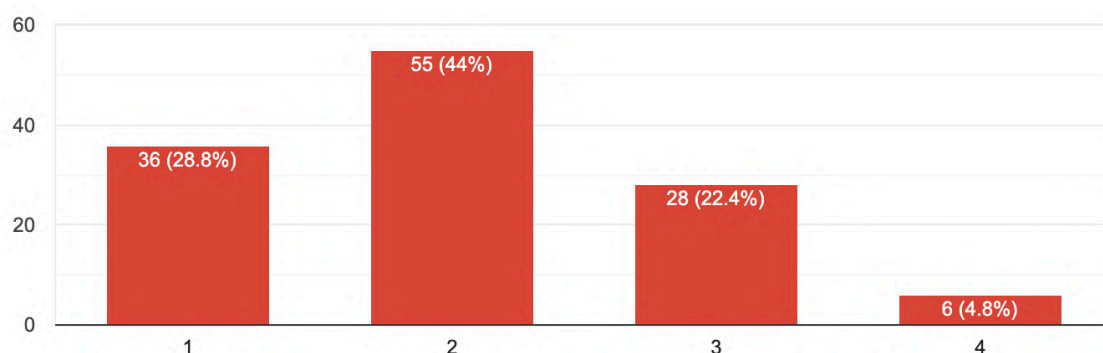
1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満足 4. 不満足

1. 仕事に満足だ

2020年度は「満足」と回答した人は45人(35.2%)、「まあ満足」と回答した人は67人(52.3%)、「やや不満足」と回答した人は16人(12.5%)、「不満足」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「やや満足」で、60%近くの人が選んだ。



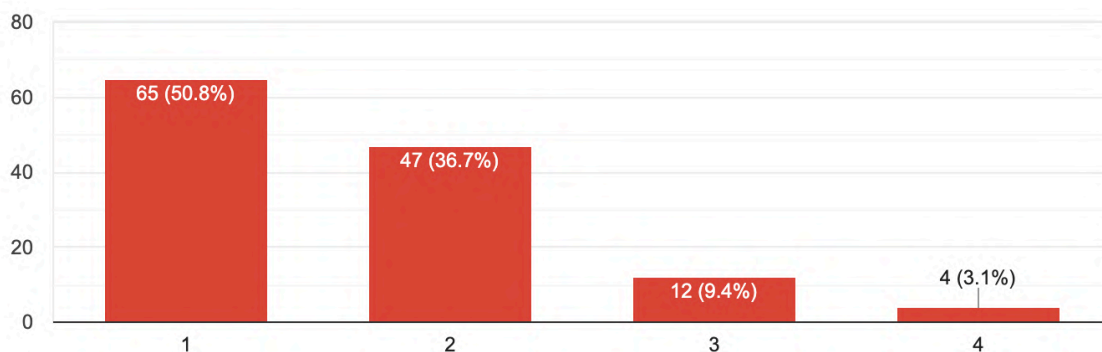
次に2021年度の結果をみると、「満足」と回答した人は36人(28.8%)、「まあ満足」と回答した人は55人(44%)、「やや不満足」と回答した人は28人(22.4%)、「不満足」と回答した人は6人(4.8%)であった。最も多かったのは「やや満足」で、50%近くの人が選んだ。



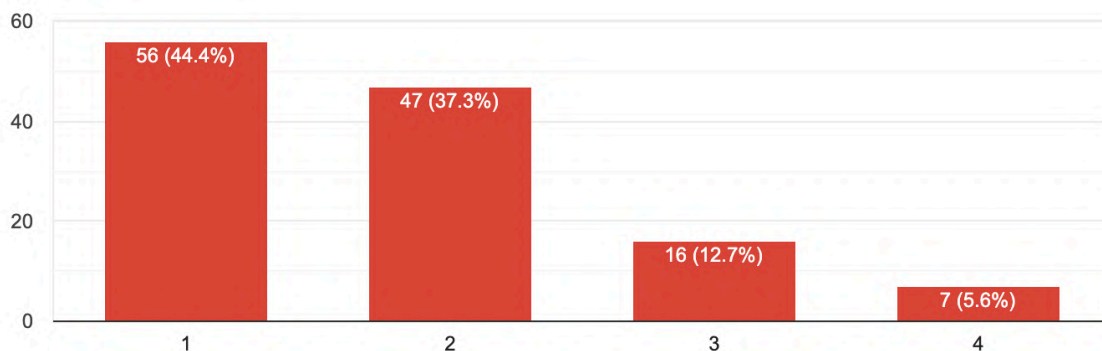
2020年度と2021年度を比較すると、「やや満足」の減少が見られたものの、回答傾向に大きな変化はない。

2. 家庭生活に満足だ

2020年度は「満足」と回答した人は65人(50.8%)、「まあ満足」と回答した人は47人(36.7%)、「やや不満足」と回答した人は12人(9.4%)、「不満足」と回答した人は4人(3.1%)であった。最も多かったのは「満足」で、60%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「満足」と回答した人は56人（44.4%）、「まあ満足」と回答した人は47人（37.3%）、「やや不満足」と回答した人は16人（12.7%）、「不満足」と回答した人は7人（5.6%）であった。最も多かったのは「満足」で、50%近くの人を選んだ。



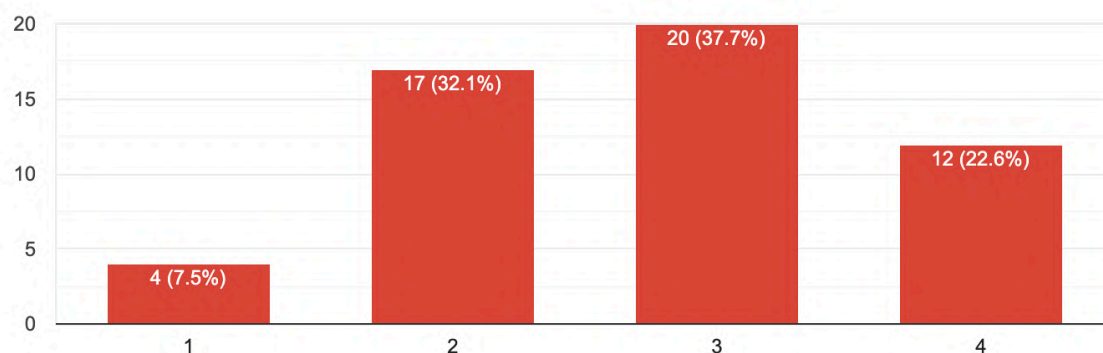
2020年度と2021年度を比較すると、「満足」の減少が見られたものの、回答傾向に大きな変化はない

A. 最近一か月間の状態について、29の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

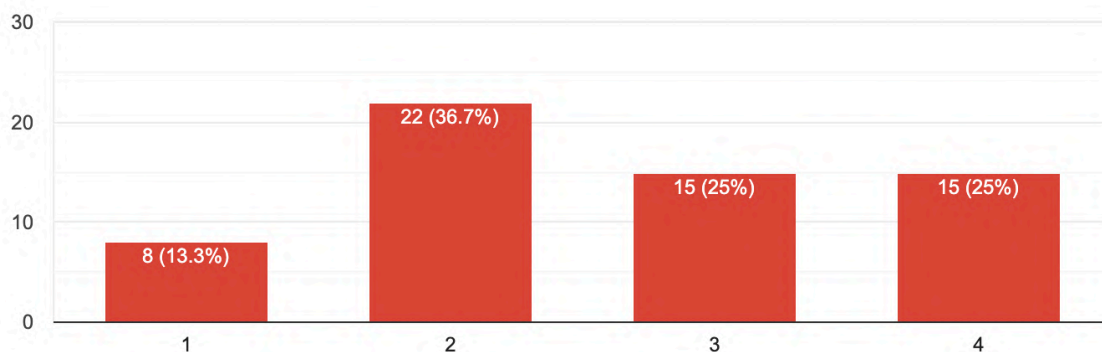
1. ほとんどなかった 2. ときどきあった 3. しばしばあった 4. ほとんどいつもあった

1. 活気がわいてくる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は4人(7.5%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(32.1%)、「しばしばあった」と回答した人は20人(37.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は12人(22.6%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。



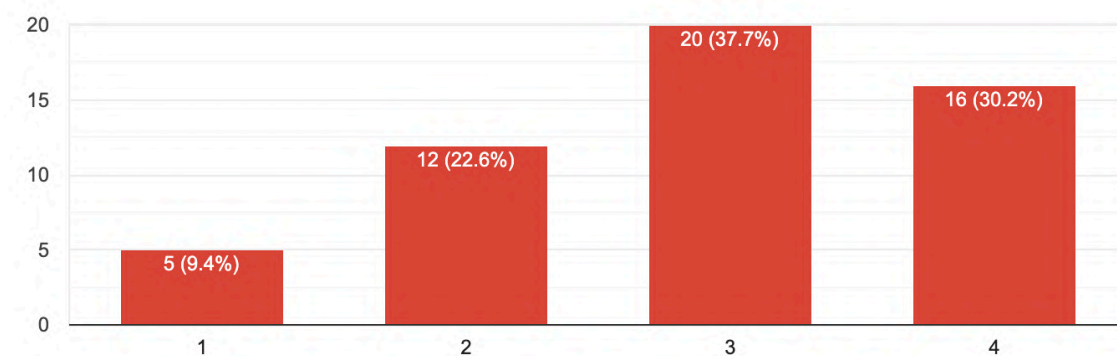
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は8人(13.3%)、「ときどきあった」と回答した人は22人(36.7%)、「しばしばあった」と回答した人は15人(25%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は15人(25%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



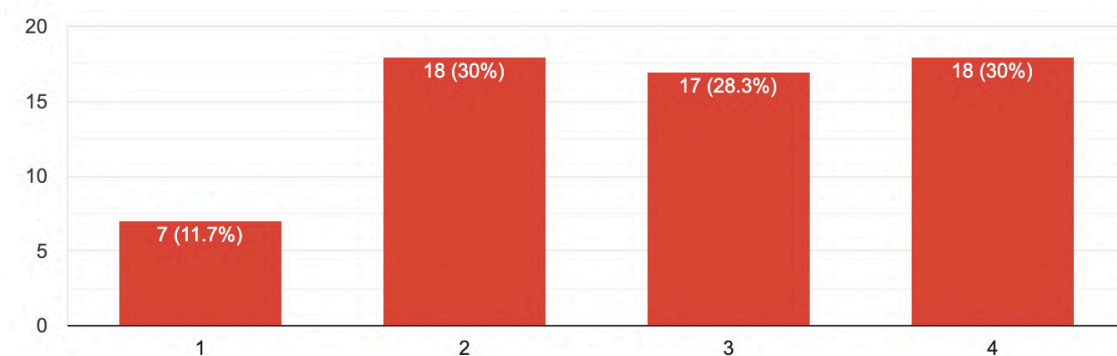
2020年度と2021年度を比較すると、「しばしばあった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

2. 元気いっぱい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は5人(9.4%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(22.6%)、「しばしばあった」と回答した人は20人(37.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は16人(30.2%)であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。



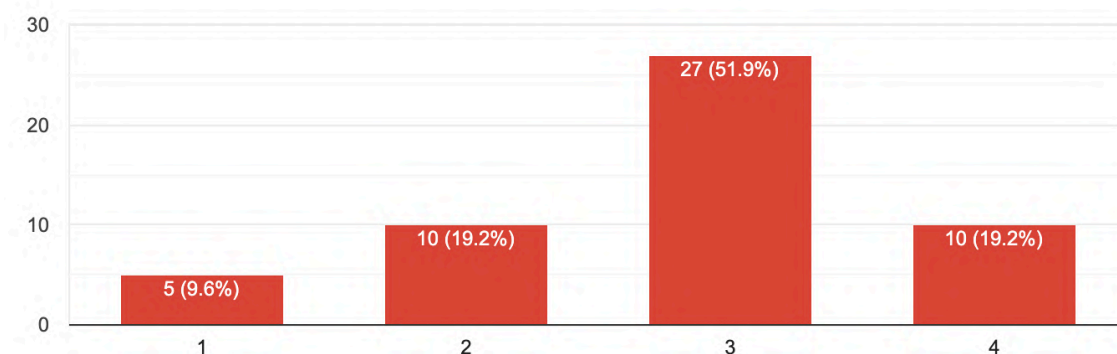
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は7人（11.7%）、「ときどきあった」と回答した人は18人（30%）、「しばしばあった」と回答した人は17人（28.3%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は18人（30%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」と「ほとんどいつもあった」で、30%の人が選んだ。



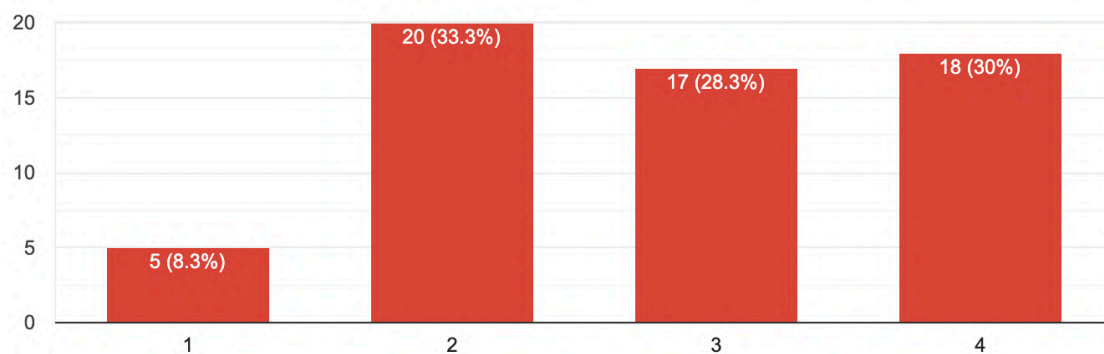
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」と「いつもあった」の増加が見られる傾向にあった。

3. 生き生きする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は5人（9.6%）、「ときどきあった」と回答した人は10人（19.2%）、「しばしばあった」と回答した人は27人（51.9%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人（19.2%）であった。最も多かったのは「しばしばあった」で、50%の人が選んだ。



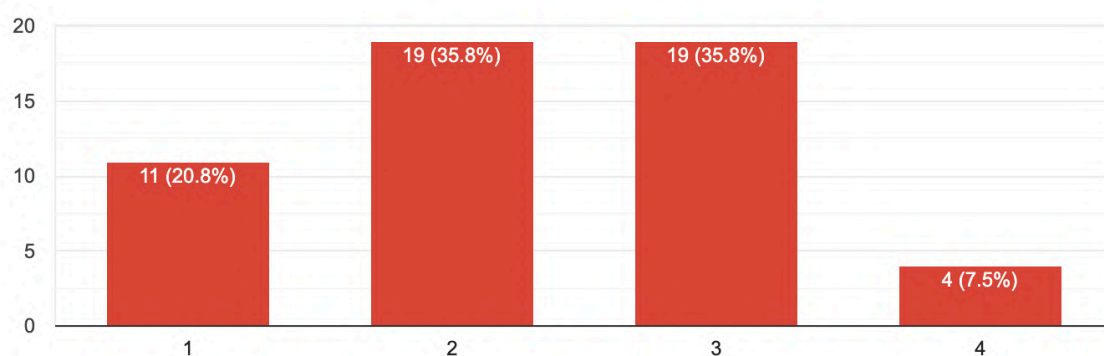
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は5人(8.3%)、「ときどきあった」と回答した人は20人(33.3%)、「しばしばあった」と回答した人は17人(28.3%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(30%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



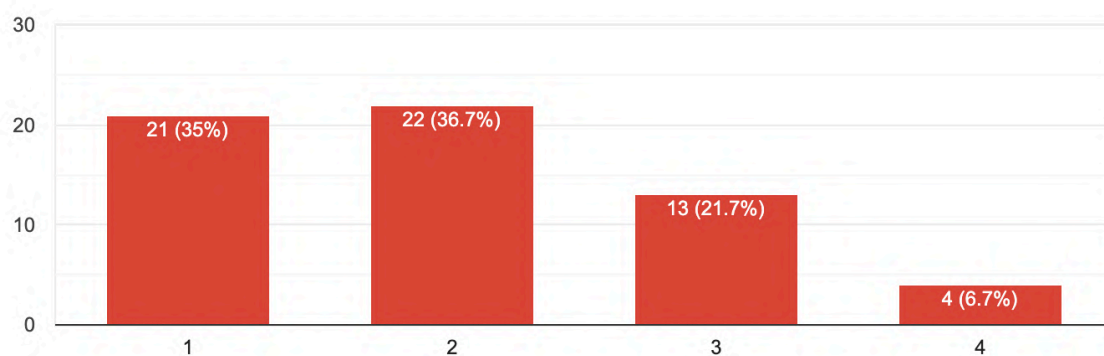
2020年度と2021年度を比較すると、「しばしばあった」の減少が見られるが、「ときどきあった」と「ほとんどいつもあった」の増加が見られる傾向にあった。

4. 怒りを感じる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は11人(20.8%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(35.8%)、「しばしばあった」と回答した人は19人(35.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(7.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」と「しばしばあった」で、40%近くの人を選んだ。



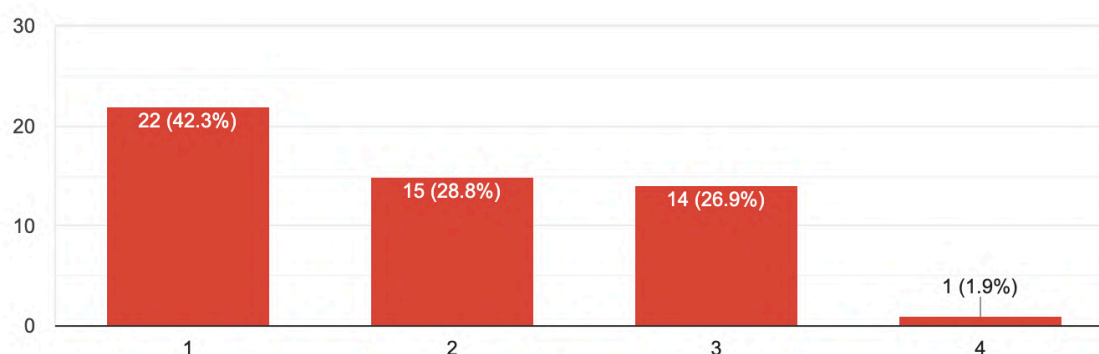
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は21人(35%)、「ときどきあった」と回答した人は22人(36.7%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(21.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(6.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



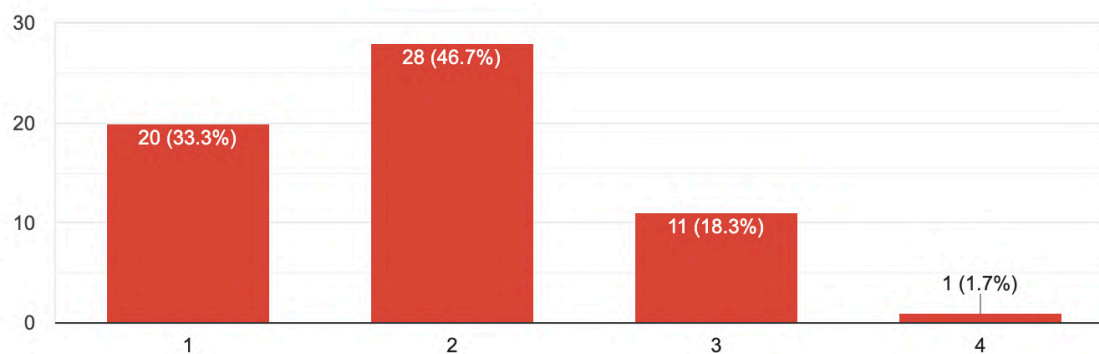
2020年度と2021年度を比較すると、「しばしばあった」の減少が見られる傾向にあった。

5. 内心腹立だしい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(42.3%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(28.8%)、「しばしばあった」と回答した人は14人(26.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(1.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は20人(33.3%)、「ときどきあった」と回答した人は28人(46.7%)、「しばしばあった」と回答した人は11人(18.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(1.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人が選んだ。

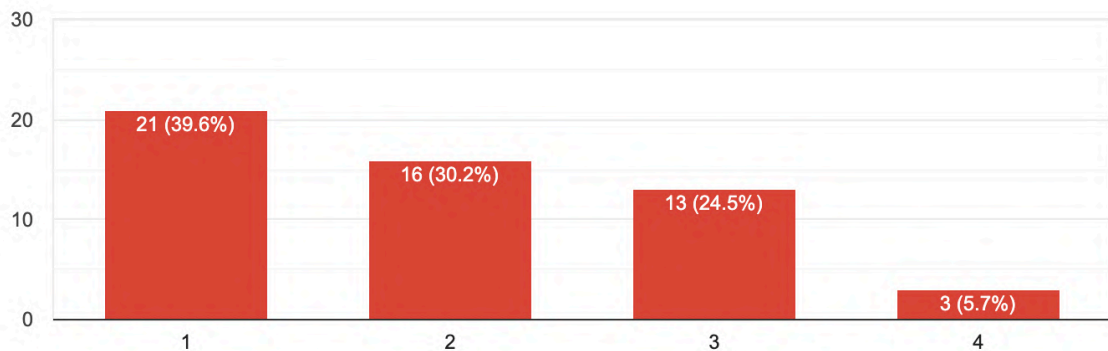


2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一

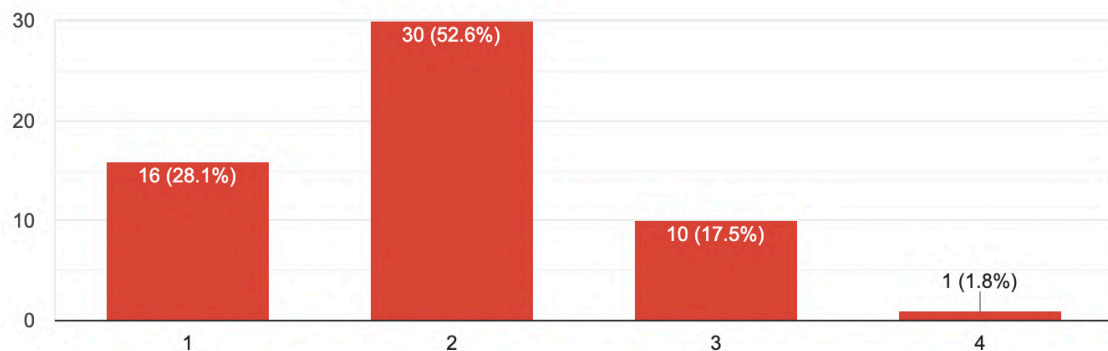
方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

6. イライラしている

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は21人(39.6%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(30.2%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(24.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



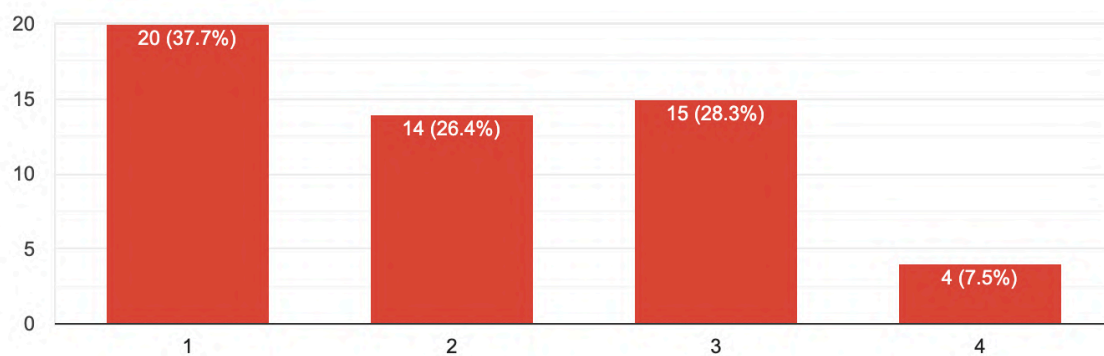
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は16人(28.1%)、「ときどきあった」と回答した人は30人(52.6%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(17.5%)、「ときどきあった」と回答した人は1人(1.8%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%以上の人を選んだ。



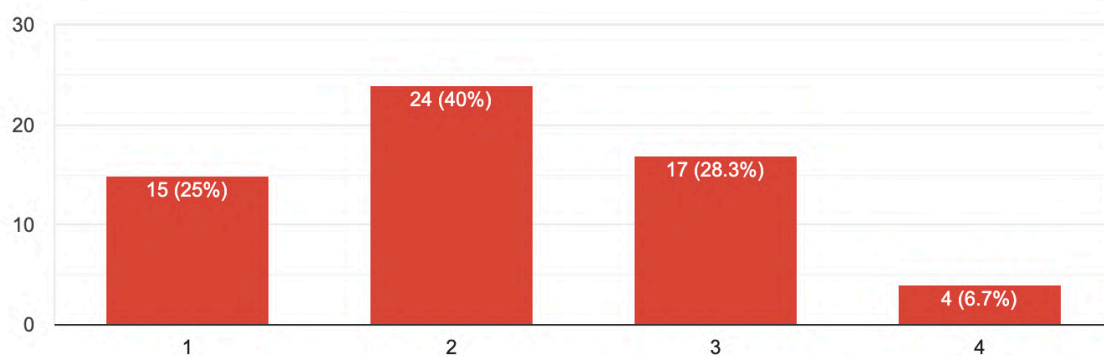
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向にあった。

7. ひどく疲れた

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は20人(37.7%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(26.4%)、「しばしばあった」と回答した人は15人(28.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(7.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



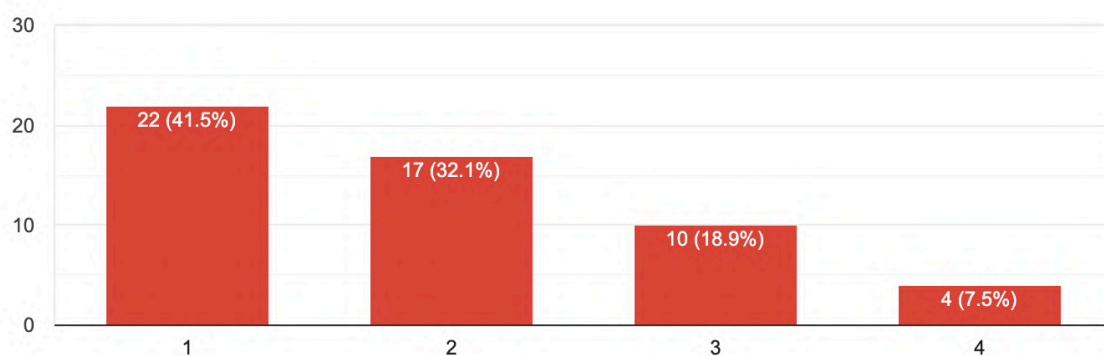
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は15人(25%)、「ときどきあった」と回答した人は24人(40%)、「しばしばあった」と回答した人は17人(28.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(6.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%の人が選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる一方、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

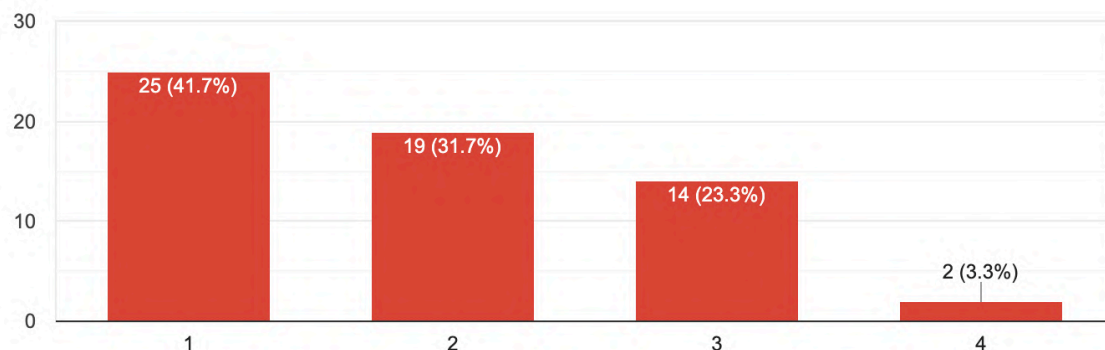
8. へとへとだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(41.5%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(32.1%)、「しばしばあった」と回答した人は10人(18.9%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(7.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は25人(41.5%)

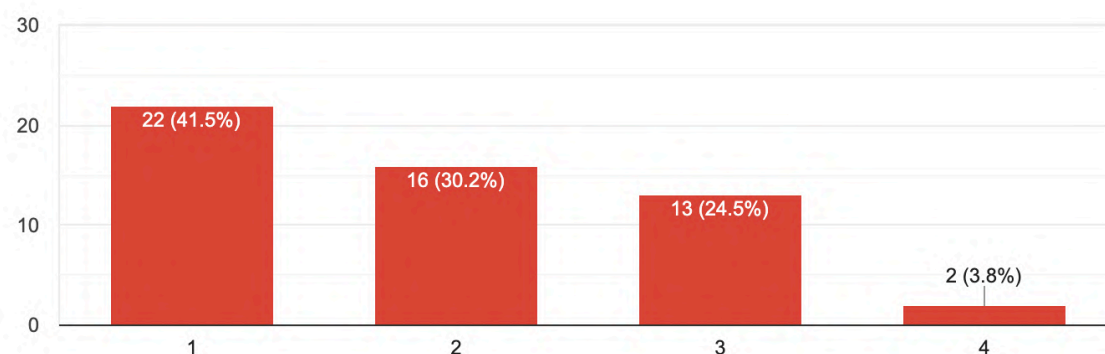
7%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(31.7%)、「しばしばあった」と回答した人は14人(23.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人が選んだ。



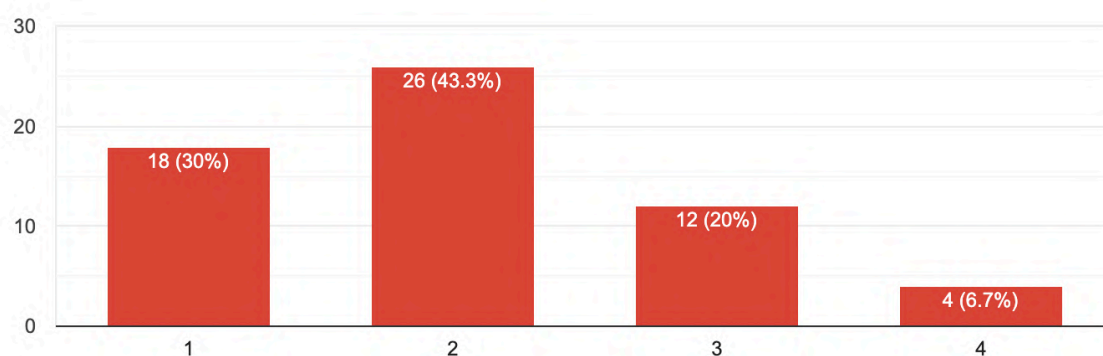
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

9. だるい

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(41.5%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(30.2%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(24.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人が選んだ。



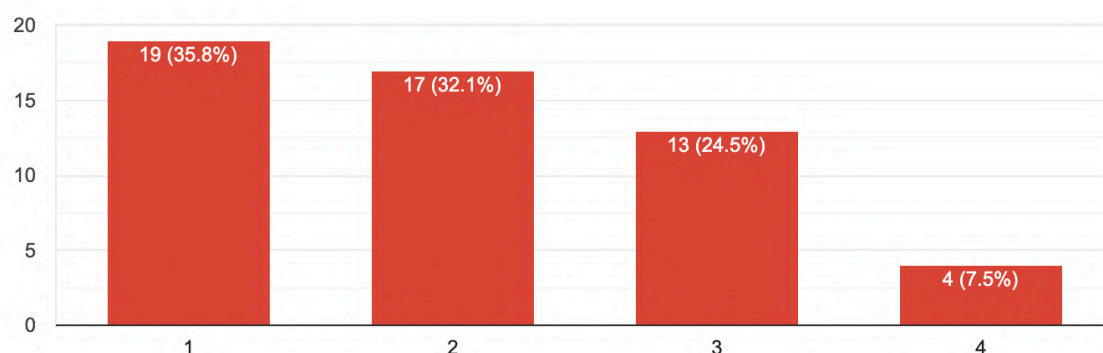
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は18人(30%)、「ときどきあった」と回答した人は26人(43.3%)、「しばしばあった」と回答した人は12人(20%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(6.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%近くの人が選んだ。



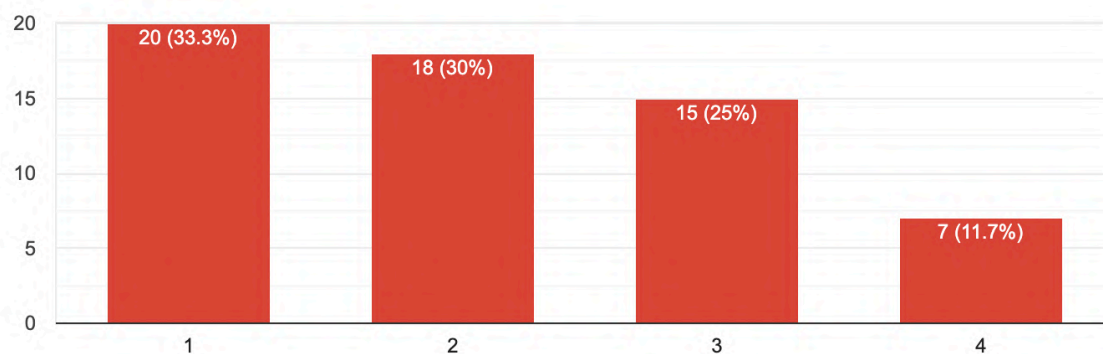
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られる傾向にあった。

10. 気がはりつめている

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は19人(35.8%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(32.1%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(24.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(7.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%近くの人を選んだ。



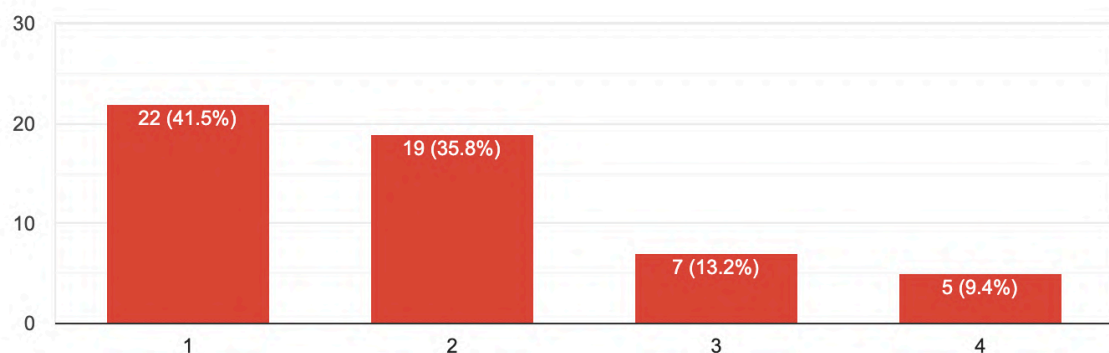
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は20人(33.3%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(30%)、「しばしばあった」と回答した人は15人(25%)、「ときどきあった」と回答した人は7人(11.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、30%以上の人を選んだ。



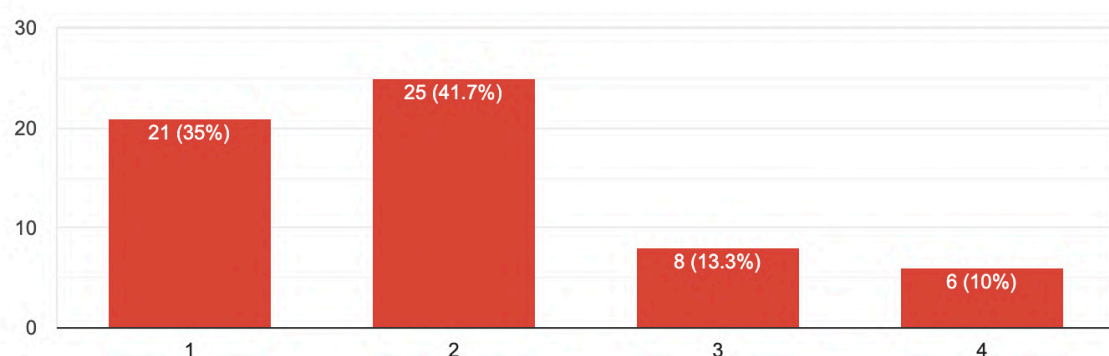
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

11. 不安だ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(41.5%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(35.8%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(13.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(9.4%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人が選んだ。



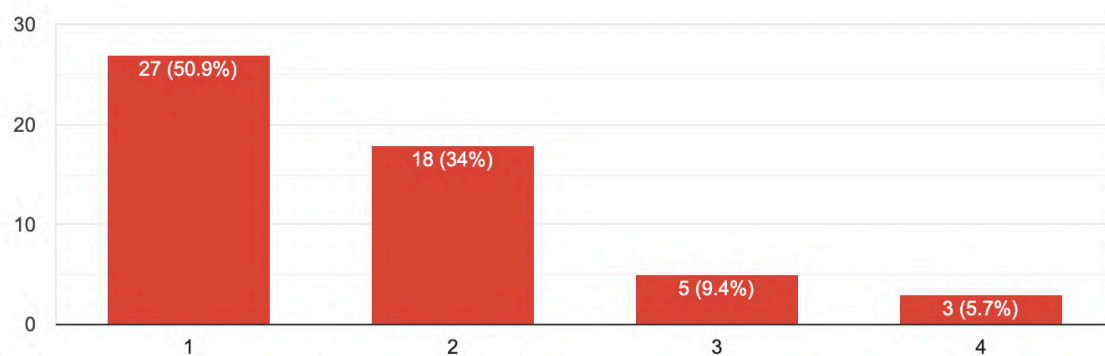
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は21人(35%)、「ときどきあった」と回答した人は25人(41.7%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(13.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(10%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%以上の人が選んだ。



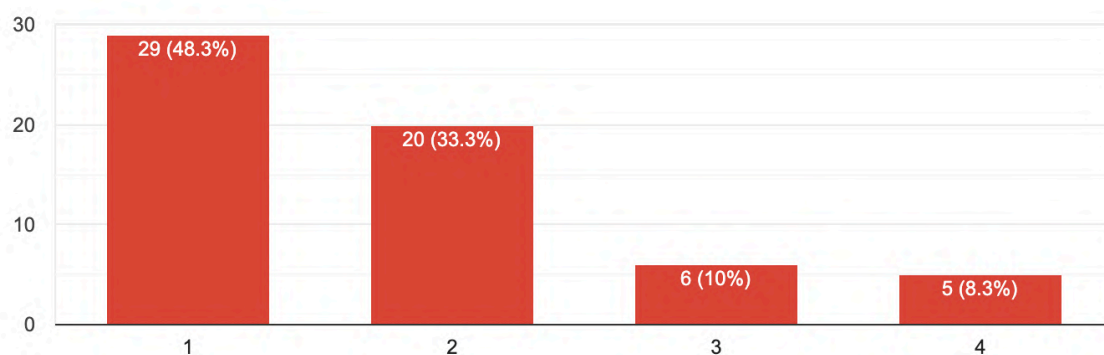
2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

12. 落ち着きがない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は27人(50.9%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(34%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人が選んだ。



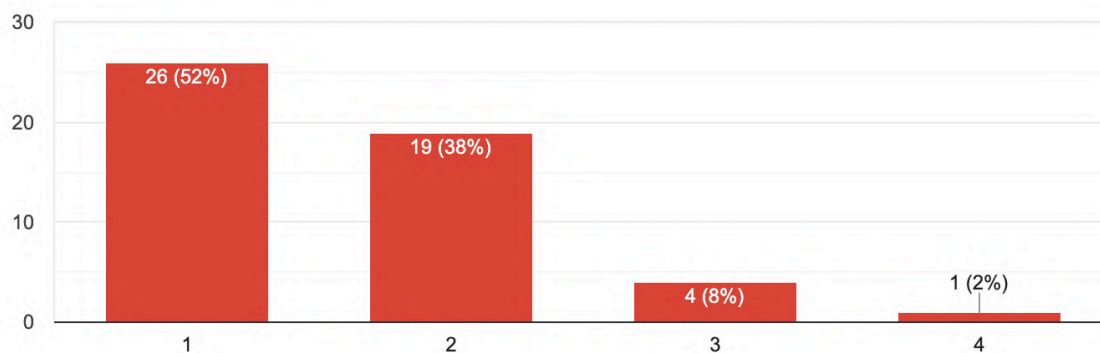
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は29人(48.3%)、「ときどきあった」と回答した人は20人(33.3%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(10%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(8.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

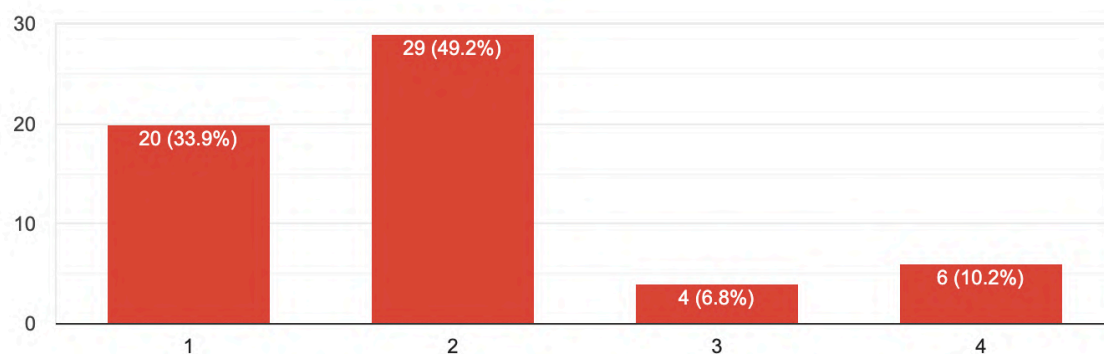
13. ゆううつだ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は26人(52%)、「ときどきあった」と回答した人は19人(38%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は20人(33.9%)、「ときどきあった」と回答した人は29人(49.2%)、「しばしばあった」と

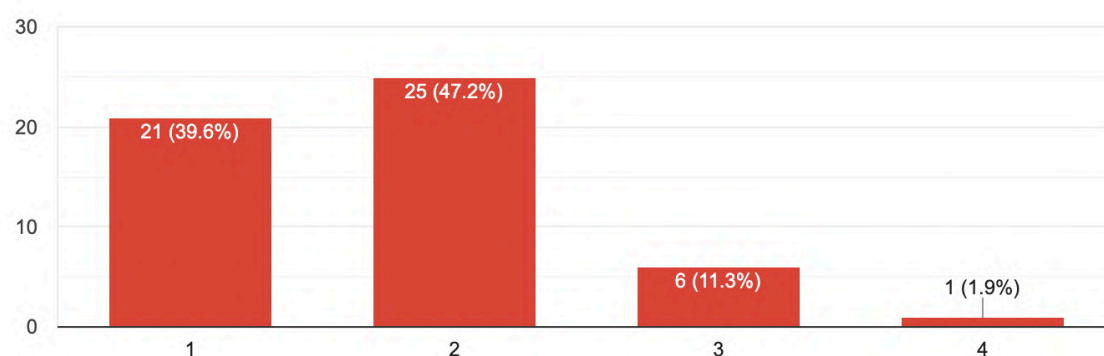
回答した人は4人（6.8%）、「ときどきあった」と回答した人は6人（10.2%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%近くの人を選んだ。



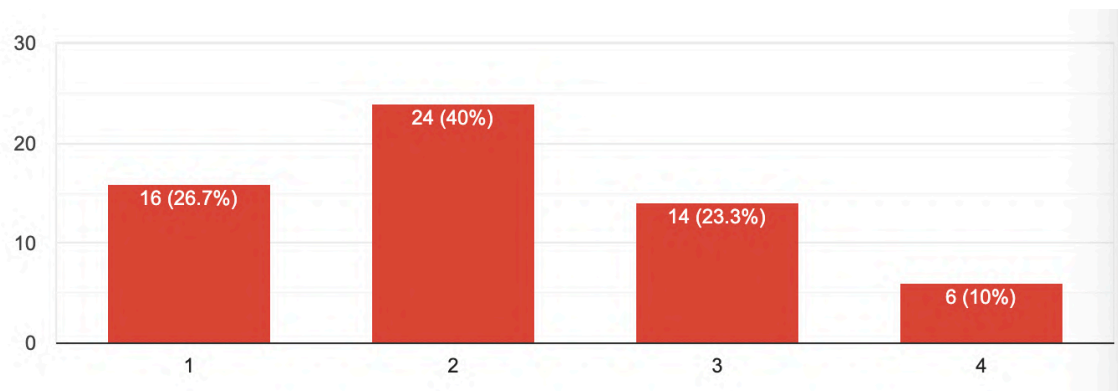
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

14. 何をするにも面倒だ

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は21人（39.6%）、「ときどきあった」と回答した人は25人（47.2%）、「しばしばあった」と回答した人は6人（11.3%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人（1.9%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%以上の人を選んだ。



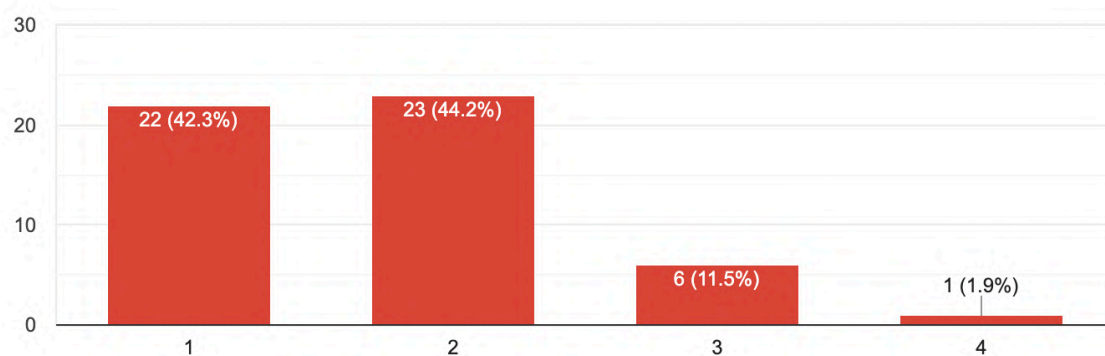
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は16人（26.7%）、「ときどきあった」と回答した人は24人（40%）、「しばしばあった」と回答した人は14人（23.3%）、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人（10%）であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%以上の人を選んだ。



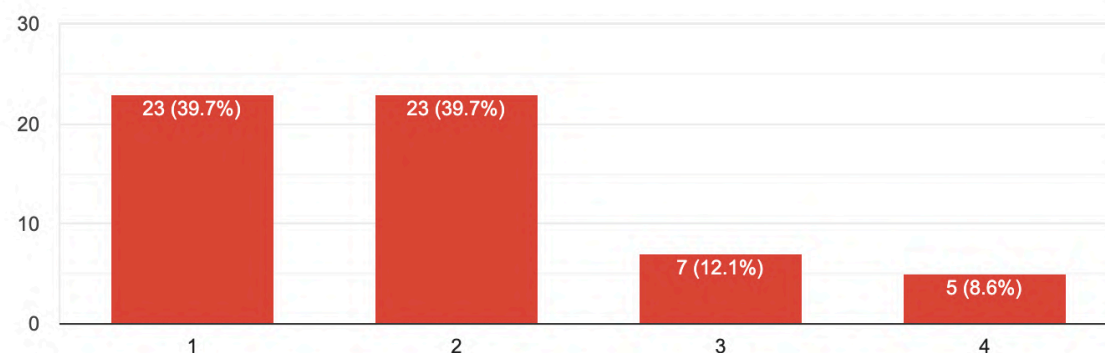
2020年度と2021年度を比較すると、「しばしばあった」の減少が見られるが、「ほとんどなかった」の増加が見られる傾向にあった。

15. 物事に集中できない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(42.3%)、「ときどきあった」と回答した人は23人(44.2%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(11.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(1.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」と「ときどきあった」で、40%以上の人を選んだ。



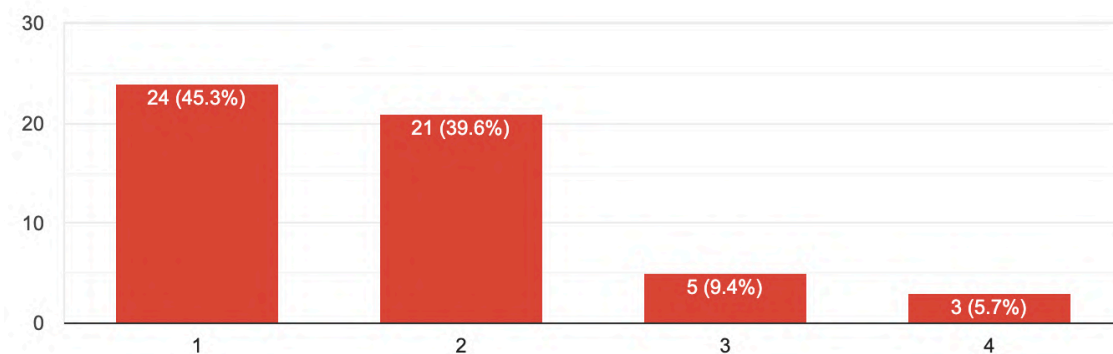
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は23人(39.7%)、「ときどきあった」と回答した人は23人(39.7%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(12.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(8.6%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%以上の人を選んだ。



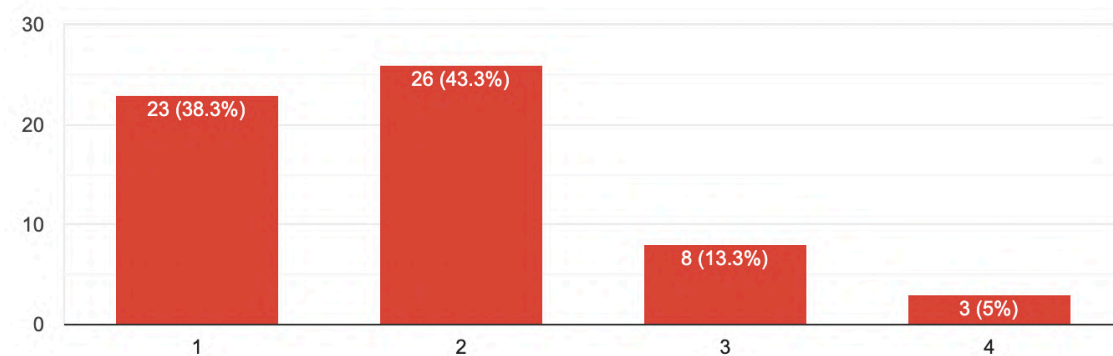
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

16. 気分が晴れない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は24人(45.3%)、「ときどきあった」と回答した人は21人(39.6%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人が選んだ。



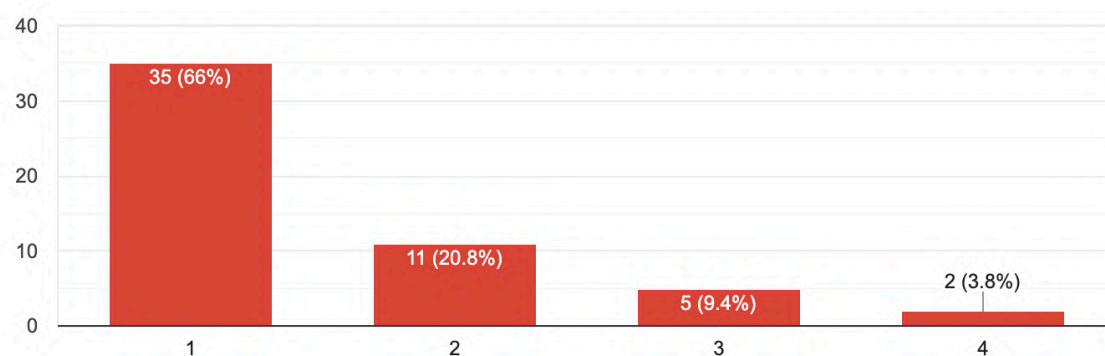
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は23人(38.3%)、「ときどきあった」と回答した人は26人(43.3%)、「しばしばあった」と回答した人は8人(13.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、50%以上の人が選んだ。



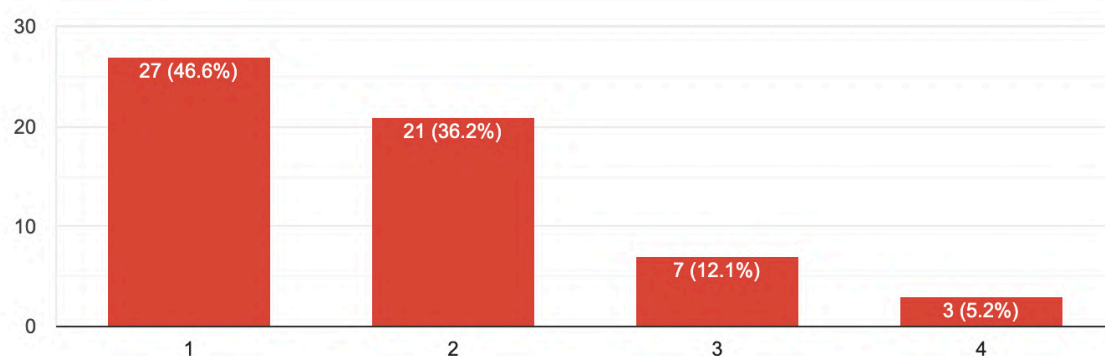
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

17. 仕事に手につかない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は35人(66%)、「ときどきあった」と回答した人は11人(20.8%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%以上の人が選んだ。



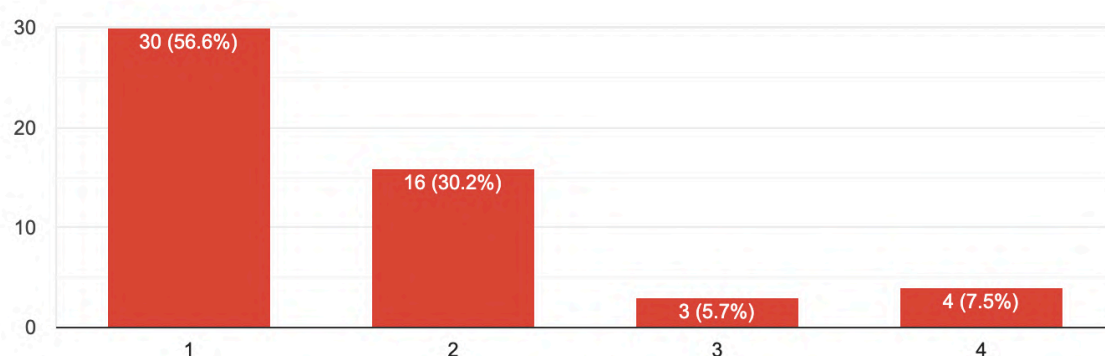
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は27人(46.6%)、「ときどきあった」と回答した人は21人(36.2%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(12.1%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.2%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

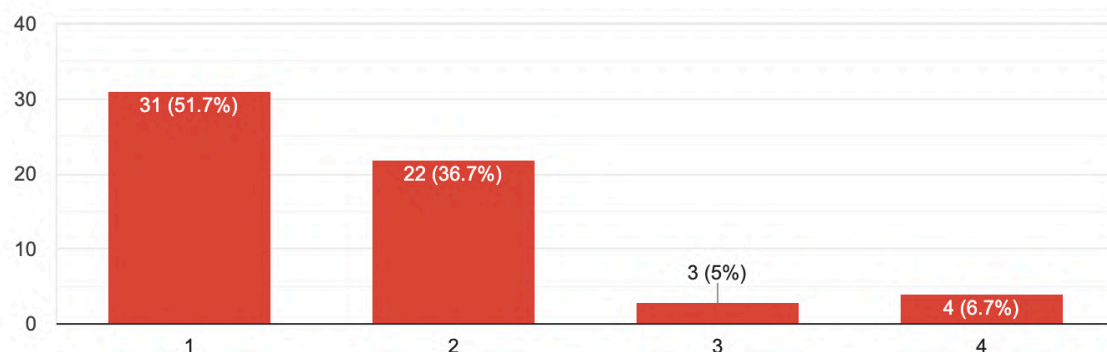
18. 悲しいと感じる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は30人(56.6%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(30.2%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(5.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(7.5%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は31人(51.6%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(26.0%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(4.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(6.6%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人を選んだ。

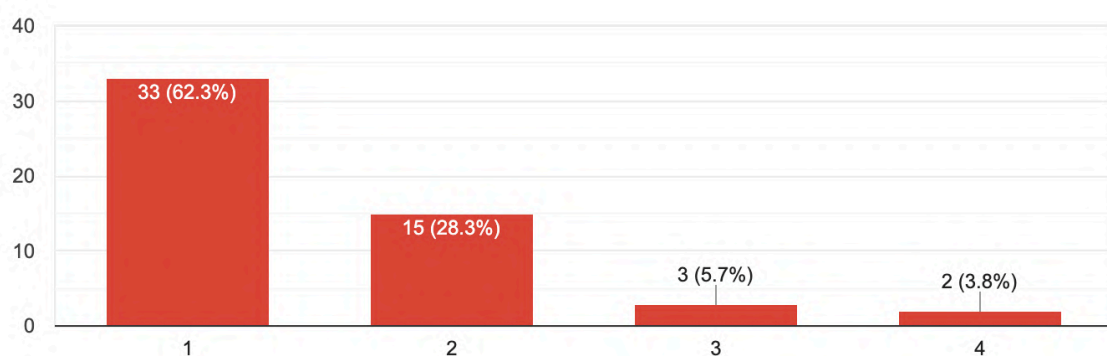
7%)、「ときどきあった」と回答した人は22人(36.7%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(6.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人が選んだ。



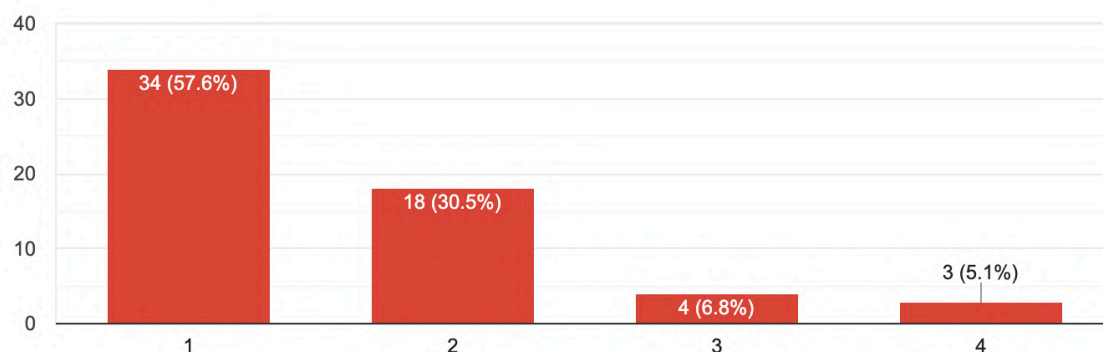
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

19. めまいがする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は33人(62.3%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(28.3%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(5.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%以上の人が選んだ。



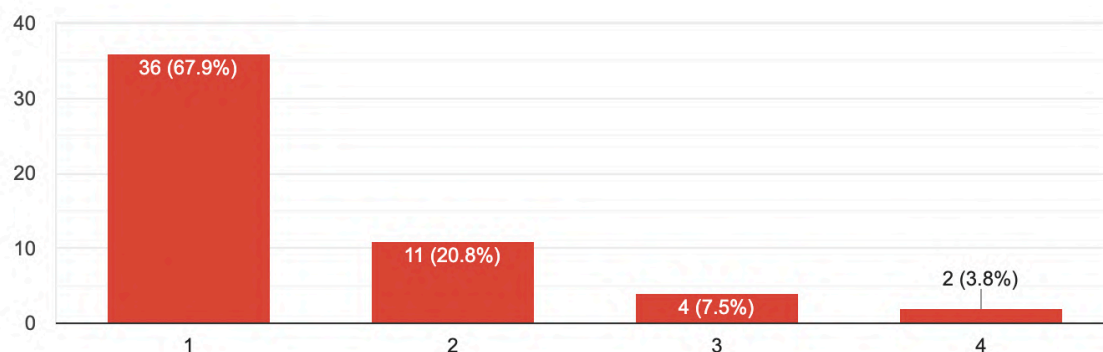
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は34人(57.6%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(30.5%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(6.8%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.1%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人が選んだ。



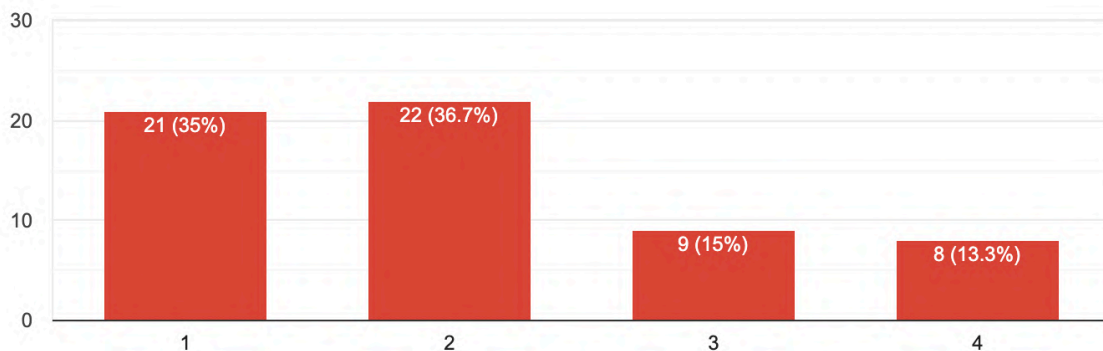
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

20. 体のふしぶしが痛む

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は36人(67.9%)、「ときどきあった」と回答した人は11人(20.8%)、「しばしばあった」と回答した人は4人(7.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%以上の人が選んだ。



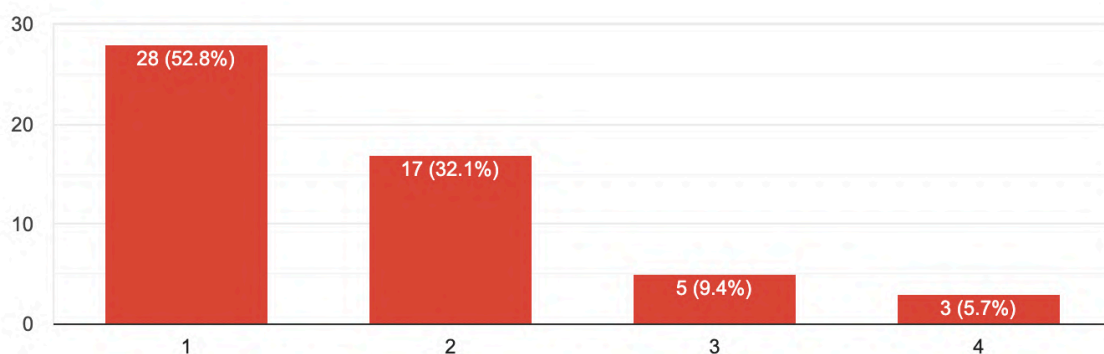
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は21人(35%)、「ときどきあった」と回答した人は22人(36.7%)、「しばしばあった」と回答した人は9人(15%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は8人(13.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、30%以上の人が選んだ。



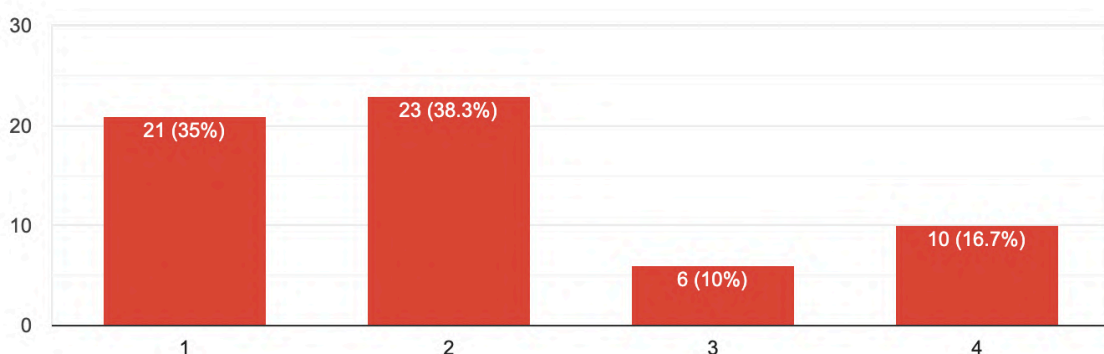
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

21. 頭が重かったり頭痛がする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は28人(52.8%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(32.1%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.7%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人が選んだ。



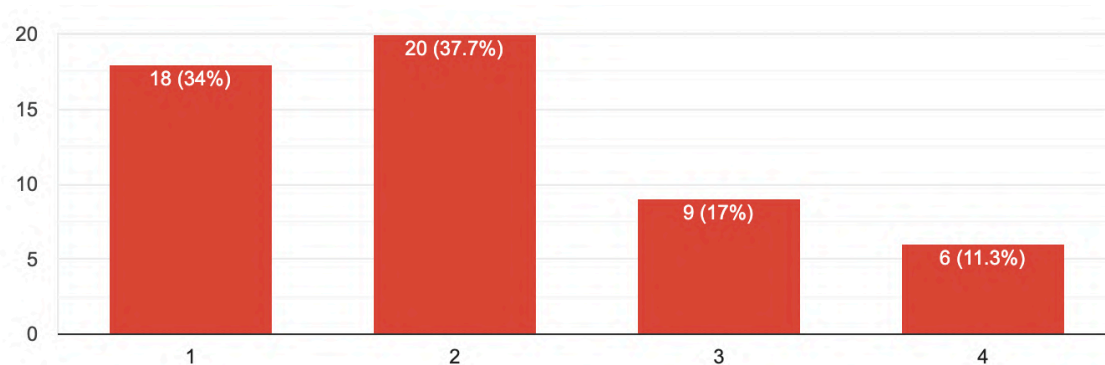
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は21人(35%)、「ときどきあった」と回答した人は23人(38.3%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(10%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(16.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、30%以上の人が選んだ。



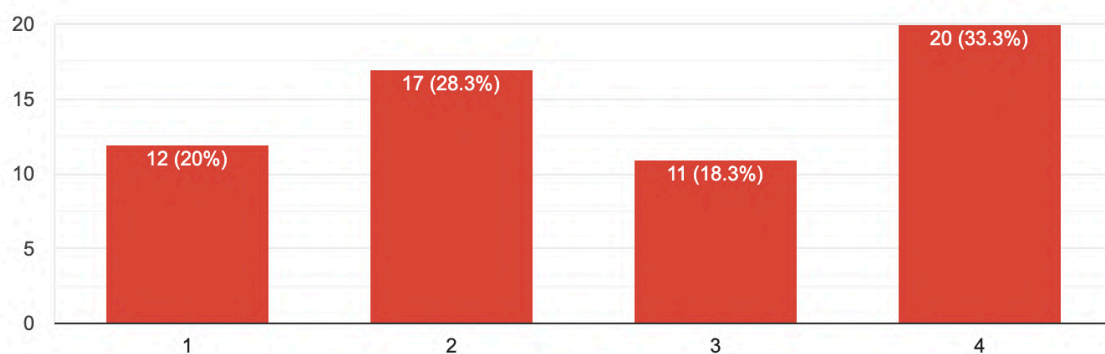
2020年度と2021年度を比較すると、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

22. 首筋や肩がこる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は18人(34%)、「ときどきあった」と回答した人は20人(37.7%)、「しばしばあった」と回答した人は9人(17%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(11.3%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、30%以上の人が選んだ。



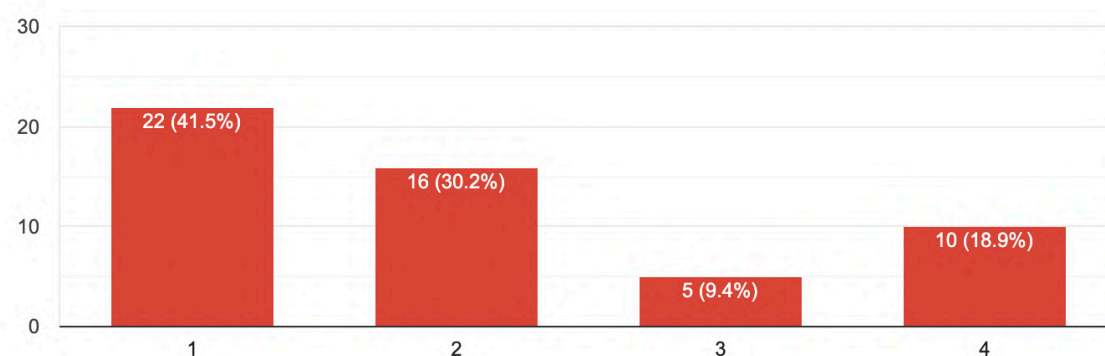
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は12人(20%)、「ときどきあった」と回答した人は17人(28.3%)、「しばしばあった」と回答した人は11人(18.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は20人(33.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどいつもあった」で、30%以上の人が選んだ。



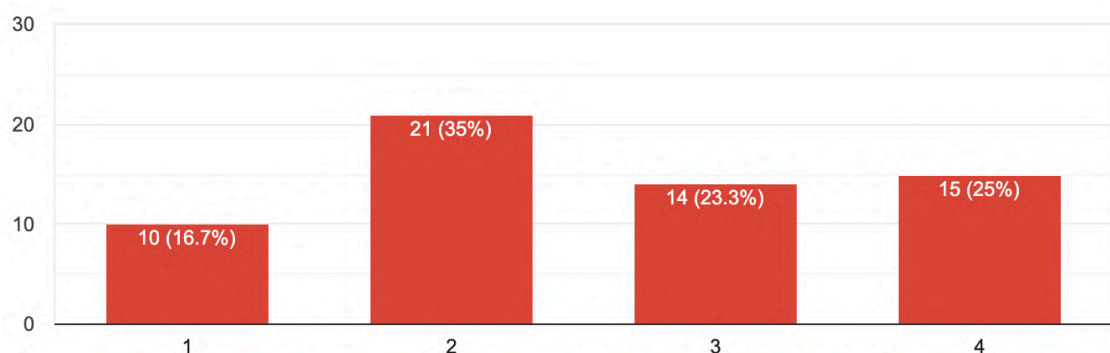
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどいつもあった」の増加が見られる傾向にあった。

2.3. 腰が痛い

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は22人(41.5%)、「ときどきあった」と回答した人は16人(30.2%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は10人(18.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人が選んだ。



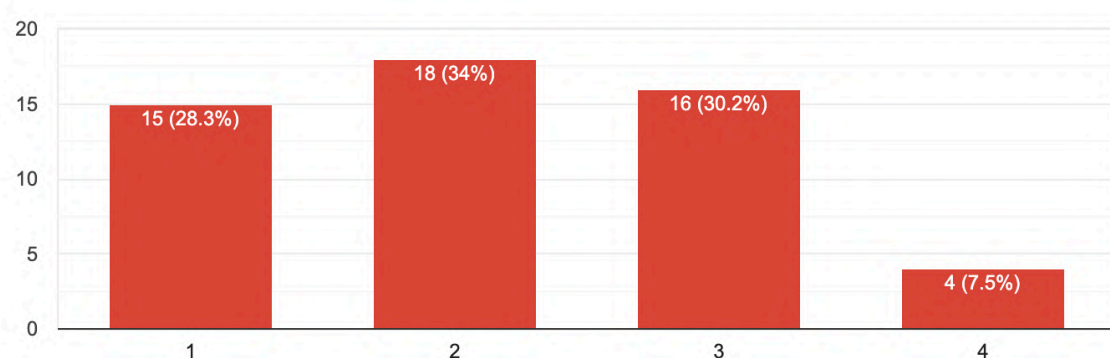
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は10人(16.7%)、「ときどきあった」と回答した人は21人(35%)、「しばしばあった」と回答した人は14人(23.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は15人(25%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、30%以上の人を選んだ。



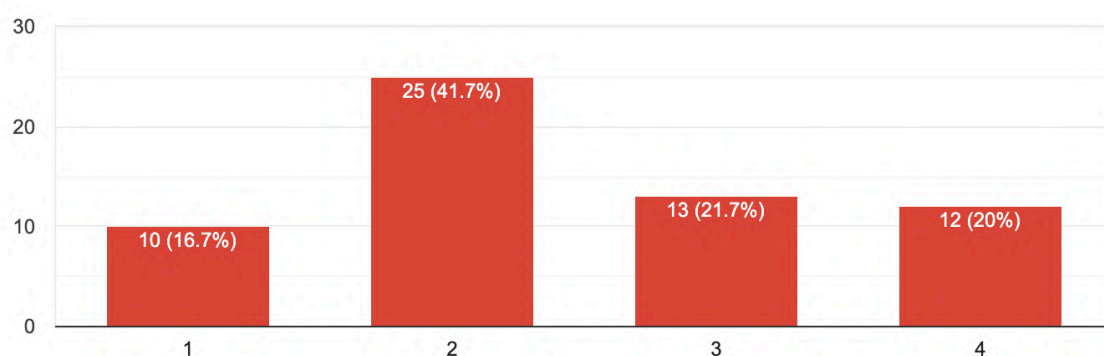
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが「ときどきあった」と「しばしばあった」の増加が見られる傾向にあった。

2.4. 目が疲れる

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は15人(28.3%)、「ときどきあった」と回答した人は18人(34%)、「しばしばあった」と回答した人は16人(30.2%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は4人(7.5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、30%以上の人を選んだ。



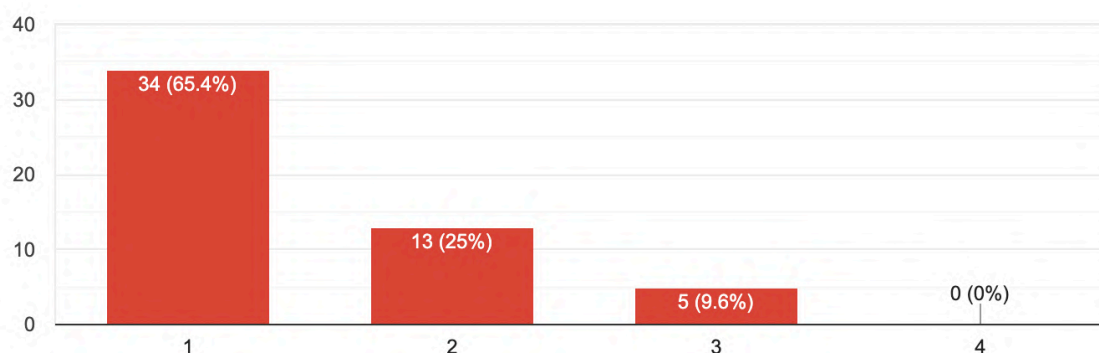
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は10人(16.7%)、「ときどきあった」と回答した人は25人(41.7%)、「しばしばあった」と回答した人は13人(21.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は13人(21.7%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%以上の人を選んだ。



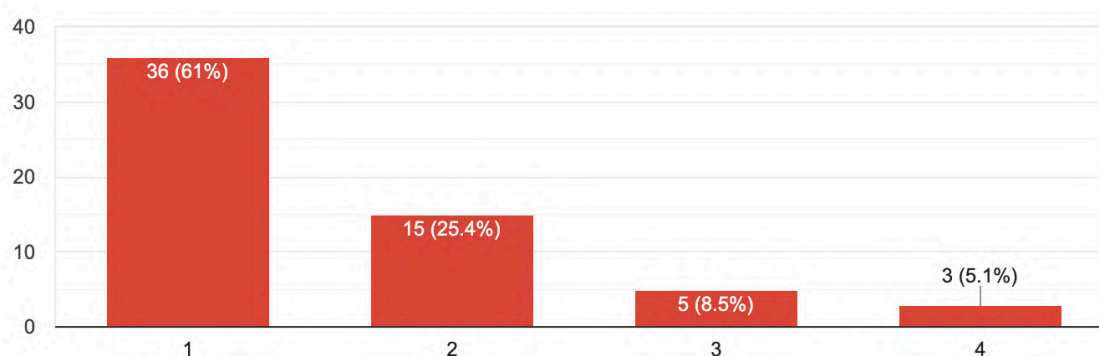
2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ほとんどいつもあった」の増加が見られる傾向にあった。

25. 動悸や息切れがする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は34人(65.4%)、「ときどきあった」と回答した人は13人(25%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は0人(0%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%以上の人を選んだ。



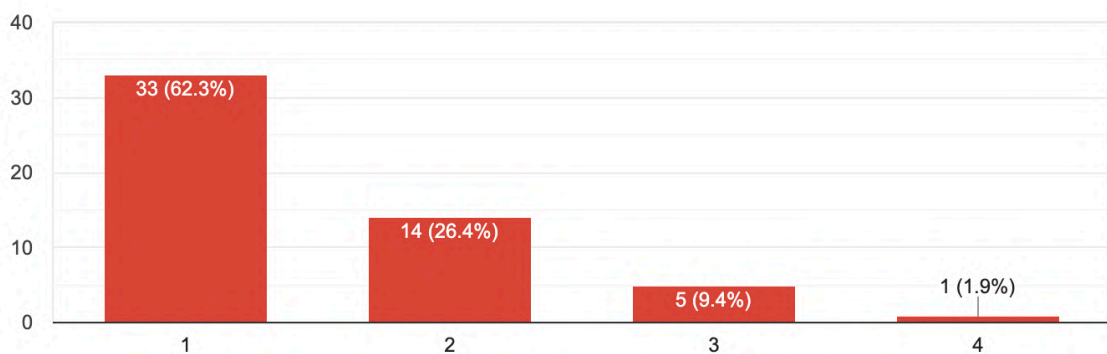
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は36人(61%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(25.4%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(8.5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5.1%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人を選んだ。



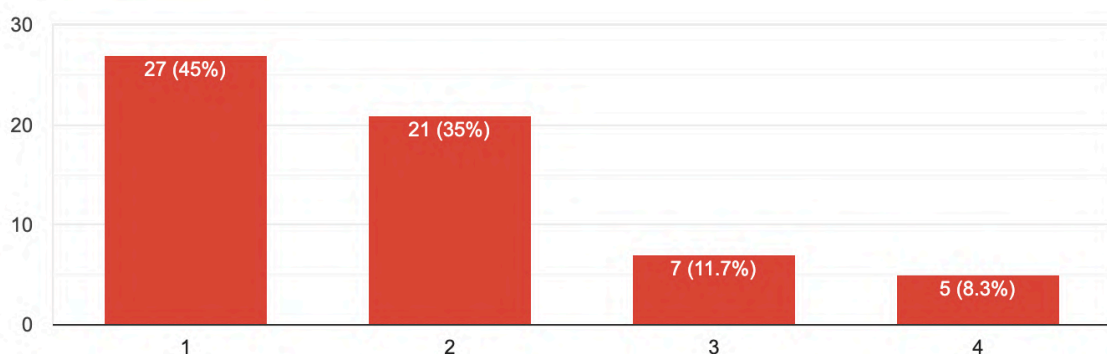
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない

26. 胃腸の具合が悪い

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は33人(62.3%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(26.4%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.4%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は1人(1.9%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、60%以上の人が選んだ。



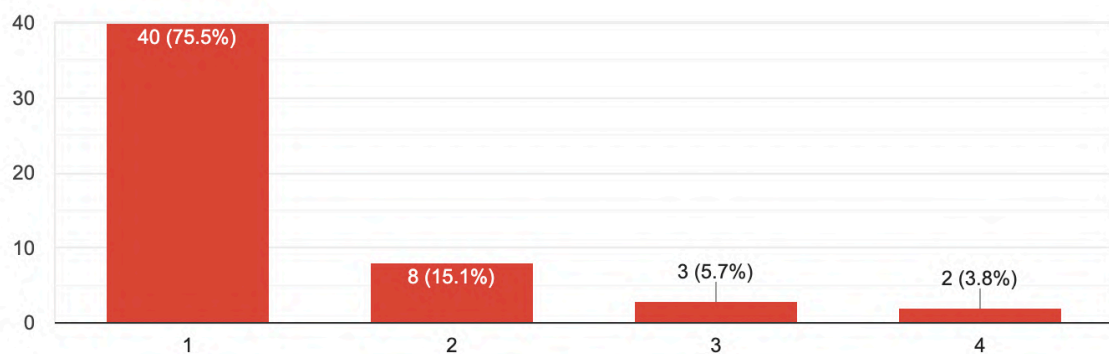
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は27人(45%)、「ときどきあった」と回答した人は21人(35%)、「しばしばあった」と回答した人は7人(11.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(8.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、40%以上の人が選んだ。



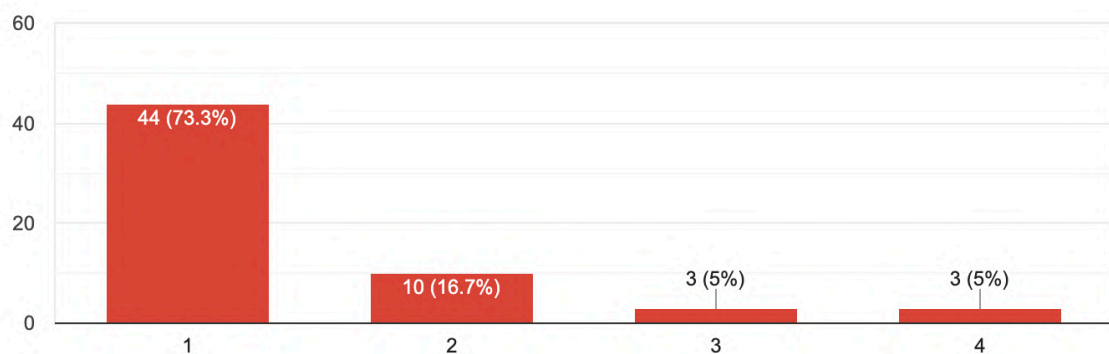
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

27. 食欲がない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は40人(75.5%)、「ときどきあった」と回答した人は8人(15.1%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(5.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、70%以上の人が選んだ。



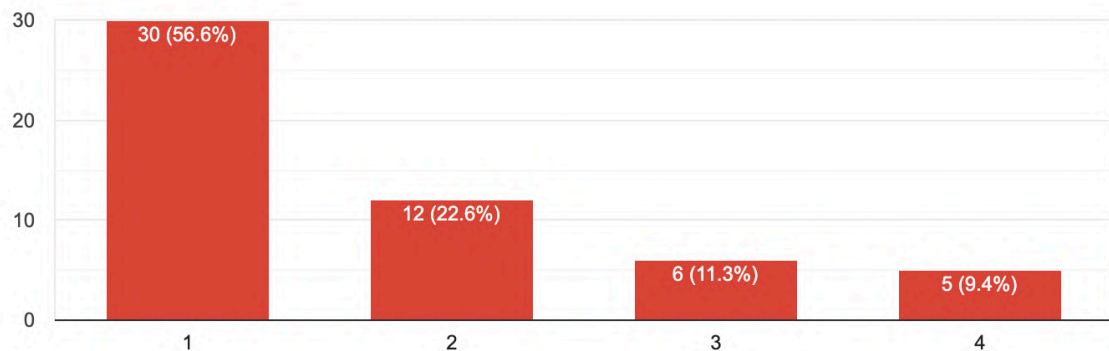
次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は44人(73.3%)、「ときどきあった」と回答した人は10人(16.7%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は3人(5%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%以上の人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

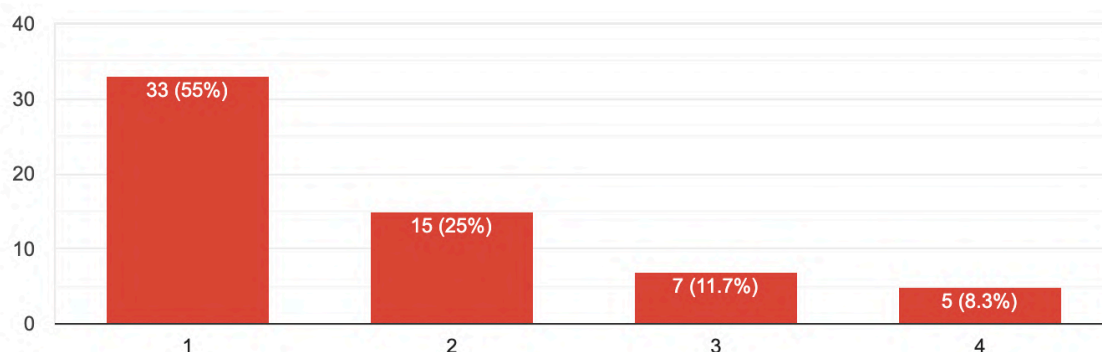
28. 便秘や下痢をする

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は30人(56.6%)、「ときどきあった」と回答した人は12人(22.6%)、「しばしばあった」と回答した人は6人(11.3%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(9.4%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は33人(55%)、「ときどきあった」と回答した人は15人(25%)、「しばしばあった」と回答した人

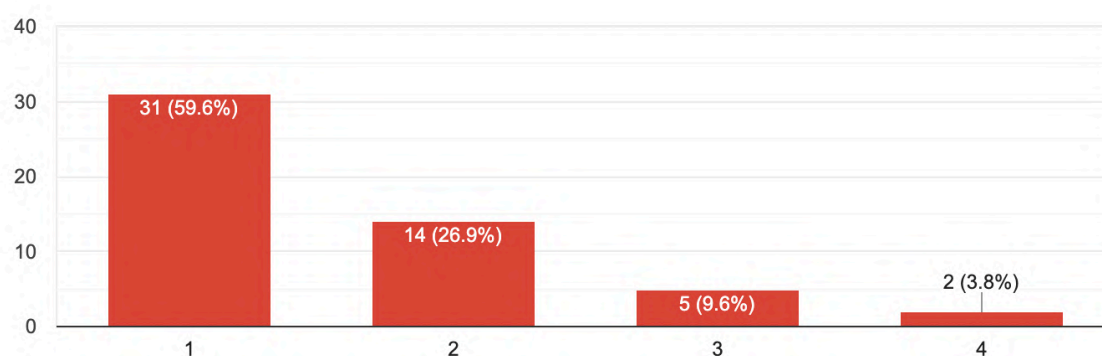
は7人(11.7%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は5人(8.3%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人を選んだ。



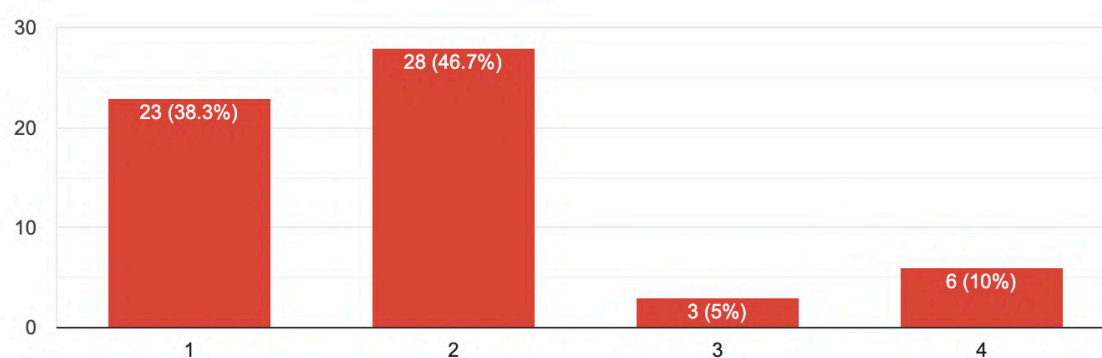
2020年度と2021年度を比較すると、回答傾向に大きな変化はない。

29. よく眠れない

2020年度は「ほとんどなかった」と回答した人は31人(59.6%)、「ときどきあった」と回答した人は14人(26.9%)、「しばしばあった」と回答した人は5人(9.6%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は2人(3.8%)であった。最も多かったのは「ほとんどなかった」で、50%以上の人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「ほとんどなかった」と回答した人は23人(38.3%)、「ときどきあった」と回答した人は28人(46.7%)、「しばしばあった」と回答した人は3人(5%)、「ほとんどいつもあった」と回答した人は6人(10%)であった。最も多かったのは「ときどきあった」で、40%以上の人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「ほとんどなかった」の減少が見られるが、「ときどきあった」の増加が見られる傾向にあった。

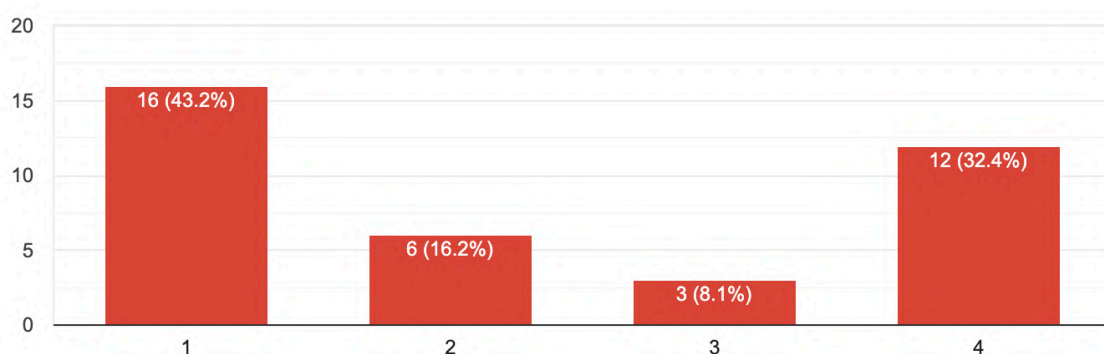
B. 周りの方々について9の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

1. 非常に 2. かなり 3. 多少 4. 全くない

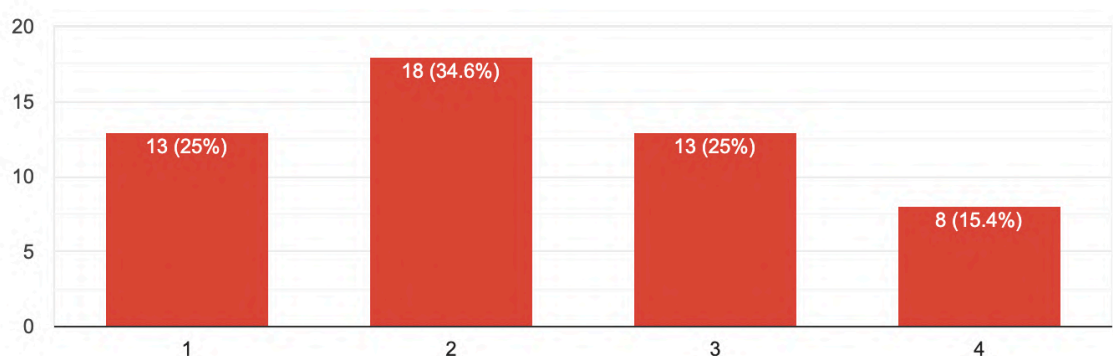
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか？

1. 配偶者

2020年度は「非常に」と回答した人は16人(43.2%)、「かなり」と回答した人は6人(16.2%)、「多少」と回答した人は3人(8.1%)、「全くない」と回答した人は12人(32.4%)であった。最も多かったのは「かなり」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は13人(25%)、「かなり」と回答した人は18人(34.6%)、「多少」と回答した人は13人(25%)、「全くない」と回答した人は8人(15.4%)であった。最も多かったのは「かなり」で、40%近くの人を選んだ。

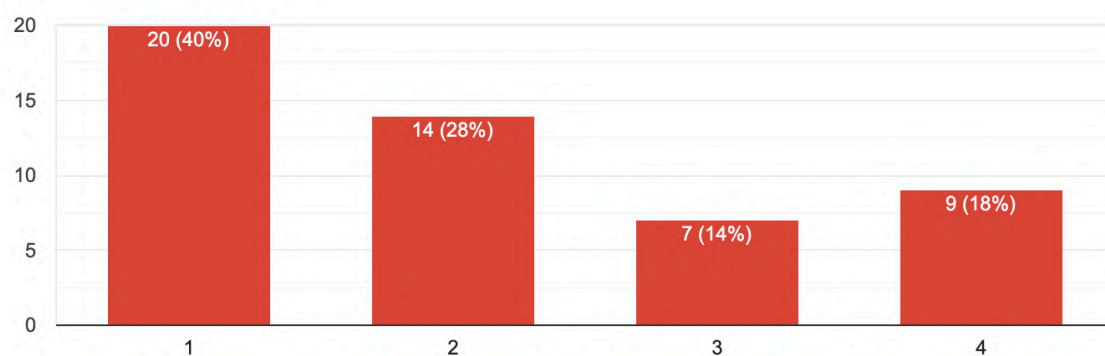


2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」と「全くない」の減少が見られる一方、「かなり」と「多少」の増加が見られる傾向にあった。

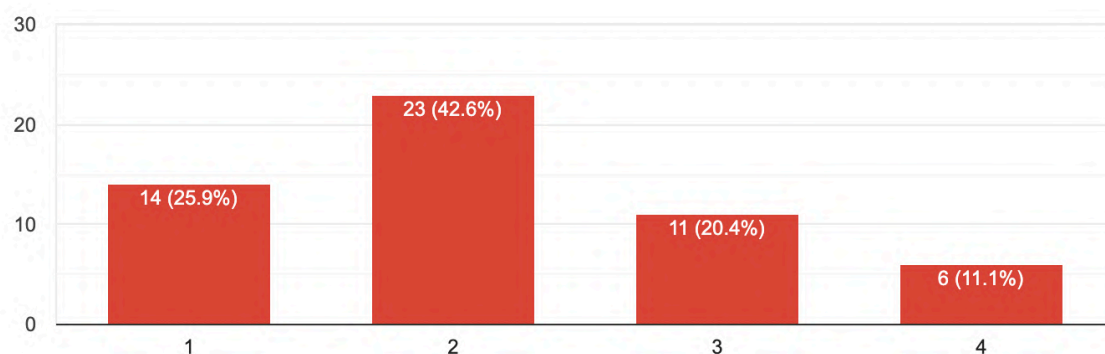
2. 家族

2020年度は「非常に」と回答した人は20人(40%)、「かなり」と回答した人

は14人(28%)、「多少」と回答した人は7人(14%)、「全くない」と回答した人は9人(18%)であった。最も多かったのは「非常に」で、40%の人が選んだ。



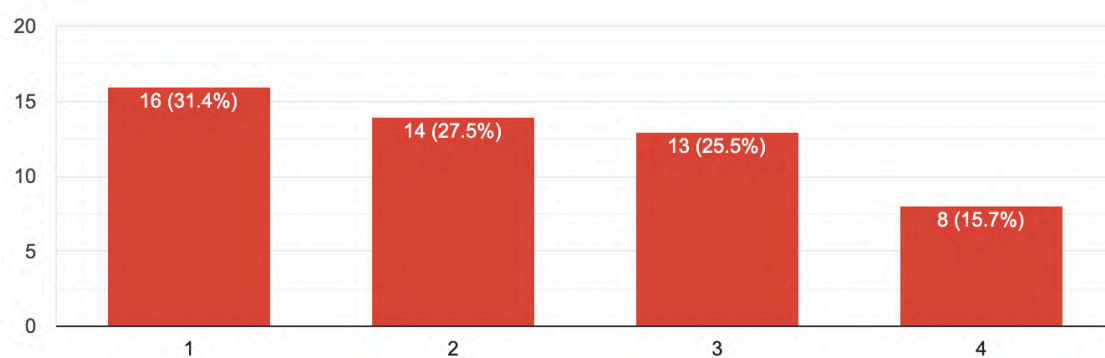
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は14人(25.9%)、「かなり」と回答した人は23人(42.6%)、「多少」と回答した人は11人(20.4%)、「全くない」と回答した人は6人(11.1%)であった。最も多かったのは「かなり」で、50%近くの人が選んだ。



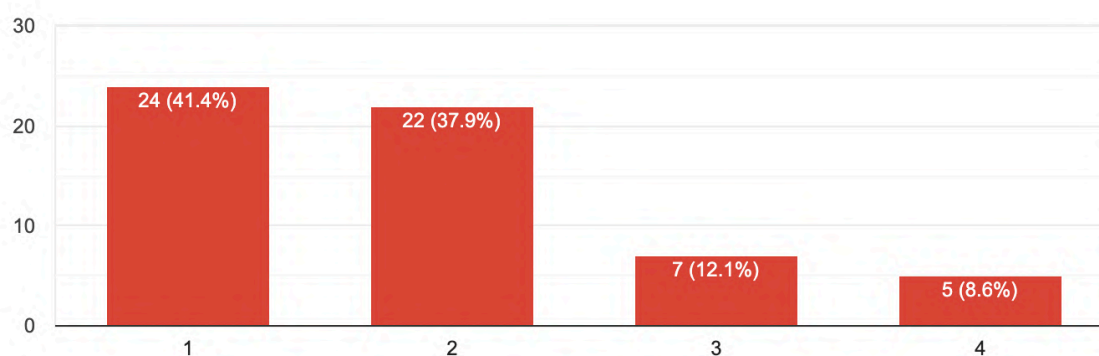
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の増加が見られる傾向にあった。

3. 友人等

2020年度は「非常に」と回答した人は16人(31.4%)、「かなり」と回答した人は14人(27.5%)、「多少」と回答した人は13人(25.5%)、「全くない」と回答した人は8人(15.7%)であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人が選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は24人（41.4%）、
「かなり」と回答した人は22人（37.9%）、「多少」と回答した人は7人（12.1%）、
「全くない」と回答した人は5人（8.6%）であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。

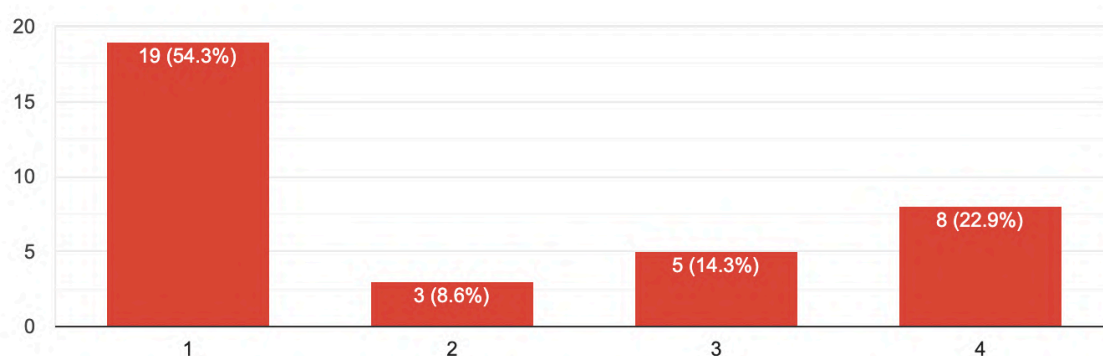


2020年度と2021年度を比較すると、「多少」と「全くない」の増加が見られる傾向にあった。

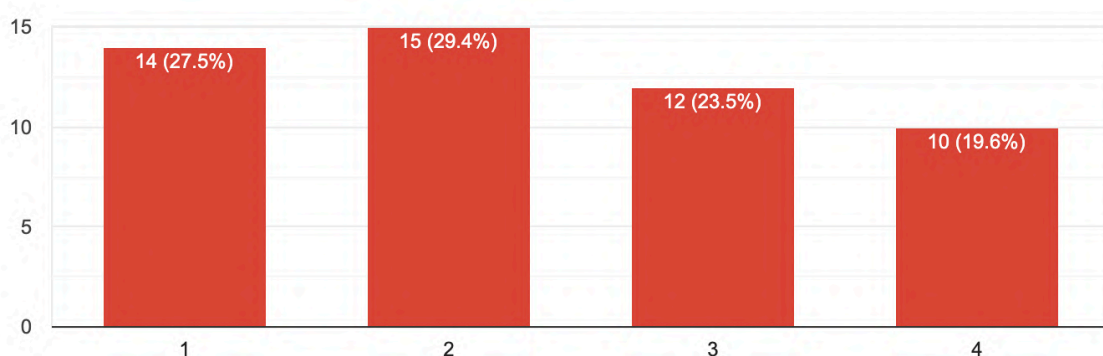
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか？

4. 配偶者

2020年度は「非常に」と回答した人は19人（54.3%）、「かなり」と回答した人は3人（8.6%）、
「多少」と回答した人は5人（14.3%）、「全くない」と回答した人は8人（22.9%）であった。
最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。



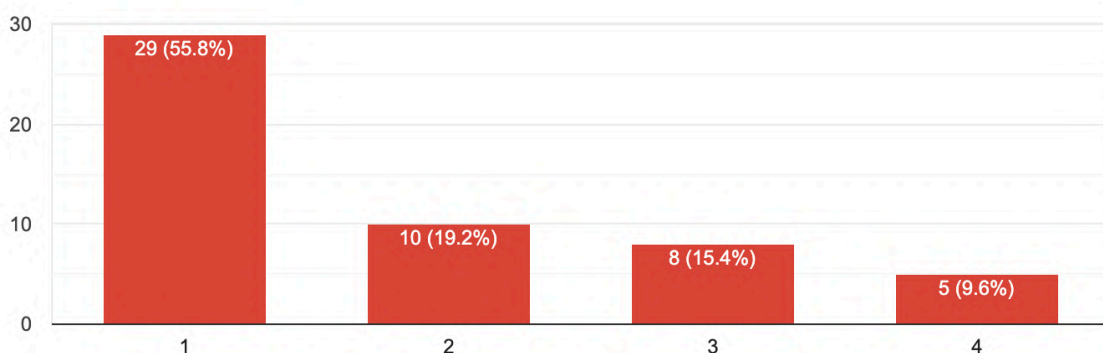
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は14人（27.5%）、「かなり」と回答した人は15人（29.4%）、「多少」と回答した人は12人（23.5%）、「全くない」と回答した人は10人（19.6%）であった。最も多かったのは「多少」で、30%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「かなり」と「多少」と「全くない」の増加が見られる傾向にあった。

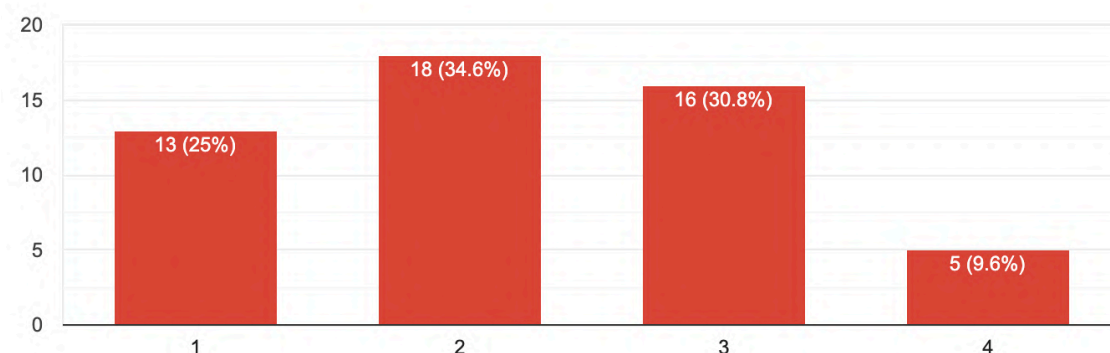
5. 家族

2020年度は「非常に」と回答した人は29（55.8%）、「かなり」と回答した人は10人（19.2%）、「多少」と回答した人は8人（15.4%）、「全くない」と回答した人は5人（9.6%）であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は13人（25%）、「か

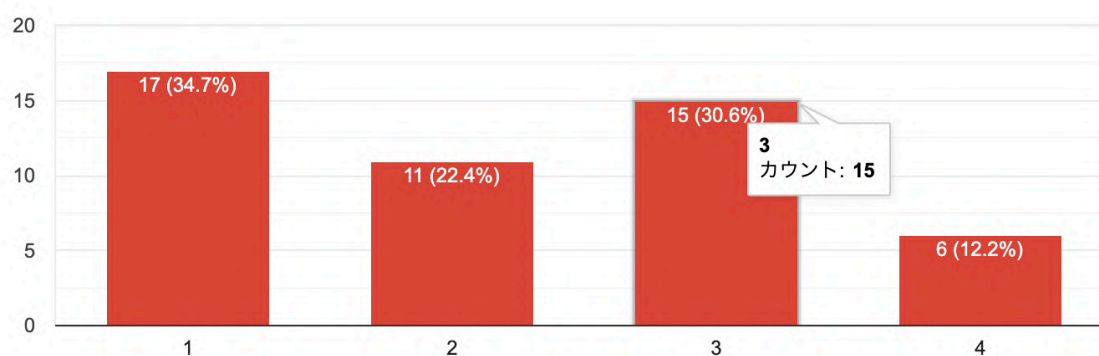
なり」と回答した人は18人(34.6%)、「多少」と回答した人は16人(30.8%)、「全くない」と回答した人は5人(9.6%)であった。最も多かったのは「かなり」で、40%近くの人を選んだ。



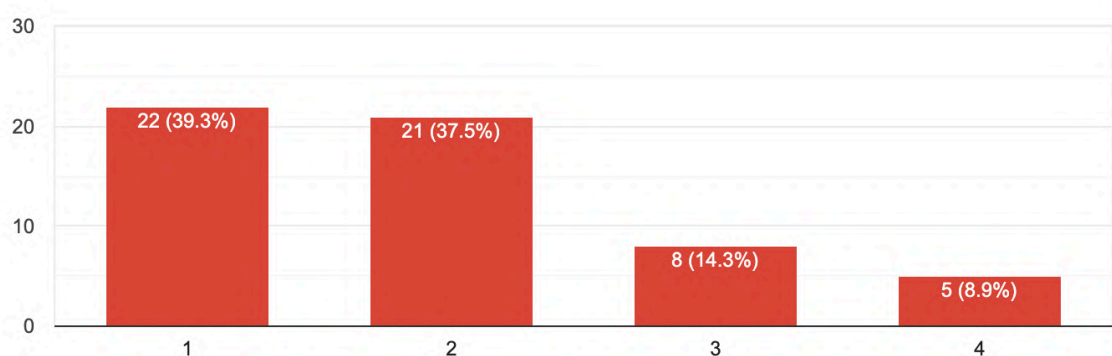
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「かなり」と「多少」の増加が見られる傾向にあった。

6. 友人等

2020年度は「非常に」と回答した人は17人(34.7%)、「かなり」と回答した人は11人(22.4%)、「多少」と回答した人は15人(30.6%)、「全くない」と回答した人は6人(12.2%)であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は22人(39.3%)、「かなり」と回答した人は21人(37.5%)、「多少」と回答した人は8人(14.3%)、「全くない」と回答した人は5人(8.9%)であった。最も多かったのは「非常に」で、40%近くの人を選んだ。

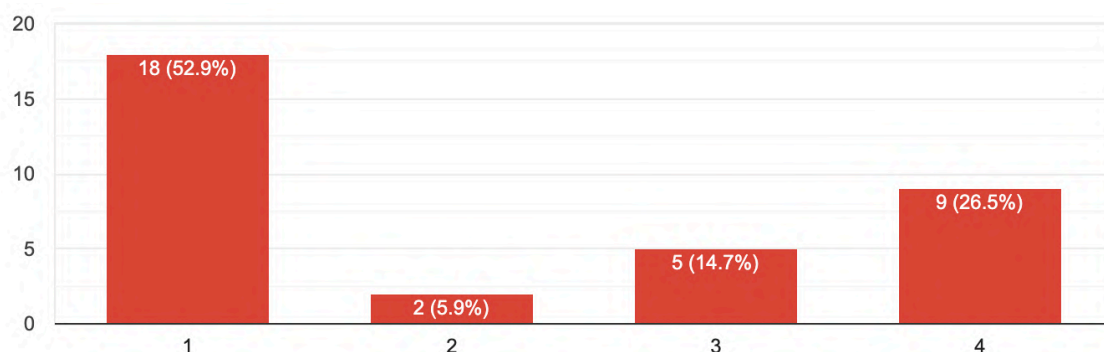


2020年度と2021年度を比較すると、「多少」の減少が見られる一方、「非常に」と「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

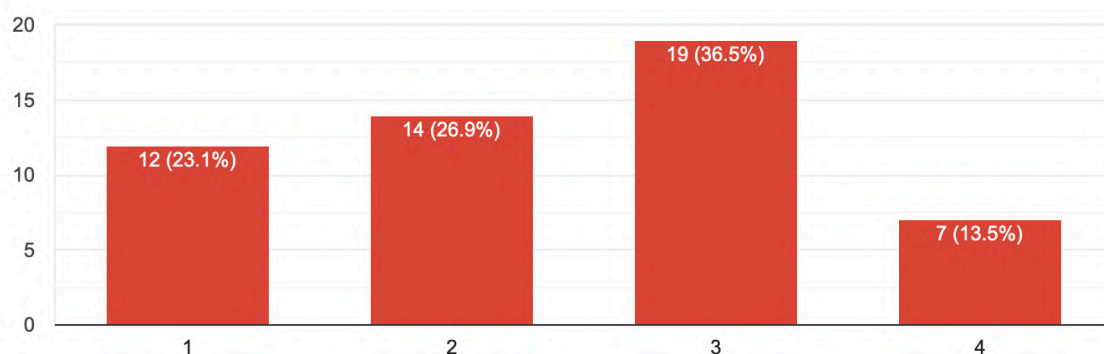
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか？

7. 配偶者

2020年度は「非常に」と回答した人は18人(52.9%)、「かなり」と回答した人は2人(5.9%)、「多少」と回答した人は5人(14.7%)、「全くない」と回答した人は9人(26.5%)であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。



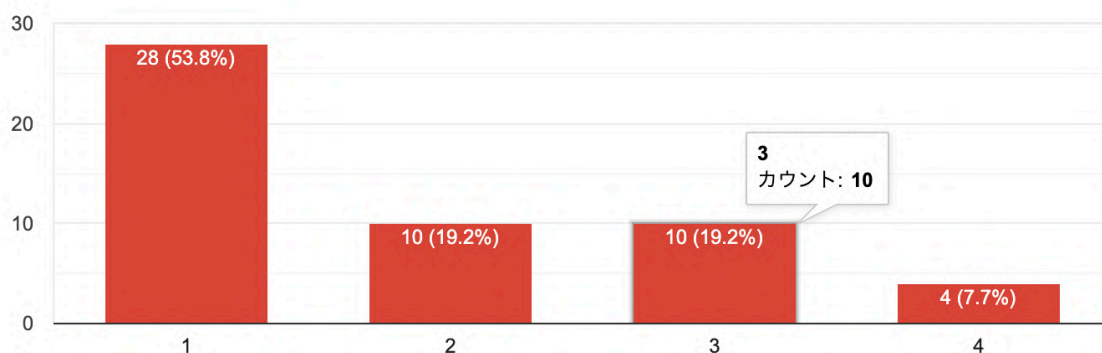
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は12人(23.1%)、「かなり」と回答した人は14人(26.9%)、「多少」と回答した人は19人(36.5%)、「全くない」と回答した人は7人(13.5%)であった。最も多かったのは「多少」で、40%近くの人を選んだ。



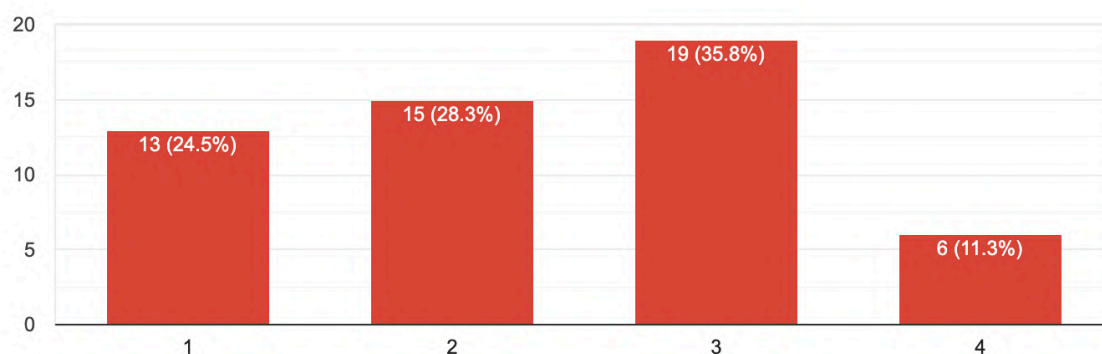
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「多少」と「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

8. 家族

2020年度は「非常に」と回答した人は28人(53.8%)、「かなり」と回答した人は10人(19.2%)、「多少」と回答した人は10人(19.2%)、「全くない」と回答した人は4人(7.7%)であった。最も多かったのは「非常に」で、60%近くの人を選んだ。



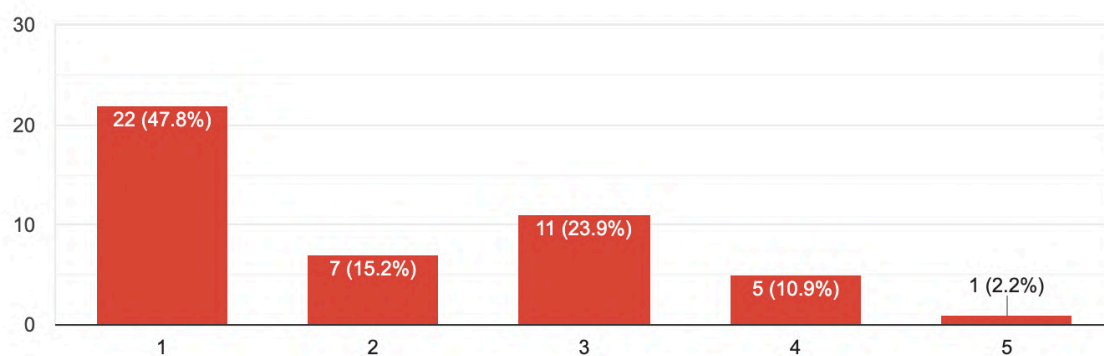
次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は13人(24.5%)、「かなり」と回答した人は15人(28.3%)、「多少」と回答した人は19人(35.8%)、「全くない」と回答した人は6人(11.3%)であった。最も多かったのは「多少」で、40%近くの人を選んだ。



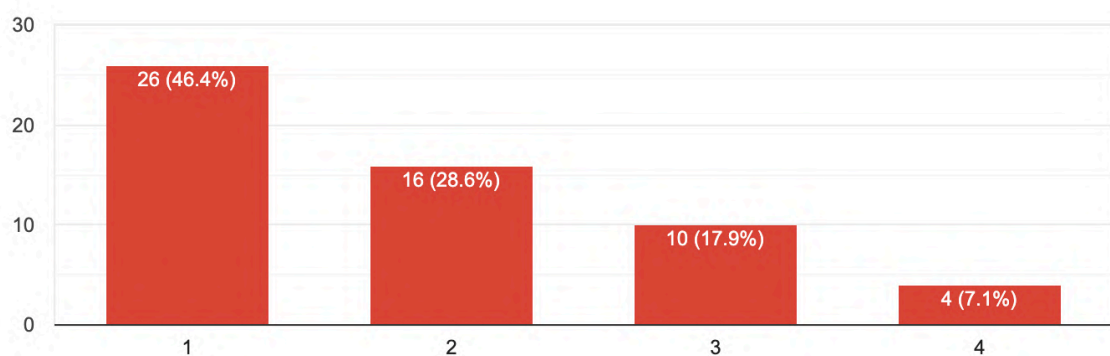
2020年度と2021年度を比較すると、「非常に」の減少が見られる一方、「多少」と「かなり」の増加が見られる傾向にあった。

9. 友人等

2020年度は「非常に」と回答した人は22人(47.8%)、「かなり」と回答した人は7人(15.2%)、「多少」と回答した人は11人(23.9%)、「全くない」と回答した人は1人(2.2%)であった。最も多かったのは「非常に」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「非常に」と回答した人は26人（46.6%）、「かなり」と回答した人は16人（28.6%）、「多少」と回答した人は10人（17.9%）、「全くない」と回答した人は4人（7.1%）であった。最も多かったのは「非常に」で、50%近くの人を選んだ。



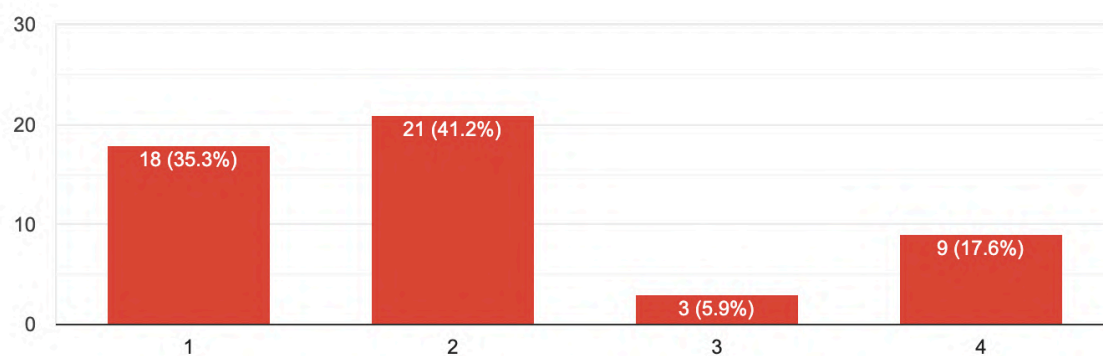
2020年度と2021年度を比較すると、「多少」の増加が見られる傾向にあった。

D 満足度について2の質問項目を示し、最もあてはまるものを次の4つの中から選択してもらった。

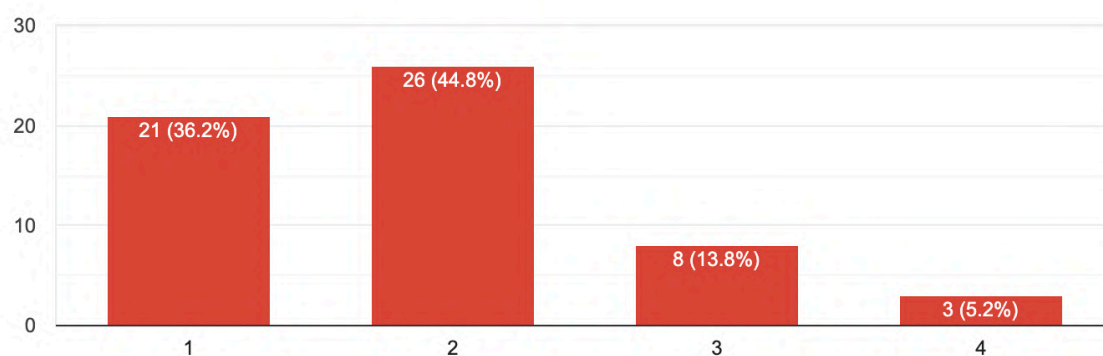
1. 満足 2. まあ満足 3. やや不満足 4. 不満足

1. 家庭に満足だ

2020年度は「満足」と回答した人は18人（35.3%）、「まあ満足」と回答した人は21人（41.2%）、「やや不満足」と回答した人は3人（5.9%）、「不満足」と回答した人は9人（17.6%）であった。最も多かったのは「やや満足」で、50%近くの人を選んだ。



次に2021年度の結果をみると、「満足」と回答した人は21人(36.2%)、「まあ満足」と回答した人は26人(44.8%)、「やや不満足」と回答した人は8人(13.8%)、「不満足」と回答した人は3人(5.2%)であった。最も多かったのは「多少」で、50%近くの人を選んだ。



2020年度と2021年度を比較すると「不満足」の減少が見られる一方、「やや不満足」の増加が見られる傾向にあった。